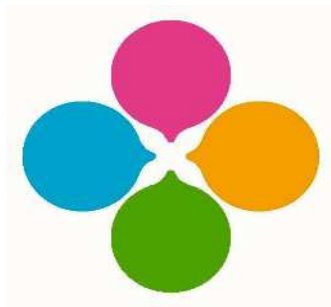


令和 7 年度

事業報告

自令和 7 年 4 月 1 日 至令和 8 年 3 月 3 1 日



社会福祉法人十日町福祉会

目 次

● 法人部門	
I 法人全体	1
法人	3
● 事業所部門	
II 高齢事業部	2 9
II－I 特別養護老人ホーム三好園	3 7
II－II 特別養護老人ホームあかね園	5 5
II－III ケアセンター三好園しんざ	8 3
II－IV 複合型介護施設三好園四ツ宮	1 0 9
II－V 複合型介護施設よしだ	1 2 3
II－VI ケアハウスみよし台	1 4 7
II－VII ヘルパーステーション十日町	1 5 5
II－VIII ケアホームうえの	1 6 5
III 障害事業部	1 7 9
III－I 障害者支援施設なかまの家	1 8 5
III－II 障害福祉サービス事業所なごみの家	2 0 3
III－III グループホーム千手かたくり	2 2 1
III－IV 障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ	2 3 7
III－V 障害福祉サービス事業所ワークセンターかわにし	2 5 5
III－VI ケアホームげじょう	2 6 7

Ⅲ－Ⅶ 包括支援課	2 9 1
Ⅳ こども事業部	3 1 9
Ⅳ－Ⅰ しんざこども園	3 2 5
Ⅳ－Ⅱ うえのこども園	3 3 5

● 法人部門

I 法人全体

I 法人

1 経営理念	
十日町福祉会は、社会福祉事業を通じて、多様な福祉課題に積極的かつ主体的に取り組み、地域社会の豊かな発展と充実に貢献します。	
2 経営方針	
人権の尊重	お客様の自己決定と選択を尊重し、その権利擁護を実現するとともに、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスの提供に努めます。
地域との共生	地域における福祉システムの構築に主体的に関わり、関係諸機関との連携・協働により、地域の福祉課題に取り組みます。
人材育成、適切な人事・労務管理の実践	経営の持続と発展を図るため人材の育成に努め、職員の自己実現に寄与するとともに、適切な人事・労務管理を実践します。
財務基盤の安定化と公共的・公益的取り組みの推進	安定的な財務基盤の確立のもと、地域の福祉ニーズに即応した先駆性、開拓性のある社会貢献を推進します。
3 行動規範	
1	その行動は、お客様の喜びと満足につながっていますか。
2	その行動は、お客様の立場に立ったものですか。
3	その行動は、お客様の希望に沿ったものですか。
4	その行動は、お客様の自立支援につながるものですか。
5	その行動は、あなたの自己実現につながるものですか。
4 事業目標	
(1) 第3次中期計画への取り組み	
①	第3次中期計画への取り組み
	策定委員会、各事業部会、タスクフォース等を活用し策定に向けます。
	取組結果 第3次中期計画策定委員会（経営会議）、管理者会議、タスクフォースと3協議体構成で計16回にわたる協議を経て、第3次中期計画（マスタープラン）並びにタスクフォースより事業計画提言書の2部構成で完成し、3月理事会、評議員会で説明、承認を得ました。 その後職員への説明、周知を図りました。 なお、第3次中期計画執行初年度である令和8年度事業計画との関連を図りました。

②	なかまの家基本設計、事務の展開	令和7年度は基本設計を行います。新潟県や十日町市、津南町など関係機関との連携を図り、設備整備に向け準備します。
		取組結果
		基本設計請負業者である株式会社安部良アトリエより3月末に基本設計書の提出を受けました。 1月には実施設計業者の株式会社塚田設計事務所と随意契約を結びました。 基本設計業者と実施設計業者との打ち合わせ会を1月27日リモート開催しています。3月3日には対面会議を開催し、今後の設計業務の詳細な打ち合わせを行いました。なかまの家職員を含め実施設計に向け打ち合わせを繰り返し行いました。 ・なかまの家移転新築工事実施設計委託契約(令和8年1月付) - 契約先:株式会社塚田設計事務所 29,700千円 ・定例会 21回(リモート会議含む)※設計業者と法人 ・内部協議 13回 ※法人
③	大規模改修計画等改修、修繕計画への取り組み	三好園大規模改修基本計画、事業所危険箇所への対応、老朽化による各所修繕など計画的に進めていきます。
		取組結果
		高齢事業部内で「三好園大規模改修検討会」を開催し、種々の課題抽出とあり方を検討開始しました。あかね園空調設備、三好園四ツ宮空調設備を令和7年度計画分として修繕・改修工事を行いました。 ・あかね園空調設備工事(エアコン敷設工事) 49,800千円 R7年度施行 ・三好園四ツ宮空調工事(GHP2系統) 19,520千円 R7年度施行

(2) 働く環境の整備		
①	トータル人事制度改革の推進	職員の処遇改善を計画的に進めます。また、トータル人事制度改革においては人事考課制度の見直し、専任職員の正職員登用に向けスピード感を持って準備を進めます。
		取組結果
		国の令和7年度補正予算成立を受け、厚生労働省より「医療・介護パッケージ」に各種の支援事業が示されました。 主な支援事業として「介護職員等の賃上げ・職場環境改善支援事業」が打ち出され、高齢分野と障害分野での処遇改善の準備を行いました。

①	トータル人事制度改革の推進	具体的には令和8年度に入り事務を進め、令和8年度6月賞与に併せ一時金支給に向け準備を進めることとしました。 また、令和8年度には介護報酬の改定が前倒しで行われるため高齢分野、障害分野の賃上げに向け情報を収集し対応を協議しました。 トータル人事制度改革について、人事考課制度の精度を高めるためコンサルタントを交え協議を重ね人事考課表の見直しを行いました。令和8年度改定に向け初任給基準表、給与表の見直しを図るため協議を重ねてきました。 ○高齢事業、障害事業職員一時金 1人あたり 35,000円(正職員) ・人事考課ワーキング 13回 ・処遇ワーキング 10回
②	介護・支援・保育環境改善と生産性向上	職場環境を整えるためメンタルヘルスとラインケアへの取り組みを強化します。 働きやすい環境を作るため労働環境改善を推進し、ICT活用、介護ロボット、介護機器を積極的に活用し生産性向上運動をスピード感を持って推進します。 取組結果 令和7年度ストレスチェックの結果分析を受け、産業カウンセラーの助言を得ながら対応を考え、働く環境についてワークショップを計画しました。高齢事業部では生産性向上委員会の設置に向け準備を進めました。三好園四ツ宮は生産性向上加算をを取得するに至りました。他の事業所も取得に向け準備を進めました。 十日町市助成金を活用し眠りスキャンロボットの導入を進めました。介護、支援の現場用に音声入力ソフトの導入に向けデモンストレーションを行い令和8年度からの導入準備を行いました。 ・スキャンロボット導入(三好園、あかね園) 20台 ・移乗ロボット(三好園、三好園しんざ) 2台 ・天井走行リフト(あかね園) 2基 ・リフト浴槽更新(三好園しんざ、よしだ) 3か所 ・介護ソフト(うえの) 1か所(タブレット導入) ※法人全体費用 17,511千円(うち十日町市補助金2,589千円)

③	人材の確保・研修・育成とDXの推進	第3次中期計画策定に人材確保、人材育成計画を盛り込み、職員確保への取り組み、計画的な外国人人材の登用、専門性を高めるために職員の育成・研修を強化します。 また、ホームページを更新し法人の様子を広く配信できる機能を強化します。各事業、分野においてDXを推進します。
		取組結果
		人材の確保は大変困難な状況にあります。特に介護職員、支援員、看護師、調理員など現場を支える人材が不足していました。 来期新卒者は、高卒者2名の内定を行いました。春休みを活用し事前オリエンテーションを行いました。 中途採用を積極採用し職員補充を行いました。有資格者が減少傾向にあるため、資格取得支援制度の周知を行い、資格取得促進活動を鋭意進めました。 今年度初めて3等級職員向けに民間研修機関を活用し人材育成の充実を図りました。フィリピン人の登用についてオンライン面談を行い特定技能(介護)4名、特定技能(外食)2名の採用を決定しました。入国、採用に向け準備を行いました。 勤怠管理のシステム化を促進し、出退勤管理に加え時間外労働のシステム管理を開始しました。 ・管理職研修(管理職会議) 4回 ・班長、リーダー研修 2回 ・職員スキルアップ研修 2回 ・タスクフォース 7回

(3) 経営改善		
①	各事業の稼働率改善	各事業間、事業部内、事業部間の連携体制を構築し、適時に利用者へのサービスが提供できる仕組みを作り、稼働率向上に向け戦略的に取り組みます。 なお、生産性向上加算など算定可能な加算を積極的に進めていきます。
		取組結果
		高齢事業部ではベッド稼働率向上対策を鋭意取り組み、退居後の速やかな入居事務を目指しました。 特養平均稼働率95.85%で、前年度比較0.36%増加しました。特養空床を短期入所で活用することを進めましたが、短期入所稼働率90.65%となり、前年度比0.1%微減しました。 通所介護は平均稼働率61.22%となり、移設したデイサービスセンター三好園を除き利用者確保に苦戦しました。 戦略を協議したうえで、三好園しんぞ、あかね園、よしだの各デイサービスに休業日を1日設けることにより人員確保と業務効率化を図りました。 近隣通所事業所の閉鎖に伴い三好園、あかね園は事業所目標を達成することができました。

①	各事業の稼働率改善	障害事業は人員不足が徐々に解消され稼働率を高めています。 なごみの家、ケアホームげじょうは目標工賃を上回りました。これは、高齢事業所の使用済み紙おむつ回収作業が高収益となりました。障害事業部全体で前年度比5%の増収でした。 こども園は公定価格の見直しの影響で前年度比0.77%増収となりましたが、園児減少の影響を受け令和8年度より定員を減らす手立てを行いました。こども誰でも通園制度をうえのこども園で対応できるように2月18日付で十日町市へ申請を行いました。
②	財務健全性の確保	物価高騰、燃料費高騰は未だ事業活動に大きく今後も各種経費の点検を行い、無駄を省けるように努めます。 また、財務状況を定期的に点検、監視を行い専門家の意見を取り入れながら財務の健全性を保つよう取り組みます。 取組結果 物価高騰、燃料費高騰の影響は事業活動に大きな影響を及ぼしました。事業費は前年比97.0%となりましたが、事務費前年比108.0%と各種経費高となりました。各事業所で可能な限り省エネ、経費削減に努めました。対策として給食費、消耗品費、介護用品費などは一括購入の実施や納入先の見直しを行いました。公認会計士並びにコンサルタントの助言を得て財務状況の点検を逐次行いました。 第3次中期計画のテーマのひとつである事業活動の黒字化を目指したアクションプランを策定しました。 なお、今期資金運用について有価証券50,000千円の取得に向けました。 十日町市使用済み紙おむつ燃料化実証事業は、三好園しんごに敷設したボイラーの不具合が続き、使用継続が困難な状況となり事業継続が難しくなりました。十日町市と協議を重ね3月31日付で契約を解除することとしました。 ・前年度比 給食費102.9%増 ・修繕費127.7%増 ○物価高騰支援金等 十日町市 6,340千円 新潟県 7,558千円
③	将来に向けた資金確保	第3次中期計画策定と並行して施設整備、施設修繕などへの資金計画の策定します。将来に向けた着実な積立資金の確保を行います。 取組結果 第3次中期計画においてなかまの家移転新築計画以降の計画、具体的には三好園大規模改修工事計画、その他大規模修繕等の必要資金の見通しを立てました。 今期の積立額は80,000千円を目指しましたが38,000千円となりました。

(4) 法人組織、サービスの点検と強化		
①	法人、事業所の組織改編	法人組織の最適化を目指し、将来の事業運営を見据えた組織体制について検討を行います。
		取組結果
		関係機関との連携を密にするため東地域包括支援センターが三好園しんご内へ移設し、地域生活相談支援センターあおぞらを十日町市医療福祉総合センター内へ移設しました。 第3次中期計画の中に組織改編を計画し、令和8年度より「地域包括支援課」の改廃、「高齢在宅係」の新設等を準備しました。 なお、ヘルパーステーション十日町をあかね園拠点に移動させ、拠点内に包含する準備を行いました。
②	指揮命令の明確化	各事業の役職者の配置など組織体制を見直し、指揮命令系統の強化を図り、業務の分掌を明確化できるよう人員配置、人材育成を進めます。
		取組結果
		大規模拠点における組織の強化、在宅サービス部門の強化を目途として「高齢在宅係」の新設に向け準備を行いました。 その他、指揮命令を明確にするために組織の見直しを行いました。
③	人権を尊重したサービスづくり	経営方針の一つである「人権の尊重」を重要視し、人権擁護に向けた取り組みを一層強化するとともに、各事業におけるサービスの点検を行い、関連する研修の充実を図ります。
		取組結果
		各事業部において「人権の尊重」を念頭に取り組みを行いました。 高齢事業では人材不足がサービスへ影響を及ぼしていることが懸念されたため、メンタルヘルスへの配慮が必要であることがわかり、職員向けアンケート、その結果をもとに産業カウンセラーが介入しワークショップを開催しました。 障害事業部では自閉症eサービスを活用し多くの支援員支援のあり方を学び、支援の向上が見て取れました。 こども園では昨年度研修した福岡翼氏からの助言をもとに気になる子供への保育の実践に向けました。 各事業のサービスの点検行為は今後も大切なテーマとなりました。

(5) 多職種・他分野連携の推進		
①	各事業部間連携の推進	多様なニーズに答えるために法人の持つ高齢事業、障害事業、こども事業の事業部間連携の仕組みをつくり、法人サービスの付加価値を高め、選ばれる法人となることを目指します。
		取組結果
		包括支援課を中心とした「ごちゃまぜ広場結」の活動へこども事業の職員の参画を企画しました。 また、高齢事業部、障害事業部の互いの事業所体験を通して経験値を高め、互いの事業の理解を図りました。障害サービスから高齢サービスへの転換を図る手順、フローの作成を手掛けました。
②	法人間連携の推進	他法人との情報共有と関係機関との連携をさらに進め、協働事業の研究、協議を進めます。
		取組結果
		法人間連携においては一般社団法人妻有地域メディカル&ケアネットワーク包括ケア研究部会の会員法人として情報共有、人材確保、災害協定について議論を行いました。 「ツナガル妻有2025」等地域共生社会づくりイベントへ積極的に参画しました。11月21日には十日町市長との各法人代表者との懇談会を事務局として企画・開催し、市長への要望事項をまとめ提出を行いました。
③	医療、行政、地域との連携の推進	協力医療機関との連携体制の構築を基軸として、高齢事業、障害事業の入居系サービスの連携に体制の構築に向け準備を行います。 また、行政機関との連携、医療、介護、福祉のプラットフォームに積極的に参画し、地域の連携を推進する一翼を担います。
		取組結果
		介護施設における協力医療機関との連携体制の構築、救急時の対応について十日町病院患者サポートセンター、各特養嘱託医と本年度の確認作業を行いました。 認知症グループホーム、障害者支援施設、グループホームの連携体制について医師会事務局と協議を開始しました。 また、松代病院診療所化に伴う松代地区の介護施設と協力病院との連携体制の在り方について相談、助言を行い新たな年度からの取り組みについて体制づくりに寄与しました。

5 その他重要事項			
(1) 人材育成、資質向上			
法人全体、事業部、階層ごとに研修体制(オンライン研修、集合研修)を確立し人材育成を図ります。			
①	法人研修、事業所内部研修、資格取得研修、外部研修を実施します。		
取組結果			
法人全体でeラーニングを活用し、法定研修を実施しました。各職場において個別に視聴できる環境を整えたことで、職員の参加率は高い傾向にあります。 9月には、介護支援専門員試験に向けた勉強会を開催し、3名の職員が参加しました。参加者は試験対策に意欲的に取り組んでいました。			
研修計画			
開催月	研 修 テーマ	研 修 内 容	参加人数
4月15日～ 5月15日	職業倫理	ジョブメドレーアカデミーによる動画研修	333
6月25日～ 7月31日	感染症・蔓延防止研修 (BCP研修〈講義〉含む) ①	ジョブメドレーアカデミーによる動画研修	373
6月25日～ 7月31日	リスクマネジメント研修 ①	ジョブメドレーアカデミーによる動画研修	331
7月7日～ 8月15日	身体拘束廃止、高齢 虐待防止研修 ①	ジョブメドレーアカデミーによる動画研修	189
7月7日～ 8月15日	身体拘束廃止、障がい虐待防止研修 ①	ジョブメドレーアカデミーによる動画研修	105
8月28日～ 9月30日	BCP研修(自然災害)	ジョブメドレーアカデミーによる動画研修	289
9月12日	腰痛予防研修	集合研修 講師: ネージュスポーツクラブ様 会場: 千年の森ホール	36
②	民間ノウハウと動画研修を活用し、一般職員を含む階層別の研修プログラムを実施します。		
	取組結果		
	今年度より一般職員向け研修を開催し、7月に業務を円滑に行うための主体性とコミュニケーション能力向上について学びました。 当間高原リゾート様を講師に迎え、23名の参加職員一人一人が研修後に行動計画を作成し、実践に向けました。その後12月にフォローアップ研修を行い、実践結果についての振り返りを行い、仕事に対する考え方、気持ちのあり方を学ぶことができた研修となりました。参加職員の満足度が高い研修となりました。		

	新入職職員の研修を充実させ、配属事業所と事業部、総務部間で情報共有できる仕組みを作ります。
	取組結果
③	令和7年度入職の新卒職員に関し、配属先職員と施設長、事業部長、総務部で概ね1ヶ月おきに仕事の進捗等について情報の共有が出来ました。 仕事の達成度のゴールが不明確であったため、継続に課題が残りました。 次年度に向け課題を解決し、職員育成研修に取り組みます。
	研修不参加者に対しては復命研修を徹底し、共有を図ります。
④	取組結果
	内部監査で研修不参加者に対して復命研修を実施しているか確認を行いました。

(2) 地域への貢献	
地域と施設、人と人とのつながりの在り方を再協議し関係性を深めて行けるよう取り組みます。	
	十日町市圏域の介護職員養成を目的として、介護員養成研修事業初任者研修を開催します。
①	取組結果
	8名の受講者を迎え5月20日～9月11日の期間で実施しました。 受講者は全員修了することができました。
	喀痰吸引、経管栄養を実施できる介護職員の養成を目的として、喀痰吸引等研修事業(第一号、第二号研修)を開催します。
②	取組結果
	10月から開校し、6名が基本研修から受講し、4名が実地研修を受講中です。 計10名の受講者となりました。

(3) 情報発信	
	法人活動を地域へ発信するため、各事業所広報委員と協力して「十日町福祉会だより」を7月、11月、3月の年3回発行します。
①	取組結果
	7月、11月、3月に十日町福祉会だより46、47、48号を発行しました。 十日町市、津南町地域への回覧や、ホームページで配信をしました。
	法人ホームページで職員採用情報や研修事業、各事業所の活動等の情報発信を行います。
②	取組結果
	法人の研修事業、寄付の報告や、各事業所からの日々の活動の取り組みについて、日々情報を発信することができました。

6 法人の概要(実施事業については各事業所の計画書を参照)	
法人名	社会福祉法人十日町福祉会
代表者氏名	理事長 尾身 晴夫
事務所の所在地	新潟県十日町市水口沢99番地
認可年月日	平成20年 7月 1日
設立登記年月日	平成20年10月 1日
役 員	理事6名、監事3名、評議員9名

7 主要事項			
(1) 理事会、評議員会及び監事会			
①理事会			
開催月日	場所	人数	内 容
5月16日	法人事務局	6	・社会福祉法人十日町福祉会評議員選任・解任委員会の開催、選任候補者の推薦について
6月6日	法人事務局	6	・社会福祉法人十日町福祉会事業報告並びに収支決算の承認、ハラスメント防止規程の制定、表彰規程の制定、評議員会の開催について
6月27日	クロステン	6	・社会福祉法人十日町福祉会理事長、常務理事の互選、副理事長の指名、評議員選任解任委員会の選任、福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の選任について
7月3日	法人事務局	6	・なかまの家移転新築計画総合アドバイザー契約について
8月1日	法人事務局	6	・就労選択支援事業について ・社会福祉法人十日町福祉会週休3日制度のトライアル導入に関する規則の制定について
10月3日	法人事務局	6	・なかまの家移転新築事業計画書について ・社会福祉法人十日町福祉会専任職員給与規程の一部改正について ・社会福祉法人十日町福祉会育児・介護休業規程の一部改正について ・社会福祉法人十日町福祉会経理規程の一部改正について ・評議員会の開催について
11月10日	法人事務局	6	・資金運用責任者の選任及び資金運用計画(令和7年度)の承認について ・なかまの家移転新築工事の実施設計・監理業者の選定について

12月5日	クロステン	6	報告事項のみ
1月23日	法人事務局	6	・施設長等の選任について ・社会福祉法人十日町福祉会しんざこども園、うえのこども園園則(運営規程)の一部改正について
2月20日	法人事務局	6	・役員等賠償責任保険の締結について ・社会福祉法人十日町福祉会組織規程、経理規程、事務処理規程、公印規程の一部改正について
3月19日	法人事務局	6	・令和7年度社会福祉法人十日町福祉会会計収支補正予算(第1次)について ・通所型サービスAの事業廃止について ・社会福祉法人十日町福祉会第3次中期計画について ・令和8年度社会福祉法人十日町福祉会事業計画、収支予算について ・評議員会の開催について
②評議員会			
開催月日	場所	人数	内 容
6月27日	クロステン	8	・令和6年度社会福祉法人十日町福祉会事業報告及び収支決算の承認、理事、監事の選任について
12月5日	クロステン	8	報告事項のみ
3月27日	クロステン	8	・令和7年度社会福祉法人十日町福祉会会計収支補正予算(第1次)について ・社会福祉法人十日町福祉会第3次中期計画について ・令和8年度社会福祉法人十日町福祉会事業計画、収支予算について
③監事会			
開催月日	場所	人数	内 容
3月27日	クロステン	3	・令和8年度の監査方法について ・現金の取り扱いについて ・生産性向上の取組み(業務改善)について ・苦情受付後の改善状況

○法人監査実施状況			
開催月日	場所	人数	内 容
5月30日	法人事務局	3	・事業所施設巡回監査 ・職員給与、理事の職務執行状況確認 ・現金の取り扱い(現金、預り金他) ・苦情受付、事故報告の再発防止改善取組
11月10日	法人事務局	3	・事業所施設巡回監査 ・職員給与、理事の職務執行状況確認 ・現金の取り扱い(現金、預り金他) ・苦情受付、事故報告の再発防止改善取組
④評議員選任・解任委員会			
開催月日	場所	人数	内 容
5月23日	法人事務局	3	社会福祉法人十日町福祉会評議員会の選任

(2)会議	
①経営会議開催状況	
開催月日	協議内容等
4月18日	・専任3から正職員登用、なかまの家基本設計の進め方、職員表彰規程、ハラスメント防止規程、第3次中期計画ディスカッションについて
6月20日	・第3次中期計画ディスカッション
7月14日	・8月理事会、副業に関する内規、就労選択支援事業の取り組み、第3次中期計画ディスカッションについて
8月18日	・新潟県最低賃金アップへの対応、第3次中期計画ディスカッションについて
9月19日	・新潟県最低賃金アップへの対応、こども園職員の処遇改善について(給与規程の改定について)、職員の現況報告、クリーンセキュリティー給食委託業務の廃止について
11月10日	・通所介護事業の人員不足対策並びに収益向上への取り組みについて ・十日町市長への法人要望事項について ・第3次中期計画策定に向けて
12月19日	・給与表の改定について ・令和8年度事業計画・収支予算について ・通所介護利用者獲得対策について ・第3次中期計画の編纂について ・日額専任職員向けアンケート実施について
1月15日	・日額職員の正職員登用について ・組織改革について ・令和8年度事業計画、収支予算について ・第3次中期計画の編纂について

2月13日	・介護職賃上げ・職場環境改善補助金の申請について ・第3次中期計画編纂作業進捗状況について ・令和8年度事業計画収支予算(概要版)について ・理事会協議題について
3月6日	・通所A型(ケアホームげじょう)の事業の今後 ・介護職賃上げ・職場環境改善補助金の申請について ・第3次中期計画について ・令和8年度事業計画収支予算(概要版)について

②会議実施一覧		
会議名	開催実績	
法人本部会議	毎週月曜日午後開催	23回開催
部長会議	不定期開催	
総務部会議	毎週木曜日午前開催	27回開催
施設長、園長会議	開催はありません	
高齢事業部会議	毎月第3水曜日に開催	12回開催
障害事業部会議	毎月第3火曜日に開催	12回開催
こども園会議	毎月第3木曜日に開催	12回開催

(3)委員会	
委員会名	開催実績
コンプライアンス委員会	開催はありませんでした
研修委員会	4月25日、6月23日、8月18日、10月20日、12月15日、2月16日
広報委員会	5月8日
職場衛生委員会(職場環境づくり)	5月27日、7月28日、9月22日、12月22日
職場衛生委員会(職場衛生)	7月15日
リスクマネジメント委員会	5月14日、7月16日、9月17日、11月19日、1月21日、3月18日
個別ケア推進委員会	6月11日、8月7日、10月15日、11月14日、12月17日
個別支援推進委員会	12月5日、1月9日
個別保育推進委員会	7月22日、10月28日、12月19日
トータル人事__人事考課ワーク	5月8日、6月6日、8月8日、9月9日、10月7日、11月6日、12月23日、1月8日、2月19日
トータル人事__処遇改善ワーク	6月25日、7月30日、9月5日、11月20日、1月9日
トータル人事__キャリアパス	今年度の開催はありませんでした

トータル人事__働き方	今年度の開催はありませんでした
業務改善・生産性向上プロジェクト	7月4日、8月28日、10月30日、12月15日、3月6日
なかまの家移転新築定例会(市・町合同)	6月10日、8月6日、9月3日、12月2日
なかまの家移転新築会議	7月8日、7月23日、8月13日、8月29日、9月11日、9月14日、9月24日、10月28日、11月11日、11月18日、12月2日、12月8日、1月27日、2月10日、2月24日、3月3日、3月10日、3月24日
三好園大規模改修検討委員会	6月24日、8月27日

(4) 事業別・職種別連絡部会	
部会名	開催実績
特養相談員部会	4月10日、5月8日、6月12日、8月7日、9月11日、10月9日、11月14日、12月11日、2月17日
特養介護員部会	5月20日、7月15日、9月16日、11月18日、1月20日、3月17日
特養看護部会	4月24日、6月26日、8月28日、10月23日、1月22日
短期入所部会	4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、8月20日、10月15日、11月19日、3月18日
通所部会	5月14日、7月17日、10月7日、12月11日、1月21日
食事部会	5月21日、7月15日、9月17日、11月17日、1月21日
療法士部会	5月17日、8月13日、2月11日
施設ケアマネ部会	5月22日、8月18日、2月10日
居宅ケアマネ部会	4月16日、6月25日、8月25日、10月29日、12月17日、2月18日
サービス管理責任者部会	5月29日、7月29日、11月27日、3月12日
生活介護部会	5月27日、6月19日、8月5日、9月2日、10月8日、11月4日
就労支援部会	8月4日、10月6日、12月8日
保育教諭部会	5月28日、6月24日、7月29日、9月8日、10月28日、12月9日
事務員部会	7月15日

(5)人材育成、資質向上	
①人材育成研修	
研修名	開催実績
管理職会議(CSアビリティー)	5月7日、6月5日、7月10日、9月8日、10月6日
班長・リーダー研修(PMC)	10月29日
タスクフォース(班長／CSアビリティ)	5月8日、6月6日、7月11日、9月9日、10月7日、11月4日
一般職員研修成長ラボ(当間高原リゾート)	7月25日、12月11日
介護職員100日プログラム指導者研修	4月15日、6月11日、8月29日
②法人共通研修	
研修名	開催実績
職業倫理	4月15日～5月15日 ※動画研修
感染症研修(BCP研修<講義>含む)	6月25日～7月31日 ※動画研修
リスクマネジメント研修	6月25日～7月31日 ※動画研修
BCP研修(自然災害)	8月28日～9月30日 ※動画研修
腰痛予防研修	9月12日 ※集合研修
メンタルヘルス研修	10月30日 ※集合研修
法人研究発表会	2月25日 ※集合研修
③各事業部研修	
研修名	開催実績
感染症研修(PPE着脱訓練) 【障害】	各施設にて実施 6月17日
身体拘束廃止、虐待防止研修【高齢】	7月 7日～8月15日 ※動画研修
身体拘束廃止、虐待防止研修【障害】	8月 1日～8月29日 ※動画研修
感染症研修(BCP研修<講義>含む)【高齢】	10月27日～11月30日 ※動画研修
感染症研修(BCP研修<講義>含む)【障害】	11月20日、21日、25日、26日
リスクマネジメント研修【高齢】	12月16日～1月15日 ※動画研修
認知症ケア研修	12月16日～1月15日 ※動画研修
リスクマネジメント研修【障害】	12月16日～1月15日 ※動画研修
④新規採用職員研修	
研修名	開催実績
新規採用職員研修 (R7.4.1～R7.9.30採用者)	3月26日～3月27日、5月15日、7月8日、11月6日
新規採用職員フォローアップ研修	7月1日、10月7日、1月13日

⑤その他		
ア 人事考課研修		
研修名	開催実績	
新考課者、新考課者向け研修	5月1日	
1次考課者、2次課者向け研修	12月3日	
イ 法人外研修等総務部職員参加状況		
開催日	会場	内容
7月8日	オンライン研修	福祉業界向け生成AIセミナー
7月11日	十日町商工会議所	外国人活用セミナー
7月22日	オンライン研修	保育現場における生成AIの活用
8月22日	オンライン研修	未来経営実践セミナー
8月22日	十日町医療福祉総合センター	相談支援体制強化強化事業研修会
10月17日	エテルナ高崎	社会福祉法人をめぐる情勢と今後の動向

(6) 大学・専門学校・高校訪問	
訪問日	大学・専門学校・高校
7月9日	十日町総合高校、松代高校
7月16日	長岡こども福祉カレッジ、長岡こども・医療・介護専門学校

(7) インターシップ、職場見学等	
開催日	内容
7月28日	十日町総合高校生徒1名 施設見学
8月1日	松代高校生徒2名 施設見学
3月5日	十日町総合高校生徒1名 施設見学・職場体験

(8) 企業ガイダンス等参加状況			
開催日	内容	会場	主催
6月18日	福祉の仕事就職フェア	ハイズ長岡	新潟県福祉人材センター

(9) 法人内部監査実施状況	
監査日	事業所名
9月2日	幼保連携型人手こども園 しんざこども園、うえのこども園
9月3日	障害福祉サービス事業所なごみの家
9月5日	障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ
9月12日	障害福祉サービス事業所ワークセンターかわにし

9月18日	障害者グループホーム 千手かたくり
9月19日	障害者支援施設 なかまの家
9月25日	ケアホームげじょう
9月30日	障害者相談支援センター あおぞら
10月2日	複合型介護施設三好園四ツ宮
10月3日	複合型介護施設三好園よしだ
10月15日	ケアホームうえの
10月16日	ヘルパーステーション十日町
10月22日	特別養護老人ホーム三好園
10月24日	ケアハウスみよし台
10月28日	地域包括支援センター(十日町北・十日町東)
11月25日	特別養護老人ホームあかね園
1月15日	ケアセンター三好園しんぞ

(10) 事故発生状況、労働災害発生状況

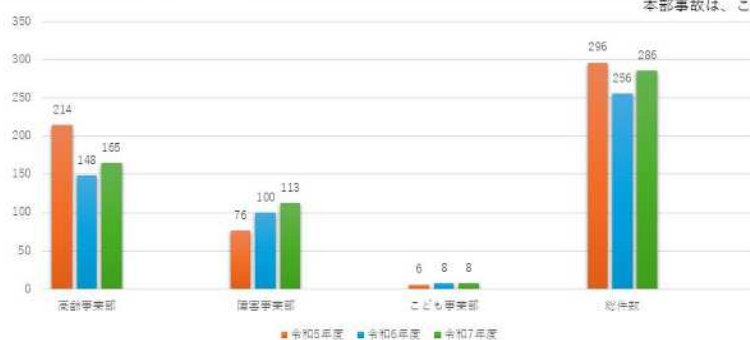
① 事故発生件数集計(令和7年4月～令和8年3月)

【事業別】

【 事業別 】

	高齢事業部	障害事業部	こども事業部	総件数
令和5年度	214	76	6	296
令和6年度	148	100	8	256
令和7年度	165	113	8	286

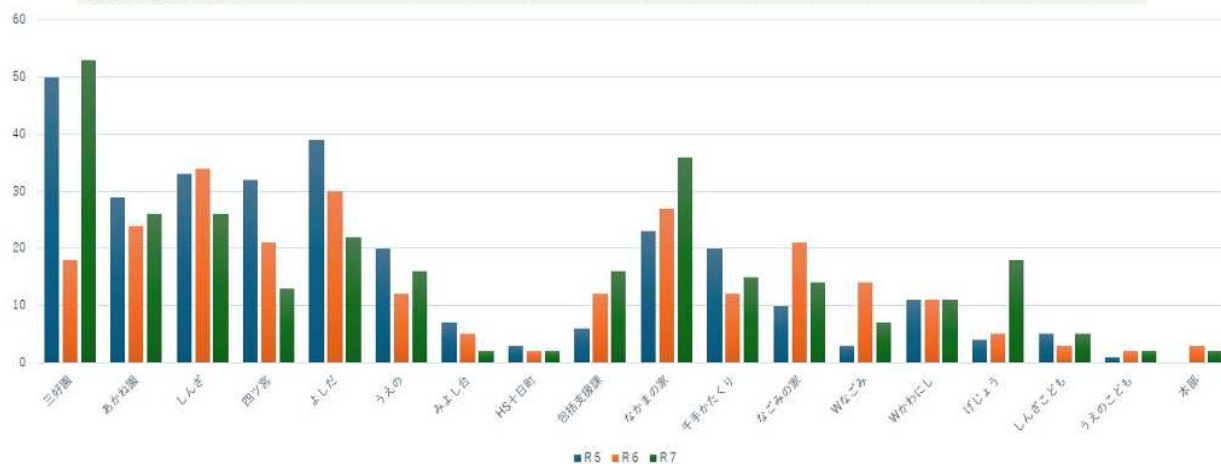
本部事故は、こども事業部でのカウント



【施設別】

【 施設別 】

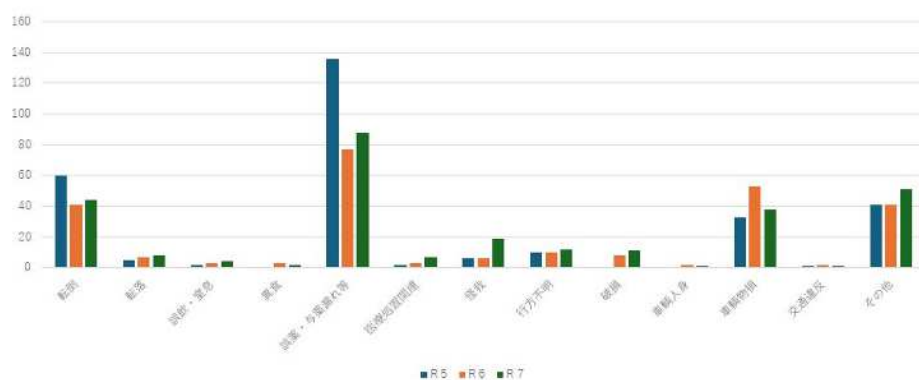
	三好園	あかね園	しんざ	四ツ宮	よしだ	うえの	みよし台	HS十日町	包括支援課	なかまの家	千手かたくり	なごみの家	Wなごみ	Wかわにし	げじょう	しんざこども	うえのこども	本部
R 5	50	29	33	32	39	20	7	3	6	23	20	10	3	11	4	5	1	
R 6	18	24	34	21	30	12	5	2	12	27	12	21	14	11	5	3	2	3
R 7	53	26	26	13	22	16	2	2	16	36	15	14	7	11	18	5	2	2



【事故種別】

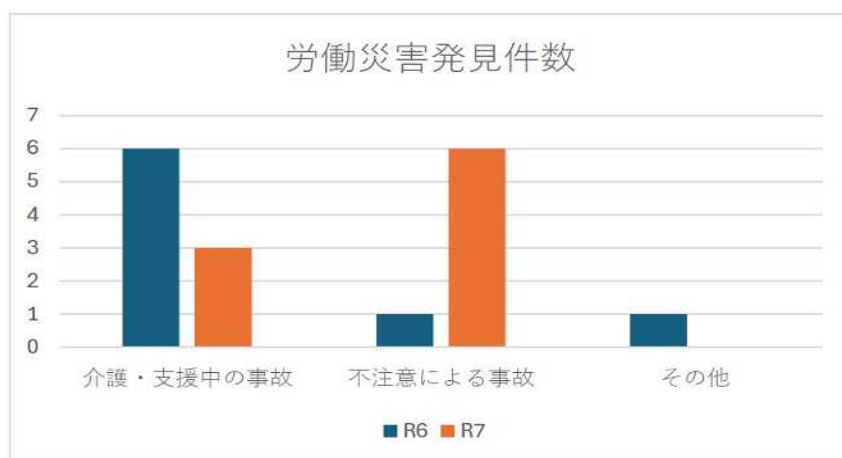
【 事故種別 】

	転倒	転落	誤飲・窒息	異食	誤薬・与薬漏れ等	医療処置関連	怪我	行方不明	破損	車輻人身	車輻物損	交通違反	その他
R 5	60	5	2		136	2	6	10			33	1	41
R 6	41	7	3	3	77	3	6	10	8	2	53	2	41
R 7	44	8	4	2	88	7	19	12	11	1	38	1	51



②労働災害発生件数集計(令和7年4月～令和8年3月)

	介護・支援中の事故	不注意による事故	その他
R6	6	1	1
R7	3	6	0



8 組織

組織図 (別表1)

会議一覧 (別表2)

会議・組織体系 (別表3)

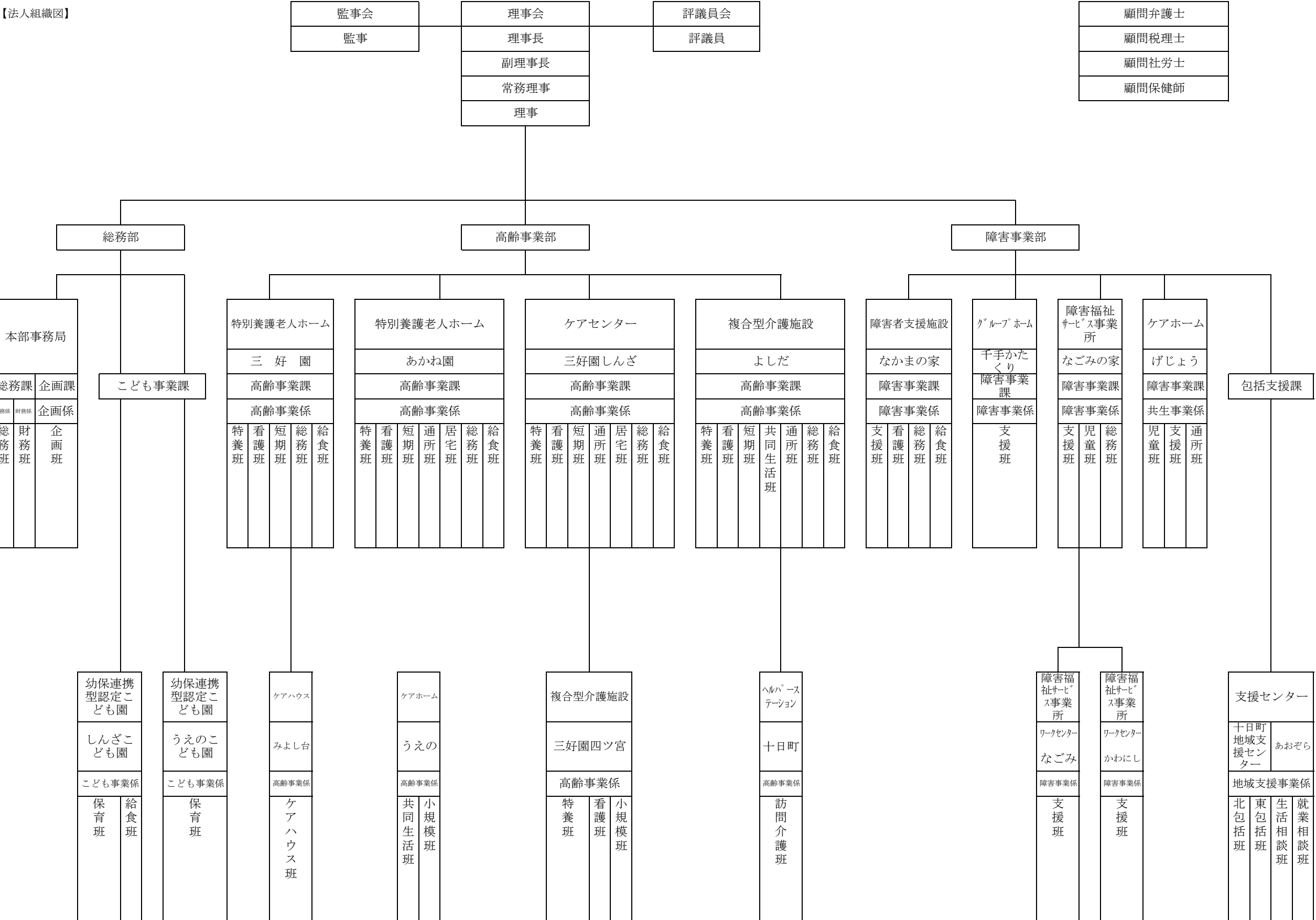
別表 1

職員配置

事業所名	事務局			特別養護老人ホーム 三好園			特別養護老人ホーム あかね園			ケアセンター 三好園しんぞ			複合型介護施設 三好園四ツ宮			複合型介護施設よし台			ケアハウスみよし台			ヘルパーステーション 十日町			ケアホームうえの			包括支援課		
	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計
職種																														
施設長・管理者			0	1		1	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1	1
事務員	11	1	12	1		1	1			3					0	1		1						0				1	1	1
栄養士			0	3		3	2			1					0	1		1						0					0	0
調理員			0	7	6	13			0						0			0						0					0	0
生活相談員			0	2		2	4		4	3		3	1		1	2		2	1					0					0	0
計画作成担当者			0			0			0			0			0	1		1					0	1				1	0	0
社会福祉士			0			0			0			0						0						0			2		2	2
介護支援専門員			0	1		1	6	1	7	6		6	1	1	2	1		1					0	1		1	8		8	8
介護職員			0	39	13	52	27	18	45	24	16	40	12	10	22	28	13	41	1	1	2		0	10	5	15			0	0
相談支援員			0			0			0			0			0			0							0	7	2		9	9
就業支援員			0			0			0			0			0									0	4			4	4	4
支援員（サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、児童指導員を含む）			0			0			0			0			0			0							0				0	0
看護職員			0	3	7	10	2	6	8	1	9	10	1	1	2	2	5	7						0		2		2	2	2
理学療法士			0	1		1	1	1	2	2		2			0		0	0											0	0
作業療法士			0			0			0			0			0	1	1	1					0						0	0
訪問介護員（サービス提供責任者を含む）			0			0			0			0			0		0	0					3	8	11				0	0
洗濯業務員			0		2	2		1	1		2	2			0			0						0					0	0
GH世話人（夜間支援従事者を含む）			0			0			0						0			0						0					0	0
運転手			0			0		2	2		2	2			0		1	1						0					0	0
保育教諭及び保育補助			0			0			0						0			0						0					0	0
その他			0		7	7		2	2		4	4			0		3	3		2	2			0					0	0
合計	11	1	12	58	35	93	44	31	75	41	33	74	16	12	28	38	22	60	3	3	6	4	8	12	5	18	24	3	27	27
嘱託医師			0	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		0			0					0	0

事業所名	障害者支援施設 なかまの家			障害福祉サービス事業所 なごみの家			グループホーム 千手かたくり			障害福祉サービス事業所 ワークセンターなごみ			障害福祉サービス事業所 ワークセンターかわにし			ケアホームげじょう			しんざこども園			うえのこども園			合 計	
	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計	職員	専任職員	小計		
施設長・管理者	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	17	
事務員	1		1	1	1	2				0		1	1			1	1				0			4	24	
栄養士	1		1			0				0		0				0			1		1			0	9	
調理員	4	1	5			0				0		0				0		1	2	3	0			9	21	
生活相談員			0			0				0		0				1			0		0			0	14	
計画作成担当者			0			0				0		0				0			0		0			0	2	
社会福祉士			0			0				0		0				0			0		0			0	2	
介護支援専門員			0			0				0		0				0			0		0			2	26	
介護職員			0			0				0		0				4	10	14			0			86	231	
相談支援員			0			0				0		0				0		0			0			2	9	
就業支援員			0			0				0		0				0		0			0			0	4	
支援員（サービス管理責任者、児童養育施設支援管理責任者、児童支援員を含む）	17	4	21	10	9	19	4	12	16	6	8	14	3	5	8	4	12	16			0			50	94	
看護職員		2	2		1	1	1	1	1			0					3	3	1		0			36	47	
理学療法士			0			0				0		0				1		1			0			1	6	
作業療法士			0			0				0		0						0			0			0	1	
訪問介護員（サービス提供責任者を含む）			0			0				0		0						0			0			8	11	
洗濯業務員		2	2			0						0						0			0			7	7	
G H世話人（夜間支援従事者を含む）			0			0		30	30			0						0			0			30	30	
運転手			0			0				0		0					1	1			0			6	6	
保育教諭及び保育補助			0			0						0						0	9	6	15	9	7	13	31	
その他			0			0				0	1	1		1	1		1	1			0		1	22	22	
合計	24	9	33	12	11	23	5	43	48	7	10	17	4	6	10	12	27	39	12	9	21	10	8	276	614	
嘱託医師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3			16	

* 兼務は省略。施設間で兼務している者1名は主たる施設にて計上した。



複合型介護施設

三好園四ツ宮

高齡事業係

特養班

看護班

小規模班

ヘルパーステーション

十日町

高齡事業係

訪問介護班

障害福祉サービス事業所

ワークセンター

なごみ

障害事業係

支援班

障害福祉サービス事業所

ワークセンター

かわにし

障害事業係

支援班

24

会議一覧表

1 種類 会議、事業別・職種別部会、委員会、プロジェクト会議の4種

2 目的

(1) 会議 法人理念及び計画に基づく経営を一体として行うために会議を設置する。

(2) 事業別・職種別部会

法人内同一事業、同一職種のサービスの資の向上、及び業務の標準化を目的として事業別・職種別部会を設置する。

(3) 委員会 法人が抱える課題の解決・是正を目的として委員会を設置する。

(4) プロジェクト会議 法人計画の具現化に向け研究・検討する場として設置する。

3 会議

名 称	内 容	開催	名 称	内 容	開催
理事会	業務執行の決定、理事の職務執行の監督	定例	評議員会	重要事項の決定	定例 臨時
	法人の重要事項について協議	臨時			
	法人の財務・事業内容の分析	定例	監事会	理事の職務執行の監査 法人財産状況の監査	定例
名 称	内 容	開催	名 称	内 容	開催
経営会議	法人事業の重要事項について協議	定例	経営分析会議	法人の財務・事業内容の分析	定例
名 称	内 容	開催	名 称	内 容	開催
法人本部会議	経営上の課題を協議 情報・方針の周知	定例	委員会	担当分野の課題検討及び 事業の推進(次頁のとおり)	定例
月次決算対策会議	月次試算表の点検、課題 分析、改善策の協議	定例			
名 称	内 容	開催	名 称	内 容	開催
施設長会議	重要事項の周知	不定期	プロジェクト会議	担当課題解決、具現化に 向けた研究	定例
名 称	内 容	開催	名 称	内 容	開催
高齢事業部会議	高齢分野の課題を協議 情報・方針の周知	定例	分野別分析会議	分野毎の財務・事業内容 の分析	定例
障害事業部会議	障害分野の課題を協議 情報・方針の周知	定例			
こども園会議	保育分野の課題を協議 情報・方針の周知	定例			
事業別・職種別部会	次頁のとおり	定例			
名 称	内 容	開催	名 称	内 容	開催
グループ施設会議	協力体制の構築	定例	事業所別分析会議	事業所毎の財務・事業内 容の分析	定例
施設・事業所会議	施設・事業所、事業の事 案、課題を協議	定例			
係会議	係の事案・課題を協議	定例			
班会議	班の事案・課題を協議	定例			

4 委員会

名 称	開 催 ・ 内 容	名 称	開 催 ・ 内 容
コンプライアンス委員会	定例：コンプライアンス施策の検討、実施及び実施状況とモニタリング	研修委員会	定例：全体研修の計画と開催
広報委員会	定例：十日町福祉会だよりの発行	リスクマネジメント委員会	定例：事故の検証、事故防止対策、感染症対策
環境衛生委員会 (職場環境作り)	定例：労災、ハラスメント防止対策、ラインケアの推進、相談窓口対応	環境衛生委員会 (職場衛生)	定例：健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルス研修、労災防止活動
個別ケア推進委員会	定例：個別ケアの推進	個別支援推進委員会	定例：個別支援の推進
個別保育推進委員会	定例：個別保育の推進	特別委員会	必要時：緊急事案等の協議

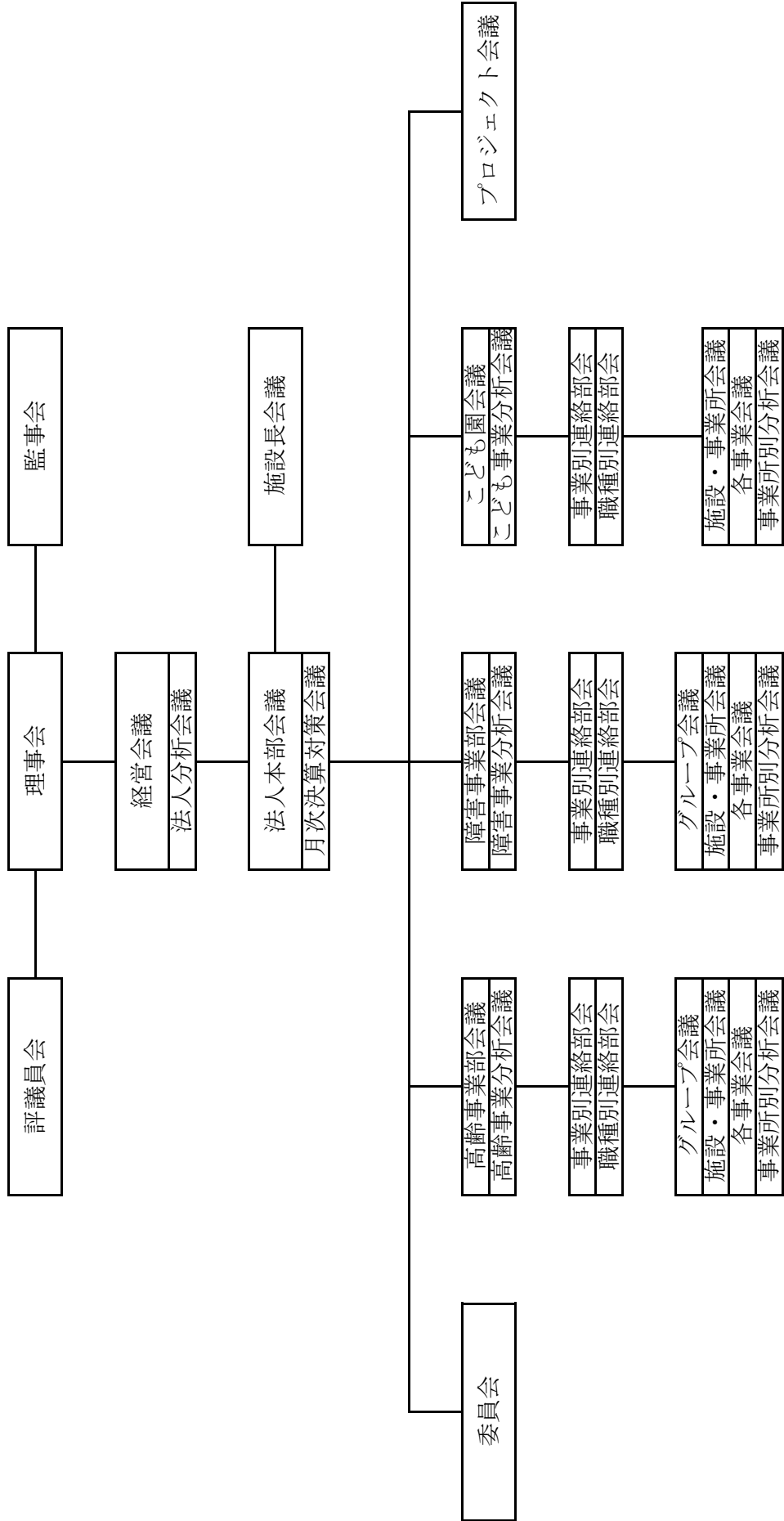
5 プロジェクト会議

名 称	開 催 ・ 内 容	名 称	開 催 ・ 内 容
トータル人事制度改革プロジェクトチーム (人事考課)	必要時：人事考課（役職定義書、職能定義書、人事考課表）	トータル人事制度改革プロジェクトチーム (処遇改善)	必要時：処遇（給与全般）
トータル人事制度改革プロジェクトチーム (キャリアパス)	必要時：キャリアパス、研修体系	トータル人事制度改革プロジェクトチーム (働き方)	必要時：職員の適正配置、週休3日制度についての等、あらゆる働き方の研究
業務改善・生産性向上プロジェクトチーム	必要時：業務改善、生産性向上の取り組み	なかまの家整備計画検討委員会	必要時：なかまの家の整備について具体的な計画づくり、障害事業の中期的な計画の見直し
三好園大規模改修計画検討委員会	必要時：三好園大規模改修について具体的な計画づくり		

6 事業別・職種別連絡部会

名 称	開 催 ・ 内 容	名 称	開 催 ・ 内 容
事務員部会	定例：共通課題の協議、情報の共有、業務の標準化	特養相談員部会	定例：共通課題の協議、情報の共有、業務の標準化
特養介護員部会	同 上	特養看護部会	同上
短期入所部会	同 上	通所介護部会	同上
食事部会	同 上	療法士部会	同上
施設ケアマネ部会	同 上	居宅ケアマネ部会	同上
サービス管理責任者部会	同 上	生活介護部会	同上
就労支援部会	同 上	保育教諭部会	同上

会議・組織体系



※グループ会議：施設グループがある場合に開催する。

● 事業所部門

Ⅱ 高齢事業部

Ⅱ 高齢事業部

1 事業理念

わたしたちは、一人ひとりを大切にしたい、その人らしい暮らしを支えます。

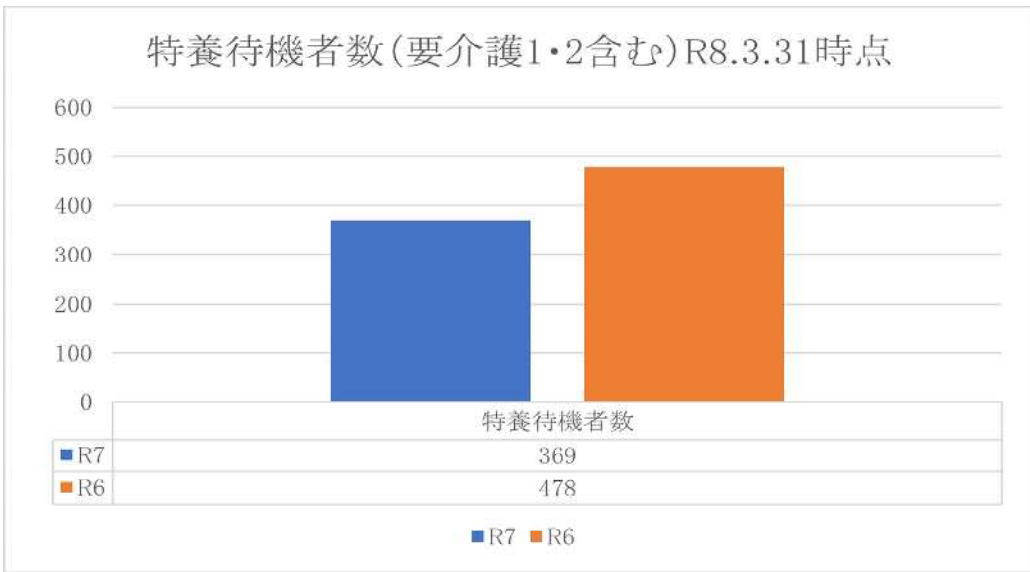
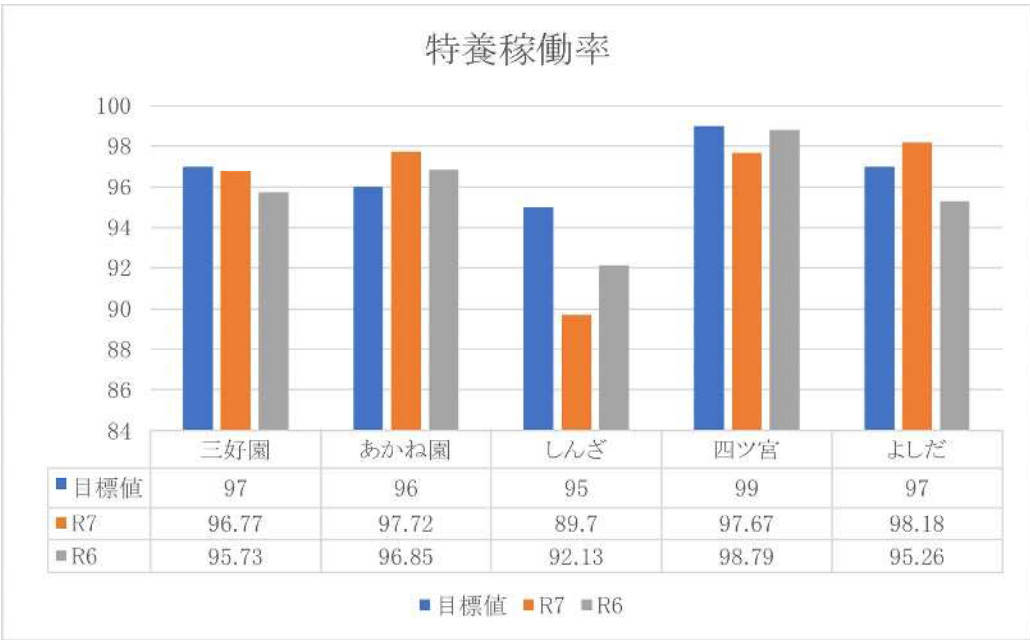
2 重点目標

	推進事項	
	①	各事業所は目標稼働率の達成に努めます。新たな加算算定に向けた体制作りや、算定に必要な研修受講者を増やします。
	取組結果	
(1) 安定した収益の確保を目指します	全体20事業所のうち8事業所が目標値を達成しましたが、半数以上の事業所では目標値に達しない結果となりました。 特養事業の全体稼働率は95.85%となり、目標値に対し0.44%不足しましたが、前年度と比較して0.36%の微増となりました。上半期は入居者の健康状態が比較的安定しており、目標稼働率を上回って推移しましたが、冬季に入院者や退去者が重なったことにより、目標値未達成となりました。 ※不在日数3,962日(前年度4,297日) 退去者数84人(前年度83人) 短期入所事業は、上半期に積極的な利用者の受け入れに取り組み実績につながりましたが、下半期は職員の退職により必要な職員配置を満たすことができず、利用者数を制限した事業所が生じた影響で全体稼働率が低下し、90.65%となりました。目標値に対し2.55%不足し、未達成となりました。前年度と比較しては0.1%減となりました。 通所事業は全体で61.22%の稼働率となり、目標値に対し7.03%不足し、未達成となりました。前年度と比較して1.9%減となりました。 原因として 機能訓練を中心とした特化型サービス事業所との競合が挙げられます。一方、川西地区「たちばなデイサービスセンター」の廃止に伴い、利用者の移行を受け入れた2事業所については、目標値を達成することができました。(移行受け入れ数 34名) 訪問介護事業は、介護保険事業における目標訪問回数7,200回に対し5,271回となり、未達成な結果となりました。前年度と比較して747回の減少となりました。下半期に市内の訪問介護事業所の閉鎖に伴い、新規利用者を積極的に受け入れましたが、冬季における体調不良によるキャンセルや、入院・入所等を理由とした契約解除が多数発生し、新規受け入れ分を上回る減少となったことが主な要因です。 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の全体稼働率は95.75%となり、目標値に対し2.25%不足し、未達成となりました。前年度と比較しては0.63%の増加となりましたが、退去から次の入居までの空白期間における不在日数が稼働率に影響しました。 ※入院・外泊以外の不在日数170日(前年度51日)	

(1) 安定した収益の確保を目指します	小規模多機能型居宅介護の全体稼働率は95.83%となり、目標値に対し1.66%不足し、未達成となりました。前年度と比較しては1.7%の増加となりました。 居宅介護支援事業所は、下半期に介護支援専門員1名を増員配置し、ケアプラン作成件数は3,975件となり、目標数値3,900件を達成しました。 ※前年度3,882件 新たな加算の取得については、あかね園特養において福祉施設高齢者等感染対策向上加算Ⅱ、三好園特養にて生産性向上推進体制加算Ⅱ・看護体制加算1・Ⅱを取得しました。	
	②	地域やケアマネージャー等から選ばれ続けるために、各事業所の魅力を発信する活動を工夫し、新規の利用者やリピーターを増やします。
	取組結果	
	各事業所はホームページに季節の行事や日々の様子等を掲載するよう努め、活動の様子の「見える化」に力を入れました。特に通所事業所においては、情報発信の強化および担当介護支援専門員とのコミュニケーションの充実を図りました。 また、限られた職員で積極的に事業を展開するための業務改善の一つとして、利用ニーズの少ない曜日を定休日とし、マンパワーを営業日に集約させる試行的な取り組みを令和8年1月から実施しました。 その結果、事業責任者が生活相談業務に集中できるようになり、各事業所ともに積極的に新規利用者の獲得に努めました。 また、定期的に休日が確保されたことで、職員にとって働きやすい職場環境の実現につながりました。 しかしながら、新規契約数に対して契約解除数が上回り、実績につながらなかった事業所が多かったことを踏まえ、引き続き営業活動を強化し事業所の売りをアピールしていくこととしました。	
	③	コスト削減を推進するために、記録物等の電子化及び、安価な消耗品類の統一化に向けてた協議や福祉用具の施設間の活用等を推進します。
	取組結果	
	コスト削減に向けた取り組みとして、衛生用品等の消耗品類の統一購入を開始しました。また、「ゆずります・ゆずってください」コーナーを設置し、福祉用具に限らず生活用品等のリユースにも取り組みました。 法人内システムを活用した職員間の情報伝達および記録物の電子化については、事業所間で取り組みの差が生じており、今後の課題となりました。	

(2) 地域とのつながりを強化します	推進事項	
	ボランティア活動や地域交流・連携を深め、拠点施設の地域活動を推進します。また、年1回は地域の方の協力を得ながら総合防災訓練を行います。	
	取組結果	
	拠点施設は地域との良好な関係を築いており、防災関連をはじめ各種行事等においても地域からのご協力をいただきました。また、こども園・小学生との交流会や中学校の職場体験活動を積極的に受け入れました。 ※ボランティア延べ人数 464人(前年度414人)	
(3) サービスの質の向上に努めます	推進事項	
	①	人権擁護の観点から利用者の声や職場チームの課題等が明らかになるようにアンケートを実施し点検を行います。
	取組結果	
	不適切なケアが発生した施設においては、第三者である産業カウンセラーの助言を受けながら、再発防止に向けた取り組みを実施しました。また、事業部全体で「虐待の芽」アンケートを実施し、各事業所単位で結果を振り返り、接遇や職場内のコミュニケーションの改善に活かすことで人権擁護の意識を高め、再発防止に努めました。 さらに、各事業所における利用者・ご家族向けアンケートの結果をもとにサービスの点検を行い、サービスの質のさらなる向上に努めました。 ※苦情受付件数 4件(前年度14件)	
	②	業務改善を推進し、働きやすい職場環境を整えます。
	取組結果	
	AI等を活用した取り組みが進み、職員の業務に時間的な余裕が生まれました。その時間を利用者へのケアの充実に活かした事業所や、AIによる勤務表の自動作成に取り組んだチームもあり、各施設の状況に応じた取り組みが進展しました。 今後は、費用対効果の検証を行ったうえで、事業部全体でのツール活用について協議を開始します。	
	③	ケアの平準化を推進するためのプロジェクトチームを発足し、安心安全なケアの提供に努めます。特に採用職員や異動職員向けの配属先研修(OJT)のマニュアルを現場職員の意見を取り入れながら見直し、ケアの平準化につなげます。
	取組結果	
	プロジェクトチームでの取り組みは実施できませんでしたが、特養介護員部会・短期入所部会において、業務平準化に向けた課題について共有しました。課題として挙げた業務における独り立ちまでのプロセスの項目、内容および研修期間については、引き続き検討を重ね、人材育成およびサービスの質の向上につなげていくこととなりました。	

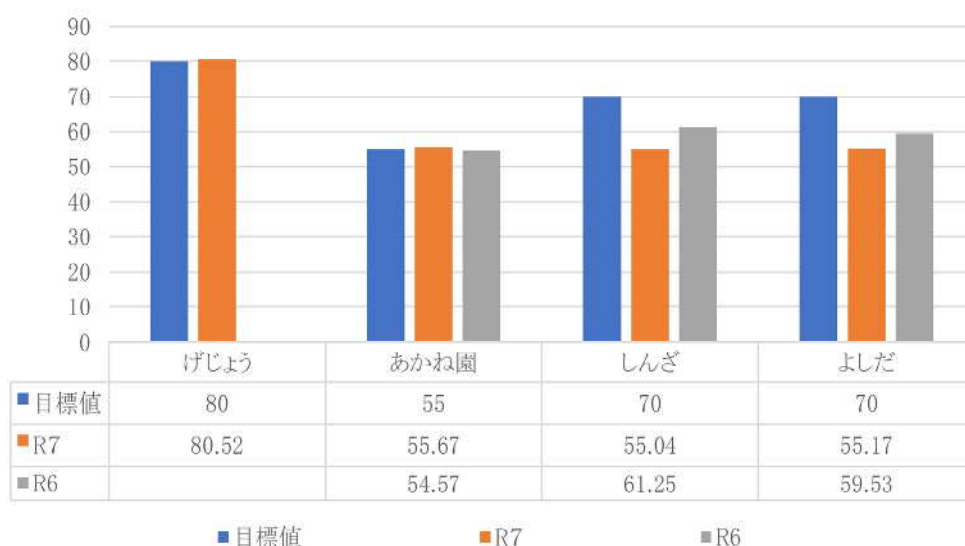
3 主な事業の稼働状況



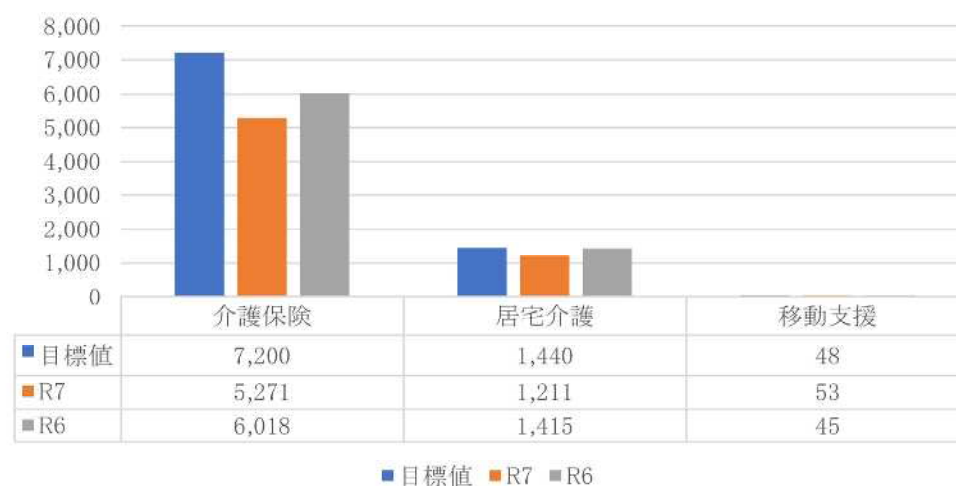
短期入所稼働率

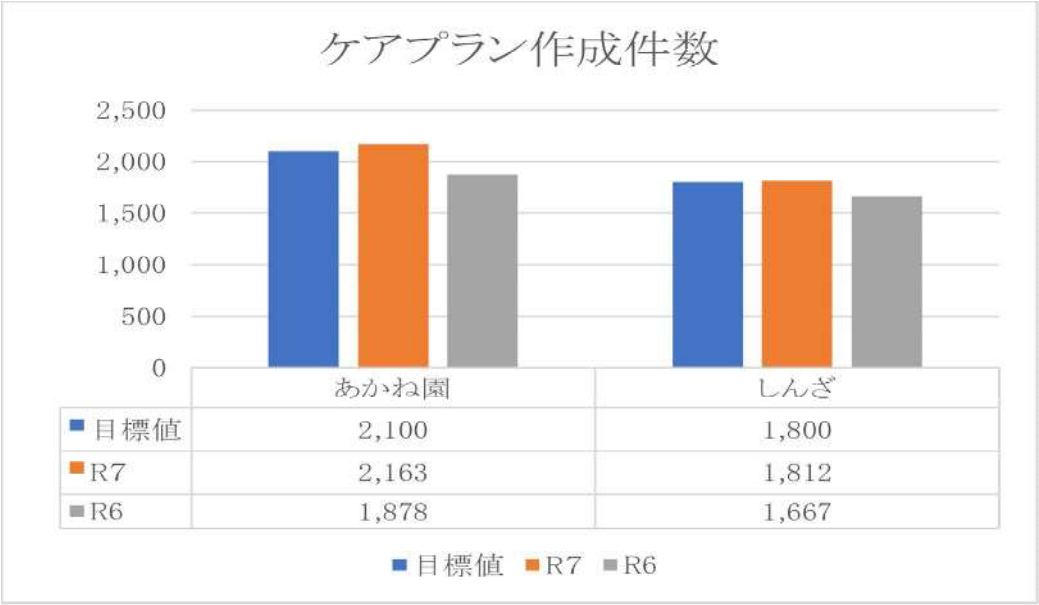


通所介護稼働率



訪問介護 訪問回数





(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	特別養護老人ホーム 三好園
所在地	新潟県十日町市下条3丁目485番地1
設立年月日	昭和63年4月1日
敷地面積	17,534.78㎡
建物構造	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根2階建
延べ床面積	5,888.64㎡
施設長名	金澤 正史
電話番号	025-756-2106
FAX番号	025-756-2107
E-mailアドレス	info-miyoshien@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	100	平成12年4月1日	1571000213	
(介護予防)短期入 所生活介護事業	36	平成12年1月28日	1571000163	十日町市、小千 谷市、津南町

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の 確保を目指しま す	各事業は、関係機関との連携を密にして積極的な受け入れを行い、目標稼働率の達成に努めます。また、加算算定に向け精査を行います。
		取組結果
		各事業ともに関係機関との連携を図り、目標稼働率確保に向けて取り組みましたが、目標達成には届きませんでした。 今年度より算定に向けて精査を行っていた生産性向上推進加算Ⅱは算定に至りましたが、認知症チームケア推進加算、口腔衛生管理加算については算定には至りませんでした。

②	地域とのつながりを強化します	地域への広報回章を引き続き行うとともに、地域との交流を目指した行事や防災訓練、地域ボランティアの受け入れを行います。
		取組結果
		むつみこども園や小学校との交流事業、地域行事への参加を行いました。さらに、施設主催行事については地域住民の皆様へ参加の呼びかけを行い、大勢の方にご参加いただきました。また、地域の方へ施設の様子を「三好園通信」にてお知らせしています。
③	サービスの質の向上に努めます	人権擁護の意識醸成に取り組みつつ、介護ロボットやICTの活用を進めながら業務改善を推し進め、職場環境を整備していきます。
		取組結果
		上半期に発生した不適切ケア事案について、産業カウンセラーを交えワークショップを開催し、事業所全体で改善に取り組みました。改善に向け各事業所で取り組み計画を作成し、接遇マナーやアンガーマネジメントといったサービスの質の向上につながる取り組みを年間を通して行いました。また、福祉機器の活用による業務負担軽減にも努めました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
入居検討会議	6	6	12	12
職員会議	1	0	1	2
事業会議	6	6	12	12
班内会議	6	6	12	12
各通りスタッフ会議	6	6	12	12
各通り経口維持会議	6	6	12	12

② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
衛生委員会	6	6	12	12
事故・苦情・虐待・身体拘束適正化委員会	6	6	12	12
感染症対策委員会	6	6	12	12
褥瘡管理委員会	6	6	12	12
看護・介護安全連携委員会	1	1	2	2
食事委員会	6	6	12	12
生産性向上推進委員会	6	6	12	12
研修委員会	3	3	6	3
防災委員会	3	3	6	6
地域交流委員会	5	6	11	12
広報委員会	1	1	2	3
③ 検討班				
検討班名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
リスクマネジメント検討会	6	6	12	12
排泄感染症検討会	6	6	12	12
食事口腔検討会	6	6	12	12
生活検討会	6	6	12	12
三好園ありかた検討会	3	2	5	5

特別養護老人ホーム三好園

(4) 事業別計画(介護老人福祉施設)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	各事業は、関係機関との連携を密にして積極的な受け入れを行い、目標稼働率の達成に努めます。また、加算算定に向け精査を行います	多職種との連携を行い、空床期間短縮に取り組みます。いつもと違う様子に気づき、口腔ケアの見直しを行い、体調観察・健康管理を行います。
		取組結果
		多職種と連携し、空床期間の短縮に取り組みましたが、目標稼働率にはわずかながら届きませんでした。口腔ケアの取り組みを継続し、より安心・安全な暮らしの提供に努めています。加算に関しては新たに生産性向上推進加算Ⅱを算定することができました。
②	地域への広報回章を引き続き行うとともに、地域との交流を目指した行事や防災訓練、地域ボランティアの受け入れを行います	各委員会と協力し、こども園・小学校・中学校との交流を行います。防災訓練や行事を通じ、地域ボランティアの受け入れを行います。
		取組結果
		総合防災訓練では地域住民の参加がありました。施設行事ではご家族や地域の多くの方々と交流することができました。また、むつみこども園、飛渡第一小学校との対面交流会や、市内3校の中学生による職場体験学習の受け入れも行いました。
③	人権擁護の意識醸成に取り組みつつ、介護ロボットやICTの活用を進めながら業務改善を推進し、職場環境を整備していきます。	尊厳を守る為、身体拘束の禁止や人権意識の向上にむけた研修を実施します。福祉用具・福祉機器・ICTを活用し、職場環境の整備・業務改善に取り組みます。
		取組結果
		福祉用具やICTの活用により、職員の業務負担軽減につなげました。また、不適切ケア発生の事案を受け年間を通じた接遇マナーの継続的な取り組みを行い、個々の課題や共通認識を整理し、人権意識を高めたサービス提供に努めました。

特別養護老人ホーム三好園

(5) 事業別計画 ((介護予防)短期入所生活介護事業・身体障害者短期入所生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	各事業は、関係機関との連携を密にして積極的な受け入れを行い、目標稼働率の達成に努めます。また、加算算定に向け精査を行います	地域から選ばれる事業所を目指し、家族や居宅介護支援事業所と連携を密にし、積極的な受け入れを行います。
		取組結果
		居宅支援事業所と連絡を密に行い、緊急利用や長期利用の受け入れを積極的に行いましたが、目標稼働率には及びませんでした。また、新たに生産性向上推進加算Ⅱの算定を開始しました。
②	地域への広報回章を引き続き行うとともに、地域との交流を目指した行事や防災訓練、地域ボランティアの受け入れを行います	オンライン等を活用し、学校や地域とのつながりを持ち、楽しみや交流の機会が持てるようにします。
		取組結果
		広報誌「わくわくショート」の年3回発行やホームページで活動の様子を定期的にお知らせすることで、地域やご家族へ情報の発信を行いました。八海高校とのリモート交流は中止となりましたが、むつみこども園との対面交流を行うことができました。
③	人権擁護の意識醸成に取り組みつつ、介護ロボットやICTの活用を進めながら業務改善を推進し、職場環境を整備していきます	事業所内で人権擁護や接遇についてのセルフチェックや研修会を行い、基本的なマナーを守りサービスの質の向上に努めます。また、福祉用具を活用することにより、利用者や職員の負担軽減が出来るように職場環境の改善に取り組みます。
		取組結果
		アンガーマネジメントの班内研修を実施し、1年を通じてその振り返りを行いました。利用者とのコミュニケーションをとる場面で実践を行い、ストレスの軽減を図りました。

(6) 事業活動上の取組

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
介護老人福祉施設	0	1	1	0
短期入所生活介護	0	1	1	1
合 計	0	2	2	1

苦情(内容)

発生日	部署	苦情等の内容・原因	再発防止策
令和8年1月8日	短期	居宅支援事業所より短期入所の初回の説明の不備や家族来園時の対応についてご意見を頂きました。	初回の説明の際は丁寧に行うことと家族来園時の対応を全職員が丁寧に行うこととしました。
令和8年2月6日	特養	入居者家族より事故後の対応や基本的な保清をきちんとするように丁寧な介護を心掛けて欲しいとご意見を頂きました。	事故検証を行い再発防止に努めるとともに基本的な保清をきちんとすることとしました。

② 拘束(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
介護老人福祉施設	0	1	1	0
短期入所生活介護	0	0	0	0
合 計	0	1	1	0

拘束(内容)

発生日	部署	拘束の内容	対応
令和8年1月4日	特養	統合失調症、認知症の進行にて理解力が低下している状況で1月4日に右手第1指を自ら噛んでしまい受傷しました。	ベッド臥床時に両手にミトン手袋等（患部を保護するため、再度噛んで受傷しないためのカバー）の着用をします。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	3	0	3	9
延べ人数(人)	54	0	54	52

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
6月28日	口腔衛生指導研修①	15
8月1日～8月31日	権利擁護研修	35
9月21日	褥瘡予防研修	9
10月19日	喀痰吸引指導研修①	5
11月1日～11月30日	看取りに関する研修	53
11月17日	緊急時対応研修	18
1月30日	口腔衛生指導研修②	13
2月5日～2月28日	口腔衛生指導研修③	15
3月1日	喀痰吸引指導研修②	14

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
防災機器取り扱い訓練	1	0	1	1
屋内消火栓消火訓練	1	0	1	0
避難訓練	1	1	2	2
消火訓練	1	1	2	2
BCP訓練	0	1	1	1
自然災害対応訓練	0	1	1	1
通報訓練	1	1	2	2
原子力災害訓練	0	1	1	1
合 計	5	6	11	10

⑥ 実習生受け入れ

学校	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
十日町看護専門学校	6	0	6	10
合 計	6	0	6	10

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	特養	短期入所	合 計
4月	8,610	2,467	11,077
5月	8,968	2,841	11,809
6月	8,873	2,822	11,695
7月	9,194	2,923	12,117
8月	9,006	2,776	11,782
9月	8,518	2,847	11,365
10月	8,854	2,994	11,848
11月	8,702	2,798	11,500
12月	8,911	2,794	11,705
1月	8,947	2,578	11,525
2月	8,223	2,667	10,890
3月	8,978	2,863	11,841
合 計	105,784	33,370	139,154

イ 食事形態内容内訳

主食 \ 副食	常 菜	軟菜	やわらか	ムース	経管栄養	合計
常 食	8	2	0	0		10
全 粥	2	14	41	4		61
粥ムース	0	0	1	51		52
経管栄養					4	4
合 計	10	16	42	55	4	127

※令和7年度特養実入居者127人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4月	102	24	0	126	2,874	95.80	
5月	14	92	0	106	2,994	96.58	
6月	30	9	0	39	2,961	98.70	
7月	34	0	0	34	3,066	98.90	
8月	48	39	3	90	3,010	97.10	
9月	107	50	0	157	2,843	94.77	
10月	135	9	0	144	2,956	95.35	
11月	75	22	0	97	2,903	96.77	
12月	63	56	0	119	2,981	96.16	
1月	89	22	0	111	2,989	96.42	
2月	25	28	0	53	2,747	98.11	
3月	55	46	0	101	2,999	96.74	
合 計	777	397	3	1,177	35,323	96.78	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		4	2
5月		2	0
6月		1	2
7月		1	2
8月		3	3
9月		2	4
10月		6	6
11月		3	0
12月		3	5
1月		4	2
2月		1	1
3月		1	4
合 計		31	31

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	30	623
長期入院	1	45
家庭復帰	0	5
施設変更	0	20
その他	0	5
合 計	31	698

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
4月4日	死亡	施設	女	100	3,370
4月6日	死亡	施設	男	78	2,971

6 月 12 日	死亡	施設	女	92	1, 689
6 月 17 日	死亡	施設	女	98	2, 682
7 月 17 日	死亡	施設	女	100	133
7 月 26 日	死亡	施設	女	92	359
8 月 2 日	死亡	施設	女	91	717
8 月 28 日	死亡	施設	女	91	225
8 月 29 日	死亡	施設	女	83	8
9 月 2 日	死亡	施設	女	89	390
9 月 3 日	死亡	施設	女	80	336
9 月 25 日	死亡	施設	女	92	1, 773
9 月 30 日	死亡	施設	女	91	1, 346
10 月 1 日	死亡	施設	女	97	1, 828
10 月 7 日	死亡	施設	女	103	323
10 月 8 日	死亡	十日町病院	女	88	899
10 月 14 日	死亡	施設	女	85	2, 771
10 月 25 日	死亡	施設	女	89	1, 628
10 月 28 日	死亡	施設	女	81	13
12 月 2 日	死亡	施設	女	86	1, 280
12 月 11 日	死亡	施設	女	96	294
12 月 14 日	死亡	施設	女	96	670
12 月 23 日	長期入院		女	100	2, 099
12 月 26 日	死亡	施設	女	93	2, 319
1 月 2 日	死亡	施設	女	93	723
1 月 4 日	死亡	施設	女	98	2, 673
2 月 12 日	死亡	施設	女	95	386
3 月 18 日	死亡	施設	女	103	134
3 月 20 日	死亡	施設	男	90	4, 111
3 月 27 日	死亡	施設	女	90	239
3 月 28 日	死亡	施設	女	86	2, 264

退居時平均年齢 ; 90.54 歳

平均在園期間 ; 1, 042.38 日

※令和7年度入居者127人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別・性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	1	6	2	1	3	9	22	83.63
女性	0	1	3	4	9	20	68	105	90.96
合計	0	2	9	6	10	23	77	127	86.69
割合	0.00%	1.58%	7.09%	4.72%	7.87%	18.11%	60.63%	100.00%	

オ 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	1	5	11	5	22	3.91	3.97	4.05
女性	0	5	20	52	28	105	3.98		
合計	0	6	25	63	33	127	3.97		
割合	0.00%	4.72%	19.69%	49.61%	25.98%	100.00%			

カ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
従来型個室	0	365	1,007	542	230	0	2,144
多床室	0	1,762	5,837	16,833	8,747	0	33,179
合計	0	2,127	6,844	17,375	8,977	0	35,323

キ 出身市町村状況

市町村 \ 区 分	男 性	女 性	合 計	割 合
十日町市	21	104	125	98.43%
津南町	1	1	2	1.57%
その他	0	0	0	0.00%
合 計	22	105	127	100.00%

ク 入居者負担金の状況

(ア) 入居者負担額減免状況（補足給付対象者状況）

区 分		居住費	食 費	人 数	割 合
多 床 室	第1段階	0	300	5	3.94%
	第2段階	430	390	33	25.98%
	第3段階	430	650	24	18.90%
		430	1,360	25	19.69%
	減免なし	915	1,445	32	25.20%
個 室	第1段階	380	300	0	0.00%
	第2段階	480	390	0	0.00%
	第3段階	880	650	3	2.36%
		880	1,360	1	0.79%
	減免なし	1,231	1,570	4	3.15%
合 計				127	100.00%

(イ) 入居者負担金

(令和8年3月末日)

負担金の額	人 数	割 合
0～10,000	3	3.15%
10,001～30,000	2	2.11%
30,001～40,000	4	4.21%
40,001～50,000	26	27.37%
50,001～60,000	14	14.74%
60,001～70,000	2	2.11%
70,001～80,000	8	8.42%
80,001～90,000	11	11.58%
90,001～100,000	8	8.42%
100,000～	17	17.89%
合 計	95	100.00%

参 考

最少金額 0円

最高金額 121,435円

平均金額 64,976円

③ 面会の状況（オンライン面会を含む）

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	64	60	63	49	72	48	51	61	64	41	42	58	673

④ 医務の状況

ア 健康診断状況

開催月日	人 数	内 容
6 月 11 日	42	胸部レントゲン
7 月 4 日	92	健康診断
10 月 25 日	77	インフルエンザワクチン接種
11 月 8 日	46	新型コロナウイルスワクチン接種

イ 医療機関への入院状況

No	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	15	
2	女	十日町病院	整形	左大腿骨頸部骨折	30	
3	女	十日町病院	内科	新型コロナウイルス感染症	37	
4	女	十日町病院	内科	肺炎	14	
5	女	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	15	
6	女	十日町病院	内科	新型コロナウイルス感染症	14	
7	男	魚沼基幹病院	脳神経	右大脳心源性脳塞栓症	25	
8	女	立川総合病院	循環器	ペースメーカー電池交換	7	
9	女	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	45	
10	女	十日町病院	整形	右大腿骨転子部骨折	21	
11	男	魚沼基幹病院	脳神経	脳梗塞	19	
12	女	十日町病院	内科	心不全	26	
13	女	十日町病院	内科	肺炎、左大腿骨頸部骨折	16	
14	女	十日町病院	内科	尿路感染症	38	
15	女	十日町病院	整形	右大腿骨転子部骨折	60	入院中
16	女	十日町病院	内科	肺炎	8	入院中
17	女	十日町病院	内科	食思不振、脱水症、腎障害	7	入院中

ウ 医療的ケアの実施状況

(実施している部分に○印をつける)

血糖測定・インスリン注射	○	静脈内注射（点滴含む）	○	中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理	○	酸素療法	○
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	○
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	○	モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置	○	カテーテルの管理	○	喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
摘便	○	浣腸	○	一時的導尿	○
その他					

⑤ 加算の状況

日常生活継続支援加算（Ⅰ）		夜勤職員配置加算（Ⅲ）ロ		
個別機能訓練加算（Ⅰ）		外泊時費用加算		
初期加算		経口維持加算（Ⅰ）		
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）		栄養マネジメント強化加算		
安全対策体制加算		褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）		
褥瘡マネジメント加算（Ⅱ）		科学的介護推進体制加算（Ⅱ）		
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）		高齢者施設等感染症対策向上加算（Ⅱ）		
生産性向上推進体制加算（Ⅱ）		看護体制加算（Ⅰ）（Ⅱ）		
協力医療機関連携加算				
看取り体制	○	実績人数	24	人

⑥ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
施設長	0.6			0.6	機能訓練指導員	1.0			1.0
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）	1.0			1.0
生活相談員	1.0			1.0	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	3.0	2.3		5.3	（うち看護師）				0.0
介護職員	32.6	1.4	0.7	34.7	介護支援専門員	1.4			1.4
（うち介護福祉士）	26.6	0.7		27.3	宿直				0.0
事務員	1.0			1.0	その他	2.0	5.5		7.5
栄養士	2.9			2.9	合計	55.5	11.3	0.7	67.5
調理員	10.0	2.0		12.0					

(2) 短期入所生活介護事業
介護予防短期入所生活介護事業
身体障害者短期入所生活介護事業

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

利 用 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
	14	10	15	14	12	12	12	15	12	12	14	14	156	144
	53	56	50	58	55	60	56	57	52	46	53	51	647	673
	67	66	65	72	67	72	68	72	64	58	67	65	803	817
利用日数	890	1,018	1,010	1,047	1,003	1,028	1,068	1,010	997	923	951	1,027	11,972	11,679
一日平均	29.67	32.84	33.67	33.77	32.35	34.27	34.45	33.67	32.16	29.77	33.96	33.13	65.42	31.98
稼働率	82.41	91.22	93.52	93.82	89.87	95.19	95.70	93.52	89.34	82.71	94.35	92.03	181.72	88.84
送迎者数	169	179	170	179	181	184	154	183	156	134	139	156	1,984	1,980
食事数	2,467	2,841	2,822	2,923	2,776	2,847	2,994	2,798	2,794	2,578	2,667	2,863	33,370	32,580
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。 ・個人別実利用者は、147人（男性37人、女性110人）でした。 ・利用率は1日36床にて計算しています。													

イ 制度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用者数														
介護予防	3	1	2	4	3	3	2	4	1	0	2	3	28	6
介護	64	65	63	68	64	69	66	68	63	58	65	62	775	810
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	67	66	65	72	67	72	68	72	64	58	67	65	803	817
利用者数	16	3	31	28	15	21	10	18	5	0	15	15	177	15
介護予防	874	1,015	979	1,019	988	1,007	1,058	992	992	923	936	1,012	11,795	11,663
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	890	1,018	1,010	1,047	1,003	1,028	1,068	1,010	997	923	951	1,027	11,972	11,679
利用者数	6	2	1	7	6	6	4	10	2	0	6	5	55	5
介護予防	163	177	169	172	175	178	150	173	154	134	133	151	1,929	1,975
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	169	179	170	179	181	184	154	183	156	134	139	156	1,984	1,980
利用者数	42	7	90	76	38	55	26	44	13	0	39	39	469	63
介護予防	2,425	2,834	2,732	2,847	2,738	2,792	2,968	2,754	2,781	2,578	2,628	2,824	32,901	32,515
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	2,467	2,841	2,822	2,923	2,776	2,847	2,994	2,798	2,794	2,578	2,667	2,863	33,370	32,580
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													

※令和7年度実利用者147人の最終情報を基本数値としました。

ウ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	2	2	0	7	5	21	37	88.39
女 性	0	1	2	6	5	31	65	110	89.68
合 計	0	3	4	6	12	36	86	147	89.04
割 合	0.00%	2.04%	2.72%	4.08%	8.16%	24.49%	58.51%	100.00%	

エ 介護度別居室利用状況（実利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
従来型個室	3	2	6	9	9	11	2	0	42
多床室	1	5	26	38	32	34	7	0	143
空床利用	0	0	0	1	3	0	0	0	4
合計	4	7	32	48	44	45	9	0	189

オ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
従来型個室	20	36	110	696	1,036	260	199	0	2,357
多床室	7	113	1,025	3,087	3,280	1,853	86	0	9,451
空床利用	0	0	0	3	19	0	0	0	22
合計	27	149	1,135	3,786	4,335	2,113	285	0	11,830

② 加算の状況

送迎加算	生産性向上推進体制加算（Ⅱ）
看護体制加算（Ⅰ）	介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）
夜勤職員配置加算（Ⅲ）	長期利用者提供減算
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）	

③ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.2			0.2	機能訓練指導員	0.2			0.2
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）				0.0
生活相談員	1.0			1.0	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	1.3	0.8		2.1	（うち看護師）	0.2			0.2
介護職員	11.0	1.2		12.2	介護支援専門員				0.0
（うち介護福祉士）	8.0			8.0	宿直				0.0
事務員				0.0	その他		0.7	0.4	1.1
栄養士				0.0	合計	13.7	2.8	0.4	16.9
調理員				0.0					

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	特別養護老人ホーム あかね園
所在地	新潟県十日町市高原田278番地1
設立年月日	平成6年4月1日
敷地面積	8,267.35㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
延べ床面積	6,748.42㎡
施設長名	渡邊 雅朗
電話番号	025-768-4565
FAX番号	025-768-4865
E-mailアドレス	info-akane@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	44	平成17年4月1日	1571000585	
地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活 介護(地域密着型特別 養護老人ホーム)	18	平成26年4月1日	1591000078	十日町市
(介護予防)短期入所 生活介護事業(ユニッ ト型特養空床型)	18	平成17年4月1日	1571000528	十日町市 小千谷市
(介護予防)短期入所 生活介護事業(地域密 着型特養併設型)		平成26年4月1日	1571001104	十日町市 小千谷市
短期入所事業(障害)	2	平成18年4月1日	1511000034	十日町市、小千 谷市、津南町
通所介護事業	38	平成17年4月1日	1571000494	十日町市、小千谷市
日常生活支援総合事業 (通所介護相当サービ ス)		平成30年4月1日		十日町市
通所介護事業(基準該 当生活介護)	10	平成18年10月1日	1541000046	十日町市 小千谷市
居宅介護支援事業		平成17年4月1日	1571000569	十日町市、小千谷市

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	他施設と比較しながら、各事業との情報共有を図り、現状の加算状況を分析し、算定できる加算を精査していきます。
		取組結果
		他施設の加算状況を調査、分析し、算定できる加算状況について取りこぼしがないことを確認しました。 今後は、新たな加算算定の可能性の有無や算定に向けての道筋ができるよう取り組んでいきます。
②	地域とのつながりを強化します	昨年度より地域との交流の機会が増え始めており、今年度は特にボランティア活動、施設行事、地域行事を通じての交流を深めていきます。
		取組結果
		ボランティアの問い合わせが複数あり、活動・交流がみられました。 施設行事の納涼会、地域行事での祭り参加を通じて交流を深めることができました。
③	サービスの質の向上に努めます	「生産性向上」をテーマに取り上げ、各事業の課題を明確にしながら課題解決につながる土台作り、仕組み作りを行います。
		取組結果
		各事業ともそれぞれの課題に対して取り組み、進捗状況に差があるものの成果はみられました。眠りスキャン、ワイズマン、すぐろく、勤務表自動作成ツールといったDX化にも取り組みました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
入居検討会議	6	6	12	12
運営推進会議	3	3	6	6
職員会議	1	0	1	1
事業会議	6	6	12	12
スタッフ会議	66	42	108	84
リーダー会議	6	6	12	12

② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会 苦情対策委員会	6	6	12	12
身体の拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	2	3	5	6
感染症対策委員会	5	5	10	11
安全衛生委員会	6	6	12	12
食事委員会	5	6	11	11
防災委員会	5	5	10	12
広報委員会	0	1	1	3
研修委員会(特養)	1	0	1	1
研修委員会(居宅)	1	1	2	2

③ 検討班				
検討班名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
経口維持会議	6	6	12	12
喀痰吸引安全検討班	1	2	3	4
褥瘡予防対策検討班	6	6	12	12
看取り介護検討班	1	2	3	3
介護力向上推進班	3	4	7	6
口腔衛生管理検討班	2	1	3	3

特別養護老人ホームあかね園

(4) 事業別計画(介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	他施設と比較しながら、各事業との情報共有を図り、現状の加算状況を分析し、算定できる加算を精査していきます	月1回開催される特養相談員部会において、加算の算定状況と内容を確認し、新たな加算算定が見込める際は、取得に向けての取り組みを行います。
		取組結果
		特養相談員部会において、各施設の加算状況を確認したり、新たな加算の取得について検討しました。 あかね園においては、保健所及び協力医療機関より感染症における指導、アドバイスを受けたことにより、2月より高齢者施設等感染対策向上加算Ⅱの算定を開始しました。
②	昨年度より地域との交流の機会が増え始めており、今年度は特にボランティア活動、施設行事、地域行事を通じての交流を深めていきます	年間の行事計画を作成し、計画的に行事が実施できることで、入居者の「楽しみ」や「気分転換」に繋がる取り組みを行います。 地域のボランティアより来ていただく機会を作り、開かれた施設作りに努めます。
		取組結果
		8月に納涼会を実施しました。家族等にも来園いただき、家族で楽しめる時間を提供することができました。余興のほか、キッチンカーを初めて導入し好評でした。 また、秋に開催したあかね祭(文化祭)では、入居者の力作を展示した他、喫茶やボランティアの演奏を聴く等、楽しいひと時を過ごしていただきました。 定期的なボランティアの導入ができていないため、今後の課題とします。
③	「生産性向上」をテーマに取り上げ、各事業の課題を明確にしながら課題解決につながる土台作り、仕組み作りを行います	介護機器を有効的に活用し、職員の負担を軽減することで、介護現場の生産性が向上できるようにします。 「サービスの質の確保」と「職員の負担軽減」に繋がるよう、それらについて、定期的に確認、検討できる仕組み作りを構築します。
		取組結果
		眠りスキャンを増台し、入居者の生活の把握に役立っています。ユニット浴室に天井走行リフトを設置しました。それにより、入浴機会の確保の幅が広がり、サービスの質の向上に繋がっています。 今後は加算取得に向けての取り組みが必須となってくるため、継続で取り組んでいきたいと考えています。

特別養護老人ホームあかね園

(5) 事業別計画 (介護予防) 短期入所生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	他施設と比較しながら、各事業との情報共有を図り、現状の加算状況を分析し、算定できる加算を精査していきます	加算の算定状況と内容の確認を行い、新たな加算算定が見込まれるものについて短期部会で情報共有を行い、取得に向けての取り組みを行います。
		取組結果
		短期部会では加算取得に向けて各施設の加算取得状況の確認や検討を行いました。今年度短期入所では新たな加算取得はできませんでしたが、今後も取得に向けての検討を継続していきます。
②	昨年度より地域との交流の機会が増え始めており、今年度は特にボランティア活動、施設行事、地域行事を通じての交流を深めていきます	余暇活動の充実に向けての取り組みを行います。ボランティアの受け入れも含め、検討班を立ち上げて取り組みを進めます。
		取組結果
		年間を通し、余暇班を中心として活動を行うことができました。ボランティアの活用については次年度の課題となりました。
③	「生産性向上」をテーマに取り上げ、各事業の課題を明確にしながら課題解決につながる土台作り、仕組み作りを行います	事故防止、リスク軽減につながるような見守り機器の検討、ルーム表作成のシステム化への移行など、業務改善、負担軽減につながるようなアイテムの導入について検討を進めていきます。
		取組結果
		センサー類の使用状況について、随時確認や検討を行いました。今後も必要性や優先度の検証を継続し、事故防止や職員の負担軽減へつなげていきます。

特別養護老人ホームあかね園

(6) 事業別計画 (通所介護事業・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス))		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	他施設と比較しながら、各事業との情報共有を図り、現状の加算状況进行分析し、算定できる加算を精査していきます	経験年数の多い人材資源を生かし、認知症ケア、入浴介助の研修を継続し、算定加算を維持しつつ、1日平均23名の利用を目指します。
		取組結果
		1月より試行的に日曜定休にしたことによりマンパワーが集約でき、今まで以上の新規の受け入れが可能になったことで、平均利用人数の底上げはできましたが、年間トータルでは23人に及びませんでした。 認知症ケアについてはケア会議等充実した対応ができ、また入浴研修も定期的の実施し算定要件を十分満たすことができました。
②	昨年度より地域との交流の機会が増え始めており、今年度は特にボランティア活動、施設行事、地域行事を通じての交流を深めていきます	広さという強みを生かし、選べる余暇活動の環境作りを行い、それぞれが楽しく過ごせるデイサービスを目指します。
		取組結果
		スペースを生かし、小グループに分かれてのクラブ活動や全員で行うゲーム等、主に認知症予防を念頭にしたレクリエーション活動を行い、好評を得ています。またマンパワーの集約により、職員を多く割り当てることができ、更に充実した活動につなげています。
③	「生産性向上」をテーマに取り上げ、各事業の課題を明確にしながら課題解決につながる土台作り、仕組み作りを行います	ICTの活用で記録業務の簡素化と情報共有を進めることで、利用者個々を尊重するケアの充実に努めます。
		取組結果
		すぐろくタブレットの活用で、短時間で内容の濃い記録を継続しています。毎月の会議で効率的に使用すべく検討し、更に情報共有を円滑に進めケアの充実を目指しています。

特別養護老人ホームあかね園

(7) 事業別計画(居宅介護支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	他施設と比較しながら、各事業との情報共有を図り、現状の加算状況を分析し、算定できる加算を精査していきます	入退院支援に力を入れ、入院時加算及び退院時加算が算定できるよう、算定要件でもある病院との連携を図ります。
		取組結果
		今年度は体調不良や新規の退院支援が多く、入院時加算算定者が88件、退院時加算算定者が41件と多かったです(令和7年度は72件、25件)。昨年度よりそれぞれ10件以上多い状態であり、病院との連携を図り加算算定まで行うことができました。
②	昨年度より地域との交流の機会が増え始めており、今年度は特にボランティア活動、施設行事、地域行事を通じての交流を深めていきます	居宅訪問を通して地域ニーズを把握し、地域に選ばれる事業所づくりを行います。
		取組結果
		週1回の定例会を活用し、事業所内での情報共有を行いました。地域の現状として、今年度末で閉鎖や縮小してしまう事業所が多く、ニーズに答えられない現状がありました。
③	「生産性向上」をテーマに取り上げ、各事業の課題を明確にしながら課題解決につながる土台作り、仕組み作りを行います	ICTの活用を行います。米ネットを活用し各関連機関との連携を強化します。匠システムを活用し居宅内の情報共有の効率化を図ります。特に請求業務の手順の見直しを行い、標準化を図りながら職員全員が理解できるよう見直しを行います。
		取組結果
		うおぬま米ねっとの活用を行い、病院に行かずに入院時情報提供書の提出や退院時サマリーの受け取りを行うことができ、業務時間が大幅に短縮できました。昨年度までは大量の申し送り書類等の回覧を行っていましたが、ローカルメール、共有フォルダを使用することで、紙の削減から、回覧や保管の業務効率化を図ることができました。

(8) 事業活動上の取組

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
介護老人福祉施設	0	0	0	0
短期入所生活介護事業	1	0	1	3
通所介護事業	1	0	1	1
居宅介護支援事業	0	0	0	1
合 計	2	0	2	5

苦情(内容)

発生日	部署	苦情等の内容・原因	再発防止策
7月10日	通所介護	自宅へ忘れ物を取りに行く際に、ご利用者とのやりとりのなかで職員の言動によりご利用者が立腹されました。	ご利用者の特性を理解し、関わり方を職員間で統一しました。
9月26日	短期入所	対応した職員の言動に対し、ご利用者が不快感を持たれました。	職員間でひとつひとつのケアに対してご利用者側の立場に立ちながら接することを話し合いました。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	99	92	191	136
延べ人数(人)	148	132	280	222

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
5月15日	排泄用品研修	10
7月14日	腰痛予防研修	10
7月17日	急変時の対応、吸引の研修	4
8月28日	感染症BCP研修	7
8月29日	レクリエーション研修	9
9月12～30日	権利擁護研修(動画)	27
10月21日～11月5日	看取り研修(動画)	28
11月12日～11月30日	褥瘡予防研修	30
12月19日	吸引研修	4
合 計		129

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
避難訓練	2	2	4	4
通報訓練	1	1	2	1
消火訓練	2	0	2	3
災害BCP訓練	1	1	2	0
その他	2	2	4	4
合 計	8	6	14	11

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
十日町看護専門学校	9	0	9	12
合 計	9	0	9	12

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	ユニット	地域密着	短期入所	通所介護	合 計
4月	3,864	1,620	1,177	587	7,248
5月	4,044	1,637	1,198	590	7,469
6月	3,870	1,619	1,147	603	7,239
7月	3,998	1,674	1,206	628	7,506
8月	4,040	1,674	1,183	626	7,523
9月	3,926	1,620	1,161	626	7,333
10月	4,081	1,649	1,118	642	7,490
11月	3,818	1,619	1,033	591	7,061
12月	3,809	1,674	1,192	587	7,262
1月	3,713	1,674	1,288	582	7,257
2月	3,468	1,512	1,217	565	6,762
3月	3,778	1,644	1,187	687	7,296
合 計	46,409	19,616	14,107	7,314	87,446

イ 食事形態内容内訳

主食 \ 副食	常 菜	軟菜	やわらか	ムース	経管栄養	合計
常 食	10	7	2	0		19
全 粥	4	11	32	0		47
粥ムース			4	2		6
経管栄養					0	0
合 計	14	18	38	2	0	72

※令和7年度特養実入居者72人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4月	21	9	0	30	1,290	97.73	
5月	0	14	0	14	1,350	98.97	
6月	0	2	0	2	1,318	99.85	
7月	0	0	0	0	1,364	100.00	
8月	0	0	0	0	1,364	100.00	
9月	10	0	0	10	1,310	99.24	
10月	0	3	0	3	1,361	99.78	
11月	11	32	0	43	1,277	99.15	
12月	23	69	0	92	1,272	93.26	
1月	31	91	0	122	1,242	91.06	
2月	59	11	0	70	1,162	94.32	
3月	87	15	0	102	1,262	92.52	
合 計	242	246	0	488	15,572	96.96	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		2	1
5月		0	0
6月		0	0
7月		0	0
8月		0	0
9月		1	1
10月		0	0
11月		1	1
12月		2	2
1月		1	3
2月		1	2
3月		1	2
合 計		9	12

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	11	264
長期入院	1	36
家庭復帰	0	1
施設変更	0	3
その他	0	0
合 計	12	304

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
4 月 7 日	死亡	施設	女	77	1,281
9 月 17 日	死亡	施設	男	98	729
11 月 13 日	死亡	施設	女	102	1,285
12 月 7 日	死亡	施設	女	94	971
12 月 15 日	死亡	十日町病院	女	87	900
1 月 8 日	病院での看取り		男	89	737
1 月 21 日	死亡	施設	女	99	4,376
1 月 23 日	死亡	施設	女	93	801
2 月 16 日	死亡	施設	女	87	2,219
2 月 24 日	死亡	施設	男	99	505
3 月 16 日	死亡	施設	女	97	329
3 月 28 日	死亡	施設	女	85	2,286

退居時平均年齢 ; 92.25 歳

平均在園期間 ; 1,368.25 日

※令和7年度入居者 52人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別・性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	1	2	6	7	16	89.56
女性	0	0	0	1	2	6	27	36	92.89
合計	0	0	0	2	4	12	34	52	91.87
割合	0.00%	0.00%	0.00%	3.85%	7.69%	23.08%	65.38%	100.00%	

オ 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	1	3	10	2	15	4.07	3.88	3.91
女性	0	0	8	23	5	37	3.81		
合計	0	1	11	33	7	52	3.88		
割合	0.00%	1.92%	21.15%	63.46%	13.46%	100.00%			

カ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ユニット型個室	0	365	3,218	9,686	2,303	15,572
合計	0	365	3,218	9,686	2,303	15,572

キ 出身市町村状況

市町村 \ 区 分	男 性	女 性	合 計	割 合
十日町市	15	37	52	100.00%
津南町	0	0	0	0.00%
その他	0	0	0	0.00%
合 計	15	37	52	100.00%

ク 入居者負担金の状況

(ア) 入居者負担額減免状況（補足給付対象者状況）

区 分		居住費	食 費	人 数	割 合
ユニット型個室	第1段階	880	300	0	0.00%
	第2段階	880	390	8	15.38%
	第3段階	1,370	650	7	13.46%
		1,370	1,360	17	32.70%
	減免なし	2,066	1,570	20	38.46%
合 計				52	100.00%

(イ) 入居者負担金

(令和8年3月末日)

負担金の額	人 数	割 合
0～10,000	0	0.00%
10,001～30,000	0	0.00%
30,001～40,000	0	0.00%
40,001～50,000	0	0.00%
50,001～60,000	4	10.26%
60,001～70,000	0	0.00%
70,001～80,000	3	7.69%
80,001～90,000	4	10.26%
90,001～100,000	5	12.82%
100,000～	23	58.97%
合 計	39	100.00%

参 考

最少金額 54,370円

最高金額 157,116円

平均金額 107,642円

② 面会の状況（オンライン面会を含む）

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	78	71	107	77	115	64	91	78	99	94	67	108	1,049

③ 医務の状況

ア 健康診断状況

開催月日	人 数	内 容
7 月 17 日	37	健康診断 血液検査、心電図 他入居時に実施
7 月 4 日	92	胸部レントゲン

イ 医療機関への入院状況

No	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	男	十日町病院	整形外科	左大腿骨頸部骨折	9	3/20～入院
2	男	十日町病院	内科	COVID-19	7	
3	女	十日町病院	脳外科	脳出血	2	
4	女	齋藤記念病院	脳外科	右被殻出血	7	
5	女	魚沼基幹病院・十日町病院	泌尿器科	結石性腎盂腎炎	93	
6	女	十日町病院	整形外科	右大腿骨転子部骨折	18	
7	男	十日町病院	内科	食欲不振 老衰	23	
8	女	十日町病院	内科	尿路感染症からの敗血症	48	
9	女	十日町病院	内科	心不全 貧血	17	
10	男	十日町病院	内科	顔面神経麻痺	7	
11	男	魚沼基幹病院	整形外科	左骨盤骨折	15	

ウ 医療的ケアの実施状況 (実施している部分に○印をつける)

血糖測定・インスリン注射		静脈内注射（点滴含む）		中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理		酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	○
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置		カテーテルの管理	○	喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
摘便	○	浣腸	○	一時的導尿	
その他					

④ 加算の状況

日常生活継続支援加算（Ⅰ）	看護体制加算（Ⅰ）
夜勤職員配置加算（Ⅳ）イ	個別機能訓練加算（Ⅰ）
外泊時費用加算	初期加算
栄養マネジメント強化加算	経口維持加算（Ⅰ）
看取り介護加算（Ⅰ）（死亡以前4日以上30日以下）	看取り介護加算（Ⅰ）（死亡日以前2日又は3日）
看取り介護加算（Ⅰ）（死亡日）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
栄養マネジメント強化加算	安全対策体制加算
褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）	褥瘡マネジメント加算（Ⅱ）
科学的介護推進体制加算（Ⅱ）	協力医療機関連携加算（Ⅰ）
福祉施設高齢者等感染対策向上加算Ⅱ	
看取り体制	○
実績人数	7人

⑤ 従業員の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
施設長	0.5			0.5	機能訓練指導員	0.7			0.7
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）	0.7			0.7
生活相談員	0.7			0.7	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	1.0	1.3		2.3	（うち看護師）				0.0
介護職員	18.1	1.1		19.2	介護支援専門員	0.9			0.9
（うち介護福祉士）	18.1	0		18.1	宿直				0.0
事務員	0.5			0.5	その他（洗濯）		0.3		0.3
栄養士	0.7			0.7	合計	23.1	2.8	0.0	25.9
調理員				0.0					

○ 事業別報告

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4月	0	0	0	0	540	100.00	
5月	11	0	0	11	547	98.03	
6月	0	0	0	0	540	100.00	
7月	0	0	0	0	558	100.00	
8月	0	0	0	0	558	100.00	
9月	0	0	0	0	540	100.00	
10月	8	0	0	8	550	98.57	
11月	0	0	0	0	540	100.00	
12月	0	0	0	0	558	100.00	
1月	0	0	0	0	558	100.00	
2月	0	0	0	0	504	100.00	
3月	10	0	0	10	548	98.21	
合 計	29	0	0	29	6,541	99.56	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		0	0
5月		1	1
6月		0	0
7月		0	0
8月		0	0
9月		0	0
10月		1	1
11月		0	0
12月		0	0
1月		0	0
2月		0	0
3月		0	1
合 計		2	3

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	3	61
長期入院	0	4
家庭復帰	0	0
施設変更	0	1
その他	0	0
合 計	3	66

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
5 月 11 日	死亡	施設	女	87	594
10 月 8 日	死亡	施設	女	72	533
3 月 21 日	死亡	施設	女	87	3,310

退居時平均年齢 ; 82.00 歳

平均在園期間 ; 1,479.00 日

※令和7年度 入居者 20人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別・性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	2	0	0	0	2	78
女性	0	0	2	2	1	4	9	18	84.55
合計	0	0	2	4	1	4	9	20	83.9
割合	0.00%	0.00%	10.00%	20.00%	5.00%	20.00%	45.00%	100.00%	

オ 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	1	1	0	0	2	2.50	3.85	3.88
女性	0	0	2	14	2	18	4.00		
合計	0	1	3	14	2	20	3.85		
割合	0.00%	5.00%	15.00%	70.00%	10.00%	100.00%			

カ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
従来型個室	0	365	1,095	3,116	516	5,092
多床室	0	0	0	1,449	0	1,449
合計	0	365	1,095	4,565	516	6,541

キ 入居者負担金の状況

(ア) 入居者負担額減免状況（補足給付対象者状況）

区 分		居住費	食 費	人 数	割 合
多 床 室	第1段階	0	300	0	0.00%
	第2段階	430	390	1	5.00%
	第3段階	430	650	3	15.00%
		430	1,360	0	0.00%
	減免なし	915	1,445	1	5.00%
個 室	第1段階	380	300	0	0.00%
	第2段階	480	390	7	35.00%
	第3段階	880	650	2	10.00%
		880	1,360	1	5.00%
	減免なし	1,231	1,445	5	25.00%
合 計				20	100.00%

(イ) 入居者負担金

(令和8年3月末日)

負担金の額	人 数	割 合
0～10,000	0	0.00%
10,001～30,000	0	0.00%
30,001～40,000	0	0.00%
40,001～50,000	7	41.19%
50,001～60,000	2	11.76%
60,001～70,000	0	0.00%
70,001～80,000	1	5.88%
80,001～90,000	1	5.88%
90,001～100,000	0	0.00%
100,000～	6	35.29%
合 計	17	100.00%

参 考

最少金額 40,420円

最高金額 120,326円

平均金額 71,593円

② 面会の状況（オンライン面会を含む）

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	22	48	27	23	49	27	29	29	48	30	25	39	396

③ 医務の状況

ア 健康診断状況

開催月日	人 数	内 容
7 月 17 日	18	健康診断 血液検査、心電図 他入居時に実施
7 月 17 日	18	胸部レントゲン

イ 医療機関への入院状況
報告事項はありませんでした。

ウ 医療的ケアの実施状況 (実施している部分に○印をつける)

血糖測定・インスリン注射		静脈内注射（点滴含む）		中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理		酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	○
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置		カテーテルの管理		喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
摘便	○	浣腸	○	一時的導尿	
その他					

④ 加算の状況

日常生活継続支援加算（Ⅰ）		看護体制加算（Ⅰ）	
夜勤職員配置加算（Ⅲ）ロ		個別機能訓練加算（Ⅰ）	
外泊時費用加算		初期加算	
栄養マネジメント強化加算		経口維持加算（Ⅰ）	
看取り介護加算（Ⅰ）（死亡以前4日以上30日以下）		看取り介護加算（Ⅰ）（死亡日以前2日又は3日）	
看取り介護加算（Ⅰ）（死亡日）		介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	
栄養マネジメント強化加算		安全対策体制加算	
褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）		褥瘡マネジメント加算（Ⅱ）	
科学的介護推進体制加算（Ⅱ）		協力医療機関連携加算（Ⅰ）	
福祉施設高齢者等感染対策向上加算Ⅱ			
看取り体制	○	実績人数	0 人

⑤ 従業員の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
施設長	0.2			0.2	機能訓練指導員	0.3			0.3
医師		0.1		0.1	(うち理学療法士)	0.3			0.3
生活相談員	0.3			0.3	(うち作業療法士)				0.0
看護師等	0.5	0.6		1.1	(うち看護師)				0.0
介護職員	6.4	0.75		7.2	介護支援専門員	0.6			0.6
(うち介護福祉士)	6.0	0		6.0	宿直				0.0
事務員	0.2			0.2	その他(洗濯)		0.2		0.2
栄養士	0.7			0.7	合計	9.2	1.7	0.0	10.9
調理員				0.0					

(2) 短期入所生活介護事業
介護予防短期入所生活介護事業
身体障害者短期入所生活介護事業

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用 者	男性	10	10	12	13	11	12	15	15	12	17	12	11	150	152
	女性	48	43	39	40	43	39	42	36	37	36	35	38	476	523
	合計	58	53	51	53	54	51	57	51	49	53	47	49	626	675
利用日数		469	483	463	483	473	463	456	418	466	504	470	459	5,607	5,590
一日平均		15.63	15.58	15.43	15.58	15.26	15.43	14.70	13.93	15.03	16.26	16.79	15.30	15.36	15.31
稼働率		86.85	86.56	85.74	86.56	84.77	85.74	81.72	77.41	83.51	90.32	93.25	82.26	85.34	85.08
送迎者数		124	123	131	133	135	116	128	125	133	130	124	115	1,517	1,702
食事数		1,177	1,198	1,147	1,206	1,183	1,161	1,118	1,033	1,192	1,287	1,217	1,187	14,106	13,956
備 考		・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。 ・個人別実利用者は、 77 人（男性 15 人、女性 62 人）でした。 ・利用率は1日18床にて計算しています。													

イ 制度別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用者数	介護予防	3	2	2	0	2	1	1	1	0	3	2	0	17	25
	介護	55	51	49	53	52	50	56	50	49	50	45	49	609	650
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	58	53	51	53	54	51	57	51	49	53	47	49	626	675
利用日数	介護予防	10	9	7	0	5	1	3	3	0	6	7	0	51	87
	介護	459	474	456	483	468	462	453	415	466	498	463	458	5,555	5,503
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	469	483	463	483	473	463	456	418	466	504	470	459	5,607	5,590
送迎者数	介護予防	3	2	2	0	2	1	0	2	0	3	2	0	17	43
	介護	121	121	129	133	133	115	128	123	133	127	122	115	1,500	1,659
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	124	123	131	133	135	116	128	125	133	130	124	115	1,517	1,702
食事数	介護予防	26	24	17	0	11	2	7	7	0	13	17	0	124	209
	介護	1,151	1,174	1,130	1,206	1,172	1,159	1,111	1,026	1,192	1,274	1,200	1,187	13,982	13,747
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	1,177	1,198	1,147	1,206	1,183	1,161	1,118	1,033	1,192	1,287	1,217	1,187	14,106	13,956
備 考		・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													

※令和7年度の実利用者 102 人の最終情報を基本数値としました。

ウ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	1	2	5	3	2	11	24	85.33
女 性	0	2	0	4	4	14	54	78	91.35
合 計	0	3	2	9	7	16	65	102	90.18
割 合	0.00%	2.94%	1.96%	8.82%	6.86%	15.69%	63.73%	100.00%	

エ 介護度別居室利用状況（実利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
従来型個室	0	8	33	44	71	39	24	0	219
多床室	0	9	77	117	168	81	10	0	462
空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	17	110	161	239	120	34	0	681

オ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
従来型個室	0	31	149	163	529	241	152	0	1,265
多床室	0	20	527	896	1,891	848	98	0	4,280
空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	51	676	1,059	2,420	1,089	250	0	5,545

② 加算の状況

送迎加算	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）
夜勤職員配置加算（Ⅲ）	機能訓練指導体制加算
介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）	

③ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.2			0.2	機能訓練指導員				0.0
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）				0.0
生活相談員	1.0			1.0	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	2.0	3.0		5.0	（うち看護師）				0.0
介護職員	7.0			7.0	介護支援専門員				0.0
（うち介護福祉士）				0.0	宿直				0.0
事務員	0.2			0.2	その他				0.0
栄養士	1.0			1.0	合計	11.4	3.1	0.0	14.5
調理員				0.0					

(3) 通所介護事業

日常生活支援総合事業（通所介護相当サービス）

◆ 通常規模型

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

(ア) 介護給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	30	30	31	31	30	31	30	31	26	24	26	350	364
実利用人数	77	80	84	82	80	87	83	81	79	78	81	90		
延べ利用人数	528	540	553	586	588	593	619	560	596	550	512	641	6,866	6,495
一日平均	17.60	18.00	18.43	18.90	18.97	19.77	19.97	18.67	19.23	21.15	21.33	24.65	19.62	17.84
基本サービス	510	522	537	575	577	578	598	530	582	536	504	626	6,675	6,241
入 浴	499	515	525	556	561	559	587	523	569	527	489	618	6,528	5,847
食 事	505	507	521	551	553	561	585	532	563	516	497	626	6,517	6,135
送迎者数	1,031	1,054	1,090	1,158	1,163	1,165	1210	1091	1179	1085	1011	1253	13,490	12,743

(イ) 通所介護相当サービス（日常生活支援総合事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	30	30	31	31	30	31	30	31	26	24	26	350	364
実利用人数	17	16	16	13	13	13	11	12	11	13	14	11		
延べ利用人数	78	78	78	73	68	61	53	59	61	66	68	61	804	1,036
一日平均	2.60	2.60	2.60	2.35	2.19	2.03	1.71	1.97	1.97	2.54	2.83	2.35	2.30	2.85
基本サービス	77	78	78	72	68	61	52	59	60	65	68	61	799	1,030
入 浴	71	71	70	63	62	54	44	50	51	54	55	48	693	959
食 事	78	78	78	73	68	61	53	59	61	66	68	61	804	1,035
送迎者数	154	154	153	145	136	120	105	118	121	130	136	122	1,594	2,063

(ウ) 身障デイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	30	30	31	31	30	31	30	31	26	24	26	350	364
実利用人数	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
延べ利用人数	4	5	4	4	5	4	4	0	0	0	0	0	30	17
一日平均	0.13	0.17	0.13	0.13	0.16	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0
基本サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
入 浴	4	5	4	4	5	4	4	0	0	0	0	0	30	17
食 事	4	5	4	4	5	4	4	0	0	0	0	0	30	17
送迎者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(エ) 全 体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	30	30	31	31	30	31	30	31	26	24	26	350	364
実利用人数	95	97	101	96	94	101	95	93	90	91	95	101		
延べ利用人数	610	623	635	663	661	658	676	619	657	616	580	702	7,700	7,548
一日平均	20.33	20.77	21.17	21.39	21.32	21.93	21.81	20.63	21.19	23.69	24.17	27.00	22.00	20.74
稼働率	53.51	54.65	55.70	56.28	56.11	57.72	57.39	54.30	55.77	62.35	63.60	71.05	57.89	54.57
基本サービス	587	600	615	647	645	639	650	589	642	601	572	687	7,474	7,275
入 浴	574	591	599	623	628	617	635	573	620	581	544	666	7,251	6,823
食 事	587	590	603	628	626	626	642	591	624	582	565	687	7,351	7,187
送迎者数	1,185	1,208	1,243	1,303	1,299	1,285	1,315	1,209	1,300	1,215	1,147	1,375	15,084	14,806

※事業日数＝試行的な休業日等を除く、実際にサービス提供した日数

※令和7年度実利用者 143人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	1	3	3	5	10	25	47	88.00
女 性	0	2	1	6	8	22	57	96	90.25
合 計	0	3	4	9	13	32	82	143	89.49
割 合	0.00%	2.10%	2.80%	6.29%	9.09%	22.38%	57.34%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	1	4	7	18	8	7	2	0	47
女 性	3	11	30	22	13	13	3	1	96
合 計	4	15	37	40	21	20	5	1	143
割 合	2.80%	10.49%	25.87%	27.97%	14.69%	13.99%	3.50%	0.70%	100.00%

(イ) 介護度別利用者状況 (延べ利用者数)

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	6	64	651	1065	395	208	66	0	2,455
女 性	78	656	1904	1519	456	474	128	26	5,241
合 計	84	720	2,555	2,584	851	682	194	26	7,696
割 合	1.09%	9.36%	33.20%	33.58%	11.06%	8.86%	2.52%	0.34%	100.00%

② 加算の状況

入浴介助加算 (I)	認知症加算
個別機能訓練加算 (I) イ	介護職員等処遇改善加算 (I)
サービス提供体制強化加算 (I)	科学的介護推進体制加算

③ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.1			0.1	機能訓練指導員		1.0		1.0
生活相談員	1.4			1.4	(うち理学療法士)		0.9		0.9
看護師等		1.2		1.2	(うち作業療法士)				0.0
介護職員	6.6	2.4		9.0	(うち看護師)		0.1		0.1
(うち介護福祉士)	3.6	1.3		4.9	介護支援専門員		0.0		0.0
事務員	0.1			0.1	宿直		0.0		0.0
栄養士	1.1			1.1	その他	0.7	0.4		1.1
調理員	0.0			0.0	合計	10.0	5.0		15.0

(5) 居宅介護支援事業

① 居宅介護支援の状況

ア ケアプラン作成状況

※請求月での人数で報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
ケアプラン	新規受付数	10	11	11	1	7	5	4	4	1	5	6	5	70
	解約数	5	5	4	6	6	5	4	6	4	4	4	6	59
	延べ利用者数	156	159	171	157	158	164	161	157	157	152	155	159	1,906
	月末時1人当たり担当数	31.20	31.80	34.20	31.40	31.60	32.80	32.20	31.40	31.40	30.40	31.00	31.80	31.77
予防プラン	新規受付数	3	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	8
	解約数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	5
	延べ利用者数	21	20	20	20	20	21	21	22	22	24	23	23	257
	月末時1人当たり担当数	1.40	1.33	1.33	1.33	1.33	1.40	1.40	1.47	1.47	1.60	1.53	1.53	1.43
延べ利用者数合計		177	179	191	177	178	185	182	179	179	176	178	182	2,163
月末時1人当たり担当数(換算)		32.60	33.13	35.53	32.73	32.93	34.20	33.60	32.87	32.87	32.00	32.53	33.33	33.19

イ 担当者会議開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開催数	34	29	28	35	24	25	25	30	33	31	28	23	345

ウ 認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
調査件数	3	9	6	3	4	5	9	10	8	6	8	8	79

② 利用者の状況

※令和7年度実利用者の最終情報を基本数値としました。(介護 155件、予防 23件)

ア 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～89	90歳以上	合 計
男 性	1	1	6	8	30	23	69
女 性	1	2	3	10	47	48	111
合 計	2	3	9	18	77	71	180
割 合	1.11%	1.67%	5.00%	10.00%	42.78%	39.44%	100.00%

イ 要介護度利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男 性	3	4	22	26	9	4	1	69
女 性	5	11	40	29	13	11	2	111
合 計	8	15	62	55	22	15	3	180
割 合	4.44%	8.33%	34.44%	30.56%	12.22%	8.33%	1.67%	100.00%

③ 加算の状況

初回加算	特定事業所加算（Ⅱ）
入院時情報連携加算（Ⅰ）	入院時情報連携加算（Ⅱ）
退院・退所加算（Ⅰ）イ	退院・退所加算（Ⅰ）ロ
退院・退所加算（Ⅱ）イ	退院・退所加算（Ⅱ）ロ
通院時情報連携加算	

④ 従業者の常勤換算状況（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	1.0	0	0	1.0
介護支援専門員	4.0	0	0	4.0
その他	0.0	0	0	0.0
合計	5.0	0.0	0.0	5.0

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	ケアセンター三好園しんざ
所在地	新潟県十日町市新座甲609番地2
設立年月日	平成16年5月1日
敷地面積	4,633.71㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
延べ床面積	4,851.60㎡
施設長名	富井 健二
電話番号	025-752-7670
FAX番号	025-752-7672
E-mailアドレス	info-shinza@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	50	平成16年5月1日	1571000379	
(介護予防)短期入 所生活介護事業	20	平成16年5月1日	1571000387	十日町市、小千 谷市、津南町
通所介護事業	30	平成16年5月1日	1571000361	十日町市、小千 谷市、津南町
日常生活支援総合 事業通所介護相当 サービス		平成30年4月1日	1571000361	十日町市
日常生活支援総合 事業通所型サービス A	10	平成29年5月1日	1571000361	十日町市
居宅介護支援事業		平成16年5月1日	1561090059	十日町市、小千谷市

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
	安定した収益の 確保を目指しま す	利用者ニーズの把握と新規受け入れを行い、安定した収益の確保を目指します。

①	安定した収益の確保を目指します	取組結果
		各事業とも新規利用の受入れを行っていますが、契約終了者も多く全体的に目標稼働率には届きませんでした。
②	地域とのつながりを強化します	地域との交流やボランティア活動受け入れを積極的に推進します。
		取組結果
		入居者及び利用者から楽しんで頂けるように、イベントを中心に地域の方と交流する事ができました。
③	サービスの質の向上に努めます	人権を尊重し、安心して利用できるサービスを心掛け、質の向上に努めます。
		取組結果
		各会議にて、日頃の接し方の中で不適切な対応がないかを情報共有し検討する事ができました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
入居検討会議	6	6	12	6
職員会議	1	0	1	1
事業会議	6	6	12	12
班会議	32	34	66	61
食事運営会議	2	4	6	11
担当者会議	6	5	11	12
リーダー会議	12	12	24	24
ユニット会議	33	22	55	61
ユニットケア研修多職種協働プロジェクト	5	0	5	0

② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
感染症対策委員会	6	6	12	12
事故・苦情対策検討委員会	6	6	12	12
高齢者虐待防止委員会	6	6	12	12
身体拘束適正化委員会	6	6	12	12
安全衛生委員会	5	11	16	10
防災委員会	2	3	5	3
広報委員会	1	0	1	1
研修委員会	1	0	1	1
③ 検討班				
検討班名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
食事排泄検討班	3	2	5	7
リスク検討班	4	4	8	8
個別ケア検討班	1	0	1	6

ケアセンター三好園しんざ

(4) 事業別計画(介護老人福祉施設)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者ニーズの把握と新規受け入れを行い、安定した収益の確保を目指します	口腔機能の維持と改善に務めます。誤嚥性肺炎での入院者を減らし目標稼働率95%の達成を目指します。
		取組結果
		年間を通じて退居者及び入院者が多く、目標稼働率達成できませんでした。
②	地域との交流やボランティア活動受け入れを積極的に推進します	多世代の交流拠点となるよう、地域の受け入れと交流する機会を持ちます。
		取組結果
		夕涼み会や神無月の集い等のイベントを通じて、入居者やご家族、地域の方と交流を図ることができました。
③	人権を擁護し、安心して利用できるサービスを心掛け、質の向上に努めます	接遇マナーを意識し、入居者一人一人に安心して豊かな暮らしを提供します。
		取組結果
		毎日の支援の中で、不適切なケアにつながっていないかを会議の中で確認し、必要に応じて検討しました。

ケアセンター三好園しんざ

(5) 事業別計画((介護予防)短期入所生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者ニーズの把握と新規受け入れを行い、安定した収益の確保を目指します	利用者のニーズに合わせて緊急等の受け入れも積極的に行い、稼働率97%を目指します。
		取組結果
		上期の稼働率は良好でしたが、感染症クラスターと人員不足により稼働率が低下し、目標稼働率は達成できませんでした。
②	地域との交流やボランティア活動受け入れを積極的に推進します	利用者家族や地域の方に施設を知ってもらうため、施設見学や交流会を企画します。
		取組結果
		施設見学会など、ご家族に向けての情報発信を行うことができませんでした。面会等ご希望者は、施設の中を見学する事がありました。
③	人権を擁護し、安心して利用できるサービスを心掛け、質の向上に努めます	毎月のユニット会議、リーダー会議で人権擁護やケアの見直しを話し合い利用者の尊厳を守ります。
		取組結果
		ユニット会議およびリーダー会議で不適切ケアについて話し合い、振り返る機会を設けました。

ケアセンター三好園しんざ

(6) 事業別計画 (日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス・通所型サービスA))		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者ニーズの把握と新規受け入れを行い、安定した収益の確保を目指します	月の稼働率平均70%を維持します。
		取組結果
		上期は人員体制の都合により受け入れに慎重となり、後期の稼働率が伸び悩んだため、目標稼働率を達成できませんでした。
②	地域との交流やボランティア活動受け入れを積極的に推進します	新しい地域のボランティア活動について情報収集、し定期的に受け入れる体制を整えていきます。さらに、こども園や学校等と連携し交流する機会の頻度を多く持つように努めます。
		取組結果
		こども園や小学校と交流する機会を持ち、イベントを通して地域の人と交流する事ができました。
③	人権を擁護し、安心して利用できるサービスを心掛け、質の向上に努めます	活動の提供に力を入れて通所介護計画書の作成をしたうえで、利用者の安心や生きがいを持てる暮らしを職員間で考察し援助します。
		取組結果
		朝の申し送りやデイ会議を通じて、職員が通所介護計画書について意識しながら、一人ひとりの支援に活かすことができました。

ケアセンター三好園しんざ

(7) 事業別計画(居宅介護支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者ニーズの把握と新規受け入れを行い、安定した収益の確保を目指します	新規ケースを積極的に受け入れ、目標140件を目指すとともに、各種加算算定に取り組んでいきます。
		取組結果
		新規ケースの受け入れを行いました、同等に契約終了するケースもあり、毎月の件数の増減はほとんどありませんでした。
②	地域との交流やボランティア活動受け入れを積極的に推進します	地域ニーズを把握し、交流や活動等の充実が図れるように協力します。
		取組結果
		施設行事の夕涼み会に参加し、地域との交流を図れるようにバックアップすることができました。
③	人権を擁護し、安心して利用できるサービスを心掛け、質の向上に努めます	人権擁護に留意し、その人らしい生活を支えられるように、一人ひとりに適切なケアマネジメントを行います。
		取組結果
		毎週開催の班会議での情報共有をはじめ、一人ひとりのアセスメントを実施し、計画立案につなげることができました。

(8) 事業活動上の取り組み

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	30	23	53	71
延べ人数(人)	33	23	56	84

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
8月19日	スキンケア・おむつ勉強会	12
9月10日	褥瘡予防研修会	8
11月7日・12日	医療的研修	15
12月10日	リスクマネジメント 誤薬について	14
3月4日	看取り研修	14

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
総合防災訓練	1	1	2	1
夜間想定防災訓練	0	1	1	1
土砂災害想定訓練	1	0	1	1
通報訓練	1	0	1	1
非常食提供訓練	1	0	1	1
防災研修	1	1	2	2
合 計	5	3	8	7

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
北里大学保健衛生専門学院	9	0	9	14
十日町看護専門学校	7	0	7	7
リーダー研修実地研修	28	18	46	42
川西中学校福祉体験	12	8	20	6
合 計	56	26	82	69

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	ユニット	短期入所	通所介護		合 計
4月	3,918	1,599	504		6,021
5月	3,908	1,585	495		5,988
6月	4,086	1,545	499		6,130
7月	4,295	1,592	508		6,395
8月	4,286	1,582	471		6,339
9月	4,129	1,343	473		5,945
10月	4,105	1,294	480		5,879
11月	3,983	1,463	438		5,884
12月	3,924	1,360	454		5,738
1月	3,809	1,479	417		5,705
2月	3,401	1,193	420		5,014
3月	3,633	1,251	494		5,378
合 計	47,477	17,286	5,653	0	70,416

イ 食事形態内容内訳

主食 \ 副食	常 菜	軟菜	やわらか	ムース	経管栄養	合計
常 食	4	6	0	0		10
全 粥	6	19	14	3		42
粥ムース	0	0	0	11		11
経管栄養					6	6
合 計	10	25	14	14	6	69

※令和7年度 特養実入居者 69人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4月	62	87	0	149	1,351	90.07	
5月	118	79	0	197	1,353	87.29	
6月	74	21	0	95	1,405	93.67	
7月	31	43	0	74	1,476	95.23	
8月	43	33	0	76	1,474	95.10	
9月	0	82	0	82	1,418	94.53	
10月	60	76	0	136	1,414	91.23	
11月	87	39	0	126	1,374	91.60	
12月	151	42	1	194	1,356	87.48	
1月	233	5	1	239	1,311	84.58	
2月	179	54	0	233	1,167	83.36	
3月	186	118	0	304	1,246	80.39	
合 計	1,224	679	2	1,905	16,345	89.56	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		1	2
5月		2	4
6月		3	0
7月		0	1
8月		2	0
9月		0	0
10月		0	1
11月		2	4
12月		1	5
1月		3	2
2月		4	3
3月		2	5
合 計		20	27

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	25	229
長期入院	2	37
家庭復帰	0	0
施設変更	0	1
その他	0	0
合 計	27	267

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
4 月 10 日	死亡	十日町病院	男	89	188
4 月 15 日	死亡	十日町病院	女	92	3, 129
5 月 1 日	死亡	十日町病院	男	70	2, 458
5 月 2 日	死亡	施設	女	102	3, 829
5 月 15 日	死亡	施設	女	97	767
5 月 28 日	死亡	施設	女	96	1, 271
7 月 31 日	死亡	十日町病院	男	90	57
10 月 8 日	死亡	施設	女	96	210
11 月 2 日	死亡	施設	女	100	496
11 月 8 日	死亡	十日町病院	女	96	543
11 月 11 日	死亡	施設	女	89	149
11 月 21 日	死亡	施設	女	92	1, 699
12 月 10 日	死亡	施設	女	98	317
12 月 13 日	死亡	施設	女	93	2, 297
12 月 14 日	死亡	十日町病院	女	97	41
12 月 21 日	死亡	十日町病院	女	94	1, 777
12 月 26 日	死亡	施設	女	94	1, 934
1 月 5 日	死亡	施設	女	102	1, 449
1 月 11 日	死亡	施設	女	85	2, 256
2 月 3 日	死亡	施設	女	96	2, 075
2 月 5 日	死亡	十日町病院	女	107	170
2 月 17 日	死亡	施設	女	98	552
3 月 10 日	死亡	施設	女	85	485
3 月 14 日	死亡	十日町病院	男	77	458
3 月 27 日	長期入院	十日町病院	男	89	1, 556
3 月 27 日	長期入院	十日町病院	男	79	275
3 月 28 日	死亡	施設	男	88	66

退居時平均年齢 ; 92.26 歳

平均在園期間 ; 1, 129.78 日

※令和7年度 入居者 69 人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別・性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	1	4	3	3	4	15	83.26
女性	1	0	1	2	2	12	36	54	91.62
合計	1	0	2	6	5	15	40	69	89.81
割合	1.45%	0.00%	2.90%	8.70%	7.25%	21.74%	57.97%	100.0%	

オ 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	1	5	4	5	15	3.87	3.90	3.88
女性	0	4	12	23	15	54	3.91		
合計	0	5	17	27	20	69	3.90		
割合	0.00%	7.25%	24.64%	39.13%	28.99%	100.00%			

カ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ユニット型個室	0	1,698	4,372	6,632	3,643	16,345
合計	0	1,698	4,372	6,632	3,643	16,345

キ 出身市町村状況

市町村 \ 区 分	男 性	女 性	合 計	割 合
十日町市	15	54	69	100.00%
津南町	0	0	0	0.00%
その他	0	0	0	0.00%
合 計	15	54	69	100.00%

ク 入居者負担金の状況

(ア) 入居者負担額減免状況（補足給付対象者状況）

区 分		居住費	食 費	人 数	割 合
ユニット型個室	第1段階	880	300	0	0.00%
	第2段階	880	390	9	13.04%
	第3段階	1,370	650	7	10.14%
		1,370	1,360	16	23.19%
	減免なし	2,066	1,570	37	53.62%
合 計				69	100.0%

(イ) 入居者負担金

(令和8年3月末日)

負担金の額	人 数	割 合
0～10,000	0	0.00%
10,001～30,000	0	0.00%
30,001～40,000	0	0.00%
40,001～50,000	1	2.50%
50,001～60,000	5	12.50%
60,001～70,000	0	0.00%
70,001～80,000	1	2.50%
80,001～90,000	2	5.00%
90,001～100,000	5	12.50%
100,000～	26	65.00%
合 計	40	100.00%

参 考

最少金額 42,470円

最高金額 183,178円

平均金額 114,821円

② 面会の状況（オンライン面会を含む）

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	200	213	210	185	223	206	209	195	212	209	164	178	2,404

③ 医務の状況

ア 健康診断状況

開催月日	人 数	内 容
7 月 17 日	46	血液検査、心電図
7 月 17 日	46	レントゲン撮影

イ 医療機関への入院状況

N o	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	女	魚沼基幹病院	内科	肺炎 尿路感染	14	
2	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	3	
3	男	十日町病院	内科	喘息発作	3	
4	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	16	
5	女	十日町病院	内科	肺炎	24	
6	男	五日町病院	精神科		28	
7	女	十日町病院	内科	肺炎	21	
8	女	魚沼基幹病院	外科	腫瘍	5	
9	女	十日町病院	内科	肺炎	37	
10	男	十日町病院	内科	褥瘡	52	
11	女	十日町病院	内科	肺炎	27	
12	男	十日町病院	内科	肺炎	19	
13	女	十日町病院	内科	肺炎	41	
14	男	田宮病院	精神科		33	
15	女	十日町病院	内科	肺炎	70	
16	男	十日町病院	内科	肺炎	17	
17	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	34	
18	女	魚沼基幹病院	外科	腫瘍	4	
19	女	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	3	
20	女	十日町病院	内科	肺炎	23	
21	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	16	
22	女	十日町病院	内科	急性呼吸不全	12	
23	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	13	
24	女	十日町病院	内科	窒息	4	
25	女	十日町病院	整形外科	滑液包炎	57	
26	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	35	
27	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	35	
28	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	21	
29	男	十日町病院	内科	全身衰弱	9	
30	男	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	3	

ウ 医療的ケアの実施状況 (実施している部分に○印をつける)

血糖測定・インスリン注射	○	静脈内注射（点滴含む）	○	中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理	○	酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	○	モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	○
褥瘡の処置	○	カテーテルの管理	○	喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
摘便	○	浣腸	○	一時的導尿	○
その他					

④ 加算の状況

日常生活継続支援加算（Ⅰ）		夜勤職員配置加算（Ⅲ）ロ	
個別機能訓練加算（Ⅰ）		外泊時費用加算	
初期加算		経口維持加算（Ⅰ）	
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）		栄養マネジメント強化加算	
安全対策体制加算		褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）	
褥瘡マネジメント加算（Ⅱ）		科学的介護推進体制加算（Ⅱ）	
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）		高齢者施設等感染症対策向上加算（Ⅱ）	
協力医療機関連携加算			
看取り体制	○	実績人数	2人

⑤ 従業員の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
施設長	0.5			0.5	機能訓練指導員	1.0			1.0
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）	1.0			1.0
生活相談員	1.0			1.0	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	1.0	3.5		4.5	（うち看護師）				0.0
介護職員	18.0	2.6		20.6	介護支援専門員	1.0			1.0
（うち介護福祉士）	12.0	1.3		13.3	宿直				0.0
事務員	1.0			1.0	その他				0.0
栄養士	1.0			1.0	合計	24.5	6.2	0.0	30.7
調理員				0.0					

(2) 短期入所生活介護事業
介護予防短期入所生活介護事業
身体障害者短期入所生活介護事業

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
	男性	22	20	23	22	24	24	23	26	23	22	25	280	274
	女性	63	62	62	64	60	57	57	53	53	52	50	690	773
	合計	85	82	85	86	84	81	80	79	76	74	75	970	1,047
利用日数	628	622	608	626	619	536	517	570	541	573	467	494	6,801	7,102
一日平均	20.93	20.06	20.27	20.19	19.97	17.87	16.68	19.00	17.45	18.48	16.68	15.94	18.63	19.46
稼働率	104.67	100.32	101.33	100.97	99.84	89.33	83.39	95.00	87.26	92.42	83.39	79.68	93.16	97.29
送迎者数	240	247	239	245	242	225	225	226	228	214	182	210	2,723	2,856
食事数	1,599	1,585	1,545	1,592	1,582	1,343	1,294	1,463	1,360	1,479	1,193	1,251	17,286	17,763
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。 ・個人別実利用者は、149 人（男性 46人、女性 103 人）でした。 ・利用率は1日20床にて計算しています。													

イ 制度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用者数														
介護予防	8	7	4	4	5	7	9	7	7	5	6	3	72	85
介護	77	75	81	82	79	74	74	73	72	71	68	72	898	960
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	85	82	85	86	84	81	83	80	79	76	74	75	970	1,047
利用者数														
介護予防	25	24	19	16	17	20	29	26	33	24	29	12	274	318
介護	603	598	589	610	602	516	488	544	508	549	438	482	6,527	6,782
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	628	622	608	626	619	536	517	570	541	573	467	494	6,801	7,102
利用者数														
介護予防	16	13	9	7	11	14	18	14	14	10	12	6	144	195
介護	224	234	230	238	231	211	207	212	214	204	170	204	2,579	2,661
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	240	247	239	245	242	225	225	226	228	214	182	210	2,723	2,856
利用者数														
介護予防	58	54	45	36	38	45	67	61	79	56	70	29	638	709
介護	1,541	1,531	1,500	1,556	1,544	1,298	1,227	1,402	1,281	1,423	1,123	1,222	16,648	17,035
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
合 計	1,599	1,585	1,545	1,592	1,582	1,343	1,294	1,463	1,360	1,479	1,193	1,251	17,286	17,763
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													

※令和7年度の実利用者 149人の最終情報を基本数値としました。

ウ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	0	5	7	9	8	17	46	84.60
女 性	0	2	1	4	7	26	63	103	89.60
合 計	0	2	6	11	16	34	80	149	87.15
割 合	0.00%	1.34%	4.03%	7.38%	10.74%	22.82%	53.69%	100.00%	

エ 介護度別居室利用状況（実利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
ユニット型個室	14	58	188	285	235	151	26	0	957
空床利用	0	0	4	7	12	5	0	0	28
合計	14	58	192	292	247	156	26	0	985

オ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
ユニット型個室	56	218	992	1,885	2,022	1,508	114	0	6,795
多床室	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空床利用	0	0	31	44	74	43	0	0	192
合計	56	218	1,023	1,929	2,096	1,551	114	0	6,987

② 加算の状況

送迎加算	夜勤職員配置加算(Ⅳ)
機能訓練指導員体制加算	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)
長期利用者提供減算	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)

③ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.3			0.3	機能訓練指導員	1			1.0
医師		0.1		0.1	(うち理学療法士)	1			1.0
生活相談員	1.0			1.0	(うち作業療法士)	0			0.0
看護師等	1.0	3.5		4.5	(うち看護師)	0			0.0
介護職員	8.0			8.0	介護支援専門員	0			0.0
(うち介護福祉士)	7.0			7.0	宿直	0			0.0
事務員	1.0			1.0	その他	1	0.9		1.9
栄養士	1.0			1.0	合計	14.3	4.5	0.0	18.8
調理員	0.0			0.0					

(3) 通所介護事業

日常生活支援総合事業（通所介護相当サービス）

◆ 通常規模型

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

(ア) 介護給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	24	27	351	364
実利用人数	62	61	62	60	57	61	58	62	58	58	58	61		
延べ利用人数	430	415	424	428	392	398	400	373	382	348	355	418	4,763	5,512
一日平均	14.33	13.39	14.13	13.81	12.65	13.27	12.90	12.43	12.32	13.92	14.79	15.48	13.57	15.14
基本サービス	430	415	424	428	392	398	400	373	382	348	355	418	4,763	5,371
入 浴	366	342	356	362	334	329	349	329	346	325	315	358	4,111	4,977
食 事	399	382	394	396	365	371	366	338	350	327	331	391	4,410	5,157
送迎者数	853	823	836	842	776	787	793	738	753	695	705	826	9,427	10,924

(イ) 通所介護相当サービス（日常生活支援総合事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	24	27	351	364
実利用人数	21	21	21	22	20	21	22	22	22	19	21	21		
延べ利用人数	105	113	105	112	106	102	114	101	104	90	92	103	1,247	1,177
一日平均	3.50	3.65	3.50	3.61	3.42	3.40	3.68	3.37	3.35	3.60	3.83	3.81	3.55	3.23
基本サービス	105	113	105	112	106	102	114	101	104	90	92	103	1,247	1,169
入 浴	97	106	95	101	100	96	103	93	97	83	81	96	1,148	1,120
食 事	105	113	105	112	106	102	114	100	104	90	89	103	1,243	1,172
送迎者数	210	225	210	224	212	204	227	234	208	180	184	205	2,523	2,340

(ウ) 全 体

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	24	27	351	364
実利用人数	83	82	83	82	77	82	80	84	80	77	79	82		
延べ利用人数	535	528	529	540	498	500	514	474	486	438	447	521	6,010	6,689
一日平均	17.83	17.03	17.63	17.42	16.06	16.67	16.58	15.80	15.68	17.52	18.63	19.30	17.12	18.38
稼働率	59.44	56.77	58.78	58.06	53.55	55.56	55.27	52.67	52.26	58.40	62.08	64.32	57.08	61.25
基本サービス	535	528	529	540	498	500	514	474	486	438	447	521	6,010	6,540
入 浴	463	448	451	463	434	425	452	422	443	408	396	454	5,259	6,097
食 事	504	495	499	508	471	473	480	438	454	417	420	494	5,653	6,329
送迎者数	1,063	1,048	1,046	1,066	988	991	1,020	972	961	875	889	1,031	11,950	13,264

※事業日数＝試行的な休業日等を除く、実際にサービス提供した日数

※令和7年度の実利用者 121人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	1	3	7	8	9	9	37	83.73
女 性	0	1	1	2	11	31	38	84	88.45
合 計	0	2	4	9	19	40	47	121	86.09
割 合	0.00%	1.65%	3.31%	7.44%	15.70%	33.06%	38.84%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	2	3	8	12	6	4	2	0	37
女 性	5	15	24	17	11	10	2	0	84
合 計	7	18	32	29	17	14	4	0	121
割 合	5.79%	14.88%	26.45%	23.97%	14.05%	11.57%	3.31%	0.00%	100.00%

(イ) 介護度別利用者状況 (延べ利用者数)

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	24	79	137	303	143	18	108	0	812
女 性	0	0	565	571	485	157	0	0	1,778
合 計	24	79	702	874	628	175	108	0	2,590
割 合	0.93%	3.05%	27.10%	33.75%	24.25%	6.76%	4.17%	0.00%	100.00%

② 加算の状況

入浴介助加算 (I)	中重度者ケア体制加算
個別機能訓練加算 (I) イ	認知症加算
サービス提供体制強化加算 (I)	介護職員等処遇改善加算 (I)
科学的介護推進体制加算	

③ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.2			0.2	機能訓練指導員	1.0			1.0
生活相談員	1.5			1.5	(うち理学療法士)	1.0			1.0
看護師等		1.7		1.7	(うち作業療法士)				0.0
介護職員	4.5	2.3		6.8	(うち看護師)				0.0
(うち介護福祉士)	1.5	1.0		2.5	介護支援専門員				0.0
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他	2.0	0.9		2.9
調理員				0.0	合計	9.2	4.9	0.0	14.1

◆ 通所型サービス A（日常生活支援総合事業）

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	前年度実績
事業日数	8	8	8	8	5	8	8	4	8	7	7	6	85	90
実利用人数	12	11	11	11	9	10	9	10	9	7	6	7		
延べ利用人数	41	39	38	40	20	35	32	16	31	19	18	20	349	495
一日平均	5.13	4.88	4.75	5.00	4.00	4.38	4.00	4.00	3.88	2.71	2.57	3.33	4.11	5.50
稼働率	51.25	48.75	47.50	50.00	40.00	43.75	40.00	40.00	38.75	27.14	25.71	33.33	41.06	55.00
送迎者数	82	78	76	80	40	70	64	32	62	38	36	40	698	990

※令和7年度実利用者数 12人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
女 性	0	0	0	0	4	6	2	12	86.75
合 計	0	0	0	0	4	6	2	12	86.75
割 合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	50.00%	16.67%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況（実利用者）

	要支援1	要支援2	チェック リスト対象者	合 計
男 性	0	0	0	0
女 性	7	5	0	12
合 計	7	5	0	12
割 合	58.33%	41.67%	0.00%	100.00%

(イ) 要介護度別利用者状況（延べ利用者）

	要支援1	要支援2	チェック リスト対象者	合 計
男 性	0	0	0	0
女 性	208	141	0	349
合 計	208	141	0	349
割 合	59.60%	40.40%	0.00%	100.00%

② 加算の状況

サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
科学的介護推進加算	

③ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.1			0.1	機能訓練指導員				0.0
生活相談員				0.0	（うち理学療法士）				0.0
看護師等				0.0	（うち作業療法士）				0.0
介護職員	0.1	0.1		0.2	（うち看護師）				0.0
（うち介護福祉士）	0.1	0.1		0.2	介護支援専門員				0.0
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他				0.0
調理員				0.0	合計	0.2	0.1	0.0	0.3

(5) 居宅介護支援事業

① 居宅介護支援の状況

ア ケアプラン作成状況

※請求月での人数で報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
ケア プ ラ ン	新規受付数	4	1	3	2	5	6	2	8	2	28	4	9	74
	解約数	3	2	4	2	6	3	5	5	11	7	4	2	54
	延べ利用者数	134	130	131	128	126	129	130	128	123	143	143	146	1,591
	月末時1人当たり担当数	33.50	32.50	32.75	32.00	31.50	32.25	32.50	32.00	30.75	28.60	28.60	29.20	31.20
予 防 プ ラ ン	新規受付数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0	5
	解約数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	延べ利用者数	17	17	17	18	18	18	18	18	18	19	22	21	221
	月末時1人当たり担当数	1.42	1.42	1.42	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.27	1.47	1.40	1.44
延べ利用者数合計		151	147	148	146	144	147	148	146	141	162	165	167	1,812
月末時1人当たり担当数（換算）		34.92	33.92	34.17	33.50	33.00	33.75	34.00	33.50	32.25	29.87	30.07	30.60	32.64

イ 担当者会議開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開催数	20	31	31	23	18	17	14	16	28	26	17	28	269

ウ 認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
調査件数	8	5	3	3	3	2	3	4	12	3	3	7	56

② 利用者の状況

※令和7年度実利用者の最終情報を基本数値としました。（介護 144 件、予防 21 件）

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～89	90歳以上	合 計
男 性	0	3	4	9	31	16	63
女 性	2	2	6	26	36	30	102
合 計	2	5	10	35	67	46	165
割 合	1.21%	3.03%	6.06%	21.21%	40.61%	27.88%	100.00%

イ 要介護度利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男 性	1	6	13	22	15	3	3	63
女 性	4	10	33	29	11	12	3	102
合 計	5	16	46	51	26	15	6	165
割 合	3.03%	9.70%	27.88%	30.91%	15.76%	9.09%	3.64%	100.00%

③ 加算の状況

初回加算	特定事業所加算（Ⅱ）
入院時情報連携加算（Ⅰ）	入院時情報連携加算（Ⅱ）
退院・退所加算（Ⅰ）イ	通院時情報連携加算
退院・退所加算（Ⅱ）イ	ターミナルケアマネ加算

④ 従業者の常勤換算状況（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	1.0			1.0
介護支援専門員	4.0			4.0
その他	0.0			0.0
合計	5.0	0.0	0.0	5.0

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	複合型介護施設三好園四ツ宮
所在地	新潟県十日町市本町6の1丁目320番地9
設立年月日	平成19年7月1日
敷地面積	2,002.31㎡
建物構造	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建
延べ床面積	1,339.09㎡
施設長名	春川 さとみ
電話番号	025-750-5288
FAX番号	025-757-0827
E-mailアドレス	info-yotsumiya@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
地域密着型介護老人福祉施設(地域密着型特別養護老人ホーム)	20	平成19年7月1日	1591000037	十日町市
(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業	登録 29 通い 18 泊り 9	平成19年7月1日	1591000029	介護保険事業計画に定められた生活圏域

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	目標稼働率達成、加算算定により収益を上げ、経営を意識した取り組みを行います。
		取組結果
		特養は年度初めの複数の長期入院者の影響がありました。3月から体制が整わず、加算算定ができなくなりました。小規模多機能は登録者の入れ替わりが多く、目標稼働率に至りませんでした。現段階で可能な加算は算定できました。

②	地域とのつながりを強化します	地域の方々と協力体制をつくり連携を図ります。
		取組結果
		施設内予防拠点の開放に取り組み、地域の方々の定例の会議、地域のサロンや地域住民へのイベントの開催等が定着してきました。地域行事に積極的に参加しました。
③	サービスの質の向上に努めます	利用者主体を浸透し、サービスの質の向上に努めます。
		取組結果
		利用者アンケートを実施し、出た意見を職員間で共有しました。業務の見える化と標準化に取り組みました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
入居検討会議	6	6	12	12
職員会議	1	0	1	2
事業会議	6	6	12	12
スタッフ会議 (各班単位、ユニット単位)	6	6	12	12
② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会	6	6	12	12
苦情対策委員会	6	6	12	12
身体的拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	6	6	12	12
感染症対策委員会	6	6	12	12
安全衛生委員会	0	0	0	0
給食委員会	2	2	4	5
防災委員会	4	1	5	6
広報委員会	2	2	4	2

研修委員会	3	3	6	4
地域委員会	1	2	3	13
生産性向上推進委員会	3	3	6	4
見守り機器安全委員会	2	1	3	2
③ 検討班				
検討班名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
リスクマネジメント検討班	6	6	12	0
喀痰吸引安全検討班	1	1	2	2
褥瘡予防対策検討班	6	6	12	12
口腔ケア検討班	0	0	0	0

複合型介護施設三好園四ツ宮

(4) 事業別計画(地域密着型介護老人福祉施設)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率達成、加算算定により収益を上げ、経営を意識した取り組みを行います	・目標稼働率を達成し、収益確保に努めます。 ・業務の見える化を進めながら、業務の見直しを行います。
		取組結果
		他職種の協力もありスムーズな入居に繋がりましたが長期入院が響き、目標稼働率の達成に至りませんでした。夕食時間帯業務の見直しを図ることができました。
②	地域の方々と協力体制をつくり連携を図ります	・地域、家族との連携を深める取り組みをします。
		取組結果
		広報誌の発行や面会に合わせて日頃の様子を伝え、家族との関係性を築きました。地域との連携に関しての取り組みは難しく、きっかけが作れませんでした。
③	利用者主体を浸透し、サービスの質の向上に努めます	・一人ひとりの課題解決に向けた具体的な取り組みが行えるよう、職員間のコミュニケーションを図りながら、生活の質の向上に努めます。 ・ICTを有効に活用しながら、入居者の生活の見直しを行います。
		取組結果
		利用者を主体とする考え方が職員間に浸透せず、具体的な取り組みが不十分でした。夜間の排泄支援や訪室などの見直しにはICTが活かされましたが日中の生活の見直しに活かすことができませんでした。

複合型介護施設三好園四ツ宮

(5) 事業別計画((介護予防)小規模多機能型居宅介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率達成、加算算定により収益を上げ、経営を意識した取り組みを行います	多職種と連携し稼働率100%を目指します。
		取組結果
		医療機関等と連携し、新規ご利用者の受け入れに当たりましたが、登録解除者が多く、目標稼働率には至りませんでした。
②	地域の方々と協力体制をつくり連携を図ります	ボランティアの受け入れ、地域の子供たちとの交流、地域に向けての情報発信を行います。
		取組結果
		定期的なボランティアの方が定着し、ご利用者の余暇活動が充実しました。
③	利用者主体を浸透し、サービスの質の向上に努めます	利用者のやりたい事、夢を聞き出し実現に向けて支援していきます。
		取組結果
		ご利用者の意向を聞きながら、個別の希望に沿った過ごし方を少しずつ実践しました。

(6) 事業活動上の取組み

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	11	5	16	7
延べ人数(人)	16	5	21	8

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
6月6日	食中毒防止安全衛生大会(オンライン)	3
7月9日	食事介助勉強会	11
8月20日	オムツ勉強会	7
9月27日	看取り研修会	8
11月12日	感染症研修会	9
1月20日	リスク研修 ～誤薬について～	5

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
総合防災訓練	1	1	2	6
基礎訓練	0	1	1	1
震災水害訓練	1	0	1	1
合 計	2	2	4	8

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
長岡崇徳福祉専門学校	1	0	1	0
合 計	1	0	1	0

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	ユニット	小規模	合 計
4月	1,792	744	2,536
5月	1,686	585	2,271
6月	1,670	522	2,192
7月	1,766	697	2,463
8月	1,793	640	2,433
9月	1,799	636	2,435
10月	1,811	790	2,601
11月	1,792	657	2,449
12月	1,860	791	2,651
1月	1,860	760	2,620
2月	1,664	685	2,349
3月	1,858	744	2,602
合 計	21,351	8,251	29,602

イ 食事形態内容内訳

主食	副食	常 菜	軟菜	やわらか	ムース	経管栄養	合計
常 食		1	0	0	0		1
全 粥		7	0	0	11		18
粥ムース		0	0	0	5		5
経管栄養						3	3
合 計		8	0	0	16	3	27

※令和7度 特養実入居者 27人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4月	0	2	0	2	598	99.67	
5月	9	46	0	55	565	91.13	
6月	11	30	0	41	559	93.17	
7月	0	30	0	30	590	95.16	
8月	6	15	0	21	599	96.61	
9月	0	0	0	0	600	100.00	
10月	12	0	0	12	608	98.06	
11月	2	0	0	2	598	99.67	
12月	0	0	0	0	620	100.00	
1月	0	0	0	0	620	100.00	
2月	5	0	0	5	555	99.11	
3月	0	0	0	0	620	100.00	
合 計	45	123	0	168	7,132	97.70	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		0	0
5月		1	2
6月		2	1
7月		0	0
8月		1	1
9月		0	0
10月		1	2
11月		1	0
12月		0	0
1月		0	0
2月		1	1
3月		0	0
合 計		7	7

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	6	87
長期入院	1	2
家庭復帰	0	0
施設変更	0	1
その他	0	0
合 計	7	90

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
5月25日	長期入院	病院	女	100	3,294
5月26日	死亡	施設	女	90	3,244
6月5日	死亡	施設	男	101	69
8月23日	死亡	施設	女	83	86
10月22日	死亡	施設	女	93	1,274
10月24日	死亡	施設	女	94	1,629
2月10日	死亡	施設	女	93	661
3月31日	死亡	施設	男	98	401

退居時平均年齢 ; 94.00 歳

平均在園期間 ; 1,332.25 日

※令和7年度 入居者27人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別・性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	0	0	0	5	5	94.8
女性	0	0	2	2	1	1	16	22	90.77
合計	0	0	2	2	1	1	21	27	91.51
割合	0.00%	0.00%	7.41%	7.41%	3.70%	3.70%	77.78%	100.00%	

オ 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	1	0	4	0	5	3.60	4.22	4.11
女性	0	0	1	12	9	22	4.36		
合計	0	1	1	16	9	27	4.22		
割合	0.00%	3.70%	3.70%	59.26%	33.33%	100.00%			

カ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ユニット型個室	0	1	1	16	9	27
合計	0	1	1	16	9	27

キ 入居者負担金の状況

(ア) 入居者負担額減免状況（補足給付対象者状況）

区 分		居住費	食 費	人 数	割 合
ユニット型個室	第1段階	880	300	0	0.00%
	第2段階	880	390	7	25.93%
	第3段階	1,370	650	5	18.52%
		1,370	1,360	6	22.22%
	減免なし	2,066	1,570	9	33.33%
合 計				27	100.00%

(イ) 入居者負担金

(令和8年3月末日)

負担金の額	人 数	割 合
0～10,000	0	0.00%
10,001～30,000	0	0.00%
30,001～40,000	0	0.00%
40,001～50,000	0	0.00%
50,001～60,000	3	15.00%
60,001～70,000	1	5.00%
70,001～80,000	0	0.00%
80,001～90,000	1	5.00%
90,001～100,000	2	10.00%
100,000～	13	65.00%
合 計	20	100.00%

参 考

最少金額 55,420円

最高金額 150,662円

平均金額 102,880円

② 面会の状況（オンライン面会を含む）

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	38	31	25	38	48	25	28	30	35	29	31	40	398

③ 医務の状況

ア 健康診断状況

開催月日	人 数	内 容
9月3, 10, 24日	20	X-P検査、心電図検査、血液検査

イ 医療機関への入院状況

No	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	女	十日町病院	内科	窒息性呼吸不全	27	
2	女	十日町病院	内科	経口摂取不良	78	
3	女	十日町病院	内科	低アルブミン血症	18	

ウ 医療的ケアの実施状況 (実施している部分に○印をつける)

血糖測定・インスリン注射	○	静脈内注射（点滴含む）	○	中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理	○	酸素療法	○
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	○
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）	○	経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	○	モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置	○	カテーテルの管理	○	喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
摘便	○	浣腸	○	一時的導尿	○
その他					

④ 加算の状況

日常生活継続支援加算（Ⅰ）		夜勤職員配置加算（Ⅳ）イ	
初期加算		外泊時費用加算	
科学的介護推進体制加算（Ⅱ）		生産性向上推進体制加算（Ⅱ）	
安全対策体制加算		看取り介護加算（Ⅰ）	
看護体制加算（Ⅰ）		介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）	
協力医療機関連携加算			
看取り体制	○	実績人数	3 人

⑤ 従業員の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
施設長	0.5			0.5	機能訓練指導員	0.1			0.1
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）				0.0
生活相談員	1.0			1.0	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	0.9			0.9	（うち看護師）	0.1			0.1
介護職員	6.5	1.6		8.1	介護支援専門員	0.5			0.5
（うち介護福祉士）	4.5	1.6		6.1	宿直				0.0
事務員				0.0	その他				0.0
栄養士				0.0	合計	9.5	1.7	0.0	11.2
調理員				0.0					

(2) (介護予防) 小規模多機能型居宅介護事業

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績
登録者数	男性	10	10	8	8	8	8	9	8	8	8	9	102	96
	女性	17	17	17	20	19	19	20	19	20	20	18	223	231
	合計	27	27	25	28	27	27	29	27	28	28	27	325	327
新規登録者数	1	2	1	3	0	2	2	2	0	1	1	1	16	16
登録抹消者数	3	2	0	0	4	0	0	2	0	1	2	0	14	14
通い	延べ	367	301	296	364	327	315	398	352	367	338	368	4,191	4,937
	平均	12.23	9.71	9.87	11.74	10.55	10.50	12.84	11.73	11.84	12.07	11.87	11.48	13.53
	稼働率	67.96	53.94	54.81	65.23	58.60	58.33	71.33	65.19	65.77	67.06	65.95	63.79	75.14
宿泊	延べ	186	136	107	156	147	156	181	139	188	170	188	1,932	1,895
	平均	6.20	4.39	3.57	5.03	4.74	5.20	5.84	4.63	6.06	6.07	6.06	5.29	5.19
	稼働率	68.89	48.75	39.63	55.91	52.69	57.78	64.87	51.48	67.38	67.46	67.38	58.81	57.69
訪問	延べ	256	276	282	287	255	225	312	296	237	237	263	3,191	3,233
	平均	8.53	8.90	9.40	9.26	8.23	7.50	10.06	9.87	7.65	8.46	8.48	8.74	8.86
	朝食	185	137	105	155	150	153	183	137	187	170	184	1,926	1,891
食事	昼食	352	289	286	354	318	300	377	335	355	322	350	4,020	4,783
	夕食	207	159	131	188	172	183	230	185	218	193	210	2,305	2,578
備考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													

※令和7年度実利用者 42人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	1	5	1	7	14	85.30
女性	0	0	0	2	4	9	13	28	89.60
合計	0	0	0	3	9	10	20	42	88.10
割合	0.00%	0.00%	0.00%	7.14%	21.43%	23.81%	47.62%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 介護度の状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	2	1	3	2	1	4	1	14	2.21	2.12	2.73
女性	1	2	7	7	8	2	1	28	2.07		
合計	3	3	10	9	9	6	2	42	2.12		
割合	7.14%	7.14%	23.81%	21.43%	21.43%	14.29%	4.76%	100.00%			

② 加算の状況

初期加算	認知症加算Ⅱ,Ⅳ	
総合マネジメント体制強化加算	サービス提供体制強化加算Ⅰ	
処遇改善加算Ⅰ	訪問体制強化加算	
小規模事業所加算	科学的介護推進体制加算	
看護職員配置加算Ⅱ	サービス提供体制強化加算Ⅰ	
口腔栄養加算		
看取り体制	実績人数	人

③ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.5			0.5	機能訓練指導員				0.0
生活相談員				0.0	(うち理学療法士)				0.0
看護師等	1.0			1.0	(うち作業療法士)				0.0
介護職員	9.5	1.51		11.0	(うち看護師)				0.0
(うち介護福祉士)	7.5	1.0		8.5	介護支援専門員	0.5			0.5
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他				0.0
調理員				0.0	合計	11.5	1.5	0.0	13.0

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	複合型介護施設よしだ
所在地	新潟県十日町市南鑑坂446番地1
設立年月日	平成23年5月1日
敷地面積	3,561.15㎡
建物構造	鉄骨造、合板メッキ鋼板葺3階建(耐火建築物)
延べ床面積	3,313.19㎡
施設長名	長津 信一
電話番号	025-761-7182
FAX番号	025-757-8660
E-mailアドレス	info-yoshida@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
地域密着型介護老人福祉施設	29	平成23年5月1日	1591000052	十日町市在住者
(介護予防)短期入所生活介護事業	9	平成29年4月1日	1571001187	十日町市、小千谷市、津南町
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	18	平成23年5月1日	1591000060	十日町市在住者
通所介護事業	30	平成23年5月1日	1571000940	十日町市
日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス)		平成30年4月1日		十日町市

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	目標稼働率の達成のため、空床の減少・加算算定状況の点検を行います。 加算取得の要件を満たすよう、計画的に研修を受講します。
		取組結果
		特養については、昨年度より空床数の減少で目標稼働率を達成しました。その他の事業については、達成できませんでした。 認知症介護実践者研修、安全対策体制加算対応研修会に参加しました。
②	地域とのつながりを強化します	小学校、保育園との交流を継続します。また、地域行事への参加を行います。
		取組結果
		小学校の行事の際は応援メッセージをベランダに掲示しました。小学校への挨拶運動を継続しています。 納涼会には地域の方がたくさん来園してくれました。
③	サービスの質の向上に努めます	権利侵害をしないことを意識し、人権を尊重した安心で安全なケアを行います。
		取組結果
		職員ひとり一人が接遇の目標を立て、実行しています。虐待防止委員会等で各部署から挙げた疑問点を協議・共有し、ケアの質の向上に努めました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
入居検討会議	8	8	16	16
運営推進会議	3	3	6	6
職員会議	1	0	1	1
事業会議	6	6	12	12
スタッフ会議 (各班単位、ユニット単位)	42	42	84	84
ケア会議	0	0	0	0
給食会議	6	6	12	12

② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故・苦情・身体拘束適正化委員会	6	6	12	12
高齢者虐待防止委員会	6	6	12	12
感染症対策委員会	6	6	12	12
褥瘡予防対策委員会	6	6	12	12
喀痰吸引安全委員会	6	6	12	12
安全衛生委員会	6	6	12	12
食事委員会	3	3	6	9
防災委員会	3	2	5	5
広報委員会	1	1	2	2
研修委員会	1	1	2	2
地域交流委員会	1	1	2	3
口腔ケア委員会	1	1	2	2
週休3日検討委員会	1	0	1	5
③ 検討班				
設置なし				

複合型介護施設よしだ

(4) 事業別計画(地域密着型介護老人福祉施設)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率の達成のため、空床の減少・加算算定状況の点検を行います。加算取得の要件を満たすよう、計画的に研修を受講します	・日々の健康観察や穏やかに過ごせるケア環境の整備に重点を置き、入院日数の減少や入居滞在日数の増加を図ります。 ・医療機関や居宅介護支援事業所との連携を図り、スムーズな入居体制を整えることにより目標稼働率を達成します。 ・新規加算を取得することにより安定した収益確保と安全な福祉サービスを提供します。
		取組結果
		医療機関や多職種との連携強化とケア環境の見直しに取り組み、昨年度に比べ退居不在日数や入院者が減少し、目標稼働率を達成することが出来ました。
②	小学校、保育園との交流を継続します。また、地域行事への参加を行います	・小学校や保育園と交流する機会を作ります。 ・地域の方との連携を構築し、非常災害時への対応強化に繋げていきます。また地域や施設行事等を通じて交流を深めます。 ・「暮らしの場」という考えに基づいたケア環境づくりを推進し、面会対応等を含め、生活の様子や状態報告について家族や地域の方への透明化を図ります。
		取組結果
		施設行事の地域への情報発信や学校行事への積極的な参加により、地域の方々との交流を深めることが出来ました。また地域の方と非常災害時の連携について理解を深めることが出来ました。
③	権利侵害をしないことを意識し、人権を尊重した安心で安全なケアを行います	・人権擁護の意識を持ちサービスを提供すると共に常に敬いの言葉で接し、入居者との関係性を構築します。 ・積極的な外部研修への参加及び施設内において計画的に研修会を企画し、職員の接遇マナーや個別ケア推進を含めた専門性の向上を図ります。
		取組結果
		虐待防止に向けた検討会の実施や普段のケアを振り返る機会を設け、専門性を高めるための研修会を定期的で開催しました。

複合型介護施設よしだ

(5) 事業別計画((介護予防)短期入所生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率の達成のため、空床の減少・加算算定状況の点検を行います。加算取得の要件を満たすよう、計画的に研修を受講します	・医療機関や居宅介護支援事業所との連携、受け入れ体制を整えることにより早期のサービス提供を図り、目標稼働率の達成に努めます。 ・働きやすいケア環境を整え、新規加算を取得することにより安定した収益確保と安全な福祉サービスを提供します。
		取組結果
		居宅支援事業所との連携強化を図り、またご家族からの追加利用の依頼や緊急時の受け入れ対応も含め、早期のサービス提供につなげましたが、目標稼働の達成には至りませんでした。
②	小学校、保育園との交流を継続します。また、地域行事への参加を行います	・地域の方との連携を構築し、小学校、保育園との交流や施設行事等を通じて関係性を深めます。また非常災害時の地域連携や対応の強化に繋げていきます。 ・事業所の魅力づくりを推進するとともに接遇に対する意識を高め、利用者満足度の高いサービスを目指します。また、取り組み内容を地域の方や外部機関へ情報発信します。
		取組結果
		施設行事の地域への情報発信や学校行事の積極的な参加により、地域の方々との交流を深めることができました。また地域の方と非常災害時の連携について理解を深めることが出来ました。
③	権利侵害をしないことを意識し、人権を尊重した安心で安全なケアを行います	・人権擁護や感染症予防、事故防止への意識を高め、計画的に研修会を企画し、職員の接遇マナーや専門性の向上を図ります。 ・利用者の自宅での暮らしを24時間シートに落とし込み、その人にあった暮らしやケアの実践、点検を行います。 ・生活リハビリも含めた余暇活動の提供を行い快適な住環境を実現します。
		取組結果
		接遇マナーの意識向上に向けて、虐待防止委員会を定期的開催し、意識改革を図りました。またサービス満足度アンケートを実施し、ケアの振り返りとサービスの質の点検を行いました。

複合型介護施設よしだ

(6) 事業別計画 (通所介護事業・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス))		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率の達成のため、空床の減少・加算算定状況の点検を行います。加算取得の要件を満たすよう、計画的に研修を受講します	利用者及び家族から喜ばれる魅力的な事業所を作ります。 利用のキャンセルがあった際には、積極的に振替利用を案内し稼働率の向上に努めます。 居宅事業所などと良好な関係を築き、新規獲得に向け積極的に取り組んでいきます。 加算要件を満たすように、研修会や行います。また、会議にて定期的に検討等を行って行きます。
		取組結果
		ご利用者、ご家族からの要望等を取り入れながら、過ごしやすい環境づくりや取り組みを行ってきました。スタッフ間での情報共有を密に行い、同じ対応を心掛けました。 居宅事業所向けに空き状況をお知らせしたり、ケアマネージャーと頻繁に連絡を取って良好な関係性を作り、積極的な振替利用や施設見学等を受けました。 毎月のデイ会議にて加算要件を満たす研修会や検討を行いました。
②	小学校、保育園との交流を継続します。また、地域行事への参加を行います	積極的なボランティア活動の受け入れに努めます。 小学校や保育園と交流する機会を作ります。 定期的に『よしだ通信』を発行し利用者、家族、地域の方に施設の様子を発信していきます。 地域の方と連携を築き、災害時への対応強化に繋がっていきます。
		取組結果
		運動会やマラソン大会等の応援をしました。 大正琴やよさこいの演舞、管楽器の演奏等ボランティアの方から来ていただきました。 定期的に『よしだ通信』を発行して活動を地域の方にお届けしました。
③	権利侵害をしないことを意識し、人権を尊重した安心で安全なケアを行います	丁寧な言葉遣い、ひと手間を惜しまない対応を心がけ、利用者一人ひとりの状況に合わせた対応を行います。 虐待防止、事故防止、感染症対策の意識を高め、研修やシュミレーションを行います。 権利擁護意識の向上に努めます。
		取組結果
		質の向上アンケートを行い、取り組みを検討しました。 デイ会議にて研修会を行い、職員の意識づけを行いました。 感染症のシミュレーションを行いました。

複合型介護施設よしだ

(7) 事業別計画((介護予防)認知症対応型共同生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率の達成のため、空床の減少・加算算定状況の点検を行います。加算取得の要件を満たすよう、計画的に研修を受講します	・日々の入居者の健康観察を行います。主治医、ご家族、特養看護職員と連携し、安心して過ごせる環境を整え、入院日数の減少に努めます。 ・医療機関や居宅介護支援事業所との連携を図り、入居申込者の実情を把握することで、スムーズな入居体制を構築します。
		取組結果
		入院者数は昨年に比べ減りましたが、新入居までの日数が多くなりました。事前の入居の声掛けを行い、スムーズな入居につなげていきます。
②	小学校、保育園との交流を継続します。また、地域行事への参加を行います	・施設行事だけでなく、地域行事の参加や買い物などを通じた地域交流を行います ・生活の様子を知らせる手紙や面会、運営推進会議を通じ、事業所の透明化を図ります。
		取組結果
		小学校の運動会、マラソン大会の応援や地域の神輿の休憩場所の提供等地域交流を行いました。毎月の手紙や面会時にご家族へ最近の施設生活の報告を行い、運営推進会議での内容は情報発信として送付しています。
③	権利侵害をしないことを意識し、人権を尊重した安心で安全なケアを行います	・認知症や個別ケアの理解を深め、入居者の意思や人格を尊重し、安心した生活が送れるよう支援します。 ・馴染みの関係性が入居しても続けられるよう、入居者やご家族からの聞き取りや地域との連携を行います。 ・各種研修へ積極的に参加し、認知症や権利擁護、虐待防止への理解を深めます。 ・メンタルケアのセルフケアを行い、笑顔で丁寧な言葉がけをします。
		取組結果
		認知症介護実践者研修へ職員1名が参加し、資格取得を行いました。馴染みの美容院への外出や、自宅への外出を行いました。職員のメンタルケアに関しては、毎月のユニット会議の虐待防止委員会を活用し、法人研修にも参加しました。

(8) 事業活動上の取組

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	11	10	21	14
延べ人数(人)	17	21	38	32

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
4月15日～5月15日	倫理及び法令遵守に関する研修	35
6月25日～7月31日	感染症まん延防止研修(BCP含む)	35
6月25日～7月31日	リスクマネジメント研修	37
7月7日～8月15日	身体拘束・虐待防止研修	38
8月28日～9月30日	BCP災害対応研修	34
10月30日	メンタルヘルス研修	10
10月27日～11月30日	感染症まん延防止研修(BCP含む)	25
11月17日	吐物処理・PPE脱着研修(BCP含む)	8
12月1日～12月31日	交通安全キャンペーン	24
12月16日～1月15日	リスクマネジメント研修	33
12月16日～1月15日	認知症ケア研修	32
1月30日	口腔衛生指導研修	4
2月16日～3月22日	身体拘束・虐待防止研修(身体拘束編)	23
2月16日～3月22日	身体拘束・虐待防止研修(虐待防止編)	24
2月25日	法人研究発表会	13
3月1日～10日	看取り研修	27

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
防災機器の取り扱い	1	0	1	1
備蓄食料説明会	1	0	1	1
夜間通報集合訓練	1	0	1	1
夜間想定防災訓練	1	0	1	1

非常食炊き出し訓練	1	0	1	1
煙体験訓練	0	1	1	0
総合防災訓練	0	1	1	1
エンジン発電機取り扱い訓練	0	1	1	1
豪雪時の避難机上訓練	0	1	1	1
合 計	5	4	9	8

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
十日町看護専門学校	8	0	8	8
川西中学校	4	0	4	8
合 計	12	0	12	16

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	ユニット	短期入所	通所介護	合 計
4月	2,597	664	499	3,760
5月	2,665	702	527	3,894
6月	2,554	678	529	3,761
7月	2,607	680	542	3,829
8月	2,570	622	504	3,696
9月	2,461	667	515	3,643
10月	2,678	692	542	3,912
11月	2,610	645	493	3,748
12月	2,669	665	482	3,816
1月	2,652	671	459	3,782
2月	2,358	610	439	3,407
3月	2,613	600	490	3,703
合 計	31,034	7,896	6,021	44,951

イ 食事形態内容内訳

主食 \ 副食	常 菜	軟菜	やわらか	ムース	経管栄養	合計
常 食	6	2	0	0		8
全 粥	7	7	7	1		22
粥ムース	0	0	0	2		2
経管栄養					0	0
合 計	13	9	7	3	0	32

※令和7年度特養実入居者32人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4月	0	4	0	4	866	99.54	
5月	0	8	1	9	890	99.00	
6月	0	0	0	0	870	100.00	
7月	8	3	3	14	885	98.44	
8月	13	28	0	41	858	95.44	
9月	8	40	0	48	822	94.48	
10月	0	6	0	6	893	99.33	
11月	0	0	0	0	870	100.00	
12月	0	8	0	8	891	99.11	
1月	0	14	0	14	885	98.44	
2月	13	12	0	25	787	96.92	
3月	11	13	0	24	875	97.33	
合 計	53	136	4	193	10,392	98.18	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		0	0
5月		0	0
6月		0	0
7月		1	1
8月		0	1
9月		1	0
10月		0	0
11月		0	0
12月		0	0
1月		0	0
2月		0	1
3月		1	1
合 計		3	4

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	3	110
長期入院	1	7
家庭復帰	0	0
施設変更	0	0
その他	0	0
合 計	4	117

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
7 月 12 日	死亡	施設	女	98	1,399
8 月 18 日	長期入院		女	97	262
2 月 15 日	死亡	施設	女	93	2,766
3 月 20 日	死亡	施設	女	93	1,410

退居時平均年齢 ; 95.25 歳

平均在園期間 ; 1,459.25 日

※令和7年度入居者32人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別・性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	0	0	1	2	3	91.33
女性	0	0	0	1	3	3	22	29	92.83
合計	0	0	0	1	3	4	24	32	92.69
割合	0.00%	0.00%	0.00%	3.12%	9.38%	12.50%	75.00%	100.00%	

オ 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	0	1	1	1	3	4.00	3.84	3.77
女性	0	4	1	20	4	29	3.83		
合計	0	4	2	21	5	32	3.84		
割合	0.00%	12.50%	6.25%	65.62%	15.63%	100.00%			

カ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ユニット型個室	0	1,154	1,061	6,507	1,670	10,392
合計	0	1,154	1,061	6,507	1,670	10,392

キ 入居者負担金の状況

(ア) 入居者負担額減免状況（補足給付対象者状況）

区 分		居住費	食 費	人 数	割 合
ユニット型個室	第1段階	880	300	0	0.00%
	第2段階	880	390	6	18.75%
	第3段階	1,370	650	5	15.62%
		1,370	1,360	10	31.25%
	減免なし	2,066	1,570	11	34.38%
合 計				32	100.00%

(イ) 入居者負担金

(令和8年3月末日)

負担金の額	人 数	割 合
0～10,000	0	0.00%
10,001～30,000	0	0.00%
30,001～40,000	0	0.00%
40,001～50,000	0	0.00%
50,001～60,000	6	20.69%
60,001～70,000	1	3.45%
70,001～80,000	1	3.45%
80,001～90,000	3	10.34%
90,001～100,000	0	0.00%
100,000～	18	62.07%
合 計	29	100.00%

参 考

最少金額 54,860円

最高金額 153,799円

平均金額 103,395円

② 面会の状況（オンライン面会を含む）

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	48	64	35	43	72	69	60	63	62	44	42	65	667

③ 医務の状況

ア 健康診断状況

開催月日	人 数	内 容
5 月 12 日	18	健康診断採血
5 月 16 日	11	健康診断採血
6 月 13～27 日	10	胸部レントゲン 心電図
7 月 1～29 日	8	胸部レントゲン 心電図
8 月 1 日	2	胸部レントゲン 心電図

イ 医療機関への入院状況

No	性別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	女	十日町病院	内科	消化管出血	12	
2	女	十日町病院	内科	肺炎	21	
3	女	魚沼基幹病院・十日町病院	循環器内科	左大腿骨頸部骨折、心不全	46	
4	男	十日町病院	内科	尿路感染症	10	
5	女	魚沼基幹病院	内科	脳梗塞	8	
6	女	十日町病院	内科	尿路感染症	14	
7	女	十日町病院	内科	誤嚥性肺炎	12	
8	女	十日町病院	内科	尿路感染症	13	

ウ 医療的ケアの実施状況 (実施している部分に○印をつける)

血糖測定・インスリン注射	○	静脈内注射（点滴含む）	○	中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理		酸素療法	○
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	○
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置	○	カテーテルの管理	○	喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
摘便	○	浣腸	○	一時的導尿	
その他					

④ 加算の状況

日常生活継続支援加算（Ⅱ）		看護体制加算（Ⅱ）イ	
夜勤職員配置加算（Ⅱ）イ		外泊時費用加算	
初期加算		科学的介護推進体制加算（Ⅱ）	
介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）		協力医療機関連携加算（Ⅰ）	
安全対策体制加算			
看取り体制	○	実績人数	3 人

⑤ 従業者の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
施設長	0.5			0.5	機能訓練指導員	0.2			0.2
医師	0	0.1		0.1	（うち理学療法士）				0.0
生活相談員	0.8			0.8	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	1.8			1.8	（うち看護師）	0.2			0.2
介護職員	12	2.1		14.1	介護支援専門員	0.9			0.9
（うち介護福祉士）	12.0	2.1		14.1	宿直				0.0
事務員	0.4			0.4	その他				0.0
栄養士	0.5			0.5	合計	17.1	2.2	0.0	19.3
調理員				0.0					

(2) 短期入所生活介護事業

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者	男性	10	9	11	12	11	11	9	8	10	9	10	121	150
	女性	25	26	29	27	26	30	29	24	25	23	23	316	328
	合計	35	35	40	39	37	41	38	32	35	32	33	437	478
利用日数	258	272	269	270	245	260	272	254	255	258	238	232	3,083	3,121
一日平均	8.60	8.77	8.97	8.71	7.90	8.67	8.77	8.47	8.23	8.32	8.50	7.48	8.45	8.55
稼働率	95.56	97.49	99.63	96.77	87.81	96.30	97.49	94.07	91.40	92.47	94.44	83.15	93.85	95.01
送迎者数	101	108	110	117	104	103	115	105	92	94	94	92	1,235	1,330
食事数	664	702	678	680	622	667	692	645	665	671	610	600	7,896	7,826
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													
	・個人別実利用者は、61人（男性 17 人、女性 44 人）でした。													
	・利用率は1日9床にて計算しています。													

イ 制度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用者数														
介護予防	2	3	4	5	4	4	4	4	4	3	2	2	42	45
介護	33	32	36	34	33	36	36	34	28	32	30	31	395	433
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	35	35	40	39	37	40	41	38	32	35	32	33	437	478
利用日数														
介護予防	8	11	13	15	17	16	21	16	19	19	6	5	166	223
介護	250	261	256	255	228	244	251	238	236	239	232	227	2,917	2,898
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	258	272	269	270	245	260	272	254	255	258	238	232	3,083	3,121
送迎者数														
介護予防	6	8	10	12	11	10	12	10	9	6	4	4	102	140
介護	95	100	100	105	93	93	103	95	83	88	90	88	1,133	1,190
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	101	108	110	117	104	103	115	105	92	94	94	92	1,235	1,330
食事数														
介護予防	18	25	29	33	39	38	51	38	47	50	14	11	393	523
介護	646	677	649	647	583	629	641	607	618	621	596	589	7,503	7,303
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	664	702	678	680	622	667	692	645	665	671	610	600	7,896	7,826
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													

※令和7年度実利用者61人の最終情報を基本数値としました。

ウ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	1	0	1	3	2	3	7	17	85.53
女 性	0	2	0	1	3	9	29	44	91.32
合 計	1	2	1	4	5	12	36	61	89.70
割 合	1.64%	3.28%	1.64%	6.56%	8.19%	19.67%	59.02%	100.00%	

エ 介護度別居室利用状況（実利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
ユニット型個室	1	5	10	20	17	3	4	0	60
空床利用	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合 計	1	5	10	20	17	4	4	0	61

オ 介護度別居室利用状況（延べ利用者数）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
ユニット型個室	32	134	377	918	1,250	157	209	0	3,077
空床利用	0	0	0	0	0	6	0	0	6
合 計	32	134	377	918	1,250	163	209	0	3,083

② 加算の状況

夜勤職員配置加算（Ⅱ）	送迎加算
緊急短期入所受入加算	長期利用者提供減算
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ	介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）

③ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.2			0.2	機能訓練指導員	0.2			0.2
医師		0.1		0.1	（うち理学療法士）				0.0
生活相談員	0.1			0.1	（うち作業療法士）				0.0
看護師等	0.2			0.2	（うち看護師）	0.2			0.2
介護職員	3.0	1.4		4.4	介護支援専門員				0.0
（うち介護福祉士）	2.0	0.7		2.7	宿直				0.0
事務員	0.1			0.1	その他				0.0
栄養士	0.2			0.2	合計	4.0	1.5	0.0	5.5
調理員				0.0					

(3) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4 月	26	16	0	42	498	92.22	
5 月	0	9	0	9	549	98.39	
6 月	14	30	0	44	496	91.85	
7 月	23	2	0	25	533	95.52	
8 月	33	8	1	42	516	92.47	
9 月	0	0	0	0	540	100.00	
10 月	0	8	0	8	550	98.57	
11 月	7	30	0	37	503	93.15	
12 月	20	22	0	42	516	92.47	
1 月	0	25	0	25	533	95.52	
2 月	2	16	0	18	486	96.43	
3 月	26	44	0	70	488	87.46	
合 計	151	210	1	362	6,208	94.49	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		1	0
5月		0	0
6月		1	1
7月		0	2
8月		2	0
9月		0	0
10月		0	0
11月		0	1
12月		2	1
1月		0	0
2月		0	1
3月		1	1
合 計		7	7

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	0	6
長期入院	2	14
家庭復帰	0	1
施設変更	5	34
その他	0	0
合 計	7	55

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
6 月 1 日	施設入居		男	96	1, 317
7 月 19 日	長期入院		女	97	4, 361
7 月 20 日	施設入居		女	82	992
11 月 23 日	施設入居		女	76	1, 113
12 月 11 日	長期入院		女	91	2, 207
2 月 26 日	施設入居		男	87	1, 179
3 月 24 日	施設入居		女	95	1, 364

退居時平均年齢 ; 89.14 歳

平均在籍期間 ; 1, 790.43 日

※令和7年度実利用者24人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	0	0	1	2	3	91.33
女性	0	1	0	1	4	5	10	21	89.61
合計	0	1	0	1	4	6	12	24	89.83
割合	0.00%	4.17%	0.00%	4.17%	16.67%	25.00%	49.99%	100.00%	

オ 身体状況

(ア) 介護度の状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	1	0	1	0	1	3	3.00	2.79	2.24
女性	0	3	7	5	4	2	21	2.76		
合計	0	4	7	6	4	3	24	2.79		
割合	0.00%	16.67%	29.16%	25.00%	16.67%	12.50%	100.00%			

(イ) 介護度別利用者状況（延べ利用者数）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	今年度	昨年度
男性	0	365	0	309	0	32	706	3,132	2,885
女性	0	800	2,517	1,527	547	111	5,502		
合計	0	1,165	2,517	1,836	547	143	6,208		
割合	0.00%	18.77%	40.54%	29.57%	8.81%	2.30%	100.00%		

③ 家族等に関する事項

面会の状況

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	7	17	18	8	24	19	19	22	19	34	11	20	218

④ 医務の状況

ア 医療機関への入院状況

No	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	男	十日町病院	内科	尿路感染症	17	
2	女	十日町病院	内科	心不全	40	
3	女	十日町病院	内科	腸憩室出血	8	
4	女	十日町病院	内科	肺炎	49	
5	男	十日町病院	内科	肺炎	36	
6	女	十日町病院	内科	敗血症	18	
7	女	十日町病院	整形	左大腿骨転子部骨折	19	
8	女	十日町病院	整形	右大腿骨頸部骨折	23	

イ 医療的ケアの実施状況

血糖測定・インスリン注射		静脈内注射（点滴含む）		中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理		酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置		カテーテルの管理	○	喀痰吸引	○
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）		服薬管理（注射を除く）	
摘便		浣腸	○	一時的導尿	
その他					

⑤ 加算の状況

初期加算	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ			
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	入院時費用			
看取り体制		実績人数		人

⑥ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.5			0.5	機能訓練指導員				0.0
生活相談員				0.0	（うち理学療法士）				0.0
看護師等				0.0	（うち作業療法士）				0.0
介護職員	10.5			10.5	（うち看護師）				0.0
（うち介護福祉士）	10.5			10.5	計画作成担当	1.0			1.0
事務員	0.2			0.2	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他		0.3		0.3
調理員				0.0	合計	12.2	0.3	0.0	12.5

(3) 通所介護事業

日常生活支援総合事業（通所介護相当サービス）

◆ 通常規模型

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

(ア) 介護給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	25	27	352	364
実利用人数	61	60	57	58	54	53	56	53	50	50	52	55		
延べ利用人数	419	449	437	450	420	429	451	412	392	389	369	407	5,024	5,224
一日平均	13.97	14.48	14.57	14.52	13.55	14.30	14.55	13.73	12.65	15.56	14.76	15.07	14.27	14.35
基本サービス	419	449	437	450	420	429	451	412	392	389	369	407	5,024	5,224
入 浴	376	395	391	388	381	389	409	350	336	335	320	348	4,418	4,822
食 事	417	447	437	450	420	429	451	412	392	389	369	407	5,020	5,187
送迎者数	830	891	867	885	832	854	896	814	778	775	737	813	9,972	10,248

(イ) 通所介護相当サービス（日常生活支援総合事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	25	27	352	364
実利用人数	15	15	15	14	14	14	15	15	17	14	12	16		
延べ利用人数	82	80	92	92	84	86	91	81	90	70	70	83	1001	1,277
一日平均	2.73	2.58	3.07	2.97	2.71	2.87	2.94	2.70	2.90	2.80	2.80	3.07	2.84	3.51
基本サービス	82	80	92	92	84	86	91	81	90	70	70	83	1001	1,277
入 浴	82	78	92	91	84	86	91	80	88	70	70	82	994	1,164
食 事	82	80	92	92	84	86	91	81	90	70	70	83	1001	1,277
送迎者数	164	158	183	184	168	172	182	162	180	140	139	166	1,998	2,547

(ウ) 身障デイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	25	27	352	364
実利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
延べ利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0
基本サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入 浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食 事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(エ) 全 体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	25	27	352	364
実利用人数	76	75	72	72	68	67	71	68	67	64	64	71		
延べ利用人数	501	529	529	542	504	515	542	493	482	459	439	490	6,025	6,501
一日平均	16.70	17.06	17.63	17.48	16.26	17.17	17.48	16.43	15.55	18.36	17.56	18.15	17.12	17.86
稼働率	55.67	56.88	58.78	58.28	54.19	57.22	58.28	54.78	51.83	61.20	58.53	60.49	57.05	59.53
基本サービス	501	529	529	542	504	515	542	493	482	459	439	490	6,025	6,501
入 浴	458	473	483	479	465	475	500	430	424	405	390	430	5,412	5,986
食 事	499	527	529	542	504	515	542	493	482	459	439	490	6,021	6,464
送迎者数	994	1,049	1,050	1,069	1,000	1,026	1,078	976	958	915	876	979	11,970	12,795

※事業日数＝試行的な休業日等を除く、実際にサービス提供した日数

※令和7年度実利用者105人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	1	1	2	4	5	8	16	37	86.08
女 性	0	1	3	5	14	14	31	68	89.77
合 計	1	2	5	9	19	22	47	105	88.65
割 合	0.95%	1.90%	4.76%	8.57%	18.10%	20.95%	44.77%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	4	2	11	9	7	4	0	0	37
女 性	3	13	19	9	16	5	3	0	68
合 計	7	15	30	18	23	9	3	0	105
割 合	6.67%	14.29%	28.57%	17.14%	21.90%	8.57%	2.86%	0.00%	100.00%

(イ) 介護度別利用者状況 (延べ利用者数)

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	28	219	500	486	372	207	0	0	1,812
女 性	106	648	1260	727	1043	303	126	0	4,213
合 計	134	867	1,760	1,213	1,415	510	126	0	6,025
割 合	2.22%	14.39%	29.22%	20.13%	23.49%	8.46%	2.09%	0.00%	100.00%

② 加算の状況

入浴介助加算 (I)	中重度者ケア体制加算
個別機能訓練加算 (I) イ	認知症加算
サービス提供体制強化加算 (I)	介護職員等処遇改善加算 (I)
科学的介護推進体制加算	

③ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.3	0.0	0	0.3	機能訓練指導員	0.9	0.7	0	1.6
生活相談員	1.4	0.0	0	1.4	(うち理学療法士)	0.0	0.0	0	0.0
看護師等	0.0	1.1	0	1.1	(うち作業療法士)	0.9	0.0	0	0.9
介護職員	2.1	2.9	0	5.0	(うち看護師)	0.0	0.7	0	0.7
(うち介護福祉士)	2.1	2.8	0	4.9	介護支援専門員	0.0	0.0	0	0.0
事務員	0.3	0.0	0	0.3	宿直	0.0	0.0	0	0.0
栄養士	0.2	0.0	0	0.2	その他	0.0	0.0	0	0.0
調理員	0.0	0.0	0	0.0	合計	0.0	0.0	0.0	9.9

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	ケアハウスみよし台
所在地	新潟県十日町市下条3丁目496番地
設立年月日	平成14年4月1日
敷地面積	4,464.22㎡
建物構造	鉄骨造4階建
延べ床面積	2,129.65㎡
施設長名	西野 恵行
電話番号	025-750-3344
FAX番号	025-756-2113
E-mailアドレス	info-miyoshidai@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
軽費老人ホーム (ケアハウス)	30	平成14年4月1日		

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	目標稼働率の達成による収益確保に努めます。
		取組結果
		入居と退居に係る連絡調整を行いました。空室が年間7日間あり目標稼働率100%には至りませんでした。
②	地域とのつながりを強化します	感染症関係で希薄となってしまった地域とのつながりを再構築する取り組みを行います。
		取組結果
		外部ボランティアによる交流を行いました。また、三好園と合同で地域イベントや学校・こども園行事へ参加しました。

③	サービスの質の向上に努めます	入居者一人ひとり合わせた安心・安全な暮らしの場を提供します。
		取組結果
		一人ひとりの生活ニーズを知るための取り組みとして、生活健康調査を始めました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
運営懇談会	6	6	12	12
職員会議	6	6	12	11
入居検討会議	2	1	3	3
給食会議	6	6	12	12
② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故・苦情対策委員会	6	6	12	11
身体的拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	6	6	12	9
感染症対策委員会	6	6	12	10
安全衛生委員会	6	6	12	11
③ 検討班				
設置なし				

ケアハウスみよし台

(4) 事業別計画(軽費老人ホーム)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標稼働率の達成による収益確保に努めます	・施設の情報発信に力を入れ、入居希望者の確保に努めます。 ・入居申込者の現況確認を行い、滞りのない入居調整へつなげます。 ・法人内サービス事業所との連携機能を構築し、ケアハウスでの生活継続につなげます。
		取組結果
		・施設情報の発信は進みませんでしたが、入居申し込みや希望者には面談や施設の見学の時間を作り、ケアハウスを知っていただけるような取り組みを行いました。 ・ケアハウスでの生活が継続できるように、包括支援センター、居宅介護支援事業所と相談を行いながら、在宅サービス利用につなげています。
②	感染症関係で希薄となってしまった地域とのつながりを再構築する取り組みを行います	・地域関係者とのネットワークづくりを行い協力関係を築きます。 ・ボランティア活動の積極的な受け入れを行い、開かれた施設づくりに努めます。 ・地域包括支援センターと連携し介護予防教室を開催します。
		取組結果
		・地域とのネットワークづくりについては進んでいない状況ですが、その中で地域行事に三好園と合同で参加することができました。 ・ボランティアの受け入れを継続的に呼びかけました。 ・アクティげじょうと協力し、介護予防の体操教室を行っています。
③	入居者一人ひとり合わせた安心・安全な暮らしの場を提供します	・生活、健康調査や相談内容を基にケース検討会議を開催し、個別の生活ニーズに対応します。 ・アクティビティ活動やくもん学習療法の実施方法を見直し、より効果的な介護予防、認知症予防活動に取り組みます。 ・特に介護予防に関係する研修会へ積極的に参加し、専門性を高めます。
		取組結果
		・個別の生活ニーズを知るために生活健康調査を始めました。 ・定期的な日曜日の体操教室、くもん学習療法(2名参加)に加え木曜日にボッチャ教室(月3～4回ほど)を開催しました。体を動かす機会、声を出したり、考える機会を通じ介護予防、認知症予防の取り組みを行いました。

(5) 事業活動上の取組

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	2	2	4	2
延べ人数(人)	6	9	15	16

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
6月27日	個人防護具の着脱訓練	4
12月25日	原子力災害	4

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
防災機器取り扱い訓練	2	0	2	1
避難訓練・通報訓練	2	4	6	6
消火訓練	2	0	2	3
総合防災訓練	1	0	1	1
震災訓練	0	2	2	1
合 計	7	6	13	12

⑥ 実習生受け入れ

今年度の報告事項はありませんでした。

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	ケアハウス	ケアハウス家族	合 計
4月	2,353	81	2,434
5月	2,452	80	2,532
6月	2,390	76	2,466
7月	2,567	2	2,569
8月	2,475	30	2,505
9月	2,272	61	2,333
10月	2,406	92	2,498
11月	2,412	88	2,500
12月	2,462	91	2,553
1月	2,426	91	2,517
2月	2,233	80	2,313
3月	2,480	89	2,569
合 計	28,928	861	29,789

イ 給食形態内容内訳

主食 \ 副食	常 菜	合 計
常 食	24	24
全 粥	10	10
合 計	34	34

※令和7年度入居者34人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 軽費老人ホーム事業（ケアハウス）

① 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
	4 月	0	0
	5 月	0	1
	6 月	1	1
	7 月	1	0
	8 月	0	0
	9 月	0	1
	10 月	2	1
	11 月	0	0
	12 月	0	0
	1 月	0	0
	2 月	0	0
	3 月	0	1
	合 計	4	5

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	2	23
長期入院	0	10
家庭復帰	0	5
施設変更	3	45
その他	0	4
合 計	5	87

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	性別	年齢	在籍日数
5 月 24 日	施設変更	女	81	909
6 月 30 日	施設変更	女	94	1,872
9 月 30 日	死亡	男	90	750
10 月 19 日	死亡	女	90	475
3 月 31 日	施設変更	女	95	5,933

退居時平均年齢 ; 90.00 歳

平均在園期間 ; 1,987.80 日

※ 令和7年度入居者34人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	0	4	2	7	13	87.77
女性	0	1	1	2	5	3	9	21	86.05
合計	0	1	1	2	9	5	16	34	86.74
割合	0.00%	2.94%	2.94%	5.88%	26.47%	14.71%	47.06%	100.00%	

オ 入居前居住地

市町村	区 分	男 性	女 性	合 計	割 合
十日町市		13	20	33	97.06%
津南町		0	0	0	0.00%
その他（県内）		0	0	0	0.00%
その他（県外）		0	1	1	2.94%
合 計		13	21	34	100.00%

カ 介護保険状況

（ア）介護保険認定状況

	認定なし	介護保険認定者							合 計
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
男 性	4	3	1	2	3	0	0	0	13
女 性	7	3	4	5	1	1	0	0	21
合 計	11	6	5	7	4	1	0	0	34
割 合	32.35%	17.65%	14.71%	20.59%	11.76%	2.94%	0.00%	0.00%	100.00%

（イ）介護保険等サービス利用状況

	サービス利用者					合 計
	利用なし	訪問介護	通所介護	訪問看護	民間サービス	
男 性	2	5	6	3	0	16
女 性	0	7	10	2	3	22
合 計	2	12	16	5	3	38

※重複利用サービスあり

キ 入居者負担金の状況

前年の年間収入（円）			月額納付額（円）				該当者数（人）	
			事務費	生活費	管理費	合 計	本年	前年
1	～1,500,000	夫婦	7,000	45,652	23,000	75,652	2	2
		単身	10,000	45,652	23,000	78,652	14	12
2	1,500,001～1,600,000	夫婦	13,000	45,652	23,000	81,652	2	2
		単身	13,000	45,652	23,000	81,652	4	3
3	1,600,001～1,700,000	単身	16,000	45,652	23,000	84,652	4	4
4	1,700,001～1,800,000		19,000	45,652	23,000	87,652	1	1
5	1,800,001～1,900,000		22,000	45,652	23,000	90,652	1	1
6	1,900,001～2,000,000		25,000	45,652	23,000	93,652	0	0
7	2,000,001～2,100,000		30,000	45,652	23,000	98,652	3	1
8	2,100,001～2,200,000		35,000	45,652	23,000	103,652	0	2
9	2,200,001～2,300,000		40,000	45,652	23,000	108,652	2	0
10	2,300,001～2,400,000		45,000	45,652	23,000	113,652	0	1
11	2,400,001～2,500,000		50,000	45,652	23,000	118,652	1	0
12	2,500,001～2,600,000		57,000	45,652	23,000	125,652	0	0

13	2,600,001～2,700,000		64,000	45,652	23,000	132,652	0	0
14	2,700,001～2,800,000		71,000	45,652	23,000	139,652	0	0
15	2,800,001～2,900,000		78,000	45,652	23,000	146,652	0	0
16	2,900,001～3,000,000		85,000	45,652	23,000	153,652	0	0
17	3,000,000～		86,900	45,652	23,000	155,552	0	1
合 計							34	30

② 医療機関への入院状況

N o	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日数	備 考
1	男	山口医院	内科	腰部打撲	10	
2	女	山口医院	内科	肺炎	13	
3	女	山口医院	内科	肝機能障害	8	
4	女	魚沼基幹病院	眼科	白内障手術	2	
5	女	魚沼基幹病院	内科	白内障手術	2	
6	女	山口医院	内科	無呼吸症候群検査入院	1	
7	男	山口医院	内科	誤嚥性肺炎	30	十日町病院転院
8	女	山口医院	内科	無痛性心筋梗塞	12	
9	女	山口医院	内科	腸閉塞	5	
10	男	山口医院	内科	心不全	14	
11	女	山口医院	内科	気管支炎	14	
12	女	山口医院	内科	腸閉塞	4	
13	女	十日町病院	整形外科	骨盤骨折	64	
14	女	山口医院	内科	慢性気管支炎	4	
15	女	山口医院	内科	腸閉塞	7	
16	男	十日町病院	整形外科	右大腿骨転子部骨折	44	
17	男	十日町病院	整形外科	脳震盪	1	
18	女	魚沼基幹病院	脳神経内科	ラクナ梗塞	21	
19	女	立川総合病院	泌尿器科	膀胱がん手術	9	

③ 従業員の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合 計
施設長	1.0			1.0
生活相談員	1.0			1.0
介護職員	2.0			2.0
(うち介護福祉士)	2.0			2.0
事務員				0.0
宿直		0.7	0.3	1.0
その他				0.0
合計	4.0	0.7	0.3	5.0

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	ヘルパーステーション十日町
所在地	新潟県十日町市山野田370番地1
設立年月日	平成25年10月1日
敷地面積	1,356.00㎡
建物構造	木造合金メッキ鋼板葺平屋建
延べ床面積	63.95㎡
施設長名	宮澤 まゆみ
電話番号	025-755-5971
FAX番号	025-755-5972
E-mailアドレス	info-helper@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業			
事業名	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
訪問介護事業	平成6年4月1日	1571000478	十日町市 小千谷市
日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)	平成30年4月1日	1571000478	十日町市
居宅介護事業	平成20年8月1日	1511000190	十日町市
重度訪問介護事業	平成20年8月1日	1511000190	十日町市

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	目標回数の達成とサービス内容の見直し等を行い、収益の確保を目指します。
		取組結果
		訪問の受け入れ可能状況を居宅介護支援事業所に発信を行い、新規利用者の獲得に努めました。また利用者の状況の変化に合わせた追加訪問も可能な限り受けました。

②	地域とのつながりを強化します	地域活動へ参加し、地域の方と交流する機会を設けます。
		取組結果
		玄関先に立ち寄っていただけるよう事業所内で検討し、環境づくりに力を入れました。
③	サービスの質の向上に努めます	研修やセルフチェックを行い、サービスの質を高めます。
		取組結果
		施設内研修に限らず、研修予定等の情報を発信し、他分野も含め研修の機会を多く提供し、各自のスキルアップに努めました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
職員会議	1	0	1	0
事業会議	6	6	12	6
スタッフ会議	24	24	48	24
② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
身体的拘束適正化・虐待防止委員会	1	2	3	3
感染症対策委員会	2	1	3	3
③ 検討班				
設置なし				

(4) 事業別計画(訪問介護事業・居宅介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	目標回数の達成とサービス内容の見直し等を行い、収益の確保を目指します。	訪問介護事業は目標回数600回、居宅介護事業は目標回数120回(移動支援は4回)を常に意識し、訪問時のサービス内容の見直しを定期的に行い、必要と思われるサービス内容を関係機関へ情報提供し、サービス単価や時間・回数等の増加を目指します。
		取組結果
		目標回数の達成はできませんでしたが、訪問介護事業は新規の獲得に加え、他職種と訪問内容の見直しをすることで訪問回数の増加へ繋がったケースが多くあり、また居宅介護事業はニーズに合わせた対応や関係者への発信ができました。
②	地域活動へ参加し、地域の方と交流する機会を設けます。	地域の情報を得て、必要に応じて地域活動へ参加し、また法人開催の行事などを積極的に発信し、事業所を知ってもらう機会を設けます。
		取組結果
		毎年継続している月に1回地域のゴミ拾いの継続と困りごとの発信等で地域の方とコミュニケーションの場が増えました。また障害事業と合同で消火訓練を行い、交流の場を設けることができました。
③	研修やセルフチェックを行い、サービスの質を高めます。	外部研修を含め積極的な研修参加を行い、高齢者や障害者ケアの知識や技術をより深め、サービスの質を高めます。
		取組結果
		ミーティング研修では、以前と違う方法で動画視聴を多く取り入れ、皆で考えを共有し、サービスへ繋げられるよう振り返りを行いました。

(5) 事業活動上の取組

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
4月15、20日	法令遵守について	12
5月14、20日	メンタルヘルスについて	12
6月17、25日	食中毒について	12
7月9、15日	熱中症について	12
8月19、20日	障がい者支援について	12
9月17、23日	接遇について	12
10月7日、22日	口腔ケアについて	12
11月18日、19日	感染症について	12
12月23日、24日	冬の運転について	12
1月20日、2月11日	薬について	12
2月17日、18日	虐待・不適切ケア防止について	12
3月24日、25日	個人情報保護について	12

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
防災訓練(合同消火訓練))	0	1	1	0
災害時緊急連絡訓練	0	1	1	1
合 計	0	2	2	1

⑥ 実習生受け入れ

今年度の報告事項はありませんでした。

○事業別報告

(1) 訪問介護事業
日常生活支援総合事業
(訪問介護相当サービス)

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用 者 状 況	介護給付	40	41	39	42	44	43	44	46	47	46	49	49	530	549
	自立支援 訪問介護 相当サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	51	53	52	55	58	55	55	58	59	58	62	60	676	682
	身体介護型	306	256	251	246	304	347	354	293	326	329	322	323	3,657	4,303
	夜間・早朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	深 夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体生活型	68	59	66	82	68	60	65	56	67	71	77	83	822	842
	夜間・早朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	深 夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活援助型	41	21	10	11	8	11	8	8	6	0	2	2	128	246
	夜間・早朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問介護相当サービス	48	51	59	65	53	50	52	49	60	63	60	54	664	627
	合 計	463	387	386	404	433	468	479	406	459	463	461	462	5,271	6,018
	身体介護型	247:24	197:14	189:19	190:54	236:56	271:43	267:36	231:07	252:34	257:01	248:38	270:37	2,861:03	3,361:51
	夜間・早朝	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	深 夜	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	身体生活型	86:22	65:01	71:54	88:38	72:22	66:00	69:25	63:04	76:53	82:49	93:13	100:37	936:18	1,025:58
	夜間・早朝	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	深 夜	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	生活援助型	31:19	16:39	9:50	10:49	7:52	10:49	7:52	7:52	5:54	0:00	1:58	1:58	112:52	211:56
	夜間・早朝	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	自立支援	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	訪問介護相当サービス	47:12	50:09	58:01	63:55	52:07	49:10	51:08	48:11	59:00	61:57	59:00	53:06	652:56	616:03
	合 計	412:17	329:03	329:04	354:16	369:17	397:42	396:01	350:14	394:21	401:47	402:49	426:18	4,563:09	5,215:48

※令和7年度実利用者86名の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

		65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計
介護保険	男性	0	1	3	1	3	6	6	20
	女性	0	1	1	5	11	18	17	53
自立型	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護相	男性	0	0	0	1	0	3	0	4
	女性	0	1	1	1	2	1	3	9
合 計		0	3	5	8	16	28	26	86
割 合		0.00%	3.49%	5.81%	9.30%	18.60%	32.57%	30.23%	100.00%

ウ 家族構成状況

		独居世帯	夫婦のみ	子供夫婦同居	未婚の子同居(配偶者有)	未婚の子同居(配偶者無)	その他	合 計
人 数		34	19	13	5	10	5	86
割 合		39.54%	22.09%	15.12%	5.81%	11.63%	5.81%	100.00%

エ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況

		自 立	訪問相当要支援1	訪問相当要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男 性		0	1	3	7	7	4	2	0	24
女 性		0	4	6	11	17	14	7	3	62
合 計		0	5	9	18	24	18	9	3	86
割 合		0.00%	5.81%	10.47%	20.93%	27.90%	20.93%	10.47%	3.49%	100.00%

② サービス提供回数（時間・回数別）

(ア) 要介護

	身体介護				生活援助		通院等 昇降介助
	20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上	20分以上 45分未満	45分以上	
延べサービス提供回数	0	2,441	1,793	249	725	225	0

(イ) 要支援

	訪問型サービス費						短時間
	11 (週1回程度)	11日割 (週1回程度)	12週 (2回程度)	12日割 (週2回程度)	13(週2回を 超える程度)	13日割(週2回 を超える程度)	
延べ利用者数(人)	15	3	5	1	0	0	
延べ利用回数(回)	414	6	242	7	0	0	

③ 加算の状況

初回加算	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
特定事業所加算（Ⅱ）	

④ 従業者の常勤換算状況（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.5			0.5
訪問介護員	4.5	2.1		6.6
合計	5.0	2.1	0.0	7.1

(2) 居宅介護（重度訪問介護）等事業・地域生活支援事業（障害者等移動支援）

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利用 者 状 況	居宅介護	18	17	16	14	13	15	13	14	14	14	14	14	176	201
	地域生活支援	4	3	3	5	5	4	5	5	3	3	6	5	53	45
	合 計	20	20	19	20	19	19	19	19	19	19	20	19	231	246
	身体介護	82	85	75	78	71	67	74	69	77	70	72	77	897	1,046
派遣 回 数	家事援助等	27	25	29	28	25	26	27	25	29	24	23	26	314	369
	地域生活支援	4	3	3	5	5	4	5	5	3	3	6	5	53	45
	合 計	113	113	107	111	101	97	106	99	109	99	101	108	1,264	1,460
	身体介護	86:00	88:30	72:00	79:00	71:30	70:00	75:30	68:30	77:00	70:00	74:30	80:00	912:30	1,142:30
派遣 時 間	家事援助等	21:00	17:30	21:00	21:00	18:30	20:30	19:30	18:30	21:00	17:30	17:00	20:30	233:30	293:00
	地域生活支援	9:00	6:30	10:30	10:00	10:00	9:30	10:00	10:00	6:30	10:00	13:30	11:00	116:30	82:30
	合 計	116:00	112:30	103:30	110:00	100:00	100:00	105:00	97:00	104:30	97:30	105:00	111:30	1,262:30	1,518:00

※令和7年度実利用者23名の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合 計	平均年齢	
居宅介護	男	0	0	0	1	1	2	3	7	60.10	57.41
	女	0	0	2	1	2	3	2	10	55.50	
地域生活支援	男	0	0	1	1	1	1	1	5	53.80	50.70
	女	0	0	1	0	0	0	0	1	35.00	
合 計		0	0	4	3	4	6	6	23		
		0.00%	0.00%	17.39%	13.04%	17.39%	26.09%	26.09%	100.00%		

ウ 身体状況

(ア) 障害支援区分状況

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
居宅介護	男	0	1	5	1	0	0	0	0	7
	女	0	0	6	2	0	0	2	0	10
地域生活支援	男	0	0	1	1	2	1	0	0	5
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合 計		0	1	12	4	2	2	2	0	23
		0.00%	4.35%	52.16%	17.39%	8.70%	8.70%	8.70%	0.00%	100.00%

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	ケアホームうえの
所在地	新潟県十日町市上野甲82番地1
設立年月日	平成28年7月1日
敷地面積	2,068㎡
建物構造	木造平屋
延べ床面積	815.48㎡
施設長名	飯塚 敦子
電話番号	025-755-5760
FAX番号	025-768-2331
E-mailアドレス	info-ueno@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業	登録 25 通い 15 泊り 9	平成28年7月1日	1591000110	介護保険事業計画に定められた生活圏域
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	9	平成28年7月1日	1591000128	十日町市

(2) 重点目標		
高齢事業部重点目標		事業所重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	事業所独自の強みや魅力を様々な媒体を通してアピールし、登録者や入居者の獲得に努めます。
		取組結果
		ホームページや回覧板を通じた周知により認知度が向上し、施設見学の問い合わせが増加しました。効果を実感しており、登録者・入居者の確保につながりました。
		地域の高齢者やその家族とのコミュニケーションを大切にして生の声を直接聞く機会を作ります。

②	地域とのつながりを強化します	取組結果
		地域催事や清掃活動への参加、神輿の休憩所提供、集落内商店での買い出し、また毎月の高齢者サロンを通じ、地域の一員として認知されました。有事の際に頼り頼られる関係を構築しました。
③	サービスの質の向上に努めます	サービスの質向上委員会を立ち上げ、理念や運営方針の理解を図り、質の高いサービスを提供します。
		取組結果
		委員会にて理念と方針の理解を深めました。ICTを活用した家族連絡ツールの導入や、会議録のペーパーレス化、音声入力機能による記録改善で業務効率を向上させ、その時間を利用者ケアに還元しました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
グループホーム入居検討会議	2	2	4	4
小規模多機能連絡会	1	1	2	2
運営推進会議	3	3	6	6
職員会議	1	1	2	2
事業会議	6	6	12	12
スタッフ会議 (各事業単位)	6	6	12	12
	6	6	12	12
② 委員会				
委員会				前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会 苦情対策委員会	6	6	12	12
身体的拘束適正化・ 高齢者虐待防止委員会	2	3	5	9
感染症対策委員会	1	2	3	8
食事委員会	6	6	12	12
防災委員会	3	3	6	7

広報委員会	2	2	4	5
サービスの質向上委員会	2	3	5	4
研修委員会	1	0	1	4
地域交流委員会	5	3	8	5
③ 検討班				
検討班名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
ひやりはっと検討会	3	3	6	5

(4) 事業別計画((介護予防)小規模多機能型居宅介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	事業所独自の強みや魅力を様々な媒体を通してアピールし、登録者や入居者の獲得に努めます。	平常時から関係機関に情報を提供し、スムーズな新規登録に繋がります。空床期間を短縮することで安定した収益の確保をします。
		取組結果
		関係機関へ情報発信し登録者数の確保、空床期間の短縮に努め、前年度より登録者数は向上しました。一方、入院される方も多く、月によって通い、泊りの稼働率が低下しました。
②	地域の高齢者やその家族とのコミュニケーションを大切にして生の声を直接聞く機会を作ります。	地域サロンや老人クラブ等との交流を促進し、利用者の生活の活性化を図ります。
		取組結果
		季節ごとの行事や計画を実施し、利用者の生活の活性化を図りました。また業務改善を行い、空いた時間を利用し積極的に地域の行事や催しに出掛けました。
③	サービスの質向上委員会を立ち上げ、理念や運営方針の理解を図り、質の高いサービスを提供します。	研修や委員会を通じてケアの標準化を図り、資質向上、サービスの質の向上に努めます。
		取組結果
		家族との連絡ツールであるヒトメコネクトや、記録ツールのすぐ録、ナレフルチャット等のICTを導入し活用することで職員の業務負担への軽減や業務の効率化を図りました。また生産性向上委員会を立ち上げ、サービスの質確保の為、現状を把握し解決に向けて取り組みました。

(5) 事業別計画((介護予防)認知症対応型共同生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	事業所独自の強みや魅力を様々な媒体を通してアピールし、登録者や入居者の獲得に努めます。	入居者の健康状態の安定と転倒事故の防止に努め、入院による空床日数を減らします。
		取組結果
		4月、10月に心不全での入院があり、空床期間が長くなりました。1月と3月に特養入居による退居がありましたが、関係機関と連携し、スムーズに新規入居に繋げることが出来ました。
②	地域の高齢者やその家族とのコミュニケーションを大切にして生の声を直接聞く機会を作ります。	地域サロンに参加したり、集落内の商店へ日々の食材の買い物に出かけ、なじみの関係性を作ります。
		取組結果
		下期は降雪の影響で地域の商店への買い物の機会が少なくなりましたが、地域サロンの参加や、地区文化祭へ作品を出品する等、地域住民の一員として交流しました。
③	サービスの質向上委員会を立ち上げ、理念や運営方針の理解を図り、質の高いサービスを提供します。	サービスの質向上委員会にて業務改善策の立案と実施状況の確認をします。
		取組結果
		業務改善の結果、ICT活用により家族連絡や議事録作成が効率化され、情報共有が円滑となりました。創出された時間を活用し職員と利用者が協働する生活作業や余暇活動が充実し、生活の質と支援の質の向上につながりました。

(6) 事業活動上の取組

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
5月12日	感染症研修 PPE着脱演習	16
5月10日	虐待防止セルフチェック①	17
5月26日	安全運転講習 リフト操作	13
6月25日	衛生感染症 食中毒予防	18
7月8日	感染症研修 BCP訓練 発熱編	18
8月5日	緊急時対応 心肺蘇生 救急要請	18
9月9日	緊急時対応 誤嚥窒息対応及び吸引器の使い方	18
10月7日	虐待防止研修 新潟県高齢者虐待防止研修復命	17
11月4日	身体拘束スピーチロックの防止	17
11月18日	権利擁護	17
12月2日	感染症研修 PPE着脱演習	18
12月16日	感染症 BCP訓練 胃腸炎編	18
1月13日	緊急時対応 入浴時の著変、事故	18
1月26日	認知症ケア研修	16
2月28日	虐待防止セルフチェック②	18
3月6日	接遇マナー	18
合計		275

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
総合防災訓練	1	1	2	2
消火訓練	1	1	2	2
防災教育・機器点検	1	0	1	1
災害BCP訓練	1	0	1	1
原子力災害訓練	0	1	1	1
合 計	2	3	5	5

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
川西中学校	3	4	7	5
合 計	3	4	7	5

⑦ 食事の状況

ア 食数

小規模			
4月	721	10月	678
5月	692	11月	698
6月	726	12月	666
7月	763	1月	677
8月	617	2月	602
9月	702	3月	673
上半期計	4, 221	下半期計	3, 994
合計			8, 215

(2) (介護予防) 小規模多機能型居宅介護事業

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
登 録 者 数	男性	8	9	10	10	11	10	10	10	9	9	8	114	85
	女性	15	15	15	15	14	15	15	15	15	16	17	182	198
	合計	23	24	25	25	25	25	25	25	24	25	25	296	283
新規登録者数	1	1	2	0	0	1	2	1	0	0	1	1	10	7
登録抹消者数	0	1	0	0	1	2	1	0	1	0	1	0	7	8
通 い	延べ	369	375	393	417	363	372	383	374	359	328	364	4,472	4,523
	平均	12.30	12.10	13.10	13.45	11.71	12.00	12.77	12.06	11.58	11.71	11.74	12.25	12.39
	稼働率	82.00	80.65	87.33	89.68	78.06	80.00	85.11	80.43	77.20	78.10	78.28	81.68	82.61
宿 泊	延べ	173	162	167	178	134	143	146	138	162	133	154	1,846	2,016
	平均	5.77	5.23	5.57	5.74	4.32	4.61	4.87	4.45	5.23	4.75	4.97	5.06	5.52
	稼働率	64.07	58.06	61.85	63.80	48.03	51.25	54.07	49.46	58.06	52.78	55.20	56.20	56.30
訪 問	延べ	256	269	282	307	296	275	280	291	249	216	242	3,239	3,270
	平均	8.53	8.68	9.40	9.90	9.55	8.87	9.33	9.39	8.03	7.71	7.81	8.87	8.96
食 事	朝食	179	170	171	179	136	143	147	137	160	135	152	1,868	2,090
	昼食	363	355	379	397	339	347	359	353	339	314	345	4,250	4,390
	夕食	179	167	176	187	142	188	192	176	178	153	176	2,097	2,233
備 考	・利用者の数値は各月ごとにまとめたものであり、月をまたいで利用された方は双方の月で計算されています。													

※令和7年度実利用者32人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	3	2	3	3	11	84.82
女性	0	0	0	2	2	9	8	21	87.50
合計	0	0	0	5	4	12	11	32	86.41
割合	0.00%	0.00%	0.00%	15.62%	12.50%	37.50%	34.38%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 介護度の状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	0	6	2	2	1	0	11	1.82	1.81	2.27
女性	2	3	5	3	5	3	0	21	1.81		
合計	2	3	11	5	7	4	0	32	1.81		
割合	6.25%	9.38%	34.38%	15.63%	21.86%	12.50%	0.00%	100.00%			

② 加算の状況

初期加算	認知症加算Ⅱ,Ⅳ	
総合マネジメント体制強化加算	サービス提供体制強化加算Ⅰ	
処遇改善加算Ⅰ	訪問体制強化加算	
小規模事業所加算	口腔栄養スクリーニング加算	
科学的介護推進体制加算		
看取り体制	実績人数	人

③ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	1			1.0	機能訓練指導員				0.0
生活相談員				0.0	(うち理学療法士)				0.0
看護師等		0.1		0.1	(うち作業療法士)				0.0
介護職員	9	0.75		9.8	(うち看護師)				0.0
(うち介護福祉士)	5	0.75		5.8	介護支援専門員	1			1.0
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他				0.0
調理員				0.0	合計	11.0	0.9	0.0	11.9

(3) (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

① 居室稼働状況

	空き居室数				居室稼働延べ数	稼働率	備 考
	退居不在	入 院	外 泊	計			
4 月	0	2	0	2	268	99.26	
5 月	10	21	0	31	248	88.89	
6 月	0	0	0	0	270	100.00	
7 月	0	0	0	0	279	100.00	
8 月	0	0	0	0	279	100.00	
9 月	0	0	0	0	270	100.00	
10 月	0	11	0	11	268	96.06	
11 月	0	3	0	3	267	98.89	
12 月	0	0	0	0	279	100.00	
1 月	7	0	0	7	272	97.49	
2 月	0	0	0	0	252	100.00	
3 月	2	0	0	2	277	99.28	
合 計	19	37	0	56	3,229	98.30	

② 入居者の状況

ア 入退居の状況

月	区分	入居者	退居者
4月		0	0
5月		0	1
6月		1	0
7月		0	0
8月		0	0
9月		0	0
10月		0	0
11月		0	0
12月		0	0
1月		1	1
2月		0	0
3月		0	1
合 計		2	3

イ 退居理由

理 由	人 数	開設時からの累計
死 亡	0	1
長期入院	0	6
家庭復帰	0	0
施設変更	3	17
その他	0	0
合 計	3	24

ウ 退居者の状況

月 日	退居理由	死亡場所	性別	年齢	在籍日数
5 月 21 日	施設変更		女	96	609
1 月 15 日	施設変更		女	97	2, 570
3 月 30 日	施設変更		女	91	630

退居時平均年齢 ; 94.67 歳

平均在籍期間 ; 1, 269.67 日

※令和7年度実利用者11人の最終情報を基本数値としました。

エ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男性	0	0	0	1	0	1	0	2	82.50
女性	0	0	0	0	1	0	8	9	92.13
合計	0	0	0	1	1	1	8	11	90.20
割合	0.00%	0.00%	0.00%	9.09%	9.09%	9.09%	72.73%	100.00%	

オ 身体状況

(ア) 介護度の状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度	今年度	昨年度
男性	0	0	1	1	0	0	2	2.50	2.82	2.36
女性	0	1	2	3	3	0	9	2.89		
合計	0	1	3	4	3	0	11	2.82		
割合	0.00%	9.09%	27.27%	36.37%	27.27%	0.00%	100.00%			

(イ) 介護度別利用者状況（延べ利用者数）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	今年度	昨年度
男性	0	0	699	31	0	0	730	3, 261	3, 137
女性	0	365	986	929	251	0	2, 531		
合計	0	365	1, 685	960	251	0	3, 261		
割合	0. 00%	11. 19%	51. 67%	29. 44%	7. 70%	0. 00%	100. 00%		

③ 家族等に関する事項

面会の状況

対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数（人）	3	6	7	9	10	6	3	3	10	5	8	6	76

④ 医務の状況

ア 医療機関への入院状況

No	性 別	医療機関名	科 名	病 名	日 数	備 考
1	女	県立十日町病院	内科	心不全	23	
2	女	山口医院	内科	心不全	14	

イ 医療的ケアの実施状況

血糖測定・インスリン注射		静脈内注射（点滴含む）		中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理		酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和濃度等）	
褥瘡の処置		カテーテルの管理		喀痰吸引	
ネブライザー		創傷処置（褥瘡を除く）		服薬管理（注射を除く）	
摘便		浣腸		一時的導尿	
その他					

⑤ 加算の状況

初期加算		サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ		
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）				
看取り体制		実績人数		人

⑥ 従業者の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.5			0.5	機能訓練指導員				0.0
生活相談員				0.0	（うち理学療法士）				0.0
看護師等				0.0	（うち作業療法士）				0.0
介護職員	5.0			5.0	（うち看護師）				0.0
（うち介護福祉士）	5.0			5.0	計画作成担当	0.5			0.5
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他				0.0
調理員				0.0	合計	6.0	0.0	0.0	6.0

Ⅲ 障害事業部

Ⅲ 障害事業部

1 事業理念

わたしたちは、一人ひとりが主体的な生活ができるよう支援します。

2 重点目標

利用者の意思を (1) 尊重した個別支援を実践します	推進事項	
	①	権利擁護について理解を深め、支援を通じて利用者の権利を守ります。
	取組結果	
	各事業所において虐待防止研修を開催しました。また、他県で発生した事例を共有し、自施設の検証も行いました。	
	②	重度化・高齢化に対応するため、事業部間の連携を深めます。
	取組結果	
	高齢事業部との連携会議を6月、10月に開催し、特別養護老人ホームの生活相談員から助言・指導をいただきました。また十日町市地域自立支援協議会の高齢専門部会と協力し、介護保険サービスへの移行フローチャートを作成しました。	
	③	利用者の就労に向けた支援体制を見直します。
(2) 地域とのつながりを強化します	推進事項	
	①	障害者の地域移行に向けた取り組みを実践します。
	取組結果	
	なかまの家、グループホーム千手かたくりで地域連携推進会を開催しました。	
	また、9月にはグループホーム見学説明会を開催、法人内外から40名以上の参加がありました。	

(2) 地域とのつながりを強化します	②	障害者支援施設なかまの家の移転計画を踏まえ、地域や保護者、家族との関係性を深めます。
	取組結果	
	なかまの家移転新築計画が具体化してきたことに伴い、法人内障害者施設利用者家族、関係団体、地元の地区役員などとワークショップを2回開催し意見交換を行いました。 また、昨年に引き続き、交流イベント「なかまになる月曜日」を9月に開催し、親睦を深めました。	
(3) 職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	推進事項	
	障害者支援の基本、障害者特性を踏まえた意思決定支援並びにアセスメントについて学ぶ機会を計画し実践します。	
	取組結果	
	なかまの家、なごみの家を中心に自閉症eサービスによる研修を実施しました。7月、10月の実践報告会では法人職員が事例を発表しました。	
(4) 安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	推進事項	
	自立支援給付費の内容を検証し、より高い報酬を得るための取り組みを行うとともに、平均工賃の向上を目指します。	
	取組結果	
	二つの就労支援事業所で目標工賃を上回りました。 特に高齢施設のおむつ回収量が前年度より拡大し、就労支援収益は前年比11.5%の増益でした。 また、入所施設の希望者を積極的に受け入れたことにより、なかまの家、千手かたくりの稼働率が向上しました。これにより障害福祉サービス事業収益も5%増えました。	
(5) 事業継続計画(BCP)の検証と対策を行います	推進事項	
	①	利用者特性に考慮した感染症予防への取り組みを検証します。
	取組結果	
	感染症の予防研修は定期的に行いました。なかまの家で集団感染が見られましたが他への拡大はありませんでした。	
	②	災害発生時に、地域と協力し、継続的に福祉サービスを提供するための準備を行います。
	取組結果	
	各施設とも職員体制の変更により計画の一部を変更しました。地域防災組織の協力により総合防災訓練を計画・実施しました。事業継続計画(BCP)の点検に向けた検討会を開催しました。	

3 主な事業の稼働状況と相談実績



Ⅲ－Ⅰ

障害者支援施設なかまの家

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	障害者支援施設なかまの家
所在地	新潟県十日町市上野甲2896番地2
設立年月日	昭和57年4月1日
敷地面積	44,403.84㎡
建物構造	鉄筋コンクリート一部2階建
延べ床面積	4,246.89㎡
施設長名	吉楽 勝弥
電話番号	025-768-4013
FAX番号	025-768-4313
E-mailアドレス	info-nakama@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
施設入所支援事業	40	平成23年4月 1日	1511000026	十日町市 津南町
生活介護事業	40	平成23年4月 1日	1511000026	
短期入所事業	4	平成20年9月20日	1511000026	
日中一時支援事業		年度更新		

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	利用者の意思を尊重した個別支援を実践します	重度化・高齢化に対応するため個々のアセスメントを充実させ、関係部署と連携しながら個別支援を進めます。
		取組結果
		個別支援会議を毎月定期的を開催し、利用者のアセスメントを深めるとともに、それを踏まえた個別支援計画を作成しました。 また、利用者の状態変化が著しい時には臨時の個別支援会議を開催し、利用者の状態に合わせ、支援を変更しました。さらに相談支援事業所をはじめとした関係機関ともモニタリング会議等で情報を共有し、より利用者に適した個別支援の取り組みを進めました。

②	地域とのつながりを強化します	地域と情報共有しながらなかまの家移転計画を進めます。
		取組結果
		移転先の地域住民、保護者向けに移転説明会を開催しました。また、なかまの家保護者には保護者説明会で進捗状況を説明し、アンケートで家族の意向を確認しました。
③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	重度化・高齢化の課題に対し、研修を通して専門性を高め、支援に活かします。
		取組結果
		職員の意見を基に外部講師を招いた内部研修を実施しました。また、他施設と交換実習を実施し、なかまの家からやいろの里へ2名の職員を派遣しました。
④	安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	全ての事業を一体的に行っている事業所特性を意識し、感染症予防対策を取りながら稼働率の向上に向けた運営を行います。
		取組結果
		下半期は入退所がなく満床が続き年間稼働率97.09%となりました。生活介護も満床の結果、年間稼働率87.3%となっています。感染症はクラスターが発生しましたが、大きな体調不良者は出ず、感染対策を徹底する事で職員に広がることなく運営を行うことが出来ました。
⑤	事業継続計画（BCP）の検証と対策を行います	災害・感染症が発生しても事業が継続できるよう、準備を進めます。
		取組結果
		下半期は感染性胃腸炎と思われるクラスターが発生しましたが、感染予防を徹底する事で職員に大きく広がることなく事業の継続が出来ました。感染症予防のための研修や災害時の避難訓練を実施しました。BCPの見直しを行いました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
全体職員会議	1	1	2	1
事業会議	6	6	12	12
担当者会議	6	6	12	12
支援者会議	12	12	24	12
寮会議	12	12	24	24
各係、委員会会議	6	6	12	15
給食会議	2	5	7	12
地域移行等意向確認会議	0	1	1	今年度新設
② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会 苦情対策委員会	6	6	12	12
身体的拘束適正化・障害者虐待防止委員会	6	6	12	12
感染症対策委員会	6	6	12	12
安全衛生委員会	6	6	12	12
防災委員会	1	2	3	6
広報委員会	1	2	3	3
研修委員会	1	5	6	6
地域交流委員会	0	1	1	1
③ プロジェクトチーム				
プロジェクト名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
ブルーオーシャン利活用プロジェクト	1	6	7	今年度新設
なかまの家ボトムアッププロジェクト1.0	1	2	3	今年度新設

障害者支援施設なかまの家

(4) 事業別計画(施設入所支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	重度化・高齢化に対応するため個々のアセスメントを充実させ、関係部署と連携しながら個別支援を進めます	・重度・高齢化の対応の為、利用者の意向を踏まえたアセスメントを通じて個別支援計画書を作成し、関係部署と連携しながら個別支援に関する一連の取り組みを進めます。
		取組結果
		個別支援会議を毎月定期的に行い、利用者のアセスメントを深めるとともに、それを踏まえた個別支援計画を作成しました。 また、利用者の状態変化が著しい時には臨時の個別支援会議を開催し、利用者の状態に合わせ、支援を変更しました。さらに相談支援事業所をはじめとした関係機関ともモニタリング会議等で情報を共有し、より利用者に適した個別支援の取り組みを進めました。 重度化への対応は引き続き昨年度のe-サービスメンバーが中心となり、より利用者に合わせた過ごし方を模索し、支援を進めています。
②	地域と情報共有しながらなかまの家移転計画を進めます	・令和8年度に義務化される地域移行等意向確認の取り組みを進めます。 ・なかまの家移転計画や地域移行の取り組みについて地域連携推進会議や保護者説明会で進捗状況等情報共有を図ります。 ・なかまの家移転に関して法人本部と連携し、業務の最前線である現場の意見や提案をボトムアップできる体制を整えます。 ・移転先に隣接する、特別養護老人ホームあかね園周辺の地域住民及びあかね園職員との交流を進めます。
		取組結果
		・地域移行等意向確認のための指針を作成しました。 ・10月に保護者説明会、11月に地域連携推進会議を開催し、なかまの家移転計画や地域移行の取り組みについて情報共有を図りました。 ・新築移転の進捗状況を寮会議等で現場と共有するとともに、現場の意見を聞き、それを移転会議等で意見として伝えました。 ・11月に移転先の地域住民向けの移転説明会を開催しました。

③	重度化・高齢化の課題に対し、研修を通して専門性を高め、支援に活かします	・自閉症eサービスの研修を通して自閉症に関する理解を深め、専門的な支援を提供します。 ・高齢・障害問わず他事業所への研修を企画し、学んだことを実際の業務に反映させます。 ・ブルーオーシャン(記録ソフト)の運用を向上させ、事務負担の効率化を図るとともに、蓄積されたデータの活用を通して根拠に基づいた支援を行います。
		取組結果
		・やいろの里やワークセンターなごみと交換実習を行い4名の職員を派遣し、4名の職員をなかまの家で受入れました。 - 今後、職員より学んだことを発表してもらう予定です。 ・ブルーオーシャンの活用について検討を重ね、記録入力の方法の統一を図りました。また、入力の簡略化を図る事により記録入力の事務負担の軽減化を図りました。 ・自閉症eサービスの研修に職員2名が参加しました。
④	全ての事業を一体的に行っている事業所特性を意識し、感染症予防対策を取りながら稼働率の向上に向けた運営を行います	感染症予防対策及び事故防止に努め、つつじ寮の居室配置を見直し稼働率95%を目指します。
		取組結果
		下半期は入退所がなく満床が続き年間稼働率97.09%となり目標を達成する事が出来ました。 感染症はクラスターが発生しましたが、大きな体調不良者は出ず、感染対策を徹底する事で職員に広がることなく運営を行うことが出来ました。
⑤	災害・感染症が発生しても事業が継続できるよう、準備を進めます	・事業継続計画に基づき、研修や訓練、在庫管理等の必要な取り組みを進めます。 ・感染症に関するアセスメントを個別的に行い、ゾーニングの見直しを行います。
		取組結果
		・下半期は感染性胃腸炎と思われるクラスターが発生しましたが、感染予防を徹底する事で職員に大きく広がることなく事業の継続が出来ました。 ・感染症予防のための研修や災害時の避難訓練を実施しました。 ・BCPの見直しを行いました。

障害者支援施設なかまの家

(5) 事業別計画(生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	重度化・高齢化に対応するため個々のアセスメントを充実させ、関係部署と連携しながら個別支援を進めます	同性支援等個別支援計画に基づき、支援を充実させます。
		取組結果
		入浴等性差がある支援については可能な限り同性介助を行っています。ただし、職員数の減によりトイレ介助等一部の支援が同性介助ができない時がありました。
②	地域と情報共有しながらなかまの家移転計画を進めます	・令和8年度に義務化される地域移行等意向確認の取り組みを進めます。 ・なかまの家移転計画や地域移行の取り組みについて地域連携推進会議や保護者説明会で進捗状況等情報共有を図ります。 ・なかまの家移転に関して法人本部と連携し、業務の最前線である現場の意見や提案をボトムアップできる体制を整えます。 ・移転先に隣接する、特別養護老人ホームあかね園周辺の地域住民及びあかね園職員との交流を進めます。
		取組結果
		・地域移行等意向確認のための指針を作成しました。 ・10月に保護者説明会、11月に地域連携推進会議を開催し、なかまの家移転計画や地域移行の取り組みについて情報共有を図りました。 ・新築移転の進捗状況を寮会議等で現場と共有するとともに、現場の意見を聞き、それを移転会議等で意見として伝えました。 ・11月に移転先の地域住民向けの移転説明会を開催しました。
③	重度化・高齢化の課題に対し、研修を通して専門性を高め、支援に活かします	・やまびこグループの活動を検証し、なかまの家移転後のあり方を試行します。 ・自閉症eサービスの研修を通して自閉症に関する理解を深め、専門的な支援を提供します。 ・高齢・障害問わず他事業所への研修を企画し、学んだことを実際の業務に反映させます。 ・ブルーオーシャン(記録ソフト)の運用を向上させ、事務負担の効率化を図るとともに、蓄積されたデータの活用を通して根拠に基づいた支援を行います。
		取組結果
		やまびこグループメンバーに合わせた環境設定をした場所にて支援を行うため、従たる事業所である「千手」からなかまの家ひかり作業室に活動場所を変更し、一人一人の個別支援を進めてきました。 従たる事業所の「千手」を地域移行の場として利用する予定でしたが、人員配置上、通うことができませんでした。今後も利用が難しいことから従たる事業所の廃止を検討しています。

④	全ての事業を一体的に行っている事業所特性を意識し、感染症予防対策を取りながら稼働率の向上に向けた運営を行います	他事業と一体的に運営してる事業所特性を意識し、感染症予防対策を取りながら稼働率82%を目指します。
		取組結果
		下半期は感染症のクラスターがありましたが、年間稼働率87.3%となり目標を達成しました。
⑤	災害・感染症が発生しても事業が継続できるよう、準備を進めます。	・事業継続計画に基づき、研修や訓練、在庫管理等の必要な取り組みを進めます。 ・感染症に関するアセスメントを個別的に行い、ゾーニングの見直しを行います。
		取組結果
		・下半期は感染性胃腸炎と思われるクラスターが発生しましたが、感染予防を徹底する事で職員に大きく広がることなく事業の継続が出来ました。 ・感染症予防のための研修や災害時の避難訓練を実施しました。 ・BCPの見直しを行いました。

障害者支援施設なかまの家

(6) 事業別計画(短期入所事業・日中一時支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	重度化・高齢化に対応するため個々のアセスメントを充実させ、関係部署と連携しながら個別支援を進めます	アセスメントを充実させ、利用者にとって過ごしやすい環境設定を行います。
		取組結果
		初めて利用されたり、長年利用されていない方については、事前にご利用者、ご家族、関係者等からアセスメントをとることで、利用者に合わせた環境設定ができるよう取り組みました。 緊急短期入所の可能性がある人は地域生活支援拠点に登録して頂き、事前に相談支援事業所と情報共有を行うことでアセスメントを充実させる取り組みを開始しました。
②	地域と情報共有しながらなかまの家移転計画を進めます	・令和8年度に義務化される地域移行等意向確認の取り組みを進めます。 ・なかまの家移転計画や地域移行の取り組みについて地域連携推進会議や保護者説明会で進捗状況等情報共有を図ります。 ・なかまの家移転に関して法人本部と連携し、業務の最前線である現場の意見や提案をボトムアップできる体制を整えます。 ・移転先に隣接する、特別養護老人ホームあかね園周辺の地域住民及びあかね園職員との交流を進めます。
		取組結果
		・地域移行等意向確認のための指針を作成しました。 ・10月に保護者説明会、11月に地域連携推進会議を開催し、なかまの家移転計画や地域移行の取り組みについて情報共有を図りました。 ・新築移転の進捗状況を寮会議等で現場と共有するとともに、現場の意見を聞き、それを移転会議等で意見として伝えました。 ・11月に移転先の地域住民向けの移転説明会を開催しました。
③	重度化・高齢化の課題に対し、研修を通して専門性を高め、支援に活かします	・自閉症eサービスの研修を通して自閉症に関する理解を深め、専門的な支援を提供します。 ・高齢・障害問わず他事業所への研修を企画し、学んだことを実際の業務に反映させます。 ・ブルーオーシャン(記録ソフト)の運用を向上させ、事務負担の効率化を図るとともに、蓄積されたデータの活用を通して根拠に基づいた支援を行います。
		取組結果
		施設入所と同様に取り組みを進めました。

④	全ての事業を一体的に行っている事業所特性を意識し、感染症予防対策を取りながら稼働率の向上に向けた運営を行います	・居室の配置を見直し、受入れが可能な環境設定を整え、稼働率25%を目指します。 ・緊急的な短期入所利用とならないよう、自立支援協議会が進める体験利用の取り組みを進めます。
		取組結果
		感染症等により長期間短期入所が受け入れられない時があり年間稼働率は17.87%となり目標を達成できませんでした。 自立支援協議会と連携し、緊急短期にならない仕組み作りを一緒に構築しました。
⑤	災害・感染症が発生しても事業が継続できるよう、準備を進めます	・事業継続計画に基づき、研修や訓練、在庫管理等の必要な取り組みを進めます。 ・感染症に関するアセスメントを個別的に行い、ゾーニングの見直しを行います。
		取組結果
		生活介護と同様に取り組みを進めました。

(7) 事業活動上の取組み

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした

② 拘束(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
施設入所	0	6	6	12
合 計	0	6	6	12

拘束(内容)

発生日	部署	拘束の内容	対応
令和8年1月12日	男性寮	居室施錠	感染症症状があり居室対応が困難で、感染症まん延のリスクが高く、施錠対応をしました。1月20日に解除しました。
令和8年1月13日	男性寮	居室施錠	感染症症状があり居室対応が困難で、感染症まん延のリスクが高く、施錠対応をしました。1月20日に解除しました。
令和8年1月14日	男性寮	居室施錠	感染症症状があり居室対応が困難で、感染症まん延のリスクが高く、施錠対応をしました。1月23日に解除しました。
令和8年1月14日	男性寮	居室施錠	感染症症状があり居室対応が困難で、感染症まん延のリスクが高く、施錠対応をしました。1月23日に解除しました。
令和8年1月16日	男性寮	居室施錠	感染症症状があり居室対応が困難で、感染症まん延のリスクが高く、施錠対応をしました。1月23日に解除しました。
令和8年2月13日	男性寮	左手ミトン着用	左手でフォーレを抜去するリスクがありミトンを着用しました。2月25日受診しフォーレ抜去後も問題ないため解除しました。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	4	3	7	4
延べ人数(人)	13	14	27	11
合 計	17	17	34	15

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
12月15、16、18、22日	ブルーオーシャン(記録ソフト)勉強会	19
3月24日	薬剤研修(外部講師による)	15

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
火災想定避難訓練	1	1	2	3
消火訓練	1	1	2	3
非常招集訓練	1	1	2	1
土砂災害避難訓練	0	1	1	1
原子力防災訓練	0	1	1	1
合 計	3	5	8	9

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
東京福祉大学	1	0	1	0
長岡こども福祉カレッジ	1	0	1	1
新潟こども医療専門学校	0	1	1	0
新潟県立大学	0	2	2	2
合 計	2	3	5	3

⑦ 食事の状況

ア 事業別食数

	生活介護	入所	短期利用	一般	日中一時	合 計
4月	742	2, 571	70	0	2	3, 385
5月	768	2, 636	57	0	4	3, 465
6月	722	2, 547	40	0	3	3, 312
7月	790	2, 649	67	0	3	3, 509
8月	770	2, 598	44	0	5	3, 417
9月	792	2, 656	109	0	3	3, 560
10月	802	2, 695	131	25	6	3, 659
11月	764	2, 603	61	16	2	3, 446
12月	802	2, 758	7	2	4	3, 573
1月	851	2, 750	0	0	2	3, 603
2月	719	2, 536	3	0	2	3, 260
3月	787	2, 695	8	0	3	3, 493
合 計	9, 309	31, 694	597	43	39	41, 682

イ 食事形態内容内訳

主食 \ 副食	常 菜	軟菜	やわらか	ムース	合 計
常 食	18	7	7	0	32
全 粥	0	0	5	3	8
五分粥	0	0	0	0	0
三分粥	0	0	0	0	0
ムース	0	0	0	1	1
合 計	18	7	12	4	41

※令和7年度実入居者41人の最終情報を基本数値としました。

○ 事業別報告

(1) 障害者支援施設

(施設入所支援、生活介護事業、 短期入所事業、 日中一時支援事業)

① 稼働状況

ア 施設入所支援、生活介護事業

令和8年3月末
の登録者数

月	実稼働日数	施設入所支援		実稼働日数	生活介護		事業所全体		の登録者数	
		定員 40 人			定員 40 人				施設入所支援	41
		延べ利用者数	稼働率		延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	生活介護	45
4月	30	1, 117	93. 08	21	706	84. 05	1, 823	89. 36		
5月	31	1, 186	95. 65	23	791	85. 98	1, 977	91. 53		
6月	30	1, 144	95. 33	22	735	83. 52	1, 879	90. 34		
7月	31	1, 188	95. 81	23	796	86. 52	1, 984	91. 85		
8月	31	1, 170	94. 35	23	775	84. 24	1, 945	90. 05		
9月	30	1, 189	99. 08	22	793	90. 11	1, 982	95. 29		
上半期計	183	6, 994	95. 55	134	4, 596	85. 75	11, 590	91. 40		
10月	31	1, 215	97. 98	23	810	88. 04	2, 025	93. 75		
11月	30	1, 171	97. 58	22	769	87. 39	1, 940	93. 27		
12月	31	1, 235	99. 60	23	806	87. 61	2, 041	94. 49		
1月	31	1, 229	99. 11	23	855	92. 93	2, 084	96. 48		
2月	28	1, 119	99. 91	20	726	90. 75	1, 845	96. 09		
3月	31	1, 212	97. 74	23	797	86. 63	2, 009	93. 01		
下半期計	182	7, 181	98. 64	134	4, 763	88. 86	11, 944	94. 49		
合計	365	14, 175	97. 09	268	9, 359	87. 30	23, 534	92. 95		

イ 地域生活支援事業（日中一時支援）

月	利用延べ日数			実利用者数		備 考
	十日町市	津南町	合計	十日町市	津南町	
4月	2	0	2	2	0	
5月	4	0	4	2	0	
6月	1	0	1	1	0	
7月	3	0	3	3	0	
8月	5	0	5	2	0	
9月	3	0	3	3	0	
上半期計	18	0	18	13	0	

10月	5	0	5	5	0
11月	2	0	2	2	0
12月	4	0	4	2	0
1月	2	0	2	1	0
2月	2	0	2	2	0
3月	3	0	3	2	0
下半期計	18	0	18	14	0
合 計	36	0	36	27	0

ウ 短期入所障害区分別延べ利用者数

障害支援区分	障害児				障害者					
	区分1	区分2	区分3	計	区分2以下	区分3	区分4	区分5	区分6	計
短期入所のみ	0	0	0	0	1	21	29	11	0	62
日中サービス実施	0	0	0	0	38	9	88	58	6	199
延べ利用者数合計				0						261

② 利用者の状況

ア 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所支援	入所者	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生活介護	入所者	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

イ 年齢別状況

	19～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	合 計	平均年齢	
男 性	1	3	3	9	2	4	1	23	52.73	52.93
女 性	2	2	2	6	3	2	1	18	53.17	
合 計	3	5	5	15	5	6	2	41		
	7.32%	12.20%	12.20%	36.57%	12.20%	14.63%	4.88%	100.00%		

ウ 出身市町村状況

	十日町市	津南町	長岡市	三条市	計
男 性	16	5	1	1	23
女 性	16	1	1	0	18
合 計	32	6	2	1	41

※自立支援給付費支給市町村

エ 在籍年数状況

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30～35年未満	35年以上	合 計
男 性	0	3	3	1	3	5	5	0	3	23
女 性	2	6	1	0	2	0	3	0	4	18
合 計	2	9	4	1	5	5	8	0	7	41
割 合	4.88%	21.00%	9.76%	2.44%	12.20%	12.20%	20.45%	0.00%	17.07%	100.00%
	平均在籍年数									
男 性	18.77	17.50								
女 性	15.37									

オ 身体状況

(ア) 障害支援区分状況

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
男 性	0	0	0	0	7	12	4	0	23
女 性	0	0	1	1	3	5	8	0	18
合 計	0	0	1	1	10	17	12	0	41
割 合	0.00%	0.00%	2.44%	2.44%	24.39%	41.46%	29.27%	0.00%	100.00%

カ 各種手帳並びに年金受給状況

	療育手帳 A	療育手帳 B	障害基礎 年金1級	障害基礎 年金2級	身障手帳	精神障害 者手帳
男 性	15	6	16	6	3	1
女 性	12	5	12	6	3	1
合 計	27	11	28	12	6	2

キ 利用者負担上限月額状況

	0 円	15,000 円	24,600 円	37,200 円	その他	合計
男 性	22	0	0	1	0	23
女 性	18	0	0	0	0	18
合 計	40	0	0	1	0	41

ク 障害支援区分別延べ利用者数(施設入所支援)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	合 計
延べ利用者数	0	365	212	3,662	6,220	3,746	0	14,205
うち重度障害者支援 加算の対象者	0	0	0	1	2	1	0	4

ケ 障害支援区分別延べ利用者数(生活介護)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	合 計
延べ利用者数	0	0	155	1,964	4,310	2,931	0	9,360
うち施設等入所者	0	0	155	1,918	4,043	2,594	0	8,710

③ 健康管理状況

ア 健康診断等

実施日	内 容	備 考
6月20日	歯科検診	
7月18日	血液、検尿、心電図、レントゲン	

イ 入院状況

性別	年齢	疾患名	医療機関		入院 日数
			病院名	受診科	
女性	38	両側乳腺腫瘍	うおぬま基幹病院	精神科	21
女性	72	てんかん発作疑い、意識障害	うおぬま基幹病院	脳神経内科	30
延べ人数	2	実人数	2	延べ入院日数	51

ウ 医療的ケアの実施状況

血糖測定・インスリン注射		静脈内注射（点滴を含む）		中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	○	酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	
褥瘡の処理		カテーテルの管理		喀痰吸引	
ネブライザー		創傷処理（褥瘡を除く）		服薬管理（注射を除く）	○
認知症に関する専門的ケア		摘便	○	浣腸	○
一時的導尿		その他			

④ 加算の状況

ア 施設入所支援

入院・外泊時加算（Ⅰ）1	入院・外泊時加算（Ⅱ）1
栄養マネジメント加算	夜勤職員配置体制加算
入所時特別支援加算	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

イ 生活介護

福祉専門職員配置等加算（Ⅱ）	福祉専門職員配置等加算（Ⅲ）
食事提供体制加算	人員配置体制加算（Ⅱ）2
常勤看護職員等配置加算5	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

ウ 短期入所

食事提供体制加算	短期緊急入所受入加算Ⅰ
常勤看護職員等配置加算Ⅰ	短期地域生活支援拠点加算
短期地域生活支援拠点加算（一定条件）	短期利用加算
栄養士配置加算（Ⅰ）	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

⑤ 従業者の常勤換算状況

施設入所支援、生活介護、日中一時支援（令和8年3月末日現在）

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合 計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	1.0			1.0
医師			0.1	0.1
看護師等	1.0	0.3		1.3
生活支援員	19.0	0.7		19.7
栄養士	1.0			1.0
調理員	3.5	0.5		4.0
その他	1.0	0.5	0.5	2.0
合 計	27.5	2.0	0.6	30.1

Ⅲ－Ⅱ

障害福祉サービス事業所なごみの家

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	障害福祉サービス事業所なごみの家
所在地	新潟県十日町市高山1360番地2
設立年月日	平成10年4月1日
敷地面積	2,391.21㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
延べ床面積	780.80㎡
施設長名	木村 努
電話番号	025-752-5212
FAX番号	025-752-0348
E-mailアドレス	info-nagomi@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
生活介護事業	20	令和3年4月1日	1511000018	十日町市 津南町
就労継続支援B型事業	20	令和3年4月1日	1511000018	
日中一時支援事業				

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	利用者の意思を尊重した個別支援を実践します	利用者個々の意思に寄り添い統一支援を実践します。
		取組結果
		各事業別会議等を通じて利用者個々の状況把握を行う中で、支援についての共通認識を図れるよう取り組みました。 自閉症支援をはじめ、障害特性に応じた研修を行い、専門的技術習得に継続的に取り組みました。
②	地域とのつながりを強化します	活動を積極的に発信することで地域の社会資源としての役割を担います。
		取組結果
		地域との係わりを持てる行事として、みつば祭の開催やとおか市で新潟県信用組合とのピザ生地協同販売等、地域との交流を図りました。就労支援ではピザ生地やペーパー類の販路拡大や配達等を通じ地域との係わりを持つことができました。

③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	外部研修への積極的参加や所内研修、OJTを通して専門性向上を図ります。
		取組結果
		自閉症eサービスを通じて根拠のあるアセスメントの作成を理解し、情報の共有化のもと自閉症支援を統一的に展開を図りました。
④	安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	積極的、柔軟な利用者の受け入れに努めます。
		取組結果
		一定期間の体験利用を踏まえた見極め作業を行い、受け入れを進めました。 年間では生活介護事業では1名の新規受け入れ、就労継続支援事業B型では2名の新規受け入れ、放課後等デイサービス事業では4名の新規受け入れを行いました。
⑤	事業継続計画（BCP）の検証と対策を行います	BCP訓練や見直しを行い安心して利用いただける事業所づくりに努めます。
		取組結果
		感染症及び自然災害の業務継続計画書の見直しを行いました。 感染症対応の吐物処理訓練と防護服着脱訓練を行い、支援員のスキルアップを進めています。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
運営会議	1	3	4	4
職員会議	6	6	12	12
事業会議	17	18	35	36
ケア会議	39	41	80	78
給食会議	6	6	12	12

② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
リスクマネジメント委員会	0	1	1	1
身体的拘束適正化委員会	2	6	8	3
虐待防止委員会	2	1	3	3
感染症対策委員会	2	2	4	3
③ 検討班				
検討班名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
係打ち合わせ	6	4	10	10

障害福祉サービス事業所なごみの家

(4) 事業別計画(生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者個々の意思に寄り添い統一支援を実践します	・利用者担当職員を中心に個別支援マニュアルを見直し、班職員と共有して統一的に支援します。 ・利用者の利用状況や身体的課題などを把握し、ケア会議やモニタリングを通し本人、ご家族と支援について相談します。
		取組結果
		自閉症eサービスを通じ根拠のあるアセスメントの作成を理解し、情報の共有化のもと自閉症支援を統一的に展開を図りました。
②	活動を積極的に発信することで地域の社会資源としての役割を担います	市内のウォーキングや公園などへの外出を積極的に行い、地域の方々と交流の場を作れるよう取り組みます。
		取組結果
		職員体制の整備を図りながら、外出の機会や屋外活動への参加等、活動の種類や選択の幅を広げる取り組みを進めました。
③	外部研修への積極的参加や所内研修、OJTを通して専門性向上を図ります	自閉症者支援の研修を通し、PDCAサイクルを実践の中から学びます。
		取組結果
		自閉症eサービスのコンサルタントと定期的なオンライン会議や現地研修を通じ、自閉症支援についての知識を高めました。また、実践モデルの利用者数名の支援を通じ、現場の課題解決や環境整備をPDCAを回しながら進めました。
④	積極的、柔軟な利用者の受け入れに努めます	・積極的な利用者の受け入れを行い、稼働率110%を目指します。
		取組結果
		事業の体験利用の機会や保護者への見学の機会を設け、特別支援学校高等部の来期卒業生のなかで利用の見通しが立った生徒も出てきており、新年度からの利用が決まった生徒もおりました。
⑤	BCP訓練や見直しを行い安心して利用いただける事業所づくりに努めます	利用者の特性に合わせた感染予防や災害時の対策を検討、実践します。
		取組結果
		防護服着脱訓練と吐物処理訓練を行い感染症発症時の対応について共有を図りました。 災害時の連絡網の確認を行いネットワーク上の不備の洗い出しを行いました。

障害福祉サービス事業所なごみの家

(5) 事業別計画(就労継続支援B型事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者個々の意思に寄り添い統一支援を実践します	・個別支援マニュアルを作成し、会議で定期的な確認と見直しを行うことで統一支援の仕組みづくりを行います。 ・家族向けに利用者の活動の様子を年2回会報として発信し、ご意見をいただく機会にします。
		取組結果
		生産活動別に関わるご利用者の特性や留意点についてまとめ、支援者間で情報を共有できるよう整備を進めました。保護者向けに就活班の会報を保護者向けに発信し、好評を得ました。
②	活動を積極的に発信することで地域の社会資源としての役割を担います	・ペーパー類やピザ生地宣伝、販売を企業、個人など地域の方に広く行います。 ・冷凍ピザ生地の販売委託先を開拓します。
		取組結果
		営業訪問による販路拡大や、紙おむつ回収業務の対象事業所の拡大により、作業費は増収となりました。それに伴い利用者平均工賃も大幅に引き上げることができました。
③	外部研修への積極的参加や所内研修、OJTを通して専門性向上を図ります	自閉症者支援の研修を通し、PDCAサイクルを実践の中から学びます。
		取組結果
		自閉症eサービスの外部コンサルタントと定期的なオンライン会議や現地研修を通じ、自閉症支援についての知識を高めました。また、実践モデルの利用者数名の支援を通じ、現場の課題解決や環境整備をPDCAを回しながら進めています。
④	積極的、柔軟な利用者の受け入れに努めます	積極的な利用者の受け入れを行い、稼働率100%を目指します。
		取組結果
		事業の体験利用の機会を設け、5月と1月に新規利用者が利用を開始しました。特別支援学校高等部の体験機会や見学機会を設け、来年度の受け入れを進めました。
⑤	BCP訓練や見直しを行い安心して利用いただける事業所づくりに努めます	利用者の特性に合わせた感染予防や災害時の対策を検討、実践します。
		取組結果
		防護服着脱訓練と吐物処理訓練を行い感染症発症時の対応についての共有を図りました。災害時の連絡網の確認を行いネットワーク上の不備の洗い出しを行いました。

障害福祉サービス事業所なごみの家

(6) 事業別計画(放課後等デイサービス事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者個々の意思に寄り添い統一支援を実践します	・個々の支援計画を会議や日々のミーティングを通じて職員間で共有し、計画に沿った統一支援を提供し、児童と一緒に成長の喜びを感じていきます。 ・連絡帳でのやり取りなどを通じ家族との意思疎通を図り、日頃からの接遇も意識し、信頼関係構築を図ります。
		取組結果
		発達段階の児童の状態に合わせた個別支援計画の見直しを図りながら、情報の共有化と支援の統一化を進めました。
②	活動を積極的に発信することで地域の社会資源としての役割を担います	法人内施設やこども園などとの交流機会を積極的に計画し、児童の社会性や公共マナーの向上につなげます。
		取組結果
		事業所以外の活動場面での児童の様子をアセスメントし、公共の場での適切な他者との関わりを学ぶ機会を作りました。
③	外部研修への積極的参加や所内研修、OJTを通して専門性向上を図ります	学校や関係機関等と連携し、利用児の特性に合わせた専門的支援の提供に努めます。
		取組結果
		自閉症eサービスの外部コンサルタントと定期的なオンライン会議や現地研修を通じ、自閉症支援についての知識を高めました。 また、実践モデルの利用者数名の支援を通じ、現場の課題解決や環境整備をPDCAを回しながら進めました。
④	積極的、柔軟な利用者の受け入れに努めます	積極的な利用者の受け入れを行い、稼働率100%を目指します。
		取組結果
		関係機関との情報共有を図り、各事業所の特徴や強みを生かせる対象児童の掘り起こしを行い、事業所環境に合った児童の受け入れを進めました。
⑤	BCP訓練や見直しを行い安心して利用いただける事業所づくりに努めます	利用児の特性に合わせた感染予防や災害時の対策を検討、実践します。
		取組結果
		月1回の防災訓練を通じ、児童と一緒に避難経路の確認を行い、保護者への緊急時の連絡整備を進めました。

障害福祉サービス事業所なごみの家

(7) 事業別計画(日中一時支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者個々の意思に寄り添い統一支援を実践します	利用者が地域で主体的に生活できるよう、意思決定支援を重視した支援を行います。
		取組結果
		ご利用者のご家族の利用希望に合わせた利用時間の分配や利用日の予定についてご家族と協議し利用の調整を行いました。
②	活動を積極的に発信することで地域の社会資源としての役割を担います	家族等の意向も把握したなかで、利用者の安心安全と健康に配慮した支援に努めます。
		取組結果
		利用中の活動の種類を増やし、利用者が活動を選択できる環境を整え、ご本人の意向に沿って提供しました。
③	外部研修への積極的参加や所内研修、OJTを通して専門性向上を図ります	利用者の特性に合わせた専門的支援の提供に努めます。
		取組結果
		ご利用者向けの課題活動を支援者間でアイデアを出し合い、具現化しご利用者の新たな活動環境作りを進めました。
④	積極的、柔軟な利用者の受け入れに努めます	利用者や家族の希望に沿った柔軟な受入に努めます。
		取組結果
		ご利用者、ご家族の都合に合わせた利用日や利用時間の調整を図り柔軟な受け入れを図りました。
⑤	BCP訓練や見直しを行い安心して利用いただける事業所づくりに努めます	利用者の特性に合わせた感染予防や災害時の対策を検討、実践します。
		取組結果
		防護服着脱訓練と吐物処理訓練を行い感染症発症時の対応についての共有を図りました。災害時の連絡網の確認を行いネットワーク上の不備の洗い出しを行いました。

(8) 事業活動上の取組み

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② 拘束(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
生活介護事業	0	0	0	2
放課後等デイサービス事業	1	0	1	0
合 計	1	0	1	2

拘束(内容)

発生日	部署	拘束の内容	対応
7月31日	放課後等デイ	昼食作りのため刃物、ホットプレートを使用することによる危険回避が物理的に困難でした。	活動室を施設し、環境分離を行い他児童とは違う活動を提供して対応を図りました。

③ ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
6月18日	自閉症eサービス アセスメント研修(オンライン研修)	12
6月25日	自閉症eサービス アセスメント研修(オンライン研修)	12
6月30日	防護服着脱訓練、感染症予防研修	13
7月4日、5日	自閉症eサービス アセスメント研修(現地研修)	12
7月17日	自閉症eサービス 交流ミーティング(事例発表会)	12
12月5日	吐物処理訓練	12

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
避難訓練(火災想定)	5	6	11	11
避難訓練(地震想定)	1	0	1	1
消火訓練	2	0	2	2
招集訓練	1	1	2	1
合 計	9	7	16	15

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
新潟青陵大学	1	1	2	1
長野大学	0	0	0	1
新潟中央短期大学	0	0	0	1
長岡こども福祉カレッジ	1	0	0	0
長岡こども・医療・介護専門学校	1	0	1	0
北陸福祉保育専門学校	0	0	1	1
新潟こども医療専門学校	0	0	0	1
川西高等特別支援学校	3	7	10	7
ふれあいの丘支援学校	0	0	0	5
合 計	6	8	14	17

○ 事業別報告

(1) 生活介護事業、就労継続支援B型事業

① 稼働状況

月	実稼働日数	生活介護		就労継続B型	
		定員20人		定員20人	
		延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率
4月	21	467	111.19	415	98.81
5月	20	450	112.50	403	100.75
6月	21	482	114.76	431	102.62
7月	22	496	112.73	456	103.64
8月	20	427	106.75	381	95.25
9月	20	460	115.00	407	101.75
上半期計	124	2,782	112.18	2,493	100.52
10月	23	518	112.61	456	99.13
11月	18	410	113.89	367	101.94
12月	23	500	108.70	434	94.35
1月	20	395	98.75	392	98.00
2月	18	411	114.17	387	107.50
3月	21	451	107.38	457	108.81
下半期計	123	2,685	109.15	2,493	101.34
合計	247	5,467	110.67	4,986	100.93

R8年3月末の登録者数

生活介護	26
就労継続B型	22

② 利用者の状況

ア 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	入所者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
就労継続支援B型	入所者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 年齢別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合 計	平均年齢（歳）	
生活 介護	男	1	1	4	6	3	0	1	16	42.38	40.49
	女	0	2	5	2	1	0	0	10	38.60	
就労継続B型	男	0	1	1	7	2	2	1	14	47.14	45.14
	女	0	2	1	2	3	1	0	9	43.13	
合計		1	6	11	17	9	3	2	49		
		2.04%	12.24%	22.45%	34.69%	18.37%	6.12%	4.08%	100.00%		

ウ 出身市町村状況

		十日町市	津南町	その他	計	合計（人）
生活介護	男	14	2	0	16	26
	女	10	0	0	10	
就労継続B型	男	14	0	0	14	23
	女	9	0	0	9	
合計		47	2	0	49	49

エ 在籍年数状況

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合 計	平均在籍年数	
生活介護	男	1	2	0	1	2	4	6	16	16.00	17.25
	女	0	0	0	2	1	3	4	10	18.50	
就労継続B型	男	1	0	0	2	0	1	10	14	20.79	16.40
	女	1	2	0	2	1	0	3	9	12.00	
合計		3	4	0	7	4	8	23	49		
		6.12%	8.16%	0.00%	14.29%	8.16%	16.33%	46.94%	100.00%		

オ 身体状況

（ア）障害支援区分状況

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
生活介護	男	0	0	0	0	9	6	1	0	16
	女	0	0	0	1	3	2	4	0	10
就労継続B型	男	0	0	1	2	4	0	0	7	14
	女	0	0	1	3	1	0	0	4	9
合計		0	0	2	6	17	8	5	11	49

カ 各種手帳並びに年金受給状況

		療育手帳 A	療育手帳 B	障害基礎 年金1級	障害基礎 年金2級	身障手帳	精神障害者手帳
生活介護	男	13	2	12	2	2	0
	女	10	0	10	0	3	0
就労継続B型	男	6	6	7	6	1	0
	女	4	4	3	4	0	0
合計		33	12	32	12	6	0

キ 利用者負担上限月額状況

		0 円	9,300 円	24,600 円	37,200 円	その他	合計
生活介護	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	1
就労継続 B型	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
合計		0	1	0	0	0	1

③ 事業実施状況

ア 障害支援区分別延べ利用者数(生活介護)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	合 計
延べ利用者数	0	0	244	2,943	1,342	938	0	5,467
うち施設等 入所者	0	0	0	0	101	0	0	101

イ 日中一時支援事業実績

月	利用延べ日数			実利用者数		備 考
	十日町市	津南町	合計	十日町市	津南町	
4月	0	0	0	0	0	
5月	10	0	10	1	0	
6月	5	0	5	1	0	
7月	13	0	13	1	0	
8月	18	0	18	1	0	
9月	16	0	16	1	0	
上半期計	62	0	62	5	0	
10月	17	0	17	1	0	
11月	18	0	18	1	0	
12月	12	0	12	1	0	
1月	1	0	1	1	0	
2月	0	0	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	
下半期計	48	0	48	4	0	
合 計	110	0	110	9	0	

ウ 就労支援事業活動状況

(ア) 職場体験

今年度の報告事項はありませんでした。

(イ) 工賃支払状況 (単位：円)

	就労継続支援B型	
	人数(人)	工賃(円)
4月	21	70,589
5月	21	72,106
6月	22	72,818
7月	22	76,017
8月	22	76,529
(夏季手当)	—	99,960
9月	22	70,778
上半期計	130	538,797
10月	22	76,151
11月	22	73,705
12月	22	72,728
(冬季手当)		200,000
1月	23	68,844
2月	23	72,720
3月	23	74,881
(期末手当)	—	1,250,000
(決算手当)	—	788,338
下半期計	135	2,677,367
合 計	265	3,216,164
平 均		12,136

(ウ) 施設外就労実績

就労継続支援B型

月	保健所		月	保健所	
	人数	日数		人数	日数
4月	28	9	10月	28	9
5月	25	8	11月	25	8
6月	25	8	12月	24	8
7月	25	8	1月	24	8
8月	28	9	2月	25	8
9月	22	7	3月	28	9
上半期	153	49	下半期	154	50
合 計				307	99

(エ) 製品販売売上実績

	イベント販売		備考
	売上	日数	
4月	0	0	
5月	40,010	1	きもの祭り
6月	0	0	
7月	0	0	
8月	0	0	
9月	0	0	
上半期計	40,010	1	
10月	61,755	1	みつば祭
11月	0	0	
12月	0	0	
1月	0	0	
2月	15,900	1	
3月	0	0	
下半期計	77,655	2	
合計	117,665	3	

エ 日中活動内容

(ア) 施設外就労

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	保健所	清掃	週2回

(イ) 施設外支援（職場実習）

今年度の報告事項はありませんでした。

(ウ) 受託作業

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	妻有農産	きのこフィルム挿し	
2	ハピネス	箱折り、ブーツ磨き、衣装袋	
3	カネコ工業	シート切り	
4	越後製菓	鏡餅飾り作り	
5	根茂レース	糸取り	
6	新潟大東紡	羊毛布団端切れ仕分け	
7	小川電気	ケース磨き	
8	大林印刷	鏡餅飾り作り	
9	十日町市	成人式記念品	
10	十日町福祉会	紙おむつ回収	
11	サンタクリエイト	封緘	

オ 自主製品

No	商 品 名	備 考
1	米粉ピザ生地	
2	米粉パン（シュガー、塩、ココア）	
3	アクリルたわし	
4	廃電線マグネット	

カ 訪問販売先

今年度の報告事項はありませんでした。

キ 委託販売先

今年度の報告事項はありませんでした。

④ 健康管理状況

実施日	内 容	備 考
4月28日	血液、心電図、X線撮影	
6月27日	嘱託医による内科検診	

⑤ 加算の状況

ア 生活介護

上限額管理加算	初期加算
食事提供体制加算	訪問支援特別加算1
延長支援加算1	延長支援加算2
福祉専門職員配置等加算Ⅲ	欠席時対応加算
送迎加算Ⅰ	処遇改善加算Ⅰ

イ 就労継続支援B型

食事提供体制加算	目標工賃達成指導員配置加算1
重度者支援体制加算Ⅰ1	福祉専門職員配置等加算Ⅲ
欠席時対応加算	送迎加算Ⅰ
初期加算	処遇改善加算Ⅰ

⑥ 従業員の常勤換算状況

ア 生活介護

(令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	1.0			1.0
医師			1	1.0
看護師等		0.1		0.1
生活支援員	5.0	0.8		5.8
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他	1.0			1.0
合 計	8.0	0.9	0.0	9.9

イ 就労継続支援B型

(令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1			1.0
サービス管理責任者	1			1.0
看護師等				0.0
生活支援員	2			2.0
職業指導員	1	0.8		1.8
就労支援員				0.0
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他	2			2.0
合 計	7	0.8	0.0	7.8

(2) 放課後等デイサービス事業

① 稼働状況

月	稼働日	延べ利用者数			稼働率	送迎回数
		放課後	1日	合計		
4月	21	150	45	195	92.86	84
5月	21	173	13	186	88.57	61
6月	23	187	6	193	83.91	69
7月	22	158	58	216	98.18	71
8月	20	6	182	188	94.00	101
9月	21	198	3	201	95.71	49
上半期計	128	872	307	1,179	92.11	435
10月	23	201	10	211	91.74	50
11月	20	199	10	209	104.50	67
12月	23	209	31	240	104.35	96
1月	20	179	34	213	106.50	84
2月	20	201	7	208	104.00	74
3月	21	170	67	237	112.86	101
下半期計	127	1,159	159	1,318	103.78	472
合計	255	2,031	466	2,497	97.92	907

○放課後利用 14:00～18:00

○1日利用 8:30～16:30

令和8年3月末の利用契約者数
21
令和8年3月末の利用者数
20

② 利用者の状況

ア 学校別

		ふれあいの丘支援学校		西小	東小	川治小	田沢小	南中	高等部	計
		小学部	中学部							
放課後 デイ	男	6	5	0	0	0	0	1	1	13
	女	1	0	1	0	1	0	0	5	8
合計		7	5	1	0	1	0	1	6	21

イ 市町村別状況

十日町市	津南町	計
21	0	21

ウ 区分別延べ利用者数

報酬区分		延べ利用者数		
		授業終了後	休業日	計
個別サポート(I) 該当者	長時間	0	196	196
	3時間未満	703	0	703
個別サポート 非該当	長時間	0	269	269
	3時間未満	1,313	0	1,313

③ 障害福祉サービス費以外の費用負担

通常時	授業終了後のサービスを行う時	食費(1日当たり)	30 円	実費等(1ヶ月あたり)	円
	休業日にサービスを行う時	食費(1日当たり)	30 円	実費等(1ヶ月あたり)	円
長期休暇時	授業終了後のサービスを行う時	食費(1日当たり)	30 円	実費等(1ヶ月あたり)	円
	休業日にサービスを行う時	食費(1日当たり)	30 円	実費等(1ヶ月あたり)	円

④ 加算の状況

欠席時対応加算Ⅰ	福祉専門職員配置等加算Ⅲ
送迎加算Ⅰ	延長支援加算111
延長支援加算112	延長支援加算113
個別サポート加算Ⅰ1	個別サポート加算Ⅰ1 (一定要件)
個別サポート加算Ⅰ2 (重度)	処遇改善加算Ⅰ

⑤ 従業者の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
児童発達支援管理責任者	1.0			1.0
児童指導員		1.5		1.5
保育士	1.0			1.0
その他		1.0		1.0
合 計	3.0	2.5	0.0	5.5

Ⅲ－Ⅲ

グループホーム千手かたくり

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	グループホーム千手かたくり
所在地	新潟県十日町市下条4丁目183番地2(ケアホームげじょう内)
設立年月日	平成30年4月1日
施設長名	根津 美佐子
電話番号	025-755-5162
FAX番号	025-755-5272
E-mailアドレス	info-katakuri@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
共同生活援助事業	52	令和6年10月1日	1521000016	十日町市、津南町
共同生活援助事業所内				
短期入所事業(しんざ)	1	令和4年10月1日	1511000224	十日町市 津南町
短期入所事業(なでしこ)	1	令和4年10月1日	1511000232	
短期入所事業(あじさい)	1	令和4年10月1日	1511000240	

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	利用者の意思を尊重した個別支援を実践します	利用者を主体とし、意思を尊重した個別支援が提供できるよう、相互牽制が行える組織づくりに取り組みます。
		取組結果
		ご利用者の意思を尊重した支援がチームで提供できるよう、スタッフ会議において利用者の情報共有や助言等を行いました。
②	地域とのつながりを強化します	地域連携推進会議を企画・開催するほか、地域資源の活用や、地域での楽しみを提供します。
		取組結果
		地域連携推進会議を10月に開催し、地域住民の方からグループホームの様子を知っていただき、貴重なご意見をいただきました。

③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	現場職員のニーズに見合った研修を企画・実践します。
		取組結果
		感染症予防研修を2回開催し防護服着脱研修、吐物処理研修ともに日々の業務に生かせる内容でした。 虐待防止研修を年2回実施し、アンガーマネジメント、言葉遣い等について研修しました。
④	安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	関係者と連携し、共同生活援助事業は目標稼働率95%、短期入所事業は8%の達成を目指します。
		取組結果
		共同生活援助事業については、年間を通じ入居6名、退去3名となり、3名の増員となりましたが長期入院者等が影響し、目標稼働率は達成できませんでした。 短期入所事業については、新規ご利用者を積極的に受け入れ、目標を上回りました。
⑤	事業継続計画（BCP）の検証と対策を行います	事業所の移転に伴い、事業継続計画の見直しを早急に行います。
		取組結果
		非常災害時のBCPについて、係で見直しを行いました。 しかしながら、全体で共有ができませんでした。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
班会議	6	5	11	13
施設長・班長会議	6	6	12	0
スタッフ会議	47	47	94	87

② 委員会

委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
リスクマネジメント委員会 苦情対策委員会	4	2	6	7
身体的拘束適正化・ 虐待防止委員会	4	2	6	3
衛生委員会	12	6	18	29
研修委員会	0	0	0	0
防災委員会	1	1	2	0
③ 検討班				
設置なし				

グループホーム千手かたくり

(4) 事業別計画（共同生活・短期入所事業）		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者を主体とし、意思を尊重した個別支援が提供できるよう、相互牽制が行える組織づくりに取り組みます	・日々の個別支援場面において利用者の意思を尊重します。 ・報告・相談・連絡などの日々のコミュニケーションを重視し、風通しの良い職場風土を目指します。
		取組結果
		ご利用者の意思を尊重した支援がチームで提供できるよう、世話人等の現場スタッフと係間の情報共有や助言等を行いました。各グループホームの日誌を毎日確認する体制にし、報告・連絡・相談等がスムーズにできるよう工夫しました。
②	地域連携推進会議を企画・開催するほか、地域資源の活用や、地域での楽しみを提供します	・地域連携推進会議の開催に取り組むほか、地域とのつながりを深めます。 ・安心・安全な生活を基本としながら、個々に見合った楽しみを提供します。
		取組結果
		10月に地域連携推進会議を開催しました。準備等が遅れたこともあり、見学・会議等の時間配分が今後に向けて課題として残りました。一部のご利用者ではありますが、定期的に地域で開催される催し物に参加し、楽しむことができました。
③	現場職員のニーズに見合った研修を企画・実践します	・権利擁護・虐待防止についての研修を行い、支援の振り返りと質の向上を目指します。 ・月1回のスタッフ会議においては、現況の確認に併せ、現場職員への指導・助言を行います。
		取組結果
		虐待防止研修を2回開催し、世話人等の多数の参加がありました。アンガーマネジメント研修は、参考になったとの感想が複数ありました。月1回のスタッフ会議では、利用者状況の確認を中心としながらも支援姿勢・支援方法に対して助言を行いました。

④	関係者と連携し、共同生活援助事業は目標稼働率95%、短期入所事業は8%の達成を目指します	・空床の解消に向け、相談支援事業所を中心とした関係者と連携して取り組みます。 ・説明会・見学会など情報提供を積極的に行います。 ・体験利用居室の利用促進に取り組みます。 ・コスト意識を持ち、業務の検証に取り組みます。
		取組結果
		共同生活援助事業については、年間を通じ、入居6名、退去3名となり3名の増員となりました。しかし、入院が長期に及んだ方が3名おり、目標稼働率は達成できませんでした。 短期入所事業については、新規ご利用者を積極的に受け入れ、目標を上回りました。 9月にあおぞらと共催で、グループホーム説明会を開催し、40名を超える参加があり、グループホームへの関心の高さを実感しました。
⑤	事業所の移転に伴い、事業継続計画の見直しを早急に行います	災害発生時の業務継続計画について、実態に見合った見直しを行います。 感染症発生時の業務継続計画について、状況に応じた見直しを行います。
		取組結果
		災害発生時の業務継続計画について、事務所の移転があり、実態に見合った見直しを行いました。が係の取り組みにとどまり、共有されていない状況です。

(5) 事業活動上の取組

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
共同生活援助	2	0	2	1
合 計	2	0	2	1

苦情(内容)

発生日	部署	苦情等の内容・原因	再発防止策
6月25日	いずみ	利用者の後見人様より、面談で決めた事項を守ってほしいとの苦情がありました。利用者の状態から受診は不要と判断し、面談の決定事項を実施しなかったことが原因です。	面談での決定事項に沿った支援を行います。受診に関する事項は専門家に相談してから返答します。
7月23日	いずみ	利用者の後見人様より、利用者の体調不良(便秘)の際、他利用者の薬を服用させたことについて薬事法違反ではないかとの苦情がありました。早急の対応が求められたため、判断を誤りました。	真摯に反省し、薬の取り扱いについて統一した対応を行います。

② 拘束

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
共同生活援助	2	2	4	4
合 計	2	2	4	4

拘束(内容)

発生日	部署	拘束の内容	対応
4月23日	やまゆり	コロナに感染し、居室で安静が保てないため、ご家族の同意の元で居室入口を施錠しました。	隔離期間終了後は直ちに解除しました。
4月28日	やまゆり	コロナに感染し、居室で安静が保てないため、ご家族の同意の元で居室入口を施錠しました。	隔離期間終了後は直ちに解除しました。

11月16日	やまゆり	精神状態が不安定で、無断外出が続き、安全が確保できないためご家族の同意の元で居室入口を施錠しました	施錠により更に不穏が増長したため3日間で解除し、見守りに切り替えました。
12月3日	あじさい	インフルエンザに感染し、居室で安静が保てないため、ご家族の同意の元で居室入口を施錠しました。	症状が軽快し、発熱後5日間経過したため協議の上で解除しました。

③ ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
4月15日～5月15日	倫理及び法令遵守に関する研修	9
6月9日、18日	感染症および食中毒まん延防止研修 (防護服着脱、手洗い他)	40
8月29日	身体拘束適正化及び虐待防止研修	32
9月21日、25日	感染症および食中毒まん延防止研修 (嘔吐物処理)	38
3月25日	身体拘束適正化及び虐待防止研修	35

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
避難訓練	1	2	3	4
消火訓練	1	1	2	2
合 計	2	3	5	6

⑥ 実習生受け入れ

今年度の報告事項はありませんでした。

(1) 共同生活援助事業

① 稼働状況

ア 稼働状況（グループホーム別）

月	実稼働 日数	かたくり		しんざ		やまゆり		しらゆり		いずみ	
		定員 5 人		定員 7 人		定員 7 人		定員 6 人		定員 7 人	
		延利用者数	稼働率	延利用者数	稼働率	延利用者数	稼働率	延利用者数	稼働率	延利用者数	稼働率
4月	30	90	60	187	89	210	100	180	100	158	75
5月	31	86	55	203	94	217	100	183	98	166	76
6月	30	90	60	201	96	210	100	179	99	199	95
7月	31	95	61	193	89	201	93	185	99	207	95
8月	31	87	56	173	80	184	85	184	99	187	86
9月	30	94	63	169	80	180	86	179	99	199	95
上半期計	183	542	59	1,126	88	1,202	94	1,090	99	1,116	87
10月	31	94	61	178	82	186	86	185	99	207	95
11月	30	95	63	189	90	180	86	179	99	195	93
12月	31	96	62	201	93	185	85	185	99	205	94
1月	31	103	66	200	92	184	85	181	97	196	90
2月	28	99	71	187	95	168	86	167	99	185	94
3月	31	114	74	203	94	186	86	185	99	206	95
下半期計	182	601	66	1,158	91	1,089	85	1,082	99	1,194	94
合計	365	1,143	59.23	2,284	87.90	2,291	93.83	2,172	99.27	2,310	87.12
月	実稼働 日数	はら		あじさい		なでしこ		事業所全体			
		定員 6 人		定員 7 人		定員 7 人		総定員		52	
		延利用者数	稼働率	延利用者数	稼働率	延利用者数	稼働率	延利用者数		稼働率	
4月	30	180	100	200	95	150	71	1,355		86.86%	
5月	31	184	99	196	90	151	70	1,386		85.98%	
6月	30	172	96	204	97	150	71	1,405		90.06%	
7月	31	155	83	197	91	157	72	1,390		86.23%	
8月	31	158	85	206	95	161	74	1,340		83.13%	
9月	30	152	84	204	97	149	71	1,326		85.00%	
上半期計	183	1,001	91	1,207	94	918	72	8,202		86.19%	
10月	31	186	100	211	97	179	82	1,426		88.46%	
11月	30	178	99	189	90	177	84	1,382		88.59%	
12月	31	186	100	196	90	215	99	1,469		91.13%	
1月	31	182	98	204	94	205	94	1,455		90.26%	
2月	28	140	83	191	97	194	99	1,331		91.41%	
3月	31	155	83	213	98	209	96	1,471		91.25%	
下半期計	182	1,027	94	1,204	95	1,179	93	8,534		90.17%	
合計	365	2,028	92.60	2,411	94.36	2,097	82.07	16,736		88.18%	

令和8年3月末の登録者数 49 人

イ 短期入所支援実績

月	実利用者数				延べ人数				利用日数				1日平均	稼働率
	しんざ	あじさい	なでしこ	計	しんざ	あじさい	なでしこ	計	しんざ	あじさい	なでしこ	計		
4月	2	1	1	4	2	1	1	4	4	3	3	10	0.33	11.11
5月	2	1	3	6	2	1	3	6	4	2	7	13	0.42	13.98
6月	1	1	1	3	1	1	1	3	2	3	3	8	0.27	8.89
7月	2	1	3	6	2	1	3	6	4	3	7	14	0.45	15.05
8月	2	1	1	4	2	1	1	4	4	3	2	9	0.29	9.68
9月	4	1	2	7	4	1	2	7	9	3	4	16	0.53	17.78
上半期計	13	6	11	30	13	6	11	30	27	17	26	70	0.38	12.75
10月	3	1	1	5	3	1	1	5	29	3	3	35	1.13	37.63
11月	3	1	1	5	3	1	1	5	10	3	5	18	0.60	20.00
12月	1	1	1	3	1	1	1	3	2	5	3	10	0.32	10.75
1月	2	0	0	2	2	0	0	2	6	0	0	6	0.19	6.45
2月	2	1	3	6	2	1	3	6	6	3	7	16	0.57	19.05
3月	2	1	2	5	2	1	2	5	3	7	0	10	0.32	10.75
下半期計	13	5	8	26	13	5	8	26	56	21	18	95	0.52	17.40
合 計	26	11	19	56	26	11	19	56	83	38	44	165	0.45	15.07

② 利用者の状況

ア 入退居・異動状況

グループホーム名	入居	退去	新規利用者の場合は利用者開始前の状況	備考
いずみ	1	0	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	
いずみ	1	0	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	
しんざ	0	1	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	特別養護老人ホーム
しんざ	1	0	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	
やまゆり	0	1	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	有料老人ホーム
かたくり	1	0	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	
なでしこ	1	0	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	
なでしこ	1	0	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	
はら	0	1	在宅・入所施設・他GH・病院・その他	有料老人ホーム
合 計 (人)	6	3		

イ 年齢別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合計	平均年齢	
かたくり	男	0	0	0	0	0	0	0	0	44.41	44.41
	女	0	0	1	2	0	1	0	4		
しんざ	男	0	0	0	2	0	1	2	5	60.65	55.36
	女	0	1	0	0	0	1	0	2	42.13	
やまゆり	男	0	0	1	0	1	0	4	6	65.65	65.65
	女	0	0	0	0	0	0	0	0		
しらゆり	男	0	0	0	0	0	0	0	0	71.42	71.42
	女	0	0	0	0	1	1	4	6		
いずみ	男	0	0	0	3	2	0	0	5	48.58	48.83
	女	0	0	1	0	1	0	0	2	49.46	
はら	男	0	0	0	0	1	0	2	3	65.72	65.15
	女	0	0	0	0	1	0	1	2	64.29	
あじさい	男	0	1	2	0	3	1	0	7	46.14	46.14
	女	0	0	0	0	0	0	0	0		
なでしこ	男	0	0	0	0	0	0	0	0	53.24	53.24
	女	0	0	1	1	4	1	0	7		
合 計		0	2	6	8	14	6	13	49		
		0.00%	4.08%	12.24%	16.33%	28.57%	12.24%	26.53%	100.00%		

ウ 出身市町村状況

		十日町市	津南町	その他	計	合計（人）
かたくり	男	0	0	0	0	4
	女	4	0	0	4	
しんざ	男	4	1	0	5	7
	女	2	0	0	2	
やまゆり	男	6	0	0	6	6
	女	0	0	0	0	
しらゆり	男	0	0	0	0	6
	女	6	0	0	6	
いずみ	男	4	1	0	5	7
	女	2	0	0	2	
はら	男	3	0	0	3	5
	女	2	0	0	2	
あじさい	男	6	1	0	7	7
	女	0	0	0	0	
なでしこ	男	0	0	0	0	7
	女	7	0	0	7	
合計（人）	男	23	3	0	26	49
	女	23	0	0	23	

エ 在籍年数状況

（前グループホーム利用年数含む）

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合計（人）	平均在籍（年）	
かたくり	男	0	0	0	0	0	0	0	0		11.48
	女	0	2	0	0	0	0	2	4	11.48	
しんざ	男	1	1	0	1	1	1	0	5	8.05	6.90
	女	0	1	0	1	0	0	0	2	4.04	
やまゆり	男	0	0	0	1	5	0	0	6	10.76	10.76
	女	0	0	0	0	0	0	0	0		
しらゆり	男	0	0	0	0	0	0	0	0		12.34
	女	0	0	0	4	0	1	1	6	12.34	
いずみ	男	2	0	0	0	3	0	0	5	7.42	9.63
	女	0	0	0	1	0	0	1	2	15.17	
はら	男	0	0	0	1	1	0	2	4	17.77	17.98
	女	0	0	0	0	1	0	1	2	18.42	
あじさい	男	3	1	0	2	0	0	1	7	6.75	6.75
	女	0	0	0	0	0	0	0	0		
なでしこ	男	0	0	0	0	0	0	0	0		12.83
	女	0	0	0	4	0	1	1	6	12.83	
合計（人）		6	5	0	15	11	3	9	49		
割 合		12.24%	10.20%	0.00%	30.61%	22.45%	6.12%	18.37%	100.00%		

オ 身体状況

(ア) 障害支援区分状況

		非該当	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合計（人）
かたくり	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
しんざ	男	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
	女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
やまゆり	男	0	0	0	0	1	4	1	0	0	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しらゆり	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	2	2	1	0	6
いずみ	男	0	0	0	0	3	2	0	0	0	5
	女	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
はら	男	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
あじさい	男	0	0	0	0	2	5	0	0	0	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
なでしこ	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	3	0	2	1	1	0	7
合 計		0	0	1	8	12	22	4	2	0	49
割 合		0.00%	0.00%	2.04%	16.33%	24.49%	44.90%	8.16%	4.08%	0.00%	100.00%

(イ) 障害支援区分別延べ利用者数

報酬区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
介護サービス包括型	360	2192	3,891	8,116	1,815	362	0	16,736
うち居宅介護利用				0	0	0	0	0
外部サービス利用型	0	0	0	0	0	0	0	0

カ 各種手帳並びに年金受給状況

		療育手帳 A	療育手帳 B	障害基礎 年金1級	障害基礎 年金2級	身障手帳	精神障害者手帳
かたくり	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	4	0	4	0	0
しんざ	男	3	2	3	2	0	0
	女	1	1	1	1	0	0
やまゆり	男	5	1	6	0	1	0
	女	0	0	0	0	0	0
しらゆり	男	0	0	0	0	0	0
	女	5	1	6	0	1	0
いずみ	男	2	3	2	3	0	0
	女	1	1	1	1	0	0
はら	男	0	3	0	3	0	0
	女	0	2	1	1	0	0
あじさい	男	4	3	4	3	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
なでしこ	男	0	0	0	0	0	0
	女	4	3	4	3	0	0
合 計 (人)		25	24	28	21	2	0

キ 利用者負担上限月額状況

		0 円	1,500 円	24,600 円	37,200 円	その他	合計 (人)
かたくり	男	0	0	0	0	0	0
	女	4	0	0	0	0	4
しんざ	男	5	0	0	0	0	5
	女	2	0	0	0	0	2
やまゆり	男	6	0	0	0	0	6
	女	0	0	0	0	0	0
しらゆり	男	0	0	0	0	0	0
	女	6	0	0	0	0	6
いずみ	男	5	0	0	0	0	5
	女	2	0	0	0	0	2
はら	男	3	0	0	0	0	3
	女	2	0	0	0	0	2
あじさい	男	7	0	0	0	0	7
	女	0	0	0	0	0	0
なでしこ	男	0	0	0	0	0	0
	女	7	0	0	0	0	7
合 計 (人)		49	0	0	0	0	49

③ 事業内会議・研修等開催状況

ア 事業内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（回）
世話人会議	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	95
地域支援班会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11

④ 健康管理状況

ア 入院状況

性別	年齢	疾患名	医療機関		入院 日数
			病院名	受診科	
男性	67	インフルエンザA罹患、十二指腸通過障害	十日町病院	内科	16
男性	35	特発性腸間膜出血	十日町病院	外科	9
男性	73	腰椎圧迫骨折	十日町病院	整形外科	67
男性	70	腸閉塞	十日町病院	外科	28
男性	67	歩行困難	十日町病院	整形外科	99
男性	73	てんかん	基幹病院	神経内科	29
男性	20	急性虫垂炎・麻痺性イレウス	十日町病院	外科	26
男性	73	精神状態不安定	基幹病院	精神科	64
延べ人数	8	実人数	5	延べ入院日数	338

イ 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	17	16	13	22	16	18	13	19	17	14	14	14	193
外科	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
眼科	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
泌尿器科	1	0	0	1	2	3	0	0	0	1	1	1	10
整形外科	4	3	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	13
耳鼻科	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	6
脳外科	2	0	0	2	0	2	1	0	2	0	1	2	12
精神科	6	8	4	6	4	7	2	7	6	5	2	9	66
神経内科	3	1	4	5	0	3	1	1	3	0	0	2	23
皮膚科	0	5	0	0	3	4	4	2	0	5	0	0	23
婦人科	5	0	6	0	4	0	4	0	4	0	0	0	23
歯科	1	1	0	2	1	3	1	1	2	1	0	4	17
その他	0	0	1	2	2	0	0	2	0	0	0	0	7
合計	41	36	29	42	34	42	27	34	34	28	18	36	401

ウ 医療的ケアの実施状況

血糖測定・インスリン注射		静脈内注射（点滴を含む）		中心静脈栄養の管理	
透析の管理		ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理		酸素療法	
レスピレーター（人工呼吸器）の管理		気管切開のケア		疼痛の管理	
疼痛の管理（麻薬を用いるもの）		経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	○
褥瘡の処理		カテーテルの管理	○	喀痰吸引	
ネブライザー		創傷処理（褥瘡を除く）	○	服薬管理（注射を除く）	○
認知症に関する専門的ケア		摘便		浣腸	
一時的導尿		その他			

⑤ 利用状況

サービスを提供する事業所種別	介護サービス包括型
共同生活援助援助サービス費（Ⅰ）	6 : 1

⑥ 加算の状況

福祉専門職員配置等加算（Ⅰ）	帰宅時支援加算（Ⅰ）（Ⅱ）
夜間支援体制加算（Ⅰ）	入院時支援特別加算
長期入院時支援特別加算	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
人員配置体制加算（Ⅰ）	日中支援加算（Ⅰ）（Ⅱ）

⑦ 従業者の常勤換算状況（令和8年3月末日現在）

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	2.0			2.0
生活支援員	5.0	3.7		8.7
世話人		8.8		8.8
その他		7.4	1.8	9.2
合 計	8.0	19.9	1.8	29.7

Ⅲ－Ⅳ

障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	ワークセンターなごみ
所在地	新潟県十日町市八箇甲354番地7
設立年月日	平成19年4月1日
敷地面積	1,589.27㎡
建物構造	鉄骨構造2階建(耐火建築物、耐震構造)
延べ床面積	651.02㎡
施設長名	関口 友由
電話番号	025-750-1010
FAX番号	025-750-5761
E-mailアドレス	info-work_nagomi@fuku-tokamachi.or.jp
従たる事業所の名称	わかふえ
所在地	新潟県十日町市本町2丁目333番地1
設立年月日	平成28年4月1日

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
就労移行支援事業	3	平成25年4月1日	1511000117	十日町市、津南町
就労継続支援B型事業	34	平成25年4月1日	1511000117	十日町市、津南町
就労定着支援事業		平成30年11月1日	1511000117	十日町市、津南町
日中一時支援事業				十日町市、津南町
就労選択支援事業	10	令和7年10月1日	1511000315	十日町市、津南町

(2) 重点目標	
障害事業部重点目標	事業所重点目標
①	利用者の意向や意思決定を尊重し、課題の整理と共有化を図ります。
	取組結果
	上半期に引き続き6か月毎に、ご利用者の個別支援計画モニタリングで、ご利用者に事業所での作業や生活、対人関係状況等の意向確認を行っています。 その結果、意思を尊重した個別の目標や支援内容を職員間で共有し、実践しました。

②	地域とのつながりを強化します	事業所の特色を活かし、地域共生者社会の一員として地域と利用者のつながりを支援します。
		取組結果
		製菓とわかふえにおいては、お菓子や軽食等を地域の企業や道の駅等の委託販売先との定期的な関わりがあり、また地域イベント等の参加によるつながりを持ち、事業所の存在や関係維持を進めた機会と取り組みを実践しました。
③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	利用者が地域で主体的に生活できるよう、意思決定プロセスを重視した専門性を高める取り組みを行います。
		取組結果
		就労移行や就労選択支援事業に従事する職員から、専門性の担保と実践に向けた基礎的知識の習得を進めた他は、日常業務を優先するあまり、専門性を高める研修参加や事業所全体での取り組みは十分に取組めませんでした。
④	安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	利用者に合理的配慮への策を講じた支援を展開し、活動の幅を広げ就労や工賃水準を高める取り組みを目指します。
		取組結果
		ご利用者の個別状況や希望に合わせて活動範囲の調整を行い、やりがいを持てるよう支援することで稼働率の安定が図られました。 原材料や消耗品等の出資状況を現場職員と定期的に情報共有し、取引先業者との価格交渉や製品の内容量等調整を行い、収支差額を広げすぎないようにしました。
⑤	事業継続計画(BCP)の検証と対策を行います	事業継続計画(BCP)の整備を行い、検証作業から計画の見直しを図ります。
		取組結果
		毎月の避難訓練等で各種災害を想定し実施していますが、BCPの検証作業から計画の見直しを図る取り組みまでは至っていません。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
連絡調整会議	6	6	12	6
職員会議(給食会議)	6	6	12	12
従たる事業所会議	0	3	3	0
ケア会議	6	6	12	12
係打合せ	9	6	15	10
② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
リスクマネジメント委員会	0	0	0	0
衛生委員会	2	2	4	5
身体拘束適正化委員会	0	1	1	1
虐待防止委員会	0	1	1	1
苦情解決委員会	0	0	0	0
③ 検討班				
設置なし				

障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ

(4) 事業別計画(就労移行支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者の意向や意思決定を尊重し、課題の整理と共有化を図ります	・職場実習先の開拓により、企業で働く経験の機会を確保したうえで、本人意思の聞き取りや意向確認を進めます。
		取組結果
		ご利用者の体調や家庭の環境等に配慮した活動の取り組みと相談支援を行いました。体調の安定が継続できない状況であったため、職場実習や企業見学等は実現できていません。
②	事業所の特色を活かし、地域共生者社会の一員として地域と利用者のつながりを支援します	・事業所機能の強みの部分を共生社会作りに活かし、イベント機会など地域とのかかわりを重視した地域貢献活動を推進します。
		取組結果
		地域イベントの参加は例年並みに取り組みました。新たにわかふえでは、にいがたライオンズ主催の中越地区ミニバスケット大会にて、カレー等飲食出張販売を行い、幅広く事業所の商品宣伝や交流をする機会ができました。
③	利用者が地域で主体的に生活できるよう、意思決定プロセスを重視した専門性を高める取り組みを行います	・ゴール設定とそこに向けた段階的支援内容を明確にするため、アセスメント等の支援プロセスを重視し、就労アセスメントに反映させることで、モニタリングを通じて状況の確認を行います。 ・地域障害者職業センターが主催する就業専門人材の基礎的研修を受講し、就労支援員の育成を図ります。
		取組結果
		ご利用者の体調の変化により安定した利用に至らなかったことで、ゴールに近づく取り組みやアプローチが勧められませんでした。新たに職員2名が、地域障害者職業センター主催の障害者の就労支援に関する基礎的研修を受講し、要件を満たすことができましたが、実践にまでは至っておりません。
④	利用者に合理的配慮への策を講じた支援を展開し、活動の幅を広げ就労や工賃水準を高める取り組みを目指します	・自主製品や新商品の開発及び「合理的配慮に基づいた活動環境作り」により、利用者の活動の幅を広げる取り組みを行います。 ・製造原価の高騰にともない製造コストの管理や高単価の作業種開拓を進め、効率的に工賃に反映できる取り組みを行います。
		取組結果
		ご利用者の作業能力や人的物理的環境に配慮しながら、作業の種類を選定、提案し勧めることで意欲的で継続性が保てる状況が見られています。
⑤	事業継続計画(BCP)の整備を行い、検証作業から計画の見直しを図ります	・事業継続計画(BCP)の訓練を行い、検証作業により計画の見直しと環境整備を進めます。
		取組結果
		毎月各種災害に合わせた訓練を実施していますが、BCPの検証作業から計画の見直しを図る取り組みまでには至っていません。

障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ

(5) 事業別計画(就労継続支援B型事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者の意向や意思決定を尊重し、課題の整理と共有化を図ります	・作業工程の細分化と視覚化により、利用者主体の作業展開を図ります。 ・活動のかなで職業スキルが高まっている利用者へ企業の職場見学、体験を進め就労への関心や意欲を確認し支援します。
		取組結果
		引き続き、6ヶ月毎の個別支援計画モニタリング(ケア会議)にご利用者の同席を求め、意向や意思の聴き取りと確認を行っています。意思決定を反映する支援計画作成と支援の取り組みも継続して進めました。
②	事業所の特色を活かし、地域共生者社会の一員として地域と利用者のつながりを支援します	・事業所機能の強みの部分を共生社会作りに活かし、イベント機会など地域とのかかわりを重視した地域貢献活動を推進します。
		取組結果
		地域イベントの参加は例年並みに取り組みました。新たにわかふえでは、にいがたライオンズ主催の中越地区ミニバスケ大会にて、カレー等飲食出張販売を行い、広く事業所の商品宣伝や交流をする機会ができました。
③	利用者が地域で主体的に生活できるよう、意思決定プロセスを重視した専門性を高める取り組みを行います	・ゴール設定とそこに向けた段階的支援内容を明確にするため、アセスメント等の支援プロセスを重視し、個別支援計画に反映させることで、モニタリングを通じて状況の確認を行います。
		取組結果
		日課や作業を通して個別の意向や強みを職員間で情報共有し、自発的な姿勢や取り組みに反映できる支援のアプローチを行いました。
④	利用者に合理的配慮への策を講じた支援を展開し、活動の幅を広げ就労や工賃水準を高める取り組みを目指します	・自主製品や新商品の開発及び「合理的配慮に基づいた活動環境作り」により、利用者の活動の幅を広げる取り組みを行います。 ・製造原価の高騰にともない製造コストの管理や高単価の作業種開拓を進め、効率的に工賃に反映できる取り組みを行います。
		取組結果
		ご利用者の作業能力や人的物理的環境に配慮しながら、作業の種類を選定、提案し勧められるか否かの意向確認を行い、個別に差はあるものの意欲的で継続性が保てる状況が見られました。
⑤	事業継続計画(BCP)の整備を行い、検証作業から計画の見直しを図ります	・事業継続計画(BCP)の訓練を行い、検証作業により計画の見直しと環境整備を進めます。
		取組結果
		毎月各種災害に合わせた訓練を実施していますが、BCPの検証作業から計画の見直しを図る取り組みまでは至っていません。

障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ

(6) 事業別計画(就労定着支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者の意向や意思決定を尊重し、課題の整理と共有化を図ります	・定期的な聞き取り、面談を行い利用者の意向と職場評価をすり合わせ、職場環境の整備を進めます。 ・作業工程の細分化と視覚化により、利用者主体の作業展開を図ります。
		取組結果
		契約されていたご利用者1名の支援が、10月末で終了しました。就業・生活あおぞらへ支援の引継ぎを行い、現状と雇用継続の意思確認等を行ってきました。
②	事業所の特色を活かし、地域共生者社会の一員として地域と利用者のつながりを支援します	・事業所機能の強みの部分を共生社会作りに活かし、イベント機会など地域とのかかわりを重視した地域貢献活動を推進します。
		取組結果
		今年度での取り組みはできませんでした。
③	利用者が地域で主体的に生活できるよう、意思決定プロセスを重視した専門性を高める取り組みを行います	・職員の就労支援技術の向上を図ります。 ・地域障害者職業センターが主催する就業専門人材の基礎的研修を受講し、就労定着支援員の育成を図ります。
		取組結果
		新たに職員2名が就労支援に関する基礎的研修を受講し、事業従事者の要件を満たすことができました。その他の専門性を高める研修や実践に取り組むことができませんでした。
④	利用者に合理的配慮への策を講じた支援を展開し、活動の幅を広げ就労や工賃水準を高める取り組みを目指します	・企業就職後に企業担当者との情報共有を進め、早期の段階から職場に適応できる様、環境調整を図ります。 ・利用者状況と強みの部分を職場環境に活かせるよう、障害者就業・生活支援センターとの情報共有を進め、支援します。
		取組結果
		就業・生活あおぞらと情報共有等行っていますが、直接的な支援には繋がりませんでした。
⑤	事業継続計画(BCP)の整備を行い、検証作業から計画の見直しを図ります	・事業継続計画(BCP)の訓練を行い、検証作業により計画の見直しと環境整備を進めます。
		取組結果
		毎月各種災害に合わせた訓練を実施していますが、BCPの検証作業から計画の見直しを図る取り組みまでは至っていません。

障害福祉サービス事業所ワークセンターなごみ

(7) 事業別計画(日中一時支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	利用者の意向や意思決定を尊重し、課題の整理と共有化を図ります	利用者が地域で主体的に生活できるよう、自己決定プロセスを重視した支援を行います
		取組結果
		今年度の受入れはありませんでした。
②	事業所の特色を活かし、地域共生者社会の一員として地域と利用者のつながりを支援します	事業所機能の強みの部分を共生社会作りに活かし、イベントなど地域との関わりを持たせた機会を創出します
		取組結果
		今年度の受入れはありませんでした。
③	利用者が地域で主体的に生活できるよう、意思決定プロセスを重視した専門性を高める取り組みを行います	相談支援事業所等との連携を図り、利用ニーズに沿ったサービスを提供します
		取組結果
		今年度の受入れはありませんでした。
④	利用者に合理的配慮への策を講じた支援を展開し、活動の幅を広げ就労や工賃水準を高める取り組みを目指します	活動のなかで、利用者の強みを発見し、関係機関との情報共有を進めます
		取組結果
		今年度の受入れはありませんでした。
⑤	事業継続計画(BCP)の整備を行い、検証作業から計画の見直しを図ります	事業継続計画(BCP)の訓練を行い、検証作業により計画の見直しと環境整備を進めます
		取組結果
		今年度の受入れはありませんでした。

(8) 事業活動上の取組み

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
就労継続B型事業	0	1	1	1
合 計	0	1	1	1

苦情(内容)

発生日	部署	苦情等の内容・原因	再発防止策
11月25日	就労継続支援B型	ご利用者が朝の送迎車に乗車する際、焦って赤信号の状態で交差点を横断してしまいました。交差点に進入した運転手の方から「危険であった」とご意見をいただきました。	車両が先に到着していても待っているため慌てずに、青信号になってから横断するように理解を求めました。交通ルールを守ることができています。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

④ 施設内研修

今年度の報告事項はありませんでした。

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
避難訓練	6	6	12	6
通報訓練	1	1	2	1
消火訓練	1	1	2	1
合 計	8	8	16	8

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
川西高等特別支援学校	3	5	8	3
合 計	3	5	8	3

○ 事業別報告

(1) 就労移行支援事業、就労継続支援B型事業

① 稼働状況

月	実稼働日数	就労移行支援		就労継続B型		事業所全体	
		定員3人		定員34人		総定員37人	
		延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率
4月	21	19	30.16	780	109.24	799	95.12
5月	20	17	28.33	741	108.97	758	94.75
6月	21	14	22.22	827	115.83	841	100.12
7月	22	16	24.24	825	110.29	841	95.57
8月	20	9	15.00	688	101.18	697	87.13
9月	20	12	20.00	782	115.00	794	99.25
上半期計	124	87	23.39	4,643	110.13	4,730	95.36
10月	22	1	1.52	871	116.44	872	99.09
11月	18	14	25.93	733	119.77	747	103.75
12月	23	15	21.74	813	103.96	828	90.00
1月	20	13	21.67	711	104.56	724	90.50
2月	18	12	22.22	701	114.54	713	99.03
3月	21	14	22.22	802	112.32	816	97.14
下半期計	122	69	18.85	4,631	111.64	4,700	96.31
合計	246	156	21.14	9,274	110.88	9,430	95.83

令和8年3月末の登録者数

就労移行支援	1
就労継続B型	43

② 利用者の状況

ア 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労移行支援	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続支援B型	入所者	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	退所者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2

イ 年齢別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合 計	平均年齢	
就労移行	男	0	0	0	0	0	0	0	0		32.00
	女	0	0	1	0	0	0	0	1	32.00	
就労継続 B型	男	1	5	2	7	9	2	1	27	44.48	44.77
	女	0	3	3	5	0	4	1	16	45.06	
合計		1	8	6	12	9	6	2	44		
		2.27%	18.18%	13.64%	27.27%	20.45%	13.64%	4.55%	100.00%		

ウ 出身市町村状況

		十日町市	津南町	その他	計	合計
就労移行	男	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	1	
就労継続B型	男	26	1	0	27	43
	女	16	0	0	16	
合計		42	2	0	44	44

※自立支援給付費支給市町村

エ 在籍年数状況

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合 計	平均在籍年数	
就労移行	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
	女	0	1	0	0	0	0	0	1	0.00	
就労継続B型	男	1	5	1	5	3	12	0	27	10.37	10.49
	女	1	2	2	2	1	8	0	16	10.69	
合計		2	8	3	7	4	20	0	44		
		4.55%	18.18%	6.82%	15.91%	9.09%	45.45%	0.00%	100.00%		

オ 身体状況

(ア) 障害支援区分状況

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
就労移行	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	1
就労継続B型	男	0	0	9	5	3	0	0	10	27
	女	0	0	3	3	1	0	0	9	16
合計		0	0	12	8	4	0	0	20	44

カ 各種手帳並びに年金受給状況

		療育手帳 A	療育手帳 B	障害基礎 年金1級	障害基礎 年金2級	身障手帳	精神保健 福祉手帳
就労移行	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	0	1
就労継続 B型	男	7	16	5	18	3	4
	女	2	13	1	14	1	1
合計		9	29	6	33	4	6

キ 利用者負担上限月額状況

		0 円	1,500 円	24,600 円	37,200 円	その他	合計
就労移行	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
就労継続 B型	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0

③ 事業実施状況

ア 日中一時支援事業実績

今年度の報告事項はありませんでした。

イ 就労支援事業活動状況

(ア) 職場実習

今年度の報告事項はありませんでした。

(イ) 一般就労者状況

今年度の報告事項はありませんでした。

(ウ) 就労後の6か月以上定着率

今年度の報告事項はありませんでした。

(エ) 工賃支払状況

(単位：円)

	全 体		就労移行支援		就労継続支援B型	
	人数(人)	工賃(円)	人数(人)	工賃(円)	人数(人)	工賃(円)
4月	43	481,114	1	12,900	42	468,214
5月	43	474,885	1	12,344	42	462,541
6月	44	480,795	1	8,753	43	472,042
7月	44	477,172	1	9,918	43	467,254
8月	44	437,579	1	7,553	43	430,026
(夏季手当)	—	368,696	1	12,821	—	355,875
9月	44	496,366	1	7,351	43	489,015
上半期計	262	3,216,607	7	71,640	256	3,144,967
10月	44	501,034	1	596	43	500,438
11月	45	516,609	1	9,626	44	506,983
12月	45	476,797	1	7,280	44	469,517
(冬季手当)	—	1,079,304	—	18,753	—	1,060,551
1月	45	483,380	1	8,567	44	474,813
2月	45	503,893	1	8,652	44	495,241
3月	44	496,804	1	6,127	43	490,677
(期末手当)	45	1,209,723	—	28,130	—	1,181,593
(決算手当)	—	1,643,622	—	35,823	—	1,607,799
下半期計	313	6,911,166	6	123,554	262	6,787,612
合計	575	10,127,773	13	195,194	518	9,932,579
平均		17,614		15,015		19,175

(オ) 施設外就労実績

	就労移行支援			就労継続支援B型			小嶋屋 計	はぶき 計	合計
	小嶋屋	はぶき	小計	小嶋屋	はぶき	小計			
4月	0	0	0	89	0	89	89	0	89
5月	0	0	0	67	0	67	67	0	67
6月	0	0	0	68	0	68	68	0	68
7月	0	0	0	56	0	56	56	0	56
8月	0	0	0	78	0	78	78	0	78
9月	0	0	0	85	0	85	85	0	85
上半期計	0	0	0	443	0	443	443	0	443
10月	0	0	0	101	0	101	101	0	101
11月	0	0	0	70	0	70	70	0	70
12月	0	0	0	20	0	20	20	0	20
1月	0	0	0	70	0	70	70	0	70

2月	0	0	0	55	0	55	55	0	55
3月	0	0	0	84	0	84	84	0	84
下半期計	0	0	0	400	0	400	400	0	400
合計	0	0	0	843	0	843	843	0	843

(カ) 製品販売売上実績

	店舗		訪問販売		イベント販売		合計
	売上	稼働日	売上	回数	売上	日数	
4月	68,575	21	0	0	0	0	68,575
5月	83,006	20	0	0	247,250	1	330,256
6月	73,330	21	0	0	56,700	2	130,030
7月	68,990	22	0	0	0	0	68,990
8月	43,273	20	0	0	41,710	1	84,983
9月	58,760	20	0	0	181,750	2	240,510
上半期計	395,934	124	0	0	527,410	6	923,344
10月	41,230	22	0	0	454,385	4	495,615
11月	70,590	18	0	0	34,800	2	105,390
12月	78,467	22	0	0	13,400	1	91,867
1月	37,542	19	0	0	62,560	2	100,102
2月	42,360	18	0	0	137,670	2	180,030
3月	40,960	20	0	0	303,530	1	344,490
下半期計	311,149	119	0	0	1,006,345	12	1,317,494
合計	707,083	243	0	0	1,533,755	18	2,240,838

ウ 日中活動内容

(ア) 施設外就労

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	小嶋屋総本店	箱折り、製品詰め作業	

(イ) 施設外支援（職場実習）

今年度の報告事項はありませんでした。

(ウ) 受託作業

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	嶋田製作所	ラベル切り 端子仮差し	
2	新潟アライ	ゴム部バリ取り	
3	ハピネス	草履磨き等	
4	はぶき	草履磨き等	
5	竹治郎	正月飾り作り等	
6	越後製菓	鏡餅に使用する飾り品袋詰め	

エ 自主製品

No	項目	商 品 名	備 考
1	煎り豆	ローストビーンズ	
		シュガービーンズ	
		ジンジャービーンズ	
		おつまめ	
	クッキー	おからクッキー	
		焼きかりんとう（7種）	プレーン、生姜、そば、ピリ辛、甘酒、ココア、みそ
		そばチョコクッキー	
		縄文風菓・縄文香菓	
	まんじゅう	まんじゅう（6種）	ふきのとう、酒、南瓜、そば、いも助、お茶
	大福	いちご大福、みかん大福	
	パイ	うめパイ、かぼちゃパイ、さつまいもパイ	
	米粉フィナンシェ	栗フィナンシェ	プレーン、ココア
	せんべい	塩、海老、われえびせん	

オ 訪問販売先

今年度の報告事項はありませんでした。

カ 販売先

（敬称略）

No	店 舗 名	場 所	適 用
1	キナーレ	道の駅内	平成19年から
2	クロス10	道の駅内	平成19年から
3	じろばた	川西コミュニティー広場内	平成19年から
4	キナーレショップ	十日町地区	平成19年から
5	ゆくら妻有	中里地区	平成19年から
6	由屋	水沢地区	平成19年から
7	新潟食楽園	東京都渋谷区	平成20年から
8	ミオン中里	中里地区	平成20年から
9	ベジぱーく	十日町地区	平成21年から
10	ベルナティオ	水沢地区	平成21年から
11	芝峠温泉雲海	松代地区	平成22年から
12	千手温泉千年の湯	川西地区	平成22年から
13	パレット長岡店	長岡市	平成23年から
14	パレット新潟店	新潟市	平成23年から
15	リオンドール十日町店	十日町地区	平成23年から
16	井上商店	十日町地区	平成25年から
17	J Aしおざわ四季味わい館	南魚沼市	平成25年から

18	葵寿司	十日町地区	平成26年から
19	井仙（んまや）	湯沢町	平成26年から
20	じょんのびにいがた食楽園	大阪府	平成26年から
21	なじょもん	津南町	平成26年から
22	十一屋商店	松之山地区	平成26年再開
23	十日町市観光協会	十日町地区	平成28年から
24	十日町病院売店	十日町地区	平成28年から
25	ファミリーマート道の駅松代店	松代地区	平成29年から
26	K's Slow Food	東京都新宿区	平成29年から
27	よしかわ杜氏の郷	上越市	平成30年から
28	そばの郷Abuzaka	十日町地区	平成30年から
29	越路商事株式会社	十日町地区	平成30年から
30	清津峡エントランス	中里地区	平成30年から
31	藤美屋商店	中里地区	令和元年から
32	ryugon	南魚沼市	令和元年から
33	じろえんどん	南魚沼市	令和2年から
34	株式会社みらい	十日町地区	令和2年から

キ 製造請負先

	事業所名	内 容	摘 要
1	花水農産	製造請負	平成19年から
2	阿部昇一	製造請負	平成20年から
3	藍匠	製造請負	平成23年から
4	下条高原の棚田を守る会	製造請負	平成24年から
5	ネオ昭和	製造請負	平成28年から
6	妻有ビール	製造請負	平成29年から
7	大又食品	製造請負	平成29年から
8	そばの郷Abuzaka	製造請負	平成30年から
9	そばや清兵衛	製造請負	平成30年から
10	村山物産	製造請負	令和3年から

④ 健康管理状況

実施日	内 容	備 考
4月10日	健康診断、胸部X線	健診センター
6月27日	内科健診	※対面健診で対応

※ 体重測定は毎月実施

⑤ 加算の状況

ア 就労移行

福祉専門職員配置等加算（Ⅰ）	初期加算
欠席時対応加算	食事提供体制加算
送迎加算（Ⅰ）	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

イ 就労継続支援B型

福祉専門職員配置等加算（Ⅰ）	初期加算
欠席時対応加算	食事提供体制加算
目標工賃達成指導員配置加算	ベースアップ等支援加算
送迎加算（Ⅰ）	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

ウ 職業指導員及び生活支援員の配置体制

6	:	1	以上
---	---	---	----

⑥ 従業者の常勤換算状況

ア 就労移行

（令和8年3月末日現在）

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	1.0			1.0
看護師等				0.0
生活支援員		0.7		0.7
職業指導員	1.0			1.0
就労支援員	1.0			1.0
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他		0.7		0.7
合計	4.0	1.4	0.0	5.4

イ 就労継続支援B型

（令和8年3月末日現在）

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	1.0			1.0
看護師等				0.0
生活支援員	2.0			2.0
職業指導員	4.0	2.7		6.7
就労支援員				0.0
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他	1.0	1.0		2.0
合計	9.0	3.7	0.0	12.7

○ 事業別報告

(2) 就労定着支援事業

① 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
支援人数	0	0	1	0	0	0	0
支援回数	0	0	1	0	0	0	0
	11月	12月	1月	2月	3月	今年度計	昨年度計
支援人数	0	0	0	0	0	1	9
支援回数	0	0	0	0	0	1	9

② 障害福祉サービス費以外の費用負担

実費等（1ヶ月あたり）	0 円
-------------	-----

③ 就労後の6か月以上定着率

5割以上	4割以上5割未満	3割以上4割未満	2割以上3割未満
1割以上2割未満	0割超1割未満	0の場合	

④ 加算の状況

特別地域加算	
--------	--

⑤ 従業者の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	1.0			1.0
就労定着支援員		0.3		0.3
看護師等				0.0
生活支援員				0.0
職業指導員				0.0
就労支援員				0.0
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他		0.7		0.7
合計	2.0	1.0	0.0	3.0

○ 事業別報告

(3) 就労選択支援事業

※10月からの新規事業

① 支援の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
支援人数							1
支援回数							5
	11月	12月	1月	2月	3月	今年度計	昨年度計
支援人数	1	0	0	0	0	2	
支援回数	5	0	0	0	0	10	

② 利用者の状況

ア 年齢別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合 計	平均年齢	
就労選 択支援	男	1	0	0	0	0	0	0	1	16.00	16.00
	女	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計		1	0	0	0	0	0	0	1		
		100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		

③ 加算の状況

特別地域加算	
--------	--

④ 従業員の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	1.0			1.0
就労選択支援員		0.3		0.3
生活支援員				0.0
職業指導員				0.0
就労支援員				0.0
その他		0.7		0.7
合 計	1.0	1.0	0.0	2.0

Ⅲ－Ⅴ

障害福祉サービス事業所ワークセンターかわにし

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	障害福祉サービス事業所ワークセンターかわにし
所在地	新潟県十日町市上新井68番地1
設立年月日	平成24年4月1日
敷地面積	484.00㎡(借地:十日町市)
建物構造	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建
延べ床面積	401.36㎡
施設長名	村山 和義
電話番号	025-761-7910
FAX番号	025-768-2020
E-mailアドレス	info-kawanishi@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
就労継続支援B型事業	25	平成24年4月1日	1511000158	十日町市、津南町
日中一時支援事業				十日町市、津南町

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	利用者の意見を尊重した個別支援を実施します	本人の希望に沿った個別支援に取り組みます。
		取組結果
		相談支援事業所とも連携し、ご利用者の意向に沿ったサービス提供に努めました。
②	施設と地域とのつながりを強化します	地域の一員として作業、活動に取り組みます。
		取組結果
		地元企業とのかかわりの中で作業に取り組んでいるほか、児童・生徒の受け入れも積極的に行いました。

③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	利用者支援に対する知識と意識向上に努めます。			
		取組結果			
		研修を通し、事業の特性や役割を職員と共有しましたが、知識や意識の向上にはつながりませんでした。			
④	安定した収益確保のため事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	利用者の積極的受け入れを行います。			
		取組結果			
		上半期に4名の新規利用契約者がありましたが、6名が契約終了となり、稼働率の改善にはつながりませんでした。			
⑤	事業継続計画(BCP)の検証と対策を行います	非常災害に備えた訓練を実施し、安心して通える事業所を目指します。			
		取組結果			
		避難訓練は毎月実施しましたが、BCPの検証や改善にはつながりませんでした。			
(3) 事業所運営に関する事項					
① 会議					
会議名		今年度(回)			前年度(回)
		上半期	下半期	合計	
職員会議		6	6	12	12
ケア会議		6	6	12	11
② 委員会					
委員会		今年度(回)			前年度(回)
		上半期	下半期	合計	
感染症対策委員会		2	2	4	4
身体拘束・虐待防止委員会		0	1	1	3
防災委員会		1	0	1	1
リスクマネジメント委員会		0	0	0	0
③ 検討班					
検討班名		今年度(回)			前年度(回)
		上半期	下半期	合計	
広報係		0	1	1	0
係打ち合わせ		1	1	2	4

障害福祉サービス事業所ワークセンターかわにし

(4) 事業別計画(就労継続支援B型事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	本人の希望に沿った個別支援に取り組みます	・本人ニーズを適正に把握し本人の希望に沿った支援をします。 ・定期的な振り返りを行い、ニーズの再確認とステップアップを目指します。
		取組結果
		サービス管理責任者を中心にご利用者とのコミュニケーションを密にするよう努めた他、振り返りを定期的に行い情報共有を図れるようにしました。
②	地域の一員として作業、活動に取り組みます	・地元企業との関係性を築きながら作業受託や実習を行います。 ・地域交流を図ります。
		取組結果
		企業との係わりの中で作業を受託しています。職場実習も利用者の体調の変化に伴いメンバーを変更して継続してきました。
③	利用者支援に対する知識と意識向上に努めます	積極的な研修参加と内部研鑽を行います。
		取組結果
		外部研修へ参加したほか、職員会議で業務に係る学習会や法人研修を実施しました。
④	利用者の積極的受け入れを行います	利用登録者を増やし個々の能力向上の取り組みを行います。
		取組結果
		上半期に新規利用契約者4名の受け入れを行いました。下半期には受入れがなく年度当初より登録数は減少しました。
⑤	非常災害に備えた訓練を実施し、安心して通える事業所を目指します	避難訓練、総合防災訓練を通し、災害時安全に避難できるよう日頃から訓練を定期的に行います。
		取組結果
		毎月の避難訓練に合わせ、通報訓練や消火器使用訓練も実施しました。

障害福祉サービス事業所ワークセンターかわにし

(5) 事業別計画(日中一時支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	本人の希望に沿った個別支援に取り組みます	・希望に沿ったサービス提供に努めます。 ・特性や状態に配慮します。
		取組結果
		今年度の受け入れはありませんでした。
②	地域の一員として作業、活動に取り組みます	地域で主体的な生活ができるよう支援します。
		取組結果
		今年度の受け入れはありませんでした。
③	利用者支援に対する知識と意識向上に努めます	積極的な研修参加と内部研鑽を行います。
		取組結果
		今年度の受け入れはありませんでした。
④	利用者の積極的受け入れを行います	利用者の希望に沿った柔軟な受入に努めます。
		取組結果
		今年度の受け入れはありませんでした。
⑤	非常災害に備えた訓練を実施し、安心して通える事業所を目指します	安全に配慮した支援に努めます。
		取組結果
		今年度の受け入れはありませんでした。

(6) 事業活動上の取組み

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
就労継続B型事業	1	0	1	0
合 計	1	0	1	0

苦情(内容)

発生日	部署	事故等の内容・原因	再発防止策
7月2日	就労B	ご利用者のご家族から、事業所の冷蔵庫や電子レンジ、ポットのお湯を使用したいとご要望をいただきましたが、職員から十分な説明や適切な対応ができておらず、ご意見を頂きました。	要望に沿って職員で検討し、冷蔵庫やレンジを使用できる環境整備を図り家族に説明し了承を得ました。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした

③ ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
4月24日	就労B事業所が抱える課題	7

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
避難訓練	6	6	12	11
通報訓練	1	1	2	2
消火訓練	1	1	2	2
合 計	6	6	12	11

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
川西高等特別支援学校	5	5	10	19
合 計	5	5	10	19

○ 事業別報告

(1) 就労継続支援B型事業

① 稼働状況

月	実稼働日数	就労継続B型	
		定員	25人
		延べ利用者数	稼働率
4月	22	450	81.82
5月	21	467	88.95
6月	22	474	86.18
7月	24	485	80.83
8月	22	407	74.00
9月	22	427	77.64
上半期計	133	2,710	81.50
10月	24	508	84.67
11月	21	406	77.33
12月	23	457	79.48
1月	21	419	79.81
2月	20	405	81.00
3月	23	465	80.87
下半期計	132	2,660	80.61
合計	265	5,370	81.06

令和8年3月末の登録者数
28

② 利用者の状況

ア 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労継続支援B型	入所者	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4
	退所者	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	6

イ 年齢別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合 計	平均年齢	
就労継続 B型	男	0	3	1	4	3	1	3	15	49.33	43.32
	女	0	3	5	3	2	0	0	13	37.31	
合 計		0	6	6	7	5	1	3	28		
		0.00%	21.43%	21.43%	25.00%	17.86%	3.57%	10.71%	100.00%		

ウ 出身市町村状況

		十日町市	津南町	その他	計	合計
就労継続 B型	男	13	1	1	15	28
	女	13	0	0	13	
合 計		26	1	1	28	

※自立支援給付費支給市町村

エ 在籍年数状況

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合 計	平均在籍年数	
就労継続 B型	男	3	1	0	8	3	0	0	15	7.02	7.36
	女	1	2	0	6	4	0	0	13	7.69	
合 計		4	3	0	14	7	0	0	28		
		14.29%	10.71%	0.00%	50.00%	25.00%	0.00%	0.00%	100.00%		

オ 身体状況

(ア) 障害支援区分状況

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
就労継続 B型	男	0	1	2	3	1	0	0	8	15
	女	0	0	6	1	2	0	0	4	13
合 計		0	1	8	4	3	0	0	12	28

(人数重複)

カ 各種手帳並びに年金受給状況

		療育手帳 A	療育手帳 B	障害基礎 年金1級	障害基礎 年金2級	身障手帳	精神保健 福祉手帳
就労継続 B型	男	4	6	4	10	2	3
	女	1	9	1	11	0	2
合 計		5	15	5	21	2	5

キ 利用者負担上限月額状況

		0 円	9,300 円	24,600 円	37,200 円	その他	合計
就労継続 B型	男	14	0	0	1	0	15
	女	13	0	0	0	0	13
合 計		27	0	0	1	0	28

③ 事業実施状況

ア 日中一時支援事業実績

今年度の報告事項はありませんでした

イ 就労支援事業活動状況

(ア) 職場実習

(敬称略)

年齢	実習契約期間	日数	実習先事業所名
70	4月1日 ～ 9月30日	88	妻有農産
70	10月1日 ～ 12月31日	45	妻有農産
48	2月1日 ～ 7月31日	27	妻有農産
31	2月1日 ～ 7月31日	4	妻有農産
20	2月1日 ～ 7月31日	1	妻有農産

(イ) 工賃・賃金支払状況

	就労継続支援B型	
	人数	工賃(円)
4月	28	273,722
5月	28	285,335
(決算手当)	—	608,399
6月	28	296,541
7月	29	286,985
8月	27	288,811
(夏季手当)	—	117,870
9月	26	258,021
上半期計	166	2,415,684
10月	28	259,123
11月	28	298,296
12月	30	267,642
(冬季手当)	—	300,885
1月	27	271,674
2月	28	279,880
3月	28	283,225
(期末手当)	—	94,893
下半期計	169	2,055,618
合計	335	4,471,302
平均		13,347

(単位：円)

(ウ) 施設外就労実績

	就労継続支援B型				
	小嶋屋(箱折り)	小嶋屋(コークス)	高木沢(ペレット)	(株)きおとし(苗箱)	ハピネス(箱折り)
4月	54	31	31	0	0
5月	44	23	0	0	0
6月	44	26	0	79	0
7月	37	23	0	125	0
8月	31	27	0	0	0
9月	52	42	0	0	0
上半期計	262	172	31	204	0
10月	45	45	0	0	0
11月	41	28	43	0	0
12月	16	50	20	0	0
1月	67	37	0	0	0
2月	35	35	0	0	17
3月	60	35	0	0	6
下半期計	264	230	63	0	23
合計	526	402	94	204	23

(エ) 製品販売売上実績

	訪問販売		イベント販売		合計
	売上	回数	売上	日数	
4月		0		0	0
5月		0	13,000	1	13,000
6月		0		0	0
7月		0		0	0
8月		0		0	0
9月		0	0	1	0
上半期計	0	0	13,000	2	13,000
10月		0	3,650	1	3,650
11月		0		0	0
12月		0		0	0
1月		0		0	0
2月		0		0	0
3月		0	11,150	1	11,150
下半期計	0	0	14,800	2	14,800
合計	0	0	27,800	4	27,800

ウ 日中活動内容

(ア) 施設外就労

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	(株) 小嶋屋総本店	箱折、製品詰め等	通年
2	(株) 小嶋屋総本店	バイオコークス製造	通年
3	あかね園	館内清掃	通年
4	中央クリニック	トイレ清掃	通年 (週 1 回)
5	(株) きおとし	苗箱洗い	
6	高木沢企業 (株)	ペレット詰め	
7	(株) ハピネス	箱折り	

(イ) 施設外支援 (職場実習)

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	妻有農産	巻き紙挿し	

(ウ) 受託作業

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	ハピネス	草履磨き等	
2	はぶき	草履磨き、瓶洗い等	
3	中条ハーネス	ハーネス部品つけ	
4	越後製菓	鏡もち飾り品袋詰	
5	妻有農産	巻き紙テープ交換	
6	小嶋屋総本店	パンフレット折り、薬味詰め等	
7	ワークセンターあんしん	乾燥野菜計量袋詰め	
8	Hinoki	野菜乾燥、袋詰め等	
9	十日町水産	ごみ袋折り	

エ 自主製品

No	商 品 名	備 考
1	そば殻燻炭	休止中
2	乾燥野菜	
3	廃油石鹼 (固形)	
4	神楽南蛮一味 (十日町薬味)	
5	バイオコークス	

オ 委託販売先

(敬称略)

No	店 舗 名	場 所	適 用
1	じろばた	川西コミュニティー広場内	平成24年から
2	クロス10	道の駅内	平成24年から
3	わっかふえ	十日町地区	平成28年から

④ 健康管理状況

実施日	内 容	備 考
4月2日	胸部X線・血液・心電図・尿検査	健診センター
6月27日	内科検診	協力医

⑤ 加算の状況

ア 就労継続支援B型

福祉専門職員配置等加算（Ⅰ）	欠席時対応加算
初期加算	送迎加算（Ⅰ）
目標工賃達成指導員配置加算	処遇改善加算（Ⅰ）
食事提供体制加算	

イ 職業指導員及び生活支援員の配置体制

6	:	1	以上
---	---	---	----

⑥ 従業員の常勤換算状況

ア 就労継続支援B型

(令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合 計
管理者	1.0			1.0
サービス管理責任者	1.0			1.0
看護師等				0.0
生活支援員	3.0			3.0
職業指導員	2.0	0.8		2.8
就労支援員				0.0
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他	1.0	0.8		1.8
合 計	8.0	1.6	0.0	9.6

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	ケアホームげじょう
所在地	新潟県十日町市下条4丁目183番地2
設立年月日	平成30年4月1日
敷地面積	4,024.00㎡
建物構造	既存棟 :鉄筋コンクリート造3階建
延べ床面積	1,293.00㎡(エレベーター棟:100.00㎡)
建物構造	新館 :鉄筋コンクリート造2階建
延べ床面積	1,419.44㎡
施設長名	小柳 一広
電話番号	025-755-5271
FAX番号	025-755-5272
E-mailアドレス	info-geijo@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
日常生活支援総合事業 通所型サービスA	10	平成30年4月1日	15A1000018	十日町市
生活介護事業	19	平成30年4月1日	1511000265	十日町市、津南町
就労継続支援B型事業	10	平成30年4月1日	1511000265	十日町市、津南町
放課後等児童デイ サービス事業	10	平成30年4月1日	1551000050	十日町市
放課後児童健全育成事 業(放課後児童クラブ)	30	平成30年4月1日	1551000050	十日町市
子ども図書館		平成30年4月1日		十日町市、津南町
通所介護事業	30	平成11年11月25日	1571000155	十日町市、小千谷市
日常生活支援総合事業 通所介護相当サービス		平成30年4月1日	1571000155	十日町市
基準該当生活介護 事業(通所)	10	平成20年9月22日	1541000038	十日町市

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	利用者の意思を尊重した個別支援を実践します	権利擁護について理解を深め、支援、介護を通じて利用者の権利を守ります。
		取組結果
		法人研修の受講、サービスの自己評価、セルフチェックを行い、支援、介護の振り返りを行いました。また利用者の意思を尊重した支援、介護が行われるよう計画の見直しを行いました。
②	施設と地域とのつながりを強化します	共生型施設の強みを生かして、地域とのつながりを強化します。
		取組結果
		各事業合同での行事等は、実施できませんでしたが通所介護では、地域のボランティアの方々の訪問。障害事業では外部講師によるクラブ活動や下条小学校のマラソン大会応援等で交流を図り、児童からお礼のお手紙をいただきました。
③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	障害者の障害特性や高齢者の認知症等、学ぶ機会を計画し職員の専門性を育成します。
		取組結果
		一堂に会した研修会は実施できませんでしたが、障害事業に通所介護の理学療法士から介護機器の活用や介護技術を学ぶ機会を作り支援に活かしました。
④	安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	積極的に新規利用者の受け入れを行い稼働率アップに繋がります。コスト意識を職員間で共有し、支出減少に努めます。
		取組結果
		相談支援事業所や包括との連携を密にして、新規ご利用者の受け入れを行いました。デイサービスでは下期になり他事業所の事業廃止に伴う利用希望も多くなりましたが、積極的に受け入れを行いました。
⑤	事業継続(BCP)の検証と対策を行います	感染症に係る業務継続計画、災害に係る業務継続計画の見直しや取り組み、職員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします。
		取組結果
		事業継続計画(BCP)の見直しを行い、各事業別会議にて職員に共有し机上訓練や防災訓練を実施しました。また、法人研修を受講しました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事業別会議	30	30	60	54
事業全体会議	3	5	8	8
ケア会議	16	16	32	32
② 委員会				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会 苦情対策委員会	3	5	8	8
身体的拘束適正化・高齢 者虐待防止委員会	3	5	8	8
感染症対策委員会	3	5	8	8
③ 検討班				
設置なし				

(4) 事業別計画(生活介護事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	権利擁護について理解を深め、支援、介護を通じて利用者の権利を守ります	利用者が生き生きと活動できるよう、意思の汲み取りをしっかりと行い、相談事業所等との連携を密にして個別支援計画に反映し実践します。
		取組結果
		利用者のご希望に沿った支援となっているか、ご本人を交えた定期的な振り返りや見直しを行いました。
②	共生型施設の強みを生かして、地域とのつながりを強化します	十日町市高齢者安心サービス事業(買い物代行)を今年度も行い、地域の買い物困難者の支援を利用者と一緒に行います。
		取組結果
		買い物代行利用される方が1名、高齢GHに入居され、今年度はお一人、計6回の買い物代行を行いました。
③	障害者の障害特性や高齢者の認知症等、学ぶ機会を計画し職員の専門性を育成します	事業別会議等を活用し、障害特性について学ぶ機会を作り、専門性を育成し、支援力を養います。
		取組結果
		下期に入り、定期的な理学療法士の来訪はありませんでしたが、上期で学んだ技術を支援に活かしました。
④	積極的に新規利用者の受け入れを行い稼働率アップに繋がります。コスト意識を職員間で共有し、支出減少に努めます	通いが楽しくなるよう安心、安全に活動できる環境の提供と、相談事業所等関係機関と連携し、積極的に新規利用者の獲得に努め、稼働率87%を目指します。
		取組結果
		週1回、または週2回のご利用であっても積極的に受け入れをすすめ、稼働率アップに繋がるよう取り組みました。令和7年度は2名の方の新規受け入れを行いました。
⑤	感染症に係る業務継続計画、災害に係る業務継続計画の見直しや取り組み、従業員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします	感染症、災害業務継続計画の見直しや取り組みを職員と一緒に考え、職員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします。
		取組結果
		業務継続計画の見直しと、計画に沿っての役割の確認や発動基準など机上訓練を行いました。

ケアホームげじょう

(5) 事業別計画(就労継続支援B型事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	権利擁護について理解を深め、支援、介護を通じて利用者の権利を守ります	利用者が生き生きと活動できるよう、意思の汲み取りをしっかりと行い、相談事業所等との連携を密にして個別支援計画に反映し実践します。
		取組結果
		利用者の希望に沿った支援となっているか、利用者を交えた定期的な振り返りや見直しを行いました。
②	共生型施設の強みを生かして、地域とのつながりを強化します	十日町市高齢者安心サービス事業(買い物代行)を今年度も行い、地域の買い物困難者の支援を利用者と一緒に行います。
		取組結果
		今年度の取り組みはありませんでした。
③	障害者の障害特性や高齢者の認知症等、学ぶ機会を計画し職員の専門性を育成します	事業別会議等を活用し、障害特性について学ぶ機会を作り、専門性を育成し、支援力を養います。
		取組結果
		利用者の状態に応じ、必要な支援方法や特性について適宜話し合う機会をもち、共通理解のもと支援にあたりました。
④	積極的に新規利用者の受け入れを行い稼働率アップに繋がります。コスト意識を職員間で共有し、支出減少に努めます	通いが楽しくなるよう安心、安全に活動できる環境の提供と、相談事業所等関係機関と連携し、積極的に新規利用者の獲得に努め、稼働率87%を目指します。
		取組結果
		新規の受け入れはありませんでしたが、見学者の積極的受入を行いました。
⑤	感染症に係る業務継続計画、災害に係る業務継続計画の見直しや取り組み、従業員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします	感染症、災害業務継続計画の見直しや取り組みを職員と一緒に考え、職員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします。
		取組結果
		感染症予防として個人防護服着脱訓練研修や防災訓練等を実施しました。また災害時における役割や、BCP発動基準等の確認を行いました。

(6) 事業別計画(放課後等デイサービス事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	権利擁護について理解を深め、支援、介護を通じて利用者の権利を守ります	利用児の意思をくみ取った個別支援のもと、個々の状況に応じた発達支援を行い、生活能力の向上や社会交流の促進をめざします。
		取組結果
		定期的なモニタリング会議と振り返りを行い、利用児個々の発達に即した健全な育成となるよう支援に取り組みました。
②	共生型施設の強みを生かして、地域とのつながりを強化します	共生型総合施設の強みを生かし、施設内の児童クラブ児童、障害者、高齢者との関わりを持ちながら、施設行事等で地域との関わりを持てる工夫を行います。
		取組結果
		併設された児童クラブとおやつ会や、夏休み納涼会で一緒に楽しむことができました。また三好園デイサービスや障害生活介護でのよさこい披露等、交流の機会を多く持つことができました。
③	障害者の障害特性や高齢者の認知症等、学ぶ機会を計画し職員の専門性を育成します	事業別会議等を活用し、障害特性について学ぶ機会を作り、専門性を育成し、支援力を養います。
		取組結果
		利用児の状況に応じ、その都度、障害特性や支援方法について学び検証しながら支援に活かしました。
④	積極的に新規利用者の受け入れを行い稼働率アップに繋がります コスト意識を職員間で共有し、支出減少に努めます。	利用児の安心安全と、健やかな成長に配慮し、利用児と家族ニーズに即した支援に努め、安定した環境を提供します。 関係機関と連携を密にして積極的に新規利用者確保に努め、稼働率95%を目指します。
		取組結果
		発達支援センターとの情報共有を図りながら、新規利用児や長期休暇中の積極的受入れに努めました。 目標には届きませんでした。稼働率は88.84%となりました。
⑤	感染症に係る業務継続計画、災害に係る業務継続計画の見直しや取り組み、従業者に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします	感染症、災害業務継続計画の見直しや取り組みを職員と一緒に考え、職員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします。
		取組結果
		BCP見直しを行い、事業会議で共有しました。法人研修も受講し災害時、感染症について学びました。また感染症については嘔吐物処理等の実技研修も行いました。

(7) 事業別計画(放課後児童健全育成事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	整った環境、くつろいだ雰囲気の中で心と体の安定を図ります	同一施設内に併設してある児童図書館や遊具等の資源を活用し、心と体の安定を図ります。
		取組結果
		登録37名となり、多くの子供達が利用しています。集団が大きいと、賑やかさがあり、難しさがありました。その中で職員が声掛けをして安心して活動できるよう支援を行いました。
②	遊びや様々な経験を通じて豊かな心情や感性、創造性を養います	遊びや創作活動を通じて自主性、社会性、創造性を養える活動を行います。
		取組結果
		異年齢児の児童が一緒になって、それぞれ自主的に考え、遊ぶ姿が見られました。新1年生も集団に慣れ、いろいろな活動に取り組んでいました。
③	異年齢児童、併設する放課後等デイサービス障害児、デイサービスとの関りの中で思いやりや社会性を育てます	共生型施設の強みを生かし、児童、障害児、高齢者との交流を通じた中で、様々な選択や体験が行える支援に努めます。
		取組結果
		併設する放課後等デイサービスの障害を持った児童と、おやつ交流会、夏休みに合同の納涼会を実施しました。隔たりの無い交流ができていました。また、クリスマス会も合同で行い、ゲーム等楽しみました。
④	健康、安全、学習等、生活に必要な基本的習慣や態度を養います	集団生活を体験する中で、マナーやルールを習得できるよう支援します。
		取組結果
		異年齢児と一緒に遊ぶことで、社会性は育まれています。グループ化もあり、目の届かないところで、いじめ行為もありました。小学校とも連携し、健全な育成ができるよう全体を見る目と、適切な保護者への報告をしていきます。その後、大きなトラブルはありませんでした。
⑤	感染症に係る業務継続計画、災害に係る業務継続計画の見直しや取り組み、従業員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします	感染症、災害業務継続計画の見直しや取り組みを職員と一緒に考え、従業員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします。
		取組結果
		児童クラブ内での感染症まん延等はありませんでしたが、学校でインフルエンザB型が流行し児童クラブを欠席する児童がありました。マスクの着用や換気に心掛けました。

ケアホームげじょう

(8) 事業別計画 (通所介護事業・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス・通所型サービスA))		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	楽しく利用していただくサービス提供に努め、安定した収益確保に取り組みます	関係機関との連携を密にして積極的に新規利用者の確保に努め、稼働率80%を目指します。
		取組結果
		年間の平均稼働率は80.52%でした。
②	地域とのつながりを強化して、共生社会づくりの拠点となるよう取り組みます	共生型総合施設の強みを生かし、地域とのつながりを大切にします。地域活動室を利用した、ボランティア活動の受け入れを行います。
		取組結果
		中園会、シャープの会、水和会に歌と踊りで来ていただいたり、8月には地域の祭りでお神輿にも来ていただきました。 体験学習は川西中学校の生徒7名を受け入れました。 東小学校、西小学校合計5名の児童とともにハロウィン行事を行いました。その他、レクダンスブギの会、扇踊会、シャープの会、中条小学校4年生30名のボランティア公演をしていただきました。
③	その人らしい生活が送れるようにサービスを提供します	個別機能訓練を提供することで、健康で長く在宅生活を継続できるように取り組みます。
		取組結果
		個別機能訓練を実施し一人一人のニーズを把握しながら計画を立て健康増進支援につとめてきました。 脳トレやパズルをしていただき脳の活性化が図れるよう支援しました。ものづくりクラブでは季節ごとの作品作りをし出来上がったものを皆で喜び楽しみを創出しました。リハビリクラブにおいても声を出しながら体を動かし楽しみながら運動を継続していただくことを実践しました。

④	利用者の権利擁護を意識した、サービスの質の向上に努めます	不適切ケア防止のため、接遇に対する意識を高め、質の高いサービスを提供することに努めます。
		取組結果
		職員の入浴時の対応や送迎時の職員対応について苦情を受け付けました。スタッフ内で内容を周知し注意点を確認しました。 スピーチロックや高圧的な声掛けをしないよう会議等で話し合いの場を設けました。 県主催の高齢者虐待防止研修のオンライン研修を受けた職員より事業所内で復命研修をしました。 サービスの質向上のため利用者満足度アンケートを実施しました。
⑤	感染症に係る業務継続計画、災害に係る業務継続計画の見直しや取り組み、従業者に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします	感染症、災害業務継続計画の見直しや取り組みを職員と一緒に考え、職員に対して年1回以上の訓練と研修の実施をします。
		取組結果
		6月に感染症予防として個人防護服着脱訓練研修を行いました。 7月、11月に防災訓練行いました。

(9) 事業活動上の取組み

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
放課後児童クラブ	1	0	1	0
通所介護事業	1	2	3	0
合 計	2	2	4	0

苦情(内容)

発生日	部署	苦情等の内容・原因	再発防止策
7月25日	放課後児童クラブ	女兒が壁にぶつかり見て欲しいと訴えましたが、異性だったため見ることをしませんでした。また、その件を保護者に報告しませんでした。	異性の場合、併設する放課後等デイサービスの女性職員に確認を願います。何かあった場合、必ず保護者へ報告します。
7月29日	通所介護	入浴介助時にシャンプーが目に入り痛みを訴えましたが、職員が洗い流してくれませんでした。	介護時、言葉掛けが高圧的になっていないか、自分の介助や言葉掛けが相手にどう受け取られているか考えたうえで業務にあたります。
1月28日	通所介護	朝の送迎時、インターホンで職員が名乗らず、玄関前の本人の荷物を持ち車に戻ってしまいました。さらに、本人が履き終わったか確認せずに手を引いて歩かせてしまいました。	送迎時の注意点を申し送り丁寧かつ安全な対応をすることを周知しました。
1月31日	通所介護	迎えに来た職員に、ご利用者が2階にいる家族に渡したいものがあるからを呼んできてほしいと依頼があり、2階まで職員が上がり、それを知らなかったご家族は驚かれました。	家族のプライベートスペースに侵入するを得ないような場合は自分で判断せず事業所に連絡を入れご家族等に相談員が連絡を取り、確認をとってから入らせていただくようにすることを職員間で確認しました。

② 拘束

今年度の報告事項はありませんでした。

③ ボランティアの活動状況

事業名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
日数(日)	7	9	16	2
延べ人数(人)	35	44	79	6
合 計	35	53	88	6

④ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
6月5日	感染症防止研修(個人防護服着脱訓練)	10
11月26日	感染症防止研修(嘔吐処理訓練)	11
12月23日	虐待防止研修	12

⑤ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
火災 避難訓練	1	2	3	5
地震 避難訓練	1	0	1	2
総合防災(消火訓練)	1	1	2	2
原子力発電災害訓練	1	0	1	1
合 計	4	3	7	10

⑥ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
長岡福祉カレッジ	1	0	1	0
日本こども福祉専門学校	1	0	1	0
十日町看護専門学校	5	0	5	0
新潟こども医療専門学校	0	1	1	0
新潟県立大学	0	1	1	0
合 計	7	2	9	0

(1) 日常生活支援総合事業
通所型サービスA

◆ 通所型サービスA

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	21	20	17	17	15	16	18	12	13	12	12	11	184	244
実利用人数	19	18	18	19	19	19	18	15	16	16	14	16		
延べ利用人数	81	71	78	76	64	79	73	55	60	57	56	62	812	1,005
一日平均	3.86	3.55	4.59	4.47	4.27	4.94	4.06	4.58	4.62	4.75	4.67	5.64	4.41	4.12
稼働率	38.57	35.50	45.88	44.71	42.67	49.38	40.56	45.83	46.15	47.50	46.67	56.36	44.13	41.19
送迎者数	81	71	78	76	64	79	73	55	60	57	56	62	812	1,005

※令和7年度実利用者数 20 人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	0	0	1	2	4	1	8	85.22
女 性	0	0	1	1	4	5	1	12	83.70
合 計	0	0	1	2	6	9	2	20	84.46
割 合	0.00%	0.00%	5.00%	10.00%	30.00%	45.00%	10.00%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況（実利用者数）

	要支援1	要支援2	チェック リスト対象者	合 計
男 性	6	2	0	8
女 性	5	7	0	12
合 計	11	9	0	20
割 合	55.00%	45.00%	0.00%	100.00%

(イ) 要介護度別利用者状況（延べ利用者数）

	要支援1	要支援2	チェック リスト対象者	合 計
男 性	214	132	0	346
女 性	137	329	0	466
合 計	351	461	0	812
割 合	43.23%	56.77%	0.00%	100.00%

② 加算の状況

サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
科学的介護推進体制加算	

③ 従業員の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者				0.0	機能訓練指導員				0.0
生活相談員				0.0	（うち理学療法士）				0.0
看護師等				0.0	（うち作業療法士）				0.0
介護職員		1.6		1.6	（うち看護師）				0.0
（うち介護福祉士）		1.6		1.6	介護支援専門員				0.0
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他				0.0
調理員				0.0	合 計	0.0	1.6	0.0	1.6

○ 事業別報告

(2) 生活介護事業、就労継続支援B型事業

① 稼働状況

月	実稼働日数	生活介護		就労継続B型		3月末の登録者数	
		定員19人		定員10人		生活介護	21
		延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	就労継続B型	11
4月	21	325	81.45	221	105.24		
5月	20	318	83.68	208	104.00		
6月	21	359	89.97	218	103.81		
7月	22	346	82.78	239	108.64		
8月	20	295	77.63	208	104.00		
9月	20	308	81.05	202	101.00		
上半期計	124	1,951	82.81	1,296	104.52		
10月	22	342	81.82	232	105.45		
11月	18	285	83.33	190	105.56		
12月	22	354	84.69	220	100.00		
1月	19	277	76.73	183	96.32		
2月	18	282	82.46	173	96.11		
3月	21	336	84.21	205	97.62		
下半期計	120	1,876	82.28	1,203	100.25		
合計	244	3,827	82.55	2,499	102.42		

② 利用者の状況

ア 入退所状況

事業名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生活介護	入所者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
就労継続支援B型	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

イ 年齢別状況

		20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合 計	平均年齢（歳）	
生活介護	男	0	0	1	0	1	0	4	6	68.30	60.70
	女	0	2	1	3	3	1	5	15	54.90	
就労継続B型	男	0	1	2	1	3	0	4	11	54.40	54.40
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	3	4	4	7	1	13	32		
		0.00%	9.38%	12.50%	12.50%	21.88%	3.13%	45.46%	100.00%		

ウ 出身市町村状況

		十日町市	津南町	その他	計	合計（人）
生活介護	男	6	0	0	6	21
	女	14	0	1	15	
就労継続 B型	男	11	0	0	11	11
	女	0	0	0	0	
合計		31	0	1	32	32

エ 在籍年数状況

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合 計	平均在籍年数	
生活介護	男	1	1	0	4	0	0	0	6	5.00	4.90
	女	3	2	3	7	0	0	0	15	4.90	
就労継続B型	男	0	0	4	7	0	0	0	11	5.50	5.50
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
合計		4	3	7	18	0	0	0	32		
		12.50%	9.38%	21.88%	56.24%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		

オ 身体状況

(ア) 障害支援区分状況

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
生活 介護	男	0	0	0	0	5	1	0	0	6
	女	0	0	0	3	5	4	3	0	15
就労継 続B型	男	0	0	2	3	2	1	0	3	11
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	2	6	12	6	3	3	32

カ 各種手帳並びに年金受給状況

		療育手帳 A	療育手帳 B	障害基礎 年金1級	障害基礎 年金2級	身障手帳	精神障害者手帳
生活介護	男	4	2	5	1	0	0
	女	11	4	12	2	2	0
就労継続 B型	男	4	4	5	6	3	2
	女	0	0	0	0	0	0
合計		19	10	22	9	5	2

キ 利用者負担上限月額状況

		0 円	1,500 円	24,600 円	37,200 円	その他	合計
生活介護	男	5	0	0	1	0	6
	女	14	0	0	1	0	15
就労継続 B型	男	11	0	0	0	0	11
	女	0	0	0	0	0	0
合 計		30	0	0	2	0	32

③ 事業実施状況

ア 障害支援区分別延べ利用者数(生活介護)

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計
延べ利用者数	0	0	0	640	1,970	859	358	0	3,827
うち重度障害者支援加算の対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 就労支援事業活動状況

(ア) 工賃支払状況

	就労継続支援B型	
	人数(人)	工賃(円)
4月	12	71,390
5月	12	111,311
6月	12	110,654
7月	12	108,599
8月	12	113,900
(夏季手当)		275,738
9月	12	111,222
上半期計	72	902,814
10月	12	107,090
11月	12	110,515
12月	12	107,266
(冬季手当)	—	409,115
1月	12	107,424
2月	11	105,040
3月	11	102,966
(期末手当)	—	319,965
(決算手当)	—	733,288
下半期	70	2,102,669
合計	142	3,005,483
平均		21,165

(イ) 施設外就労実績

今年度の報告事項はありませんでした。

ウ 日中活動内容

(ア) 施設外就労

今年度の報告事項はありませんでした。

(イ) 施設外支援

今年度の報告事項はありませんでした。

(ウ) 受託作業

(敬称略)

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	十日町市	河岸段丘ウオーク景品作り	
2	サンタクリエイト	交通災害共済封緘作業	

オ 自主作業

No	事業所名	活 動 内 容	備 考
1	ケアホームげじょう	廃電線被覆剥ぎ作業	
2	ケアホームげじょう	法人施設おむつ回収作業	
3	ケアホームげじょう	ウエス切作業	

④ 健康管理状況

実施日	内 容	備 考
11月20日	健康診断	

⑤ 加算の状況

ア 生活介護

福祉専門職員配置等加算 (Ⅲ)	初期加算
欠席時対応加算	食事提供体制加算
送迎加算 (Ⅰ)	福祉・介護職員処遇改善加算 (Ⅰ)

イ 就労継続支援B型

福祉専門職員配置等加算 (Ⅲ)	初期加算
欠席時対応加算	目標工賃達成指導員配置加算
食事提供体制加算	送迎加算 (Ⅰ)
目標工賃達成加算	

ウ 職業指導員及び生活支援員の配置体制

6	:	1	以上
---	---	---	----

⑥ 従業者の常勤換算状況

ア 生活介護

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合 計
管理者	0.3			0.3
サービス管理責任者	0.5			0.5
医師				0.0
看護師等	0.1			0.1
生活支援員	3.0	1.3		4.3
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他				0.0
合 計	3.9	1.3	0.0	5.2

イ 就労継続支援B型（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合 計
管理者	0.3			0.3
サービス管理責任者	0.5			0.5
看護師等				0.0
生活支援員	1.0			1.0
職業指導員	1.0			1.0
就労支援員				0.0
栄養士				0.0
調理員				0.0
その他	1.0			1.0
合 計	3.8	0.0	0.0	3.8

(3) 放課後等デイサービス事業

① 稼働状況 (定員10名)

月	稼働日	延べ利用者数			稼働率	送迎回数
		放課後	1日	合計		
4月	21	131	46	177	84.29	294
5月	20	182	3	185	92.50	349
6月	21	166	0	166	79.05	311
7月	22	157	50	207	94.09	382
8月	20	4	171	175	87.50	263
9月	20	173	0	173	86.50	336
上半期計	124	813	270	1,083	87.34	1,935
10月	22	184	0	184	83.64	334
11月	18	160	4	164	91.11	310
12月	22	168	29	197	89.55	365
1月	19	149	37	186	97.89	345
2月	18	158	3	161	89.44	298
3月	21	139	51	190	90.48	338
下半期計	120	958	124	1,082	90.17	1,990
合計	244	1,771	394	2,165	88.73	3,925

○放課後利用 14:00～18:00

○1日利用 8:30～16:30

令和8年3月末の利用契約者数
19
令和8年3月末の利用実数
19

② 利用者の状況

ア 学校別

		ふれあいの丘支援学校		千手小	西小	東小	中条中	中条小	高等部	計
		小学部	中学部							
放課後 デイ	男	1	3	1	1	4	1	1	5	17
	女	0	2	0	0	0	0	0	0	2
合計		1	5	1	1	4	1	1	5	19

イ 市町村別状況

十日町市	津南町	小千谷	計
19	0	0	19

ウ 区分別延べ利用者数

		延べ利用者数		
報酬区分		授業終了後	休業日	計
区分1 (指標該当児50%以上)	長時間	0	0	0
	3時間未満	0	0	0
区分2	長時間	1,771	394	2,165
	3時間未満	0	0	0

③ 障害福祉サービス費以外の費用負担

通常時	授業終了後のサービスを行う時	食費(1日当たり)	0 円	実費等(1ヶ月あたり)	0 円
	休業日にサービスを行う時	食費(1日当たり)	0 円	実費等(1ヶ月あたり)	0 円
長期休暇時	授業終了後のサービスを行う時	食費(1日当たり)	0 円	実費等(1ヶ月あたり)	0 円
	休業日にサービスを行う時	食費(1日当たり)	0 円	実費等(1ヶ月あたり)	0 円

④ 加算の状況

福祉専門職員配置等加算(Ⅲ)	医療連携体制加算(Ⅰ)
送迎加算(イ)	延長支援加算(イ)1時間未満
延長支援加算(イ)1時間以上2時間未満	福祉・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)
個別サポート加算1	

⑤ 従業員の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主 な 職 種 の 内 訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者	0.3			0.3
児童発達支援管理責任者	1.0			1.0
児童指導員	1.0	1		2.0
保育士				0.0
その他		0.6		0.6
合 計	2.3	1.6	0.0	3.9

○ 事業別報告

(4) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

① 利用者の状況

	1年生	2年生	3年生	その他(4年生等)	計
男	3	3	1	5	12
女	8	5	2	10	25
合計	11	8	3	15	37

② 事業実施状況

ア 稼働状況 (定員:30名)

月	稼働日	延べ利用者数			稼働率
		放課後	1日	合計	
4月	22	340	126	466	70.61
5月	22	440	17	457	69.24
6月	23	487	4	491	71.16
7月	24	407	118	525	72.92
8月	20	7	348	355	59.17
9月	21	415	13	428	67.94
上半期	132	2,096	626	2,722	68.74
10月	22	457	12	469	71.06
11月	19	357	1	358	62.81
12月	21	314	48	362	57.46
1月	20	320	81	401	66.83
2月	18	344	18	362	67.04
3月	21	300	76	376	59.68
下半期	121	2,092	236	2,328	64.13
合計	253	4,188	862	5,050	66.53

○放課後利用

14:30～18:30

○1日利用

7:30～18:30

イ 主な活動状況

月 日	内 容
8 月 8 日	放課後等デイサービス合同納涼会
12 月 24 日	放課後等デイサービス合同クリスマス会

(5) 通所介護事業
日常生活支援総合事業（通所介護相当サービス）

◆ 通常規模型

① 利用者の状況

ア 月別利用状況

(ア) 介護給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364	364
実利用人数	81	79	80	76	79	76	74	75	70	66	73	73		
延べ利用人数	551	620	628	659	660	587	585	586	570	500	524	573	7,043	7,212
一日平均	18.37	20.00	20.93	21.26	21.29	19.57	18.87	19.53	18.39	16.67	18.71	18.48	19.35	19.81
基本サービス	551	620	628	659	660	587	585	586	570	500	524	573	7,043	7,212
入 浴	482	548	558	590	588	520	510	512	508	441	449	509	6,215	6,247
食 事	551	620	628	659	660	587	585	586	570	500	524	572	7,042	7,187
送迎者数	1,056	1,200	1,207	1,280	1,291	1,158	1,137	1,128	1,102	979	1,014	1,108	13,660	13,840

(イ) 通所介護相当サービス（日常生活支援総合事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364	364
実利用人数	19	22	22	23	24	26	29	29	31	29	34	33		
延べ利用人数	97	106	104	131	120	130	163	146	178	158	166	198	1,697	1,410
一日平均	3.23	3.42	3.47	4.23	3.87	4.33	5.26	4.87	5.74	5.27	5.93	6.39	4.66	3.87
基本サービス	97	106	104	131	120	130	163	146	178	158	166	198	1,697	1,410
入 浴	96	104	100	126	114	118	138	146	155	136	146	175	1,554	1,358
食 事	97	106	104	131	120	130	163	124	178	158	166	198	1,675	1,410
送迎者数	192	210	208	262	238	254	322	292	348	316	326	378	3,346	2,780

(ウ) 身障デイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	合 計
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364	364
実利用人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
延べ利用人数	4	5	4	5	4	4	5	5	4	5	4	4	53	51
一日平均	0.13	0.16	0.13	0.16	0.13	0.13	0.16	0.17	0.13	0.17	0.14	0.13	0.15	0.14
基本サービス	4	5	4	5	4	4	5	5	4	5	4	4	53	51
入 浴	4	5	4	5	4	4	5	5	4	5	4	4	53	51
食 事	4	5	4	5	4	4	5	5	4	5	4	4	53	51
送迎者数	8	10	8	10	8	8	10	10	8	10	8	8	106	102

(エ) 全 体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	合 計
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364	364
実利用人数	101	102	103	100	104	103	104	105	102	96	108	107		
延べ利用人数	652	731	736	795	784	721	753	737	752	663	694	775	8,793	8,673
一日平均	21.73	23.58	24.53	25.65	25.29	24.03	24.29	24.57	24.26	22.10	24.79	25.00	24.16	23.83
稼働率	72.44	78.60	81.78	85.48	84.30	80.11	80.97	81.89	80.86	73.67	82.62	83.33	80.52	72.51
基本サービス	652	731	736	795	784	721	753	737	752	663	694	775	8,793	8,673
入 浴	582	657	662	721	706	642	653	663	667	582	599	688	7,822	7,656
食 事	652	731	736	795	784	721	753	715	752	663	694	774	8,770	8,648
送迎者数	1,256	1,420	1,423	1,552	1,537	1,420	1,469	1,430	1,458	1,305	1,348	1,494	17,112	16,722

※令和7年度実利用者 165人の最終情報を基本数値としました。

イ 年齢別、性別状況

	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	合 計	平均年齢
男 性	0	0	5	5	9	12	17	48	85.60
女 性	1	3	0	8	19	29	57	117	88.45
合 計	1	3	5	13	28	41	74	165	87.02
割 合	0.61%	1.82%	3.03%	7.88%	16.97%	24.85%	44.85%	100.00%	

ウ 身体状況

(ア) 要介護度別利用者状況

	通所相当 要支援1	通所相当 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	0	7	12	14	9	6	0	0	48
女 性	10	21	26	24	14	17	4	1	117
合 計	10	28	38	38	23	23	4	1	165
割 合	6.06%	16.97%	23.03%	23.03%	13.94%	13.94%	2.42%	0.61%	100.00%

(イ) 介護度別利用者状況（延べ利用者数）

	通所相当 要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合 計
男 性	5	487	845	657	256	187	0	0	2,437
女 性	360	845	1561	2229	745	534	55	27	6,356
合 計	365	1,332	2,406	2,886	1,001	721	55	27	8,793
割 合	4.15%	15.15%	27.36%	32.82%	11.38%	8.20%	0.63%	0.31%	100.00%

② 加算の状況

入浴介助加算（Ⅰ）	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）Ⅱ
個別機能訓練加算（Ⅰ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
認知症加算	科学的介護推進体制加算
中重度者ケア体制加算	

③ 従業員の常勤換算状況

（令和8年3月末日現在）

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合計
管理者	0.2			0.2	機能訓練指導員	1.0	0.1		1.1
生活相談員	2.5			2.5	（うち理学療法士）	1.0			1.0
看護師等	1.0	0.5		1.5	（うち作業療法士）				0.0
介護職員	9.0	1.9		10.9	（うち看護師）		0.1		0.1
（うち介護福祉士）	5.0	1.0		6.0	介護支援専門員				0.0
事務員				0.0	宿直				0.0
栄養士				0.0	その他				0.0
調理員				0.0	合計	13.7	2.5	0.0	16.2

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
ア 十日町東地域包括支援センター	
施設の名称	十日町東地域包括支援センター(三好園しんざ内)
所在地	新潟県十日町市新座甲609番地2
設立年月日	平成18年4月1日
管理者名	阿部 栄子
電話番号	025-755-5113
FAX番号	025-752-7672
E-mailアドレス	higashi-hokatsu@fuku-tokamachi.or.jp
イ 十日町北地域包括支援センター	
施設の名称	十日町北地域包括支援センター
所在地	新潟県十日町市下条3丁目485番地1(三好園内)
設立年月日	平成27年4月1日
管理者名	村山 伸郎
電話番号	025-761-7406
FAX番号	025-756-2107
E-mailアドレス	kita_hokatsu@fuku-tokamachi.or.jp
ウ 障がい者地域生活支援センターあおぞら	
施設の名称	障がい者地域生活支援センターあおぞら
所在地	新潟県十日町市高田町3丁目南442番地 (十日町市医療福祉総合センター内2階)
設立年月日	平成15年10月1日
施設長名	庭野 純愛
電話番号	025-755-5861 025-755-5865
FAX番号	025-755-8733
E-mailアドレス	sc-aozora@fuku-tokamachi.or.jp (相談) ss-aozora@fuku-tokamachi.or.jp (就業)

② 実施事業			
ア 十日町東地域包括支援センター			
事業名	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
地域包括支援センター事業	平成18年4月1日	1501000010	十日町、新座、大井田
イ 十日町北地域包括支援センター			
地域包括支援センター事業	平成27年4月1日	1501000069	下条、中条(大井田地区を除く)、川西
ウ 障がい者地域生活支援センターあおぞら			
委託相談支援事業	平成15年10月1日		十日町市、津南町
特定相談支援事業	平成24年4月1日	1531000022	十日町市、津南町
一般相談支援事業	平成24年4月1日	1531000022	十日町市、津南町
障害児相談支援事業	平成24年4月1日	1571000023	十日町市、津南町
障がい者就業・生活支援センター事業	平成21年4月1日		魚沼圏域(3市2町)

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	利用者の意思を尊重した個別支援を実践します	意思決定の尊重、虐待防止や差別解消などの普及啓発を行い、利用者の権利擁護に努めます。
		取組結果
		地域住民や関係機関向けに、出前講座を実施し、権利擁護に関する理解を深める活動を行いました。市町村や各関係機関と連携を深め、虐待の早期発見・対応体制の強化に努めました。
②	地域とのつながりを強化します	分野を超えた連携体制を強化し、地域共生社会づくりへの取り組みを推進します。
		取組結果
		包括支援課として、ごちゃまぜ広場「結」を年4回(6月・7月・9月・10月)開催しました。今年度は、各地域で開催された行事やイベントに積極的に出向き、高齢者・障害者・子ども・地域住民等、異なる立場・世代間の理解と交流を促進しました。参加者同士が自然に関わり合える場を提供することで、地域内での新たな「つながり」が生まれ、住民同士の支え合いの土台づくりに貢献することができました。

③	職員の専門性を意識した研修を計画し、人材育成を行います	相談支援の質の向上のため、職員の人材育成、適切な人員配置を推進します。
		取組結果
		相談支援の質の向上を目的として、研修受講による人材育成および適切な人員配置に取り組みました。しかしながら、産休・育休取得職員および療養休暇取得職員が同時期に発生したため、下半期は支援体制が厳しい状況となりました。加算取得にも対応した体制整備を進めています。
④	安定した収益確保のため、事業稼働率とコストを意識した事業運営を行います	人材不足による業務負担の軽減のため、業務の効率化に努めます。また、より高い報酬を得ることができる加算取得、人員配置に取り組みます。
		取組結果
		AI活用に関する勉強会を実施しました。その後、ボイスレコーダーを導入し、「ナレフルチャット」を活用することで、会議録作成等の事務作業の効率化を図りました。 また、高い報酬体系に対応するための加算取得や人員配置の適正化を見据え、相談員が積極的に各種研修を受講し、専門性の向上と体制整備に努めました。
⑤	事業継続計画（BCP）の検証と対策を行います	より効果的なBCP策定のため、定期的に見直しを行います。
		取組結果
		事業所の移転に伴いBCPを見直し、作成し直しました。あわせて、BCPに基づく避難訓練を実施し、実効性のある体制づくりに努めました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
ア 十日町東地域包括支援センター				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
センター内班会議	6	6	12	12
包括支援課連絡会	5	5	10	10
イ 十日町北地域包括支援センター				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
センター内班会議	6	6	12	12
包括支援課連絡会	5	5	10	10

ウ 障がい者地域生活支援センターあおぞら				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
相談支援事業打ち合わせ	11	10	21	22
就業支援事業打ち合わせ	10	10	20	20
就業・相談連携会議	3	3	6	6
包括支援課連絡会	5	5	10	10
② 委員会				
ア 十日町東地域包括支援センター				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会 苦情対策委員会	0	0	0	0
身体的拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	6	6	12	12
感染症対策委員会	6	6	12	12
イ 十日町北地域包括支援センター				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
事故対策委員会 苦情対策委員会	6	6	12	12
身体的拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	6	6	12	12
感染症対策委員会	6	6	12	12
安全衛生委員会	6	6	12	12
ウ 障がい者地域生活支援センターあおぞら				
委員会	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
虐待防止委員会	2	2	4	3
感染症対策委員会	3	1	4	4
防災管理委員会	1	1	2	2
BCP委員会	2	1	3	
③ 検討班				
設置なし				

十日町東地域包括支援センター

(4) 事業別計画(地域包括支援センター事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	業務の見直しを行い、効率化を図ります。事務用品など再利用できるものがあれば利用し、経費節減に努めます。
		取組結果
		業務分掌表で各事業の主副担当を設け、分担、効率化を図りました。内部保管の資料等は裏紙を使用してコピーし経費削減に努めました。
②	地域とのつながりを強化します	地域で活動している住民主体の団体の会議に参加し、地域の中で起きている情報を共有し課題解決に向けて連携します。
		取組結果
		毎月、地域住民の団体と会議を開催し、地域の活動を知ったり地域包括支援センターの活動をPRできました。今年度は初めて地域住民団体と共同で地域福祉向上を目的にしたイベントを開催しました。
③	サービスの質の向上に努めます	高齢者虐待防止、成年後見人制度など権利擁護に関する研修に参加し適切な判断ができるように知識、技術の修得に努めます。
		取組結果
		開催される研修には参加し、自己研鑽に励みました。
④	災害時の対応強化へ取り組みます	災害発生時における業務継続計画(BCP)に基づき、対応します。定期的に机上訓練、見直しを行います。
		取組結果
		事務所の移転、緊急連絡網の変更により上半期に2回見直しました。定期的に閲覧し、班内で共有しました。

十日町北地域包括支援センター

(5) 事業別計画(地域包括支援センター事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	安定した収益の確保を目指します	市の委託連携費と介護予防支援・総合事業のケアプラン作成数を把握し、包括支援センターの経費節減に努めます。 採算が取れるように業務の効率化を進め、極力時間外勤務をしない運営体制を維持します。
		取組結果
		給付管理件数は年々増加傾向で推移しています。北包括内での経費節減に努めて、効率的な事業運営ができました。
②	地域とのつながりを強化します	包括支援課の活動に積極的に参加し、共生社会連携の取り組みを推進します。 また、三好園地域交流委員会の活動を支援し、地域とのつながりを強化します。
		取組結果
		包括支援課の学習会を開催し、障がい分野との連携を推進しました。地域との繋がりには、「はちゃね広場」の活動で、下条暮らしづくりネットワークの会の活動に参加しました。
③	サービスの質の向上に努めます	人権擁護を重視し、高齢者虐待防止などの権利擁護に関する研修に積極的に参加し、職員の資質向上とサービスの質の向上に努めます。
		取組結果
		新配属職員は、県主催の包括支援センター職員初任者研修に参加しました。全職員が、市主催の高齢者虐待防止研修に参加して、職員の資質向上に努めました。
④	災害時の対応強化へ取り組みます	自然災害発生時における業務継続計画(BCP)に基づき、事業部や法人本部と連携しながら、施設におけるシミュレーションを行い、対策の検証を実施します。
		取組結果
		三好園防災委員会に担当職員が委員として参加しながら、総合防災訓練に包括職員が毎回参加しています。また、災害BCP研修で、BCPに関する基本講習と、有事を想定した机上訓練を受けました。

障がい者地域生活支援センターあおぞら

(6) 事業別計画(相談支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	意思決定の尊重、虐待防止や差別解消などの普及啓発を行い、利用者の権利擁護に努めます	地域、学校、各種関係機関に向けて、障がいに関する理解促進及び、虐待防止や差別解消の普及啓発に努めます。また、相談者のエンパワメントを促し、「その人らしい」地域生活を送るために自己決定・自己選択できるような支援を行います。
		取組結果
		9月津南小学校にて「多様性について」の出前講座を実施。障害に関する理解促進・差別解消の普及啓発を行いました。
②	分野を超えた連携体制を強化し、地域共生社会づくりへの取り組みを推進します	包括支援課の共生社会づくりの取り組みを通して、障がい、高齢、子どもなど分野を超えて交流したり、社会参加できる場づくりに取り組みます。
		取組結果
		ごちゃまぜ広場「結」を今年度4回(6・7・9・10月)実施。地域との繋がりを強化し、分野を超えた連携・地域共生社会づくりへの取り組みを推進しました。
③	相談支援の質の向上のため、職員の人材育成、適切な人員配置を推進します	相談支援専門員を段階的に育成できるように、研修参加を計画的に行います。法定研修以外の研修の受講も積極的に参加したり、内部研修プログラム(OJT)に沿って人材育成を行います。
		取組結果
		新潟県相談支援従事者初任者研修を2名受講。強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践研修)を1名受講。その他、内部研修や個人研修計画に沿って実施しました。
④	人材不足による業務負担の軽減のため、業務の効率化に努めます また、より高い報酬を得ることができる加算取得、人員配置に取り組みます	AI等の活用による事務的業務の効率化を検討していきます。 より多くの加算が取れるように加算対象となる研修への参加や、加算取得するための人員確保、体制づくりに努めます。
		取組結果
		ボイスレコーダーを2台購入しました。ナレフルチャットを導入し、会議録等事務的業務の効率化を図りました。相談支援専門員資格を2名取得、加算算定に務めました。

⑤	より効果的な BCP策定のため、定期的に見直しを行います	業務継続計画(BCP)に沿って定期的に机上訓練を行い、必要に応じて見直しを行います。
		取組結果
		4月 事業所の移転に伴いBCPを見直し医療福祉総合センターに適したBCPを作成しました。3月 机上訓練を行い、BCPの見直しを行いました。

障がい者地域生活支援センターあおぞら

(7) 事業別計画(障がい者就業・生活支援センター事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	意思決定の尊重、虐待防止や差別解消などの普及啓発を行い、利用者の権利擁護に努めます	一般就労を目指す障害を持つ人に対して、ニーズや職業適性に応じた就労支援を行うとともに、企業や関係機関へ理解、促進に向けた助言を行います。 自己理解を深めるためのピアサポート活動の場を提供します。
		取組結果
		ピアサポート活動(WRAP)を年3回、在職者の集いを年2回実施しました。「交流会」では多くの方から参加していただき、日頃の悩み等共有する場となりました。
②	分野を超えた連携体制を強化し、地域共生社会づくりへの取り組みを推進します	就労支援促進に向け関係機関、企業とのネットワーク作りに取り組みます。
		取組結果
		2月に障がい者雇用関係機関連絡会議を開催し、関係機関と企業とのネットワーク作りに取り組み、障害者雇用の推進を図りました。
③	相談支援の質の向上のため、職員の人材育成、適切な人員配置を推進します	支援の質の向上のため、職員の研修参加を計画的に行います。
		取組結果
		就労支援フォーラム、相談支援・就業支援セミナー、障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラムの研修に各職員が参加し、就労支援スキルを学びました。
④	人材不足による業務負担の軽減のため、業務の効率化に努めます また、より高い報酬を得ることができる加算取得、人員配置に取り組みます	関係機関との連携を図り、支援において役割を明確にすることで、業務の整理、効率化に努めます。
		取組結果
		十日町市、魚沼市、南魚沼市の自立支援協議会に参画しました。関係機関との連携を図りながら、地域課題に取り組みました。

⑤	より効果的な BCP策定のため、定期的に見 直しを行います	感染症対策のマニュアルやBCPを適宜見直し、事業が継続的に実施で きるよう柔軟な計画と活動を行います。
		取組結果
		4月 事業所の移転に伴いBCPを見直し、医療福祉総合センターに適し たBCPを作成しました。3月に机上訓練を行い、BCPの見直しを行いまし た。

(8) 事業活動上の取組み

① 苦情(件数)

事業名	今年度(件)			前年度(件)
	上半期	下半期	合計	
東地域包括支援センター	0	0	0	0
北地域包括支援センター	0	0	0	1
あおぞら相談支援	1	1	2	1
あおぞら就業・生活支援	0	1	1	2
合 計	1	2	3	4

苦情(内容)

発生日	部署	苦情等の内容・原因	再発防止策
5月7日	あおぞら 相談支援	職員の言動について利用者 本人や家族の捉え方のズレ があり、ご意見いただきました。	支援経過等書面の重要性 を確認し接遇マナー勉強会 を開催しました。

② 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
6月17日	AI活用勉強会(あおぞら)	12
8月20日	ビジネスマナー研修会(あおぞら)	11
8月19日	スキンケア・オムツ勉強会(東包括)	1
8月1日～31日	権利擁護研修(三好園)	1

③ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
十日町医療福祉総合センター 消防訓練実施計画(あおぞら)	1	1	2	2
土砂災害防災訓練(東包括)	1	0	1	2
総合防災訓練・消火訓練 (三好園)	1	1	2	2
合 計	3	2	5	6

④ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
長野大学社会福祉士実習生(あおぞら)	1	0	1	1
東北福祉大社会福祉士実習生(東包括)	0	1	1	0
長野大学社会福祉士実習生(東包括)	2	0	2	1
十日町看護専門学校(東包括)	6	0	6	6
十日町看護専門学校(北包括)	4	0	4	6
合 計	13	1	14	14

(5) 十日町東地域包括支援センター事業

① 地域包括支援センター総合相談集計

ア 相談受理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対象実人員	50	39	31	29	45	32	25	26	10	25	13	24	349
相談延べ人員	169	180	183	190	196	210	206	176	162	158	158	153	2,141

イ 相談方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	111	112	130	128	144	139	152	130	121	109	110	107	1,493
文書	2	2	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	8
来所	12	16	6	6	8	13	12	4	5	12	6	10	110
訪問	39	47	43	52	41	53	40	37	34	35	35	32	488
メール	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
その他	5	2	4	2	3	5	1	5	2	1	6	4	40
合 計	169	180	183	190	196	210	206	176	162	158	158	153	2,141

ウ 相談者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	55	57	56	53	41	65	57	58	50	42	35	51	620
家族や親族	60	47	52	57	71	54	63	48	39	56	59	50	656
民生委員	2	4	8	3	2	4	5	3	4	5	3	1	44
地域住民	2	0	2	0	2	3	4	0	3	3	3	2	24
医療機関	12	13	25	26	29	26	16	20	14	19	23	20	243
居宅介護支援事業所	7	28	9	23	9	12	18	13	8	10	12	7	156
サービス事業所	10	11	19	12	14	12	19	15	21	11	5	2	151
障がい者地域生活支援センター	0	1	0	1	1	1	0	3	0	1	3	1	12
行政機関	19	16	11	13	22	31	19	15	22	10	14	17	209
その他	2	3	1	2	5	2	5	1	1	1	1	2	26
合 計	169	180	183	190	196	210	206	176	162	158	158	153	2,141

エ 相談内容（複数選択可）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護に関する事	142	141	158	130	147	169	171	146	122	126	132	117	1,701
介護予防・生活支援に関する事	8	10	7	7	9	15	13	8	10	4	7	5	103
医療に関する事	14	16	15	17	31	28	17	9	9	23	13	6	198
認知症に関する事	8	13	13	34	28	21	17	5	10	9	4	0	162
高齢者虐待	4	5	0	11	3	6	2	7	7	1	1	2	49
成年後見制度	6	3	2	3	5	4	4	2	3	4	8	8	52
消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護者の離職防止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活困窮	0	1	0	6	3	2	4	1	6	4	2	4	33
その他	13	23	18	30	32	7	17	11	12	15	12	14	204
合 計	195	212	213	238	258	252	245	189	179	186	179	156	2,502

② 高齢者ケース会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高齢者虐待	2	0	2	2	0	1	0	1	4	0	1	0	13
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4
処遇困難	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
ケアマネジメント支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・介護連携	1	1	1	5	1	4	1	3	2	2	3	3	27
その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	1	6
合 計	3	1	3	7	1	7	2	4	7	3	8	6	52

③ 地域ネットワークづくり状況

ア 地域ケア会議

開催月日	内 容	参加職員	会 場
6 月 20 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
7 月 18 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
9 月 19 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
5 月 30 日	消費者被害ネットワーク会議	関係職員・事業所	市役所
10 月 17 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
11 月 21 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
12 月 19 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
1 月 16 日	介護予防のための地域ケア会議	関係職員・事業所	医療福祉総合センター
3 月 19 日	困難型地域ケア会議	関係職員・事業所	三好園しんざ

イ 認知症サポーター養成講座

上半期の報告事項はありませんでした。

開催月日	内 容	参加職員	会 場
11 月 11 日	十日町看護専門学校1年生等31名	庭野（克） 上村 山田	十日町看護専門学校
12 月 11 日	（株）ヴェオリア・ジェネッツ14名	庭野（克） 水落 庭野（佳）	十日町上下水道料金センター
12 月 12 日	（株）ヴェオリア・ジェネッツ10名	庭野（克） 水落 庭野（佳）	十日町上下水道料金センター

④ 介護予防事業状況

ア 介護予防給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括	209	209	208	210	203	200	211	207	210	211	216	214	2,508
委託	39	39	43	46	47	50	49	50	51	45	46	45	550
合計	248	248	251	256	250	250	260	257	261	256	262	259	3,058

イ 介護予防出前講座事業

開催月日	団体名	内容	会場	参加人数
6 月 18 日	四日町ひまわり会	市の健康課題 フレイルの講話 栄養改善の講話	四日町市営住宅集会所	15
6 月 21 日	ふれあいいきいきサロン	市の健康課題 フレイルの講話 認知症予防 ラジオ体操 私のもしもカードの紹介	西部会館	14
7 月 25 日	おとしよの会	ラジオ体操 氏の健康課題 フレイルの講話 口腔講話	三好園四ッ宮	5
9 月 19 日	いきいきサロンゆったり	市の健康課題 フレイルの講話 栄養講話	東部会館	16
9 月 30 日	おとしよの会	市の健康課題 フレイルの講話 栄養講話	三好園四ッ宮	8
10 月 2 日	もくよう会	市の健康課題 フレイルの講話 体操（じょんのび体操）	島中央会館	7
10 月 6 日	げんき会	市の健康課題 フレイルの講話 栄養講話	三好園しんざ交流スペース	19
12 月 8 日	江道猿倉の住民	東包括の紹介 市の健康課題 フレイルの講話 運動指導	江道猿倉集落センター	8
12 月 15 日	WCG健康クラブ（男性のみ）	東包括の紹介 市の健康課題 フレイルの講話 質問票をもとに面談 健康相談	丸山町集会所	8
2 月 10 日	ひまわり会（健骨）	市の健康課題 フレイルの講話 保健師との面談 健康相談	新座コミュニティセンター	18
3 月 8 日	さくら会	市の健康課題 フレイルの講話 体操（じょんのび体操）	大井田コミュニティセンター	19
3 月 17 日	おとしよの会	フレイルの講話 認知症あんしんガイドについて 消費者被害啓発 PTIによる軽体操 座談会	三好園しんざ交流スペース	6

⑤ 各種会議参加状況

ア 実務責任者会議

開催月日	内 容	会 場
5 月 23 日	事業計画, 実施状況、評価について	医療福祉総合センター
6 月 26 日	総合事業の加算とケアプランの位置づけについて 介護予防ケアマネジメントの評価指標について	医療福祉総合センター
7 月 24 日	ケアプランデータ連携システムについて 運営状況調査について	医療福祉総合センター
8 月 28 日	総合事業運営費について R7 年度事業評価について	医療福祉総合センター
9 月 25 日	訪問Cについて 運営協議会への公表について	医療福祉総合センター
10 月 23 日	配食サービスについて 介護認定調査同席についてのまとめ 探してねっとについて	医療福祉総合センター
11 月 13 日	事業評価中間評価結果について 民生委員改選について 家庭訪問時の注意点について	医療福祉総合センター

12月 25日	うおぬま米ねっと加入促進について 計画作成依頼届出書の受付について 生成AIを活用した業務支援機能の介護予防分野への検討について	医療福祉総合センター
1月 22日	R8年度包括支援センター運営方針（案）について 訪問型サービス活動Dモデル事業について 配食サービスについて 運営事業委託費について	医療福祉総合センター
2月 26日	R8年度の各種手続き・提出物について 業務集計前月分報告	書面決議
3月 26日	高齢者の消費者トラブルについて R7年度事業評価のまとめ 障がい分野から介護移行への報告	医療福祉総合センター

イ 高齢者虐待・権利擁護担当者会議

開催月日	内 容	会 場
4月 8日	高齢者虐待終結会議	医療福祉総合センター
4月 15日	高齢者虐待コアメンバー会議	医療福祉総合センター
6月 5日	高齢者虐待終結会議	医療福祉総合センター
6月 5日	高齢者虐待評価会議	医療福祉総合センター
7月 17日	高齢者虐待コアメンバー会議	医療福祉総合センター
7月 17日	高齢者虐待コアメンバー会議	医療福祉総合センター
9月 11日	高齢者虐待評価会議	医療福祉総合センター
6月 17日	社会福祉士部会	医療福祉総合センター
8月 19日	社会福祉士部会	医療福祉総合センター
10月 21日	社会福祉士部会	医療福祉総合センター
11月 28日	高齢者虐待コアメンバー会議	医療福祉総合センター
12月 12日	高齢者虐待評価会議	医療福祉総合センター
12月 16日	社会福祉士部会	医療福祉総合センター
12月 26日	高齢者虐待終結会議（同日3ケース）	医療福祉総合センター
2月 12日	高齢者虐待コアメンバー会議	医療福祉総合センター
2月 17日	社会福祉士部会	医療福祉総合センター

ウ 認知症施策担当者会議

5月27日に認知症地域支援推進委員の会議があり包括看護師が出席

開催月日	内 容	会 場
5月 27日	認知症地域支援推進委員会	医療福祉総合センター
2月 16日	認知症地域支援推進委員会	医療福祉総合センター

エ 介護予防事業担当者会議

開催月日	内 容	会 場
5 月 27 日	一体的取り組みについて 出前講座について	医療福祉総合センター
6 月 24 日	出前講座実施状況 介護予防すごろくについて	医療福祉総合センター
7 月 22 日	出前講座実施状況 熱中症の啓発、介護保険申請する原因疾患のまとめ方について	医療福祉総合センター
10 月 8 日	出前講座実施状況 補聴器パンプについて R8年度出前講座（予算関係）について	医療福祉総合センター
1 月 20 日	一体的取り組みについて R8年度の出前講座について	医療福祉総合センター
3 月 12 日	今年度の出前講座の振り返り 来年度の出前講座について	医療福祉総合センター

⑥ 事業内会議開催状況

ア センター会議

開催月日	内 容
4 月 11 日	支援困難ケースの情報共有 R7 年度事業計画の検討
5 月 27 日	民生委員・居宅介護支援事業所へのアンケート結果について おとしょの会について
6 月 27 日	支援困難ケースの情報共有 今年度の事業展開について
7 月 28 日	おとしょの会の振り返り まちなかウォークについて ケアマネ意見書について
8 月 27 日	中間評価について 総合相談集計の記載について
9 月 26 日	支援困難ケースの情報共有 包括支援課学習会について 人事考課について
10 月 30 日	支援困難ケースの情報共有 認知症サポーター養成講座について 予防ケアマネジメントのモニタリング方法について
11 月 25 日	支援困難ケースの情報共有 包括支援課学習会について デイサービス事業所の休日について
12 月 26 日	支援困難ケースの情報共有 第3回おとしょの会について 主任ケアマネ部会、実務責任者会議の内容共有
1 月 29 日	支援困難ケースの情報共有 出前講座への包括職員の参加について
2 月 26 日	支援困難ケースの情報共有 第3回おとしょの会について 困難型地域ケア会議について
3 月 23 日	支援困難ケースの情報共有 今年度の事業の振り返り 来年度の事業展開について

⑦ 加算の状況

初回加算	○
------	---

⑧ 従業者の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合 計
管理者兼 主任介護支援専門員	1.0			1.0
社会福祉士	1.0			1.0
介護支援専門員	3.0			3.0
保健師	0.0			0.0
看護師	1.0			1.0
合計	6.0	0.0	0.0	6.0

(5) 十日町北地域包括支援センター事業

① 地域包括支援センター総合相談集計

ア 相談受理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対象実人員	67	29	22	33	16	26	16	23	23	23	22	22	322
相談延べ人員	149	137	155	130	117	110	121	112	118	101	91	105	1,446

イ 相談方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	102	88	103	91	82	82	85	82	73	70	57	66	981
文書	1	9	4	4	1	1	1	1	5	3	3	6	39
来所	12	7	2	6	2	5	6	7	5	6	2	5	65
訪問	31	30	40	29	31	21	27	21	31	22	28	27	338
メール	0	2	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	7
その他	3	1	6	0	0	0	0	0	4	0	1	1	16
合 計	149	137	155	130	117	110	121	112	118	101	91	105	1,446

ウ 相談者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	19	26	32	24	14	18	26	23	30	17	27	20	276
家族や親族	63	43	41	33	33	35	29	32	33	34	22	32	430
民生委員	1	0	1	2	0	1	3	2	0	0	1	0	11
地域住民	3	0	1	1	0	0	1	1	3	0	0	0	10
医療機関	16	15	17	17	20	13	17	19	10	15	14	12	185
居宅介護支援事業所	19	19	21	12	18	10	9	10	8	13	9	15	163
サービス事業所	7	14	4	9	4	10	17	7	6	3	1	11	93
障がい者地域生活支援センター	0	0	2	4	0	0	0	4	2	1	1	1	15
行政機関	21	20	34	28	28	21	18	12	26	14	14	14	250
その他	0	0	2	0	0	2	1	2	0	4	2	0	13
合 計	149	137	155	130	117	110	121	112	118	101	91	105	1,446

エ 相談内容（複数選択可）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護に関する事	125	101	116	107	92	80	91	87	87	64	49	73	1,072
介護予防・生活支援に関する事	13	17	12	7	6	10	10	6	10	5	10	4	110
医療に関する事	22	25	36	39	22	19	16	11	11	25	15	20	261
認知症に関する事	11	9	12	7	5	5	1	2	0	2	0	2	56
高齢者虐待	1	1	2	2	2	1	2	0	0	1	4	3	19
成年後見制度	0	2	2	5	5	4	2	1	1	2	1	2	27
消費者被害	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	5
介護者の離職防止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活困窮	1	0	3	0	2	5	1	2	2	9	12	3	40
その他	23	35	36	11	6	14	10	15	17	18	21	18	224
合 計	196	190	219	178	140	138	136	126	128	126	112	125	1,814

② 高齢者ケース会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
処遇困難	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5
ケアマネジメント支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・介護連携	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	5	5	0	0	0	0	2	0	0	12
合 計	0	0	2	5	6	0	1	0	1	2	1	2	20

③ 地域ネットワークづくり状況

ア 地域ケア会議

開催月日	内 容	参加職員	会 場
6 月 20 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
7 月 18 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
7 月 29 日	困難事例型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
8 月 22 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
9 月 19 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
10 月 17 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
11 月 21 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
12 月 19 日	困難事例型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
1 月 16 日	介護予防型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	総合センター
2 月 4 日	困難事例型地域ケア会議 個別ケース検討	関係組織・事業所	三好園会議室

イ 認知症サポーター養成講座

開催月日	対象	会場	人数
7月 3日	十日町市立 川西中学校	川西中学校	43
3月 4日	NPO法人ほほえみ 支援員	川西総合体育館会議室	15

④ 介護予防事業状況

ア 介護予防給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括	167	167	166	167	166	173	172	173	173	171	175	169	2,039
委託	52	54	53	54	53	55	58	59	57	54	59	56	664
合計	219	221	219	221	219	228	230	232	230	225	234	225	2,703

イ 介護予防出前講座事業

開催月日	団体名	内容	会場	参加人数
6月 9日	為永倶楽部	介護予防すごろく	為永倶楽部	10
7月 4日	コスモスの会	高齢者の栄養	坪山公民館	10
9月 7日	いきいきサロンほほえみ会	介護予防すごろく	新町新田ふれあいセンター	12
10月 27日	中条下町ひまわりの会	十日町おたっしやすごろく	中条下町集会所	11
12月 10日	仁田じょんのび会	十日町おたっしやすごろく	仁田公民館	19
3月 9日	高原田高齢者	十日町おたっしやすごろく	高原田公民館	3
3月 25日	中屋敷はつか会	十日町おたっしやすごろく	中屋敷集落センター	11

⑤ 各種会議参加状況

ア 実務責任者会議

開催月日	内 容	会 場
5月 23日	令和7年度地域包括支援センター事業計画・実施状況・評価について	医療福祉総合センター
6月 26日	障がいサービスから介護保険移行の進捗報告・総合事業の加算とケアプランの位置づけ	医療福祉総合センター
7月 24日	地域包括支援センター運営状況調査、ケアプランデータ連携システムについて	医療福祉総合センター
8月 28日	総合事業運営費・令和7年度地域包括支援センター事業評価について	医療福祉総合センター
9月 25日	訪問C、行方不明高齢者の対応、地域包括運営協議会の公表について	医療福祉総合センター
10月 23日	配食サービス、さがしてネットのチラシ、介護認定調査について	医療福祉総合センター
11月 13日	地域包括支援センター中間評価結果、家庭訪問時の注意点、民生児童委員の改選について	医療福祉総合センター
12月 25日	うおぬま米ねっと加入促進、介護予防サービス計画作成依頼届出書の受付について	医療福祉総合センター
1月 22日	令和8年度十日町市地域包括支援センター運営方針（案）について	医療福祉総合センター
2月 22日	令和8年度各種手続き・提出物、業務集計の確認について	書面会議
3月 26日	令和8年度地域ケア会議、令和7年度業務評価のまとめについて	医療福祉総合センター

イ 高齢者虐待・権利擁護担当者会議

開催月日	内 容	会 場
6 月 27 日	社会福祉士部会 高齢者虐待対応状況、高齢者虐待防止に関する事業計画案について	医療福祉総合センター
6 月 27 日	成年後見制度中核機関広報・相談業務連絡会 相談支援体制と集計、今年度研修について	医療福祉総合センター
10 月 21 日	社会福祉士部会 処遇困難、虐待対応ケースの進捗管理について	医療福祉総合センター
10 月 21 日	成年後見制度中核機関広報・相談業務連絡会	医療福祉総合センター
10 月 29 日	法テラス新潟地方協議会（十日町市・津南町）	十日町市中央公民館
12 月 16 日	高齢者虐待の対応状況・高齢者虐待防止研修会・高齢者虐待マニュアル改訂について	医療福祉総合センター
2 月 17 日	高齢者虐待の対応状況・高齢者虐待マニュアル改訂について	医療福祉総合センター
2 月 17 日	成年後見制度中核機関広報・相談業務連絡会	医療福祉総合センター

ウ 認知症施策担当者会議

開催月日	内 容	会 場
5 月 27 日	認知症あんしんガイドブックの活用、脳いきいき講座、認知症サポート養成講座について	医療福祉総合センター
1 月 20 日	認知症あんしんガイドブックの活用、認知症関連事業、認知症サポーター養成講座について	医療福祉総合センター

エ 介護予防事業担当者会議

開催月日	内 容	会 場
5 月 27 日	一体的取り組み、介護予防出前講座、十日町予防すごろくについて	医療福祉総合センター
6 月 24 日	介護予防「十日町おたっしやすごろく」について	医療福祉総合センター
7 月 22 日	出前講座、おたっしやすごろく、共有事項について	医療福祉総合センター
10 月 8 日	出前講座、おたっしやすごろく、一体化事業実施、共有事項について	医療福祉総合センター
1 月 20 日	一体的事業について、介護予防出前講座、おたっしやすごろく、について	医療福祉総合センター
3 月 11 日	介護予防出前講座、今年度の実施回数、次年度の計画について	医療福祉総合センター

⑥ 事業内会議開催状況

ア センター会議 (十日町北地域包括支援センター内会議)

開催月日	内 容
4月 17日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
5月 19日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
6月 19日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
7月 17日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
8月 20日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
9月 19日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
10月 16日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
11月 20日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
12月 18日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
1月 22日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
2月 25日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等
3月 19日	給付管理・総合相談・請求予定・各支援状況報告、事業進捗・各部会報告、地域課題の検討等

⑦ 加算の状況

初回加算	○
------	---

⑧ 従業者の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	合 計
管理者兼 主任介護支援専門員	1.0			1.0
社会福祉士	1.0			1.0
介護支援専門員	3.0			3.0
保健師	0.0			0.0
看護師	1.0			1.0
合計	6.0	0.0	0.0	6.0

(7) 障がい者地域生活支援センター事業

○ 相談支援事業

① 利用者状況

ア 相談者数

月		実人数	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳	その他
4月	者	165	19	1	91	44	4	3	16
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	者	172	16	2	91	42	7	1	16
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	者	197	23	7	109	46	10	0	13
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	者	175	18	4	96	43	7	2	15
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	者	176	18	3	88	48	8	1	18
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	者	199	26	5	111	43	5	2	11
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
上半期計		1,084	120	22	586	266	41	9	89
10月	者	175	17	3	92	46	7	2	18
	児	1	0	0	1	0	0	0	0
11月	者	155	20	3	71	42	9	3	19
	児	1	0	0	1	0	0	0	0
12月	者	189	22	6	100	43	9	4	17
	児	1	0	0	1	0	0	0	0
1月	者	167	17	4	81	43	6	2	21
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	者	163	16	2	87	43	9	1	13
	児	1	0	0	1	0	0	0	0
3月	者	176	20	7	95	45	10	4	11
	児	0	0	0	0	0	0	0	0
下半期		1,029	112	25	530	262	50	16	99
合計(人)		2,113	232	47	1,116	528	91	25	188

イ 相談件数

月	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別会議	関係機関	その他	計
4月	48	22	15	156	4	28	191	47	511
5月	63	21	24	154	6	15	163	44	490
6月	73	21	19	158	6	27	154	58	516
7月	46	26	20	169	8	20	148	41	478
8月	49	17	11	130	4	26	101	46	384

9月	62	17	9	130	7	17	82	73	397
上半期計	341	124	98	897	35	133	839	309	2,776
10月	40	16	9	145	6	70	127	7	420
11月	26	15	10	117	4	64	115	2	353
12月	40	13	8	140	13	88	133	11	446
1月	40	15	5	153	7	61	132	2	415
2月	34	10	2	132	7	83	82	5	355
3月	55	17	12	174	7	71	108	2	446
下半期計	235	86	46	861	44	437	697	29	2,435
合計	576	210	144	1,758	79	570	1,536	338	5,211

ウ 支援内容

月	福祉サ-ビ- ス利用等	障害・ 病状理解	健康・ 医療	不安の解 消・情緒 安定	保育 教育	家族関 係・人 間関係	家計・ 経済	生活 技術	就労	社会参 加・余 暇活動	権利 擁護	その他	計
4月	313	33	85	108	1	67	44	12	16	1	5	29	714
5月	299	35	112	103	1	67	32	13	7	6	5	35	715
6月	349	41	84	107	3	56	46	12	7	4	8	32	749
7月	321	66	88	116	0	65	20	0	4	5	3	27	715
8月	261	40	98	77	1	41	22	3	5	5	3	27	583
9月	281	9	72	80	1	22	20	2	6	9	6	12	520
上半期計	1,824	224	539	591	7	318	184	42	45	30	30	162	3,996
10月	280	17	83	91	2	46	33	8	6	5	4	24	599
11月	221	18	67	77	0	47	28	7	10	6	4	17	502
12月	284	22	81	82	4	43	19	5	3	6	7	25	581
1月	279	16	77	77	0	58	36	9	14	8	3	22	599
2月	251	12	43	56	1	42	23	5	8	2	6	16	465
3月	274	28	55	109	0	62	44	6	12	3	2	37	632
下半期計	1,589	113	406	492	7	298	183	40	53	30	26	141	3,378
合計	3,413	337	945	1,083	14	616	367	82	98	60	56	303	7,374

エ サービス等利用計画作成数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	46	38	23	28	22	19	27	25	18	25	17	22	310
モニタリング	27	55	59	36	53	67	36	64	56	40	60	50	603
委託給付	4	4	7	4	4	2	1	2	3	1	5	3	40

○ 就業・生活支援センター

① 利用者状況

ア 障害種別登録者数

月	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
4月	44	204	314	5	5	0	15	587
5月	45	207	316	8	5	0	15	596
6月	46	208	319	8	5	0	15	601
7月	49	208	324	8	5	0	16	610
8月	40	179	271	7	3	0	14	514
9月	40	188	279	7	3	0	16	533
10月	43	188	281	7	3	0	16	538
11月	44	189	281	7	3	0	16	540
12月	44	190	281	7	3	0	16	541
1月	45	190	286	7	3	0	16	547
2月	45	191	289	7	3	0	17	552
3月	45	194	299	7	3	0	18	566
合計	530	2,336	3,540	85	44	0	190	6,725

イ 新規求職者数

月	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
4月	2	1	5	0	0	0	0	8
5月	1	5	0	0	0	0	1	7
6月	0	1	5	0	0	0	0	6
7月	2	0	5	0	0	0	0	7
8月	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	1	3	1	0	0	0	1	6
上半期計	7	10	16	0	0	0	2	35
10月	2	0	4	0	0	0	0	6
11月	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	0	1	2	0	0	0	0	3
1月	0	0	5	0	0	0	0	5
2月	0	3	3	0	0	0	1	7
3月	0	1	4	0	0	0	0	5
下半期計	3	5	18	0	0	0	1	27
合計	10	15	34	0	0	0	3	62

ウ 相談支援件数

月	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
4月	13	27	47	6	0	0	3	96
5月	18	48	73	12	0	0	8	159
6月	21	58	84	8	0	0	7	178
7月	18	46	68	12	0	0	5	149
8月	19	54	82	17	1	0	7	180
9月	20	59	84	9	0	0	10	182
上半期計	109	292	438	64	1	0	40	944
10月	26	46	100	8	0	0	5	185
11月	16	48	84	4	0	0	7	159
12月	20	48	95	11	0	0	6	180
1月	14	52	90	12	0	0	1	169
2月	11	32	87	9	0	0	2	141
3月	15	61	150	3	0	0	7	236
下半期計	102	287	606	47	0	0	28	1070
合計	211	579	1044	111	1	0	68	2014

エ 職業準備訓練又は職場実習の斡旋件数

月	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
4月	0	0	2	0	0	0	0	2
5月	1	2	0	0	0	0	0	3
6月	2	0	2	0	0	0	0	4
7月	0	0	2	0	0	0	0	2
8月	0	0	2	0	0	0	0	2
9月	0	3	1	0	0	0	0	4
上半期計	3	5	9	0	0	0	0	17
10月	1	0	1	0	0	0	0	2
11月	2	0	0	0	0	0	0	2
12月	1	2	0	1	0	0	0	4
1月	1	1	2	1	0	0	0	5
2月	0	2	3	0	0	0	0	5
3月	0	0	2	0	0	0	0	2
下半期計	5	5	8	2	0	0	0	20
合計	8	10	17	2	0	0	0	37

オ 就職件数

月	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
4月	0	8	7	0	0	0	0	15
5月	0	0	4	0	0	0	0	4
6月	1	0	1	0	0	0	0	2

7月	2	1	1	0	0	0	0	4
8月	0	0	2	0	0	0	0	2
9月	0	0	1	0	0	0	0	1
上半期計	3	9	16	0	0	0	0	28
10月	0	3	0	1	0	0	0	4
11月	0	0	1	0	0	0	0	1
12月	2	1	0	0	0	0	0	3
1月	1	1	1	0	0	0	0	3
2月	0	2	1	0	0	0	0	3
3月	1	0	3	0	0	0	0	4
下半期計	4	7	6	1	0	0	0	18
合計	7	16	22	1	0	0	0	46

カ 職場定着支援「在職者交流活動」実施状況

開催月日	会場	参加者	実施内容
7月26日	十日町市医療福祉総合センター講堂	7	第1回在職者の集い「笑いヨガ体験会」
9月13日	段十ろう	14	第1回ピアサポート活動WRAP講座
10月25日	十じろう	9	第2回ピアサポート活動WRAP講座
11月22日	十じろう	12	第3回ピアサポート活動WRAP講座
12月6日	南魚沼中央公民館	13	第2回在職者の集い「交流会」

② 加算の状況 (計画相談支援・障害児相談支援)

初回加算	機能強化型基本報酬 R7.8月～(Ⅱ) R7.11月～(Ⅰ)へ
入院時情報連携加算 (Ⅰ)	入院時情報連携加算 (Ⅱ)
退院・退所月加算	居宅介護支援事業者等連携加算
医療・保育・教育機関等連携加算	サービス担当者会議実施加算
サービス提供時モニタリング加算	行動障害支援体制加算 (Ⅰ)
要医療児者支援体制加算 (Ⅰ)	精神障害者支援体制加算 (Ⅰ)
主任相談支援専門員配置加算 (Ⅰ)	特別地域加算
高次脳機能障害支援体制加算 (Ⅰ) R8.2月～	

③ 加算の状況 (地域相談支援)

入院時情報連携加算 (Ⅰ)	入院時情報連携加算 (Ⅱ)
---------------	---------------

④ 従業者の常勤換算状況 (令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	委託職員等	合計
管理者兼 主任相談支援専門員	0.8			0.8
相談支援専門員	5.0			5.0
その他	0.0	2		2.0
合計	5.8	2.0	0.0	7.8

IV こども事業部

IV こども事業部

1 事業理念

わたしたちは、一人ひとりを大切にし、豊かな人間性を持ったこどもを育てます。

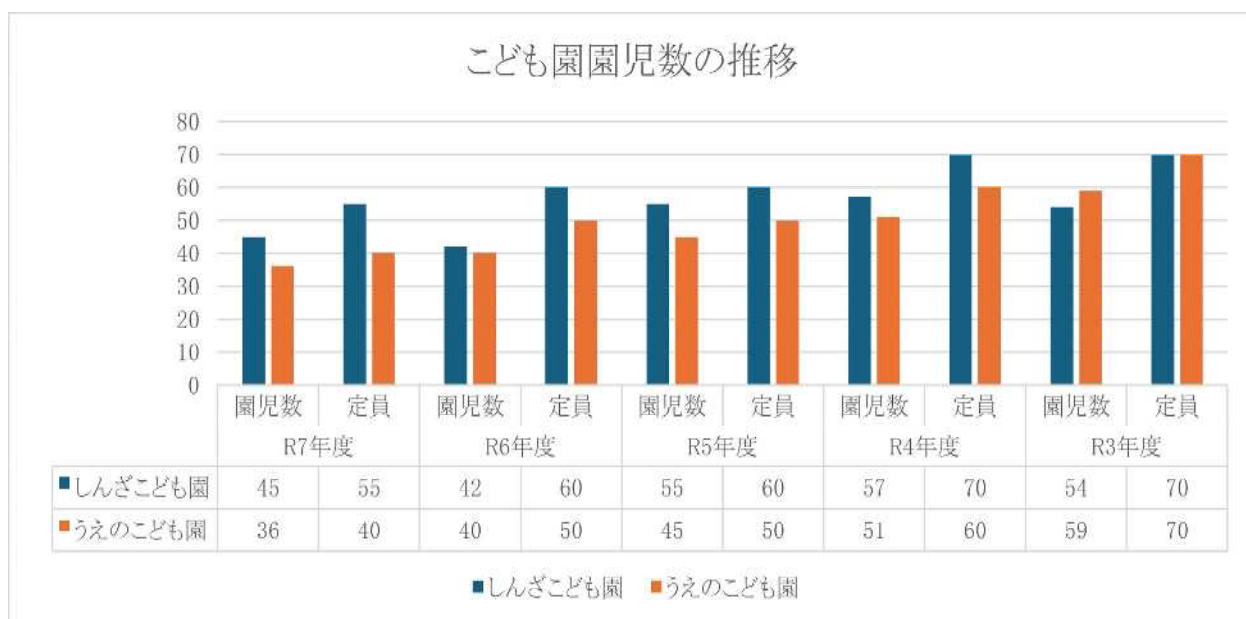
2 重点目標

子どもの健全な心身の発達を図るために教育・保育の向上を図ります (1)	推進事項	
	①	こども一人ひとりの人格の尊重、個人差に配慮した教育・保育環境を整えます。
	取組結果	
	こどもの気持ちと主体性を大切にしながら、職員間の情報共有に努め計画に沿った教育・保育を行いました。 発達コーディネーターである副園長が中心となり各機関と連携しながら個に応じた取り組みを実施しました。	
	②	職員が個人差に配慮した教育・保育が出来るように研修体制を整えます。
	取組結果	
保護者や地域の子育て支援の充実を図ります (2)	推進事項	
	①	保護者の思いに寄り添い、アンケートで意見を聴き、信頼関係の構築を図ります。
	取組結果	
	保護者アンケートのご意見から、できることはすぐ改善し、難しいことは代替案を提案することで保護者との信頼関係の構築に努めました。	

(2) 保護者や地域の子育て支援の充実を図ります	②	園開放・子育て相談・一時預かり・親子対象イベント等を行い、地域の子育てを支援します。
	取組結果	
	保護者や地域の親子が参加できる行事を計画し、保護者等の思いを直接聞く機会を増やしました。 その結果、相談も増え保護者の安心につながりました。	
	③	園評価を行い改善に向けた取り組みを行います。
	取組結果	
(3) 子どもたちが安全に教育・保育を受けられるよう配慮します	推進事項	
	①	安全計画を作成し、計画に基づいて教育・保育を行います。
	取組結果	
	安全計画に基づき毎月訓練を実施しました。 訓練の振り返りを行い危険に対する意識の醸成を図りました。	
	②	緊急時の対応訓練、ヒヤリハットを大切に、事故予防対策に努めます。
	取組結果	
	対応訓練結果やヒヤリハットの報告を職員間で共有し危険予測にも力を入れました。	
	③	感染予防、災害対策への取り組みを推進します。
	取組結果	
	日常の感染予防に努めました。 毎月園内外の環境整備を行い危険個所の確認を実施しました。	

(4) 事業継続に向けた調査研究を行います	推進事項	
	①	発達障害児(気になる子含む)支援、子育て相談の充実など、支援機能強化に向けた検討を行います。
	取組結果	
	子どもの個々の様子を保護者と共有しながら個性を伸ばすような保育に努めました。 保護者の気持ち、ペースに合わせて巡回相談、保護者相談、就学相談の情報を提供しました。	
	②	行政等関係機関と一緒に、加速する園児減少への対応について具体的な協議を行います。
	取組結果	
	十日町こども連盟の会議が毎月開催され連盟主催の「園運営を考える研修会」に10名の市職員、市議の出席がありました。 また、十日町こども連盟より7月30日付で市長要望書を提出しました。 11月7日付で市より回答があり令和8年度も市の副食費一部助成が継続されることとなりました。	

3 こども園園児数の推移



(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	幼保連携型認定こども園しんざこども園
所在地	新潟県十日町市新座甲823番地4
設立年月日	平成31年4月1日
敷地面積	4,517.66㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造2階建
延べ床面積	580.74㎡
施設長名	樋熊 亜矢子
電話番号	025-757-6002
FAX番号	025-757-6002
E-mailアドレス	shinza-kodomo@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
幼保連携型認定こども園	55	平成31年4月1日		十日町市
一時預かり事業		平成31年4月1日		

(2) 重点目標		
障害事業部重点目標		事業所重点目標
①	子どもの健全な心身の発達を図るために教育・保育の向上を図ります	・個々の能力に応じ個人差に配慮した教育・保育環境の充実を図り、職員の学びの場を作ります。 ・保護者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言援助に努めます。
		取組結果
		子ども一人一人の様子を情報共有し、発達コーディネーターを中心に関係機関と連携し個に応じた取り組みを実施しました。
②	保護者や地域の子育て支援の充実を図ります	・保護者参加型行事を取り入れ、子育て支援のサポートに取り組みます。 ・地域の子どもおよび保護者にとって、相互交流や遊びの空間の場になるよう努めます。
		取組結果
		地域の世代交流間も図り、保護者にも発信しながら行事に積極的に参加し地域を知る機会にもつながりました。

③	子どもたちが安全に教育・保育を受けられるよう配慮します	・各種災害や緊急時の対応訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。 ・保護者のニーズに合わせた保育が可能になるよう努めます。
		取組結果
		子どもにとって安心して安全な環境を整え、季節に合わせた訓練の実施や時間帯の異なるパート職員も定期的に参加できるようにし職員全体の認識にもつながりました。
④	事業継続に向けた調査研究を行います	・支援を必要とする子どもに対して、関係機関と連携を密にし、保護者からの相談窓口としての役割を図ります。 ・地域との連携を保ち、こども園の機能の充実を図ります。
		取組結果
		個の姿を保護者と共有しながら巡回相談、保護者相談、就学相談等を保護者に発信し、個の個性を伸ばせるような保育を行いました。

(3) 事業所運営に関する事項				
① 会議				
会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
給食会議	6	6	12	11
保育会議	6	6	12	11
以上児行事会議	6	5	11	11
反省・報告会議	6	5	11	12
リーダー会議	3	2	5	5
以上児会	11	13	24	21
未満児会	13	12	25	20

幼保連携型認定こども園しんぎこども園

(4) 事業別計画(幼保連携型認定こども園)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	個々の能力に応じ個人差に配慮した教育・保育環境の充実を図り職員の学びの場を作ります	全体計画に基づきカリキュラムに応じた保育、子どもの主体性を伸ばす保育環境に努めます。
		取組結果
		各クラス職員間の打ち合わせ時に共有することによりスムーズ教育計画に沿った立案ができるようになりました。
②	保護者参加型行事を取り入れ子育て支援のサポートに努めます	園行事や園開放事業を活用し、親子対象イベントを取り入れ、地域子育て支援の充実を図ります。
		取組結果
		親子ふれあいデーやなかよしルームの行事を市内の子育て支援施設にも掲示したことで地域外からの利用者也増えました。
③	災害や緊急時の対応訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます	安全な環境を整え、ヒヤリハットや事故防止対策の充実を図り、職員の認識を深めます。
		取組結果
		毎月、園内外の環境整備を自ら職員が行うことで、危険箇所やヒヤリハット事案に気づけるようになりました。
④	支援を必要とする子どもに対して、関係機関と連携を密にし、保護者からの相談窓口としての役割を図ります	研修や話し合いの場に積極的に参加し、情報収集を行います。関係機関との連携を密にし保護者の思いに寄り添い、個別支援の推進に努めます。
		取組結果
		発達コーディネーターを中心に、園内研修を実施し研修から得た情報を職員間で共有し、支援を必要とする児への支援方法の徹底に努めました。

幼保連携型認定こども園しんぎこども園

(5) 事業別計画(一時預かり事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	保護者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言援助に努めます	保護者が発信しやすい環境づくりに努め、育児相談に対応できるよう情報収集に取り組みます。
		取組結果
		保護者と情報を共有しながら、相談窓口としての役割に努めました。
②	地域の子どもおよび保護者にとって、相互交流や遊びの空間の場になるよう努めます	安心していただける環境づくりに努めます。
		取組結果
		フリーの職員を配置し、子どもの状況に応じた保育や支援をし、安心して預けていただけるよう努めました。
③	保護者のニーズに合わせた保育が可能となるよう努めます	保護者と面談を行い、食事面や健康面での安全に十分努めます。
		取組結果
		保護者の思いに寄り添い、利用児の食事状況など聞き取り、個にあった食事形態を提供できるようにしました。
④	地域との連携を保ち、こども園の機能の充実を図ります	主幹保育教諭が保育にあたり、保護者に安心していただけるよう努めます。
		取組結果
		保護者のニーズや個々の生活リズムに合わせ、集団生活の場が安心できるように環境を整えました。

(6) 事業活動上の取組み

① 苦情(件数)

今年度の報告事項はありませんでした。

② ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

③ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
4月30日	職業倫理	20
5月27日	BCP研修／さくらんぼ研修	12
6月24日	リスクマネジメント研修	5
6月中旬	水遊び時の緊急対応訓練研修/AED研修	31
12月	交通安全教室キャンペーン	20
1月20日	リスクマネジメント研修	4
1月	虐待研修	8

④ 防災訓練

訓練名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
火災	3	5	8	6
地震	4	3	7	6
水害・竜巻・台風	1	0	1	1
不審者侵入	1	0	1	1
合 計	9	8	17	14

⑤ 実習生受け入れ

学校名	今年度(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
新潟青陵大学短期大学部	1	0	1	1
十日町看護専門学校	4	0	4	5
合 計	5	0	5	6

⑥ 食事の状況

ア 食事総数（2歳児からは普通食）

	離乳食	刻み食	2歳児	3, 4, 5歳児	合 計
4月	7	2	4	28	41
5月	8	2	4	27	41
6月	8	2	4	27	41
7月	8	3	5	27	43
8月	5	6	5	27	43
9月	4	8	5	27	44
10月	4	9	5	27	45
11月	5	8	5	27	45
12月	5	8	5	27	45
1月	5	8	5	27	45
2月	3	10	5	27	45
3月	4	10	5	27	46
合 計	66	76	57	325	524

○ 事業別報告

(1) こども事業

① 園児の状況

ア 月別利用状況

(ア) 教育標準時間(1号認定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者 数	3	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	6	61	46
	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	40	24
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	24
	9	9	9	10	10	10	10	11	11	12	12	12	125	94

(イ) 標準時間(2・3号認定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者 数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	34
	10	9	9	9	9	8	8	6	6	6	6	6	92	83
	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29	77
	10	10	10	11	11	10	10	10	10	9	9	9	119	96
合 計	24	23	23	25	25	22	22	20	20	19	19	19	261	290

(ウ) 短時間(2・3号認定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者 数	1	1	1	1	1	2	3	4	4	4	4	4	30	22
	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31	27
	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19	46
	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	58	61
合 計	9	9	9	8	8	12	13	14	14	14	14	14	138	156

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
総合計	42	41	41	43	43	44	45	45	45	45	45	45	524	561
	76.36	74.55	74.55	78.18	78.18	80.00	81.82	81.82	81.82	81.82	81.82	81.82	79.39	77.92

イ 一時預かり事業

(ア) 1日預かり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
実施日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

(イ) 4時間未満

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
実施日数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3

ウ 延長保育事業（補助対象分）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4
実施日数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4

② 健康診断状況

開催月日	人数	担当医師	内 容
11 月 11 日	45	大坪隆男内科医師	内科健診
11 月 18 日	45	二瓶広之歯科医師	歯科検診

③ 食事提供の状況

補食の提供(家庭の夕食をとることを前提に夕刻に提供) 有 (無)

④ 加算の状況

処遇改善等加算(Ⅰ)	処遇改善等加算(Ⅱ)
副園長・教頭配置加算	処遇改善等加算(Ⅲ)
3歳児配置改善加算 1歳児配置改善加算	満3歳児対応加配加算
チーム保育加配加算	給食実施加算/療育支援加算
栄養管理加算	施設機能強化推進費加算
冷暖房費加算/除雪費加算	1歳児配置改善加算
施設関係者評価加算/小学校接続加算	外部監査費加算
処遇改善加算(Ⅰ)の基礎分適用 ①賃金改善分(キャリアパス要件有) 2 賃金改善分(キャリアパス要件無) 3 基礎分のみ 4 その他	
処遇改善加算(Ⅱ)による賃金改善の対象となる職員数	
副主任保育士等(原則月額4万円の賃金改善額となる者)	1人
その他の技能・経験を有する職員(月額5千円以上4万円未満の賃金改善額となる者)	3人
職務分野別リーダー等(月額5千円の賃金改善額となる者)	6人

⑤ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等
園長	1.0			保育士	1.0	1.9	
副園長	1.0			保育補助		0.5	
主幹保育教諭	1.0			保健師・看護師		0.8	
指導保育教諭	1.0			栄養士	0.5		
保育教諭	4.0	1.3		調理員	1.0	1.2	
事務員	0.5			その他			
				合 計	11.0	5.7	0.0

Ⅳ－Ⅱ

幼保連携型認定こども園うえのこども園

(1) 事業所の概要	
① 施設概要	
施設の名称	幼保連携型認定こども園うえのこども園
所在地	新潟県十日町市上野乙166番地
設立年月日	平成31年4月1日
敷地面積	3,975.24㎡
建物構造	鉄筋コンクリート平屋建
延べ床面積	965.46㎡
施設長名	篠原 裕子
電話番号	025-768-2321
FAX番号	025-768-4854
E-mailアドレス	ueno-kodomo@fuku-tokamachi.or.jp

② 実施事業				
事業名	定員(人)	指定年月日	事業所番号	事業実施地域
幼保連携型認定こども園	40	平成31年4月1日		十日町市
一時預かり事業		平成27年4月1日		
地域子育て支援事業		平成30年4月1日		

(2) 重点目標		
こども事業部重点目標		事業所重点目標
①	子どもの健全な心身の発達を図るために教育・保育の向上を図ります	・職員が主体的に学び合う姿勢を大切にし、研修を受けやすい環境作りに務めます。 ・子ども一人ひとりの人格の尊重、個人差に配慮した教育・保育を行います。 ・研修会に参加し子育て支援について学びを深めます。
		取組結果
		子どもの気持ちを認め主体性を大切にして教育・保育を行いました。また、職員の意見を大切にし、より良い保育となるよう話し合いを行い教育・保育の向上に努めました。

②	保護者や地域の子育て支援の充実を図ります	・園と保護者で子どもの育ちを共有し子どもの健やかな成長を促します。 ・保護者のニーズに合わせた利用が可能になるように努めます。 ・在宅の親子に遊びの場の提供を行います。
		取組結果
		保護者や地域の親子が楽しめるイベントを計画し、行いました。園開放の利用者もあり、在宅の親子に遊びの場の提供もできました。
③	子どもたちが安全に教育・保育を受けられるよう配慮します	・安全計画を作成し、安全計画に基づいて教育・保育を行います。 ・利用前に十分な面談を行い、子どもについての情報を取得します。 ・安全な環境作りを行います。
		取組結果
		安全計画に沿って教育・保育を行いました。会議の中で、ヒヤリハットや怪我・事故について分析し、危険の減少に努めました。
④	事業継続に向けた調査研究を行います	・支援機能強化に向けた取り組みを行います。 ・一般型で行い、安心してお預かりできるように努めます。 ・利用者増加の為の工夫を行います。
		取組結果
		「こども誰でも通園制度」の認可申請を行い、8年度からの認可を受けました。利用者増加の可能性を探るため、子育て支援センターの支援員と情報の共有を密に行いました。一時預かり事業においても、子育て支援センターの利用者に利用いただきました。

(3) 事業所運営に関する事項

① 会議

会議名	今年度(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
保育・給食会議	6	6	12	12
行事会議	6	6	12	12
反省、報告会議	6	6	12	12
未満児、以上児会	6	6	12	12
年齢別会議	6	6	12	12
リーダー会議	2	2	4	4

幼保連携型認定こども園うえのこども園

(4) 事業別計画(幼保連携型認定こども園)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	職員が主体的に学び合う姿勢を大切にし研修を受けやすい環境作りに務めます	・園外研修へ一人1回は必ず参加できるようにします。 ・園内研修の充実を図ります。 ・専任職員も時間内に研修を受けられるように工夫します。
		取組結果
		多くの職員が、研修会や園内研修に参加し、個人の学びが深まりました。また、報告を通し、他職員も研鑽を積むことができました。
②	園と保護者で子どもの育ちを共有し、子どもの健やかな成長を促します	・年間5回のクラス会と親子スマイルデーをタイアップし、参加率を高め有意義な会となるようにします。 ・園だより、クラスだより、給食だより、玄関掲示等で園内の様子を共有出来るようにします。 ・3歳以上児はフリー参加を行い、保護者の方が通常の保育に参加出来るようにします。
		取組結果
		計画通り全5回終了しました。 クラス会とタイアップしたため、地域の親子も含め、昨年より参加者が増えました。保護者と一緒に子どもの育ちを共有し合えました。
③	安全計画を作成し、計画の基づいて教育・保育を行います	・緊急時の対応訓練、ヒヤリハットを大切にし、事故防止対策に努めます。 ・感染症予防、災害対策への取り組みを推進します。 ・玄関を自動開閉式に変える工事を行い、インターフォンも設置します。
		取組結果
		1年間で1件の怪我がありました。防げる怪我でもあったため、ヒヤリハットを大切にし、怪我・事故のない環境を作り、活動の仕方も工夫していきます。 玄関を自動開閉式にしました。
④	支援強化に向けた取り組みを行います	・一人ひとりに応じた養護・教育の充実を図ります。 ・地域の各機関との連携を取りながら進めて行きます。
		取組結果
		各機関と連絡を取り合いながら、個に応じた取り組みを行いました。 特に4歳児の後半は、5歳児になってからの就学相談に向けての取り組みを充実させました。

幼保連携型認定こども園うえのこども園

(5) 事業別計画(一時預かり事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	子ども一人ひとりの人格の尊重・個人差に配慮した保育を行います	・子どもに寄り添い教育・保育を行います。
		取組結果
		利用児の人格を尊重し、安心して過ごせるように遊びの内容を工夫しました。(好きな遊びを用意)
②	保護者のニーズ合わせた利用が可能となるように努めます	・一時預かり保育を受けられるように、職員配置を行います。
		取組結果
		通年を通し、お預かりできるように職員を配置しました。希望のあった利用児については、すべてお預かりすることができました。
③	利用前に十分な面接を行い、安全にお預かりが出来るようにします	・一時預かり契約書兼申込書を提出して頂き、子どもの様子の把握に努めます。 ・離乳食を食べている子どもは、食事状況調査を行い、自宅で食べている食材での提供を行います。 ・食物アレルギーの有無について確認し合います。
		取組結果
		利用児のアレルギーや既往歴等を確認し、離乳食を食べている利用児には食事状況調査を行い、安全にお預かりできるようにしました。
④	一般型で行い、安心してお預かり出来るように努めます	・安心して子育てが出来る環境を整備し、周知を行い、地域の子どもの福祉の向上を図ります。
		取組結果
		川西子育て支援センターえくぼと情報を共有し、地域に発信していただきました。トータル日数は多くはありませんが、色々な方から利用していただきました。

幼保連携型認定こども園うえのこども園

(6) 事業別計画(地域子育て支援事業)		
事業所重点目標		事業別重点目標
①	研修会に参加し、子育て支援について学びを深めます	・研修会に積極的に参加するようにします。 ・学んだことは他の支援員に復命をし、お互いに高め合います。
		取組結果
		オンデマント形式の研修を受け、もう一人の職員に復命を行い学びを深めました。
②	在宅の親子に遊びの場の提供を行います	・魅力ある子育て支援センターになるように、手作りおもちゃの充実を図ります。また、壁面装飾も行います。 ・出前教室(橘ニコニコルーム)を月2回行います。
		取組結果
		毎月行っていた「作って飾ろう」はとても好評で大勢のご利用者さんが行いました。出前教室も計画通り、月に2回行いました。市の木育事業で木のパーテーションを作っていただきました。喜んで遊んでいます。
③	安全な環境作りを行います	・換気を行いながらも過ごしやすい室温を設定します。 ・毎日、玩具の点検を行い、子どもが安全に使用できるようにします。
		取組結果
		利用者が増え、その分危険も増えた為、支援員2人の立ち位置や役割分担を決め安全を確保しました。消毒をこまめに行いました。
④	利用者増加の為の工夫を行います	・市の乳児身体測定、ブラッシング指導の会場として提供します。 ・月1度のイベントを計画し行います。 ・青少年育成協議会と協力し保護者支援を行います。
		取組結果
		色々なイベントを月に1回開催しました。また、イベントは青少年育成協議会の方からもご協力していただきました。

(7) 事業活動上の取組み

① 苦情

今年度の報告事項はありませんでした。

② ボランティアの活動状況

今年度の報告事項はありませんでした。

③ 施設内研修

開催月日	研 修 名	参加人数
5月20日	働きやすい環境作り	7
5月22日	嘔吐処理研修	11
6月12・19日	働きやすい環境づくり(行事編)	8
6月26日	AED研修	9
8月8日	働きやすい環境づくり(行事編)	8
11月6日	見守る保育について	8
12月18日	AED研修	11
1月8日	玩具について	9

④ 防災訓練

訓練名	上半期(回)			前年度(回)
	上半期	下半期	合計	
火災発生	2	3	5	6
地震発生	1	3	4	3
風水害	1	0	1	1
不審者侵入	1	0	1	1
原発事故	1	0	1	1
合 計	6	6	12	12

⑤ 実習生受け入れ

学校名	上半期(人)			前年度(人)
	上半期	下半期	合計	
国際こども・福祉カレッジ	1	1	2	0
合 計	1	1	2	0

⑥ 食事の状況

ア 食事総数（2歳児からは普通食）

	離乳食	刻み食	2歳児	3, 4, 5歳児	合 計
4月	2	3	6	23	34
5月	0	5	6	23	34
6月	0	5	6	23	34
7月	0	5	6	23	34
8月	0	5	6	23	34
9月	2	5	6	23	36
10月	2	5	6	23	36
11月	2	6	6	23	37
12月	3	5	6	23	37
1月	2	4	6	23	35
2月	3	4	6	23	36
3月	3	4	6	23	36
合 計	19	56	72	276	423

○ 事業別報告

(1) こども事業

① 園児の状況

ア 月別利用状況

(ア) 教育標準時間(1号認定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者 数	3歳児	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	22	47
	4歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	48
	5歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	24
	合計	8	8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	106	119

(イ) 標準時間(2・3号認定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者 数	0歳児	1	1	1	2	2	2	3	3	2	3	3	24	44
	1、2歳児	10	9	9	9	9	8	7	7	5	7	7	97	105
	3歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	72
	4歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	156
合計	26	26	25	25	26	26	25	25	25	24	25	25	303	377

(ウ) 短時間(2・3号認定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
利 用 者 数	0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1、2歳児	1	1	2	2	2	3	2	2	1	1	1	20	4
	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
合計	1	1	2	2	2	2	3	2	2	1	1	1	20	32

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度実績
総合計	利用者数	35	35	35	35	36	36	37	37	35	36	36	429	528
	稼働率	87.50	87.50	87.50	87.50	90.00	90.00	92.50	92.50	87.50	90.00	90.00	89.38	88.00

イ 一時預かり事業

(ア) 1日預かり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	2	1	9
延べ利用者数	0	0	2	6	0	0	0	2	1	2	2	2	17
実施日数	0	0	2	6	0	0	0	2	1	2	2	2	17

(イ) 4時間未満

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	0	1	1	1	1	0	0	9	0	2	15
延べ利用者数	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	4	10
実施日数	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	4	10

ウ 延長保育事業（補助対象分）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	5	5	6	5	5	6	5	7	7	6	6	6	69
延べ利用者数	94	90	100	107	50	94	100	81	107	91	95	100	1,109
実施日数	20	20	21	22	18	20	22	18	22	19	18	21	241

② 健康診断状況

開催月日	人数	担当医師	内 容
6 月 5 日	35	小野島寛子先生	歯科健診
6 月 10 日	35	丸山弦先生	内科健診
11 月 7 日	37	丸山弦先生	内科健診
11 月 17 日	36	小野島寛子先生	歯科健診

③ 食事提供の状況

補食の提供(家庭の夕食をとることを前提に夕刻に提供) 有 (無)

④ 加算の状況

処遇改善等加算(Ⅰ)	処遇改善等加算(Ⅱ)
副園長・教頭配置加算	処遇改善等加算(Ⅱ)
3歳児配置改善加算	冷暖房費加算
チーム保育加配加算	給食実施加算
1歳児配置改善加算	療育支援加算
処遇改善加算(Ⅰ)の基礎分適用	①賃金改善分(キャリアパス要件有) 2 賃金改善分(キャリアパス要件無) 3 基礎分のみ 4 その他
処遇改善加算(Ⅱ)による賃金改善の対象となる職員数	
副主任保育士等(原則月額4万円の賃金改善額となる者)	1人
その他の技能・経験を有する職員(月額5千円以上4万円未満の賃金改善額となる者)	5人
職務分野別リーダー等(月額5千円の賃金改善額となる者)	3人

⑤ 従業者の常勤換算状況

(令和8年3月末日現在)

主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等	主な職種の内訳	常勤職員	非常勤職員	派遣職員等
園長	1.0	0.0	0.0	保育士	0.0	0.0	0.0
副園長	1.0	0.0	0.0	保育補助	1.0	0.6	0.0
主幹保育教諭	1.0	0.0	0.0	保健師・看護師	0.0	0.0	0.0
指導保育教諭	1.0	0.0	0.0	栄養士	0.0	0.0	0.0
保育教諭	5.0	1.5	0.0	調理員	0.0	0.0	0.0
事務員	0.0	0.0	0.0	その他	1.0	0.0	0.0
				合 計	11.0	2.1	0.0

○ 事業別報告

(2) 地域子育て支援センター事業

① 利用状況

ア 月別状況

月	開設日数	利用人数（子ども）			利用人数（保護者）		総利用人数		総利用組数			
		乳幼児	小学生	合計	1日平均	保護者	1日平均	人数	1日平均	利用組数	1日平均	最大組数
4月	25	126	14	140	6	122	5	262	10	124	5	9
5月	24	146	3	149	6	145	6	294	12	144	6	17
6月	25	206	3	209	8	204	8	413	17	204	8	15
7月	26	208	17	225	9	198	8	423	16	206	8	14
8月	25	164	19	183	7	162	6	345	14	160	6	15
9月	24	163	15	178	7	154	6	332	14	157	7	12
10月	26	234	12	246	9	220	8	466	18	227	9	21
11月	23	211	6	217	9	193	8	410	18	194	8	24
12月	24	222	0	222	9	202	8	424	18	201	8	19
1月	23	216	1	217	9	193	8	410	18	192	8	17
2月	22	194	0	194	9	175	8	369	17	174	8	15
3月	25	307	12	319	13	284	11	603	24	285	11	23
合 計	292	2,397	102	2,499	9	2,252	8	4,751	16	2,268	8	

イ 関係機関との連携

月 日	連携機関	内 容
4 月 9 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談
4 月 23 日	うえのこども園	読み聞かせの会
5 月 7 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・栄養相談
5 月 28 日	うえのこども園	音楽を子育てに♪
6 月 4 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・ブラッシング相談
6 月 18 日	川西地区青少年育成委員会	親子ふれあい体操
7 月 2 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・育児相談
7 月 30 日	うえのこども園	ベビーマッサージ
8 月 7 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談
8 月 20 日	川西地区青少年育成委員会	読み聞かせの会
9 月 3 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・栄養相談
9 月 18 日	川西地区青少年育成委員会	親子ふれあい遊び教室
10 月 1 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・ブラッシング相談
10 月 22 日	うえのこども園	ハンドマッサージ
10 月 28 日	うえのこども園	さくらサクランボリズム遊び
11 月 5 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・育児相談
11 月 12 日	川西地区青少年育成委員会	フルートコンサート♪
12 月 3 日	うえのこども園	音楽を子育てに♪
12 月 4 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・栄養相談
12 月 25 日	うえのこども園	クリスマス会
1 月 7 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談
1 月 21 日	うえのこども園	読み聞かせの会
2 月 5 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・ブラッシング相談
2 月 24 日	うえのこども園	集団生活って楽しいな！
3 月 4 日	うえのこども園	リズムに乗って遊ぼう♪
3 月 5 日	川西支所 地域振興課	乳幼児健康相談・栄養相談・育児相談

ウ 出前教室

参加者	開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
乳幼児		2	4	11	7	3	7	6
保護者		2	3	12	8	3	7	6
参加者	開催月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度計	昨年度計
乳幼児		9	15	9	8	11	92	65
保護者		8	13	8	6	10	86	63

